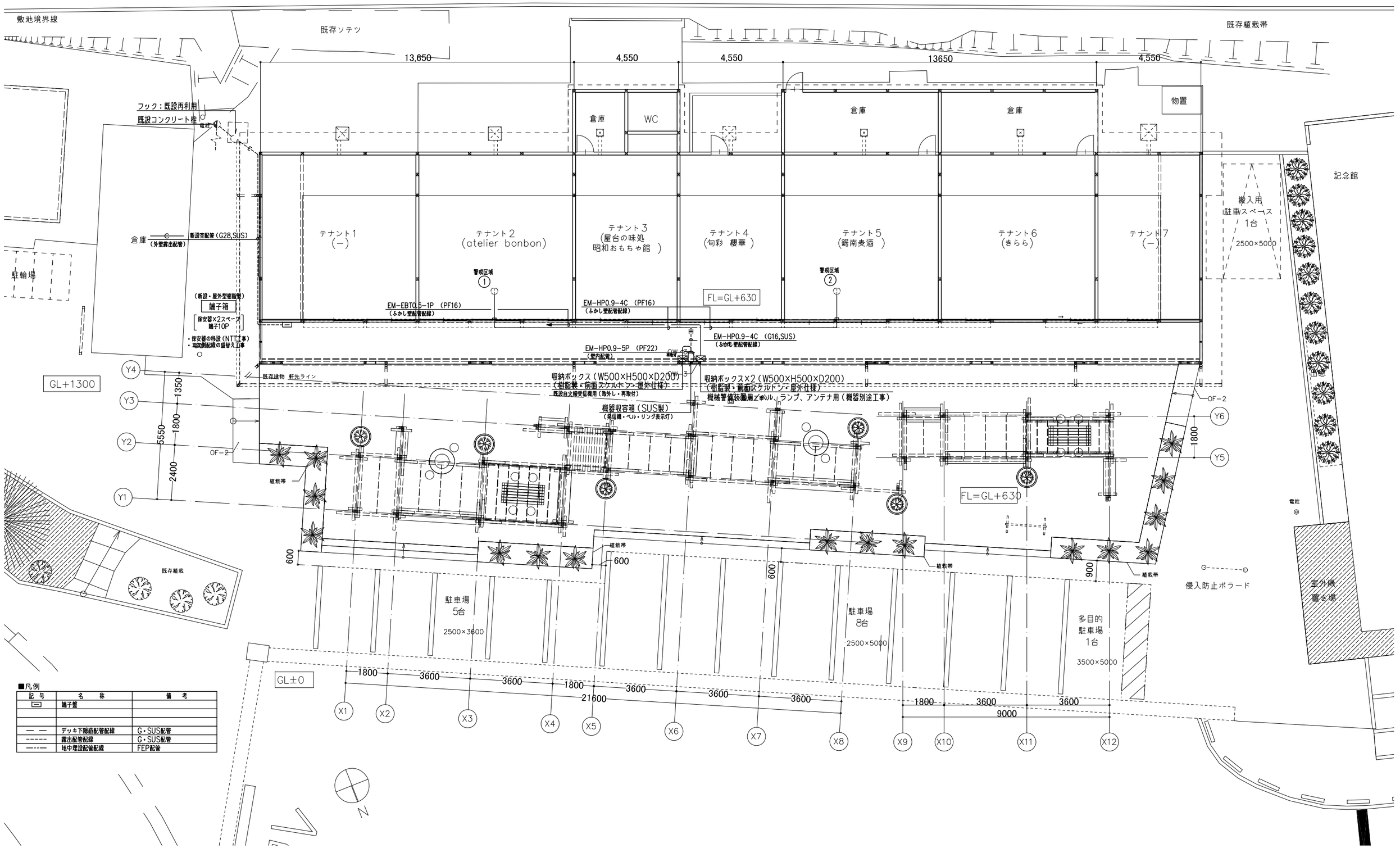


■凡例

記 号	名 称	備 考
▭	端子盤	
― ―	デッキ下隠蔽配管配線	G・SUS配管
------	露出配管配線	G・SUS配管
―・―	地中埋設配管配線	FEP配管

Note

Project Title

錦南町 観光物産センター改修工事

Client 錦南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUIYA T.KIKKAWA

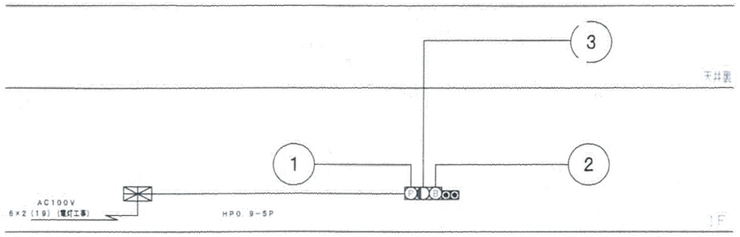
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
構内交換・自動火災報知設備 平面図(新設)

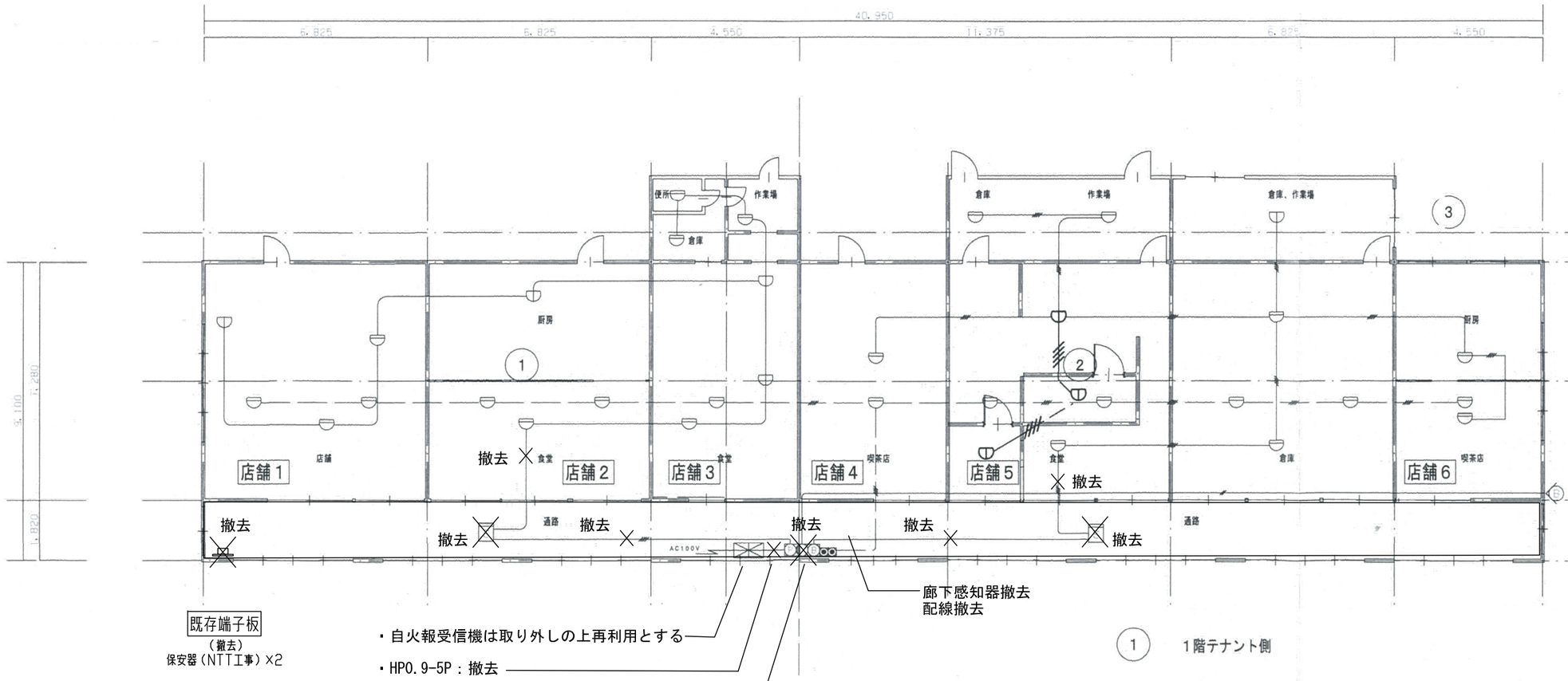
Scale S=1:150 (A3 paper)

Drawing No. E-05



自動火災報知設備　系統図

凡例		
記号	名称	備考
	受信機	
	機器収容箱	
	火災警報ベル	DC24V φ150 15mA
	表示灯	AC24V
P	発信機	P型2級
	差動式スポット型感知器	2種
	差動式スポット型感知器	2種 天井裏設置
	定温式スポット型感知器	1種 防水型
70	定温式スポット型感知器	特種
	火災警報ベル	防滴型
	煙感知器	2種 非蓄積型
	回路試験器	2種
	配管配線	
	ケーブル配線	
	警戒区域境界線	
No.	警戒区域番号	No. ：天井裏



凡例

撤去　HP0.9-4C：撤去

鋸南町観光物産センター

~~S＝1：150~~

自動火災報知設備

Note
※特記なき限り既存残置とする

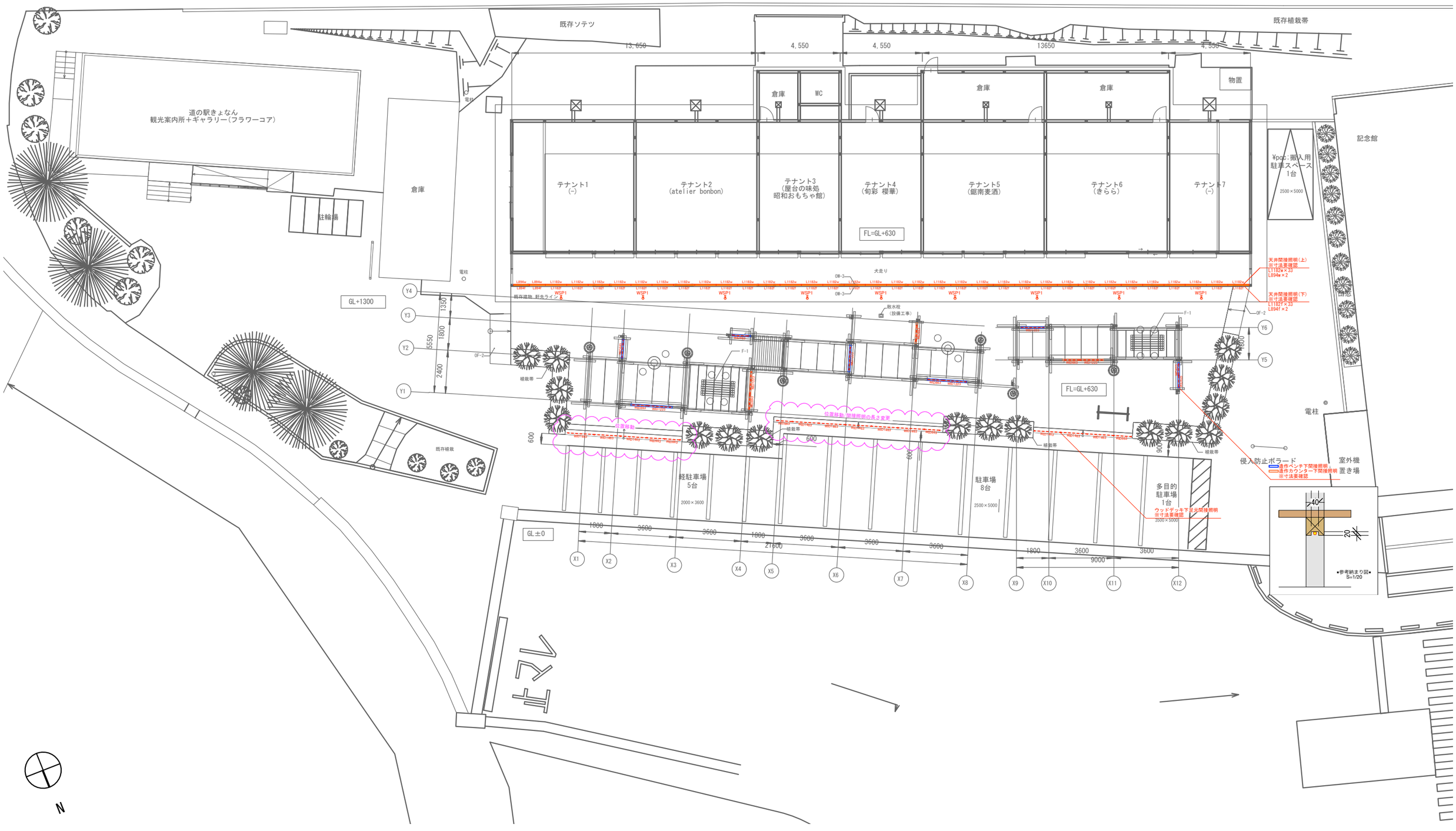
Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
構内交換・自動火災報知設備　平面図（撤去）
Scale　S=N.S（A3 paper）
Drawing No.　E-06



Note

Project Title

錦南町　観光物産センター改修工事

Client	錦南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA　T.KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1　日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
配灯図

Scale 1/200

Drawing No. E-07

物件名 (仮称)鋸南町観光物産センター　外構照明						総容量 2.016KVA			㎡ 0.000坪 0.000VA/㎡　0.000VA/坪	作成日:2025年1月15日 DAIKO ELECTRIC CO.,LTD.
No.	記号	名称	品番	ランプ・品番・詳細	調光	数量	@VA	KVA	埋込穴.埋込必要高 安定器・トランス・電源	備考
L894w	L894w	LED間接照明	LZW-93586LT	LED17W 2700K 35°	PWM	2	17	0.034		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認
		角度調整金具(2個1組)	LZA-92884		-	2				
L1182w	L1182w	LED間接照明	LZW-93587LT	LED22W 2700K 35°	PWM	33	22	0.726		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認
		角度調整金具(2個1組)	LZA-92884		-	33				
L894f	L894f	LED間接照明	LZW-93589LT	LED17W 2700K 65°	PWM	2	17	0.034		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認
L1182f	L1182f	LED間接照明	LZW-93590LT	LED22W 2700K 65°	PWM	33	22	0.726		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認
WID623	WID623	LED間接照明	LZW-93205LTW	LED4.8W 2700K	-	2	8.3	0.017		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途
WID863	WID863	LED間接照明	LZW-93206LTW	LED6.8W 2700K	-	~~9~~ 8	10.6	~~0.095~~ 0.085		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途
WID983	WID983	LED間接照明	LZW-93207LTW	LED7.7W 2700K	-	~~3~~ 4	11.3	~~0.034~~ 0.045		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途
WID1223	WID1223	LED間接照明	LZW-93208LTW	LED9.6W 2700K	-	6	14.2	0.085		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途
WID1463	WID1463	LED間接照明	LZW-93209LTW	LED11.6W 2700K	-	11	15.8	0.174		ｵﾌﾟｼｮﾝ別途
WSP1	WSP1 8	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	LLS-7000LUME 別注	LED6.1W 2700K	非調光	9	10	0.090		別注指定色塗装
		ｽﾌﾟﾚｯﾄﾞﾚﾝｽﾞ	LZA-90571 ｽﾌﾟﾚｯﾄﾞﾚﾝｽﾞ		-	9				

特記事項
ダウンライトの枠色と天井色の組合せが間違いないか確認後発注してください
ダウンライトの埋め込み必要高さが十分回避できているか確認後発注してください
間接照明は最終施工寸法に合った長さと台数を発注してください
ペンダント照明の吊下げ高さは既成品で対応可能か確認後発注してください
非常灯の設置について建築主事に．誘導灯の設置については所轄の消防署にご確認願います
＜プラグ式スポットライト設置における注意＞
急激な温度変化で結露が生じる場所には設置しない 。
接続部品（フィードインキャップやジョイナ）の周囲10ｃｍの範囲を避けて設置する 。
プラグは正しい向きで取り付ける 。

02763,04739

L894w	LED間接照明 LZW-93586LT
	LED17W 2700K 35°
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認

PWM　角度調整金具(2個1組) LZA-92884



2700K Ra83
LZW-93586 LT
¥52,000-(税抜)（LED内蔵）
防雨・防湿形 天井付・壁付・床付兼用
定格光束 1940lm　消費電力 17w
LED LED 17W
・アルミ型材 シルバーアルマイト ・ポリカーボネート 消し
・H44 B(R)94 B54φ 1.0kg
■最長付帯長付属用 ■AC100V/200V兼用
■光源寿命40,000時間 ■IP65
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
■PWM調光専用(2%～100%) ■調光範囲別売(PWM信号制御調光器)
■光源寿命40,000時間 ■IP65
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-93591)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※調光にはまずPWM信号入力ケーブル(LZA-93595)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※天井付・壁付兼用取付用スラップ(LZA-93596)をご使用ください。
※電源接続部の必ず先に電源ケーブル(LZA-92092)(LZA-93592)(LZA-93593)に接続してください。
(LZA-93591)・PWM信号入力ケーブル(LZA-93595)(LZA-93596)(LZA-93597)(LZA-93598)に各1個付属)
をお予備接してください。接続しないと点灯できません。
※調光用ケーブルは、絶縁コネクタ(LZA-93595)を必ず接続してください。接続しないと点灯できません。
ご注不可

L1182w	LED間接照明 LZW-93587LT
	LED22W 2700K 35°
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認

PWM　角度調整金具(2個1組) LZA-92884



2700K Ra83
LZW-93587 LT
¥60,000-(税抜)（LED内蔵）
防雨・防湿形 天井付・壁付・床付兼用
定格光束 2590lm　消費電力 22w
LED LED 22W
・アルミ型材 シルバーアルマイト ・ポリカーボネート 消し
・H44 B(R)152 B54φ 1.2kg
■最長付帯長付属用 ■AC100V/200V兼用
■光源寿命40,000時間 ■IP65
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
■PWM調光専用(2%～100%) ■調光範囲別売(PWM信号制御調光器)
■光源寿命40,000時間 ■IP65
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-93591)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※調光にはまずPWM信号入力ケーブル(LZA-93595)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※天井付・壁付兼用取付用スラップ(LZA-93596)をご使用ください。
※電源接続部の必ず先に電源ケーブル(LZA-92092)(LZA-93592)(LZA-93593)に接続してください。
(LZA-93591)・PWM信号入力ケーブル(LZA-93595)(LZA-93596)(LZA-93597)(LZA-93598)に各1個付属)
をお予備接してください。接続しないと点灯できません。
※調光用ケーブルは、絶縁コネクタ(LZA-93595)を必ず接続してください。接続しないと点灯できません。
ご注不可

L894f	LED間接照明 LZW-93589LT
	LED17W 2700K 65°
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認

PWM



2700K Ra83
LZW-93589 LT
¥50,000-(税抜)（LED内蔵）
防雨・防湿形 天井付・壁付兼用
定格光束 1990lm　消費電力 17w
LED LED 17W
・アルミ型材 シルバーアルマイト ・ポリカーボネート 消し
・H44 B(R)94 B54φ 0.9kg
■最長付帯長付属用 ■AC100V/200V兼用
■光源寿命40,000時間 ■IP65
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
■PWM調光専用(2%～100%) ■調光範囲別売(PWM信号制御調光器)
■光源寿命40,000時間 ■IP65
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-93591)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※調光にはまずPWM信号入力ケーブル(LZA-93595)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※天井付・壁付兼用取付用スラップ(LZA-93596)をご使用ください。
※電源接続部の必ず先に電源ケーブル(LZA-92092)(LZA-93592)(LZA-93593)に接続してください。
(LZA-93591)・PWM信号入力ケーブル(LZA-93595)(LZA-93596)(LZA-93597)(LZA-93598)に各1個付属)
をお予備接してください。接続しないと点灯できません。
※調光用ケーブルは、絶縁コネクタ(LZA-93595)を必ず接続してください。接続しないと点灯できません。
ご注不可

L1182f	LED間接照明 LZW-93590LT
	LED22W 2700K 65°
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途要確認

PWM



2700K Ra83
LZW-93590 LT
¥58,000-(税抜)（LED内蔵）
防雨・防湿形 天井付・壁付兼用
定格光束 2650lm　消費電力 22w
LED LED 22W
・アルミ型材 シルバーアルマイト ・ポリカーボネート 消し
・H44 B(R)152 B54φ 1.1kg
■最長付帯長付属用 ■AC100V/200V兼用
■光源寿命40,000時間 ■IP65
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
■PWM調光専用(2%～100%) ■調光範囲別売(PWM信号制御調光器)
■光源寿命40,000時間 ■IP65
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-93591)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※調光にはまずPWM信号入力ケーブル(LZA-93595)が必要です。
1回路に1本お求めください。
※天井付・壁付兼用取付用スラップ(LZA-93596)をご使用ください。
※電源接続部の必ず先に電源ケーブル(LZA-92092)(LZA-93592)(LZA-93593)に接続してください。
(LZA-93591)・PWM信号入力ケーブル(LZA-93595)(LZA-93596)(LZA-93597)(LZA-93598)に各1個付属)
をお予備接してください。接続しないと点灯できません。
※調光用ケーブルは、絶縁コネクタ(LZA-93595)を必ず接続してください。接続しないと点灯できません。
ご注不可

WID623	LED間接照明 LZW-93205LTW
	LED4.8W 2700K
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途

-



2700K Ra82
LZW-93205 LTW(本体)
¥19,000-(税抜)（LED内蔵）
防雨・防湿形 天井付・壁付兼用
定格光束 480lm　消費電力 7.3w
LED LED 7.3W
・ポリカーボネート 乳白
・PS25 B623 本10m 0.07kg
■壁付/横取付専用 ■DC24V
■光源寿命40,000時間
■最長延長10m本数
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-92092)が必要です。1回路に1本お求めください。
※延長ケーブル(LZA-92870)は連結させる最長延長
1回路に1本お求めください。
※連結部分の必ず先にコネクタ(別売)
直流電源ケーブル(LZA-92093)(1.1個付属)をお予
接続してください。接続しないと点灯できません。
※ご注に接にて色・切り欠けがついてございますこ
ご注意ください。
※この延長は必ず1灯当たり電流に組合せてご使用ください。
■光色電源
お届先LZA-92159 ¥17,000
LZA-91378 ¥29,000
DP-60172 ¥22,800
PWM:TM90000 ¥18,500
TM90001 ¥26,500
TM90002 ¥34,600
別 組LZA-93614 ¥33,000
※必ず開梱前にリストとご照合のうえでご発注ください

WID863	LED間接照明 LZW-93206LTW
	LED6.8W 2700K
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途

-



2700K Ra82
LZW-93206 LTW(本体)
¥22,500-(税抜)（LED内蔵）
防雨・防湿形 天井付・壁付兼用
定格光束 680lm　消費電力 10w
LED LED 10W
・ポリカーボネート 乳白
・PS25 B863 本10m 0.09kg
■壁付/横取付専用 ■DC24V
■光源寿命40,000時間
■最長延長10m本数
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-92092)が必要です。1回路に1本お求めください。
※延長ケーブル(LZA-92870)は連結させる最長延長
1回路に1本お求めください。
※連結部分の必ず先にコネクタ(別売)
直流電源ケーブル(LZA-92093)(1.1個付属)をお予
接続してください。接続しないと点灯できません。
※ご注に接にて色・切り欠けがついてございますこ
ご注意ください。
※この延長は必ず1灯当たり電流に組合せてご使用ください。
■光色電源
お届先LZA-92159 ¥17,000
LZA-91378 ¥29,000
DP-60172 ¥22,800
PWM:TM90000 ¥18,500
TM90001 ¥26,500
TM90002 ¥34,600
別 組LZA-93614 ¥33,000
※必ず開梱前にリストとご照合のうえでご発注ください

WID983	LED間接照明 LZW-93207LTW
	LED7.7W 2700K
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途

-



2700K Ra82
LZW-93207 LTW(本体)
¥23,500-(税抜)（LED内蔵）
定格光束 780lm　消費電力 10.6w
LED LED 10.6W
・ポリカーボネート 乳白
・PS25 B983 本10m 0.1kg
■壁付/横取付専用 ■DC24V
■光源寿命40,000時間
■最長延長10m本数(PWM調光専用調線先端)
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-92092)が必要です。1回路に1本お求めください。
※延長ケーブル(LZA-92870)は連結させる最長延長
1回路に1本お求めください。
※連結部分の必ず先にコネクタ(別売)
直流電源ケーブル(LZA-92093)(1.1個付属)をお予
接続してください。接続しないと点灯できません。
※ご注に接にて色・切り欠けがついてございますこ
ご注意ください。
※この延長は必ず1灯当たり電流に組合せてご使用ください。
■光色電源
お届先LZA-92159 ¥17,000
LZA-91378 ¥29,000
DP-60172 ¥22,800
PWM:TM90000 ¥18,500
TM90001 ¥26,500
TM90002 ¥34,600
別 組LZA-93614 ¥33,000
※必ず開梱前にリストとご照合のうえでご発注ください

WID1223	LED間接照明 LZW-93208LTW
	LED9.6W 2700K
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途

-



2700K Ra82
LZW-93208 LTW(本体)
¥30,500-(税抜)（LED内蔵）
定格光束 970lm　消費電力 13.5w
LED LED 13.5W
・ポリカーボネート 乳白
・PS25 B1223 本10m 0.12kg
■壁付/横取付専用 ■DC24V
■光源寿命40,000時間
■最長延長10m本数(PWM調光専用調線先端)
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-92092)が必要です。1回路に1本お求めください。
※延長ケーブル(LZA-92870)は連結させる最長延長
1回路に1本お求めください。
※連結部分の必ず先にコネクタ(別売)
直流電源ケーブル(LZA-92093)(1.1個付属)をお予
接続してください。接続しないと点灯できません。
※ご注に接にて色・切り欠けがついてございますこ
ご注意ください。
※この延長は必ず1灯当たり電流に組合せてご使用ください。
■光色電源
お届先LZA-92159 ¥17,000
LZA-91378 ¥29,000
DP-60172 ¥22,800
PWM:TM90000 ¥18,500
TM90001 ¥26,500
TM90002 ¥34,600
別 組LZA-93614 ¥33,000
※必ず開梱前にリストとご照合のうえでご発注ください

WID1463	LED間接照明 LZW-93209LTW
	LED11.6W 2700K
	備考：ｵﾌﾟｼｮﾝ別途

-



2700K Ra82
LZW-93209 LTW(本体)
¥33,500-(税抜)（LED内蔵）
定格光束 1560lm　消費電力 15.6w
LED LED 15.6W
・ポリカーボネート 乳白
・PS25 B1463 本10m 0.14kg
■壁付/横取付専用 ■DC24V
■光源寿命40,000時間
■最長延長10m本数(PWM調光専用調線先端)
（接続/電源ケーブル仕様ケーブル長さ）
※電源接続部には必ず電源ケーブル(LZA-92092)が必要です。1回路に1本お求めください。
※延長ケーブル(LZA-92870)は連結させる最長延長
1回路に1本お求めください。
※連結部分の必ず先にコネクタ(別売)
直流電源ケーブル(LZA-92093)(1.1個付属)をお予
接続してください。接続しないと点灯できません。
※ご注に接にて色・切り欠けがついてございますこ
ご注意ください。
※この延長は必ず1灯当たり電流に組合せてご使用ください。
■光色電源
お届先LZA-92159 ¥17,000
LZA-91378 ¥29,000
DP-60172 ¥22,800
PWM:TM90000 ¥18,500
TM90001 ¥26,500
TM90002 ¥34,600
別 組LZA-93614 ¥33,000
※必ず開梱前にリストとご照合のうえでご発注ください

WSP1	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ LLS-7000LUME 別注
	LED6.1W 2700K
	備考：別注指定色塗装

非調光　ｽﾌﾟﾚｯﾄﾞﾚﾝｽﾞ LZA-90571 ｽﾌﾟﾚｯﾄﾞﾚﾝｽﾞ



2700K Ra83
LLS-7000 LUME
¥51,000-(税抜)（LED内蔵）
13° ビーム角 13°
定格光束 285lm　消費電力 6.1w
LED LED 6.1W
白熱灯60W相当
・アルミダイカスト スタンカラー色塗装
・強化ガラス 透明
・径φ65 長153 耳195m 2.1kg
■首振上下33°下向き-回転350° ■制御レンズ付
■AC100V～242V ■光源寿命40,000時間
■防水・防塵性能IP65(灯具部) ■連結電仕様
■調光器仕様不可
注)中型回角アウトレットボックス・
中型スイッチカバーご選台
防雨・防湿形
天井付・壁付・床付兼用
ご注不可

スプレッドレンズ
LZA-90571
¥2,800-(税抜)
・硬質ガラス　取付バネ同梱
・径φ50m 0.1kg

Note

Project Title	
鋸南町　観光物産センター改修工事	

Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画

Drawn by	K.IKUTA
Checked by	N.FURUYA　T.KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1　日本駐車ビル4階

Date	

Name of Drawing	照明機器表
Scale	-
Drawing No.	E-08

構造設計特記仕様

1．建築物の構造内容

（1）建築場所　千葉県安房郡鋸南町吉浜516-1、517-1
（2）工事種別　■新築　□増築　□増改築　□改築
（3）構造設計一級建築士の関与　□必要　■必要としない
□ 法第20条第一号（高さ 60m超）
□ 法第20条第二号（□RC造 高さ20m超 □S造 4階建以上 □木造 高さ13m超 □その他 ）
注 (3)構造設計一級建築士の関与が義務付けられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
（4）構造種別
■ 木造（W）　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　□ 鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC）　□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□ その他（　　造）
（5）階　数
棟　地下　階　地上 1階　塔屋　階
（6）主要用途　複合用途:飲食店、物品販売業等
（7）屋上付属物
□ 高架水槽　kN　□ キュービクル　kN　□ 広告塔　□ 煙突
（8）特別な荷重
□ エレベータ　2人乗（マシンルームレス　ロープ式　油圧式）□ リフト　kN　□ ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　N/m2　□ 受水槽　kN　□ その他（　kN）
（9）付帯工事
□ 門扉　□ 擁壁　□ 駐輪場　□ 機械式駐車場　□ その他（　）
(10) 増築計画　■ 無　□ 有（　）
(11) 構造計算ルート　X方向ルート　1－（ ）　Y方向ルート　1－（ ）　CO=0.5相当
(12) 特定天井　■ 無　□ 有（　）

2．仕様建築材料表・使用構造材料一覧表

（1）コンクリート（レディミクストコンクリート　JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm2	品質基準強度 Fq = N/mm2	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	■普通	18	18	15	
土間コンクリート	□普通				構造体強度補正値 +3（+6：夏期，冬期）
基礎・基礎梁	■普通	24	24	18	構造体強度補正値 +3（+6：夏期，冬期）
柱・梁・床・壁	□普通 □軽量	－	－	－	比重 □普通 □第1種軽量 □第2種軽量
その他（　）	□普通 □軽量	－	－	－	構造体強度補正値 +3（+6：夏期，冬期）
押えコンクリート	□普通 □軽量	－	－	－	比重 □普通 □第1種軽量 □第2種軽量
細骨材の種類	■ 砂　■ 山砂　□ 人工				
粗骨材の種類	■ 砂利　■ 砕石　□ 人工				
水の区分	■ 水道水　□ 地下水　□ 工業用水				
混和材の種類（JIS　）	■ AE減水剤　■ 高性能減水剤　□　□				
呼び強度を保証する材齢、養生	■ 材齢（■28日　□56日　□　□　）				
	■ 養生（□現場封かん　□現場水中　■標準　□　）				

■単位水量は175kg/m3以下，単位セメント量は300kg/m3以上，水セメント比は55%以下，空気量は4.5±1.5とする。

（2）コンクリートブロック（□ JIS A 5406）
種類 □A種 □B種 □C種　厚□ □10 □120 □150 □190　使用箇所（□　□　）

（3）鉄　筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS G 3112）	■ SD295	D16以下	－	■重ね継手　(D16以下)
	□ SD345	D19以上	－	□ガス圧接継手 (D19以上)
	□ SD390	－	－	□溶接継手
	□	－	－	□機械式継手
	□	－	－	（　）
高強度せん断補強筋	□ 材種	－	－	
	□ 大臣認定番号(MSRB-　)		－	
丸　鋼（JIS G 3112）	□ SR235	－	－	
溶接金網（JIS G 3551）	□	－	－	
	□	－	－	

各継手の使用詳細については本仕様5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。

（4）鉄　骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□SS400　□SM400　□SN400 A,B,C	－	□有 □無	JIS G 3101,3136
□STKR400 □STKR490 □	－	□有 □無	JIS G 3466
□BCR295　□BCP235　□BCP325	－	□有 □無	認定品 認定番号 MSTL-
□STKN490B□STKN490B□	－	□有 □無	JIS G 3475
□SN490 A □SN490 B □SN490 C	－	□有 □無	JIS G 3106
□SSC400　■SR400	A.Bolt 兼 縦筋	□有 ■無	S68参照
溶接材料　□JIS Z	－		
□SM520	－	□有 □無	

○使用箇所の詳細については別途・示とする。

（5）ボルト
□高力ボルト
□F10T(JIS B1186) □S10T 認定番号(JSSⅡ09) □F8T 認定番号(　)　(□M16, □M20, □M22, □M24)
□ボルト(JIS B1180) M16　M　□ 4.8(4T)　□
□アンカーボルト
□SNR400B M16　□L=600　mm　フック（□J型　□定着板）　ナット（□シングル　□ダブル）
□SNR400B M20　□L=700　mm　フック（□J型　□　）　ナット（□シングル　□ダブル）
□頭付きスタッドボルト
φ＝　L=　mm　使用箇所（□柱脚　□柱　□大梁　□小梁　□　）
φ＝　L=　mm　使用箇所（□柱脚　□柱　□大梁　□小梁　□　）

（6）屋根，床，壁

材　質	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC　(JIS A 5416)	厚	□壁　□床版	□スライド　□ボルト止め □ロッキング　□
折　版　(JIS G 3352)	-	□屋根 □床版	□
特殊デッキプレート(JIS G 3352)	H=　厚	□屋根 □床版	□
デッキプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□屋根 □床版	□
キーストンプレート(JIS G 3352)	型式　厚	□屋根 □床版	□
(JIS　)	型式　厚	□屋根 □床版	□

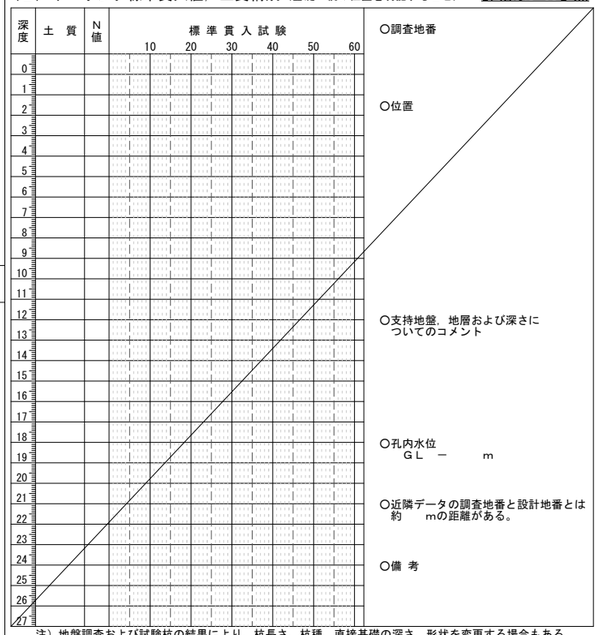
3．地　盤

（1）地盤調査資料と調査計画
■有　（■敷地内　□近隣）　□無　（調査計画　□有　□無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	□	□	静的貫入試験	□	□	標準貫入試験	□	□
水平地盤反力係数の測定	□	□	土質試験	□	□	物理探査	□	□
試験堀（支持層の確認）	□	□	平板載荷試験	□	□	液状化判定	□	□
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ式ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ	■	□	現場透水試験	□	□	ＰＳ検層	□	□
ハンドオーガー	■	□		□	□		□	□

注）上記表中の資料が有るもの，調査計画があるものを■にする。

（2）ボーリング標準貫入値，土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）　詳細はS-68参照



注）地盤調査および試験杭の結果により，杭長さ，杭種，直接基礎の深さ，形状を変更する場合もある。

4．地業工事

詳細はS-68参照

（1）直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　■独立基礎　試験堀　□有 □無
深さ GL- 0.51m，支持層：自沈層の無い盛土層　長期許容支持力度　10kN/m2　載荷試験 □有 □無
（2）地盤改良　□浅層混合処理工法　□深層混合処理工法　□その他
深さ GL-　m，長期許容支持力度　約　kN/m2　載荷試験 □有 □無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする
（3）杭基礎　支持層：-

杭種	材料	施工法	備考
□RC　□PRC	PRC(□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種)	□打ち込み	
□PHC　□H鋼	PHC(□A種 □B種 □C種)	□埋込み（セメントミルク工法）	
□鋼管　□摩擦杭	鋼材　□SS400 □STK490	□	認定第　号
□SC杭　□	□JIS	□	年　月　日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc　24N/mm2	□オールケーシング　□拡底杭	
	Fc　N/mm2	□リバースサーキュレーション	
	スランプ　cm以下	□アースドリル　□ミニアース	認定
	セメント量　kg/m3	□BH	第　号
	単位水量　kg/m3	□深礎（□手堀　□機械堀）	年　月　日
	鉄筋主筋 SD		
	HOOP SD		

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有 □無）　（□打ち込み　□載荷　□孔壁測定）　本

杭径(mm)	長期設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Fc）が36N/mm2以下に適用し，鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

（1）コンクリート
■ コンクリートは，JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とし，施工に関しては標準図に記載されている事項を除き，JASS5による。
■ 耐久設計基準強度　Fd　□一般　■標準　□長期　□
■ セメントは，JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は，工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
寒中，暑中，その他の特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は，調合，打ち込み，養生，管理方法など必要事項について，工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物想定は，原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い，試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は，通常の場合，1日1回以上とし，1回の検査における測定試験は，同一資料から取り分けて3回行い，その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについての現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603によることとし，
供試体は現場水中養生，または現場封かん養生とし，採取は打ち込み工区ごと，打ち込み日ごととする。
また，打ち込み量が150m3を超える場合は150m3ごとまたは，その端数ごとに一回を標準とする。
一回に採取する供試体は，適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要な本数を採取する。
尚，供試体の数量は，特別指示なき場合は，1回当り6本以上とし，そのうち4週用に3本用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは，打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち，コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては，コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお，打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は，外気温が25℃未満の場合は，150分以内，25℃以上の場合は120分以内とする。
■ コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は，コンクリートの温度が2度を下がらないようにする。
■ 乾燥，振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられなように養生を行う。

（2）鉄　筋
■ 鉄筋は JIS G 3112の規格品を標準とする。施工は，標準図に記載されている事項を除き，コンクリートと同様に，JASS 5による。
■ 高強度せん断補強筋は，JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法，形状，かぶり厚さ，鉄筋の継手位置，継手の重ね長さ，定着長さは『鉄筋コンクリート構造配筋標準・1）（2）』または『壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準・1）（2）』による。

■ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位 (注) A級	B級	SA級	鉄筋の径
■ 重ね継手	■ 40d □ 35d □（　）d				■ D(16　)以下
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	□			■ D(19　)以上
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D(　)以下
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D(　)以下

注）
(1)以外の部位に設ける継手は，平成12年告示第1463号ただし書きに基づき，日本鉄筋継手協会，日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で，構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。

■ D19未満は，すべて重ね継手とする。
■ 継手部分の施工要領は，社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事，溶接継手工事，機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：　外観検査 ■有 □無　引張試験 ■有 □無　超音波探傷試験 ■有 □無し
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合，最初の数のロットについては引張試験も併用し，1回の試験は5本以上とする。
（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所ていどとする）
■ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は，□H型(タダ型)　□W型(溶接型)　□S型(スパイラル型)とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと
試験・検査機関名　（都知事登録　号）
代行業者名
代行業者とは，試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（3）型　枠
■ 材料　合板厚 12mm を標準とする。　■ 施工 JASS 5による。
■ 型枠存置期間

種類	せき板				支柱			
部位	基礎・はり側・柱・壁		スラブ下・はり下		スラブ下		はり下	
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
材齢(日) 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0 N/mm2		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		設計基準強度の100%	

注）1　片持ばり，庇，スパン9.0m以上のはり下は，工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また，その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは，必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には，厚い受板，角材または，これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは，小ばりが終わってから，スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って，盛りかえをしてはならない。
注）6　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては，支柱（大ばりの支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）7　支柱の盛りかえは，養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。
注）8　ヴォイドスラブの支柱は2層受けとし，存置期間は材齢28日とする（JASS 5参照）。

6．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
■ 日本建築学会「JASS 6」　「鉄骨精度検査基準」　「鉄骨工事技術指針」
■ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（2）工事監理者の承認を必要とするもの
■ 製作工場　■製作要領書　■工作図　■施工計画書
■ 認定または登録工場（大臣認定 □S □H □M ■R □J グレード　都登録 □T1 □T2 □T3 ランク）
■ 材料規格証明書※，または試験成績書
■鋼材　■高力ボルト　□特殊ボルト　□頭付きスタッド
※）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法，またはミルシート。
■ 社内検査表

（3）工事監理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については，工事監理者に報告すること）
□現寸検査　□組立・開先検査　■製品検査　■建方検査　□

（4）接合部の溶接は下記によること
■ 平成12年建設省告示第1464号第二号イ，ロ
■ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■ 日本建築学会「溶接工作規準，同解説Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ，Ⅸ」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場詩H編」

（5）接合部の検査
■ 溶接部の検査【検査結果は後日工事監理者に報告すること】

検査箇所	検査方法		検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
■完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）		100%個	30%個	%個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
□	超音波探傷検査		100%個	30%個	%個	（注）東京都の要項に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	内質検査(注)	□硬さ試験	%個	%個	%個	
		□示温塗料塗布	%個	%個	%個	
	マクロ試験・その他		個	個	個	
■隅内溶接部	外観検査（※）		100%個	30%個	%個	
第三者検査機関名			（都知事登録　号）			

第三者検査機関とは，建築主，工事監理者又は工事施工者が，受入れ監査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1)現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし，外観検査、超音波検査を100%行うこと
注2)知事が定めた重大な不具合が発生した場合は，是正前に対応策を建築主事等に報告すること

■ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□要　■不要　高力ボルトすべり係数試験　□要　■不要
■ 一次締め後にマーキングを行い，二次締め後そのずれを見て，共回り等の異常がないことを確認する
■ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後，ピンテールが破断していることを確認する

（6）防錆塗装
■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする
錆止めのペイントは、□JIS K 5621、□JIS K 5625、■JIS K 5674、□　を使用して，
４つ星２回塗りを標準とするが，実情に応じて決定すること
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、
塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする

（7）耐火被覆の材料
■ 耐火被覆の材料は、意匠設計者の指示によるものとする

7．設備関係

■ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な方法を用いるものとする
■ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること
■ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは，風圧・地震力に対して、構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること
■ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力に対して構造耐力上安全であること
■ 設備配管は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること
■ 管の伸縮その他の変形に当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること
■ 管を支持し、又は固定する場合においてつり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること
■ エレベータの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない
■ 床スラブ内に設備配管を埋込む場合は、スラブの1／3以下とし管の間隔を管径を3倍以上かつ 5cm以上を原則とする
■ 給湯設備は風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること
■ 給湯設備は構造体に安全に緊結されていること
■ 給湯設備は地震時の転倒、移動などにより人が危害を受ける恐れがないこと
告示第1388号(改正告示1447号)で定められたアンカーボルト等で緊結すること

8．その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること
■ 各試験の供試体は公的機関にて試験を行い工事監理者に報告すること
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること
■ 設計図書の優先順位は下記による
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）　2. 設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図等）
3. 特記仕様書　4. 標準図

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
構造設計特記仕様
Scale　S= -(A3)
Drawing No.　S-01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）

- 「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」(日本建築学会)
- 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- 「建築工事標準仕様書・同解説JASS5鉄筋コンクリート工事」(日本建築学会)

(2) 記号

d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値、丸鋼では径　D･･･部材の成　R･･･直径

@･･･間隔　r･･･半径　℄･･･中心線　lo･･･部材の内寸法距離　h0･･･部材間の内法高さ

STP･･･あばら筋　HOOP･･･帯筋　S.HOOP･･･補強帯筋　φ･･･直径又は丸鋼

〈鉄筋表示記号〉

• D10	× D13	⊸ D16	● D19
○ D22	◉ D25	⊗ D29	◎ D32
⊕ D35	⊕ D38	⊗ D41	

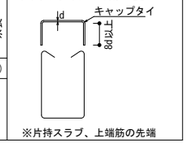
2. 鉄筋加工、かぶり、組立

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）

折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、
SR295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5ｄ以上
スラブ筋、壁筋に丸鋼は使用しない。

折曲げ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。

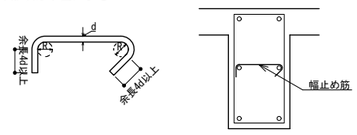


※片持スラブ、上端筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋折り曲げ角度90° 以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SR295 SD295A・B SD345	16φ D16 以下	3d以上
			19φ D19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345 SD390	D16以下	4d以上
			D19～D25	6d以上
			D29～D41	6d以上

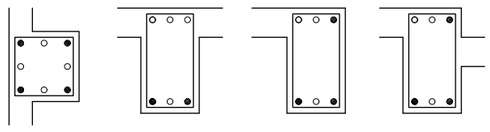
幅止め筋の折曲げ形状は下図による



(3) 鉄筋のフック

1. 柱の四隅または梁の出隅下端筋の両側にある主筋を重ね継手とする場合
（フック形状は180° フックとする）

a)柱　　b)梁(基礎梁を除く)　　●：フック付鉄筋



2. 柱の四隅にある主筋で最上階(中間階で上に柱のない場合を含む)の柱頭部
（フック形状は180° フックとする）
3. 煙突の鉄筋　（フック形状は180° フックとする）
4. あばら筋及び帯筋
5. 標準図及び設計図に示す箇所

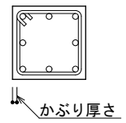
(4) かぶり厚さ(単位:mm)

1. 鉄筋のかぶり厚さは表による。
2. 柱・梁かぶり厚さは表を満足し、かつ主筋に対する最小かぶり厚さは、主筋径の1.5倍以上とする。
3. 配筋は構造体寸法(打増しを除いた寸法)から所定の設計かぶり厚さを確保できる位置にて行う。
4. 耐久性上有効な仕上げがある場合、表の(1)(2)の値を10mm減じてよい。
耐久性有効な仕上げの例
・タイル張り
・モルタル塗り(10mm以上)
・打増し(10mm以上)
5. ひび割れ誘発目地・打継ぎ目地・化粧目地等がある場合は、目地底からのかぶり厚さを確保する。
6. 柱・梁で打継ぎ目地を設ける場合は、構造体寸法に目地深さ分を打増しとする。この打増しは上記4.により、耐久性上有効な仕上げと考えることができる。
7. 捨てコンクリートは、かぶり厚さに含まない。
8. 軽量コンクリートを用いる場合は表4-1の※2の値に10mmを加えた値とする。

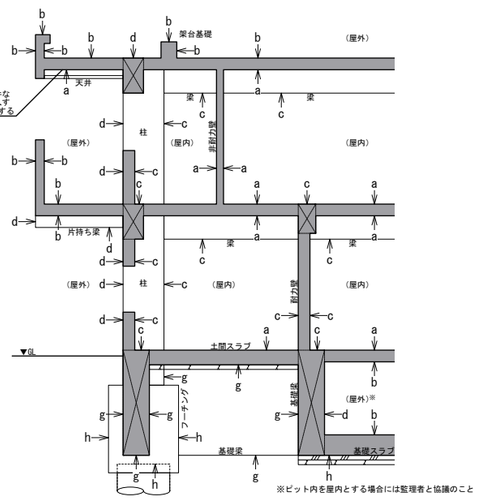
表:かぶり厚さ

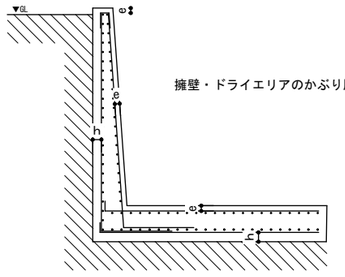
部位			設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)	分類番号
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20	a
		屋外	40(1)	30(20)	b
	梁・柱 耐力壁	屋内	40	30	c
		屋外	50(2)	40(1)(30)	d
	基礎・擁壁		50(3)	40	e
	煙突内面		60	50	f
土に接する部分	柱・梁・スラブ・耐力壁		50	40(4)	g
	基礎・基礎スラブ・擁壁		70	60(4)	h

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



(注)(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) ( ) 内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。





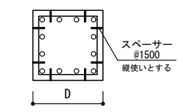
(5) 組立

1. 鉄筋の組立は、鉄筋継手部及び交差部を結束線で結束し、結束線は内側に曲げることを原則とする。
2. バーサポート・スペーサーのサイズは(3)で示す設計かぶり厚さを満足するものを使用する
3. コンクリート打込み後の差筋は行わないこと
4. 鉄筋の台直しは行わないこと。やむをえず台直しを行う場合は、監理者に確認をとり、鉄筋周囲のコンクリートをはつり取り、勾配が1/6以下の出来るだけ長い距離で修正をすること

表.バーサポート及びスペーサーなどの種類および数量・配置の標準

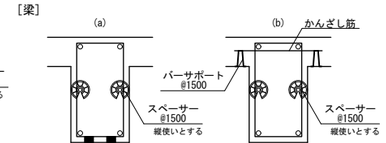
部位	スラブ	梁	柱
種類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数量又は配置	上端筋、下端筋にそれぞれ1.3個/m²程度	間隔は1500mm程度 端部は500mm以内	上段は梁下より500mm以内 中段は柱脚と上段の中間1500mm以内 柱幅方向は1000mmまで2個 1000mm以上は3個
備考	端部上端筋及び中央部下端筋には必ず配置	側梁以外の梁はよまたは下に設置、側梁は側面の両側へ対称に設置	同一平面に点対称となるように設置
部位	基礎	基礎梁	壁・地下外下壁
種類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数量又は配置	面積 4.0m²程度　8個 16.0m²程度　20個	間隔は1500mm程度 端部は500mm以内	上段は梁下より500mm以内 中段は上段より間隔1500mm以内 横間隔は1500mm以内
備考	-	上または下と側面の両側へ対称に設置	-
注記	・バーサポート及びスペーサーのサイズはあ設計かぶり厚さを満足するものを使用すること ・バーサポート及びスペーサーの種類は設計基準強度以上のコンクリート製又は鋼製を使用すること ・柱、梁、基礎、基礎梁、壁、地下外壁の側面のスペーサーはプラスチック製でもよい それ以外の箇所でプラスチック製を使用する場合には、剛性、強度、安定性を十分確認し、事前に監理者の確認をとること(事前確認を取らない場合には使用不可) ・ドーナツ形のスペーサーは縦使いを原則とする。梁の側面の場合、スペーサーを設置する腹筋と交差するあばら筋を動かぬようにに緊結させること ・鋼製のバーサポート及びスペーサーはかぶり厚範囲に防錆処理を施したものとする ・断熱材打込み時のバーサポートは断熱材用の製品を使用するか、またはバーサポートの下に樹脂パットを設置し、断熱材にめり込まないようにする。 サポートの場合も同様に樹脂パットを設置し、断熱材にめり込まないようにする。		

［柱］



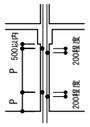
D≦1000　1辺に2個
D＞1000　1辺に3個
(但しDが500毎に+1個)

［梁］



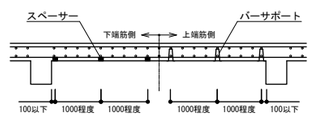
(a)または(b)いずれとしてもよい。
但し、片側スラブの場合には(a)とする。

［壁］



Pは⌀1500
壁前後のスペーサーは縦・横方向のいずれかの間隔を200程度とすればよい
スペーサーは縦使いとする

［スラブ］

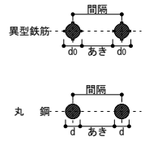


(6) 鉄筋のあき

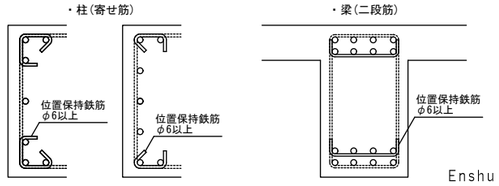
丸鋼では径、異型鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

呼び名	最外径(mm)	鉄筋のあき(mm)	鉄筋の間隔(mm)
D10	11	31	42
D13	14	31	45
D16	18	31	49
D19	21	31	52
D22	25	33	58
D25	28	38	66
D29	33	44	77
D32	36	48	84
D35	40	53	93
D38	43	57	100
D41	46	62	108

・粗骨材の最大寸法が25mmの場合を示す
・鉄筋の最外径は銘柄ごとに異なるため、使用する鉄筋に合わせて適宜対応すること



柱及び梁の主筋が二段筋(寄せ筋)以上の場合、
下図の位置保持鉄筋により鉄筋相互のあきを確保する。



(7) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

・定着

・軽量コンクリートの場合、上表の数値に5dを加えた値とする。
・＜　＞は片持ち部材を示す
・記号の「h」はフック付を示す

鉄筋種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm²)	定着の長さ				
		一般 (L2, L2h)		下端筋 (L3, L3h)		
				小梁		スラブ
		直線定着 L2	ﾌｯｸ付定着 L2h	直線定着 L3	ﾌｯｸ付定着 L3h	直線定着 L3
SD295	39～45	25d	15dﾌｯｸ付	20d	10dﾌｯｸ付	10d かつ 150mm以上 <20d>
	30～36	30d	20dﾌｯｸ付			
	24～27					
	21	35d	25dﾌｯｸ付			
	18以下	40d	30dﾌｯｸ付			
SD345	39～45	30d	20dﾌｯｸ付			
	30～36					
	24～27	35d	25dﾌｯｸ付			
	21					
	18以下	40d	30dﾌｯｸ付			
SD390	39～45	35d	25dﾌｯｸ付			
	30～36					
	24～27	40d	30dﾌｯｸ付			
	21					
SD490	39～45	40d	30dﾌｯｸ付	-		
	30～36					
	24～27	45d	35dﾌｯｸ付			

鉄筋種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm²)	特別な定着(L1, L1h)		折曲げ定着長さ(La, Lb) La:梁主筋の梁内折曲げ定着長さ(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブ含む) Lb:小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く)	
		直線定着 L1	ﾌｯｸ付定着 L1h	柱内定着 La	小梁・スラブ定着 Lb
SD295	39～45	30d	20dﾌｯｸ付	15d	15d
	30～36	35d	25dﾌｯｸ付		
	24～27				
	21	40d	30dﾌｯｸ付		
	18以下	45d	35dﾌｯｸ付	20d	
SD345	39～45	35d	25dﾌｯｸ付	15d	15d
	30～36				
	24～27	40d	30dﾌｯｸ付	20d	20d
	21	45d			
	18以下	50d	35dﾌｯｸ付		
SD390	39～45	40d	30dﾌｯｸ付	15d	15d
	30～36				
	24～27	45d	35dﾌｯｸ付	20d	20d
	21	50d			
SD490	39～45	45d	35dﾌｯｸ付	20d	-
	30～36	50d		25d	
	24～27	55d	40dﾌｯｸ付		

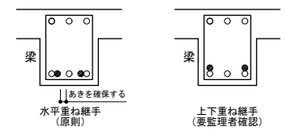
[注]許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

[注]許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

呼び名	4d	10d	15d	20d	25d	30d	35d	40d	45d
D10	40	100	150	200	250	300	350	400	450
D13	52	130	195	260	325	390	455	520	585
D16	64	160	240	320	400	480	560	640	720
D19	76	190	285	380	475	570	665	760	855
D22	88	220	330	440	550	660	770	880	990
D25	100	250	375	500	625	750	875	1000	1125
D29	116	290	435	580	725	870	1015	1160	1305
D32	128	320	480	640	800	960	1120	1280	1440
D35	140	350	525	700	875	1050	1225	1400	1575
D38	152	380	570	760	950	1140	1330	1520	1710
D41	164	410	615	820	1025	1230	1435	1640	1845

・継手

1. 対象とする継手は重ね継手・ガス圧接継手・フレア溶接継手とし、その他(機械式継手・突合せアーク溶接継手など)の仕様は設計図による
2. 重ね継手長さは原則として、　■ 強度に関係なく40d　□ 定着長さL1　とする
2. D19以上の異形鉄筋には、原則として重ね継手を用いない
3. 径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋径(d)を用いる
4. あき重ね継手は、原則としてスラブ筋・基礎スラブ筋・壁筋に適用する
5. 梁主筋の重ね継手は水平重ね継手を原則とし、上下重ね継手とする場合は監理者と協議すること



Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Date　2025.02.26

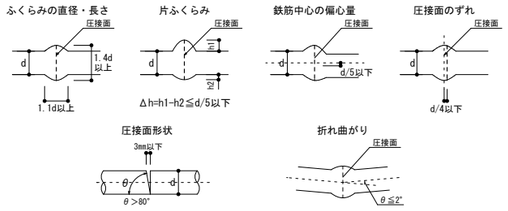
Name of Drawing
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
Scale　S=-(A3)
Drawing No.　S-02

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

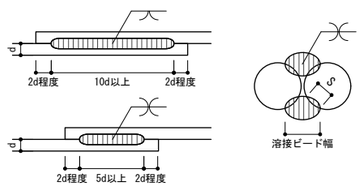
6. ガス圧接の形状は下図による。
7. 径の異なる鉄筋のガス圧接は細い方の鉄筋径(d)を用いる径の差は原則として、7㎜以下とする

［ガス圧接形状］



8. フレア溶接の形状は下図による
9. 鉄筋のフレア溶接は、原則として鉄筋の種類はSD345まで、鉄筋径はD16までとする
10. フレア溶接は、被覆アーク溶接またはガスシールドアーク溶接により、使用する溶接材料は次に示す表によること

［フレア溶接形状］ 原則D16以下



溶接ビード幅	
呼び名	最小値
D10	6
D13	7
D16	8
D19	10
D22	11
D25	13
D29	15

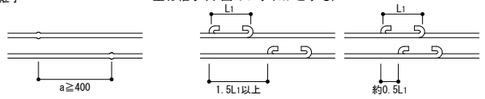
脚長 S = 0.35D

表. フレア溶接に用いる鉄筋と溶接材料の組合せ

溶接される鉄筋の種類	被覆アーク溶接棒の種類 JIS Z 3211	ソリッドワイヤの種類 JIS Z 3312
SD295A SD295B	E4316、E4915、E4916等の低水素系溶接棒	YGW11 YGW12 YGW13 YGW15 YGW16 YGW18 YGW19
SD345	E4915、E4916等の低水素系溶接棒	

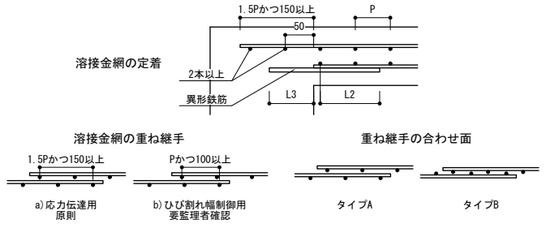
11. 隣り合う鉄筋の継手位置は、下図による。但し、壁の場合及びスラブ筋(基礎スラブ筋を含む)でD16以下の場合は除く

圧接継手　　重ね継手(下図のいずれかとする)

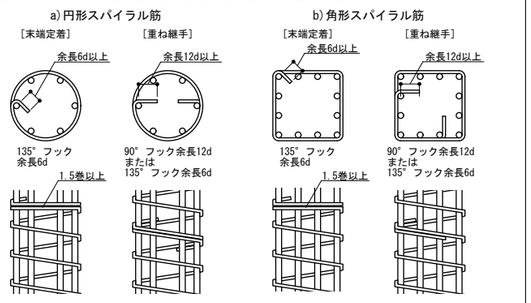


(8) その他の定着及び重ね継手長さ

1. 溶接金網の定着は下図による
2. 溶接金網の重ね継手は下図による。設計図に記載のない場合はa)応力伝達用の重ね継手とする
   合わせ面はタイプA、タイプBいずれとしてもよい



3. 帯筋にスパイラル筋を用いる場合の定着・継手要領は下図による

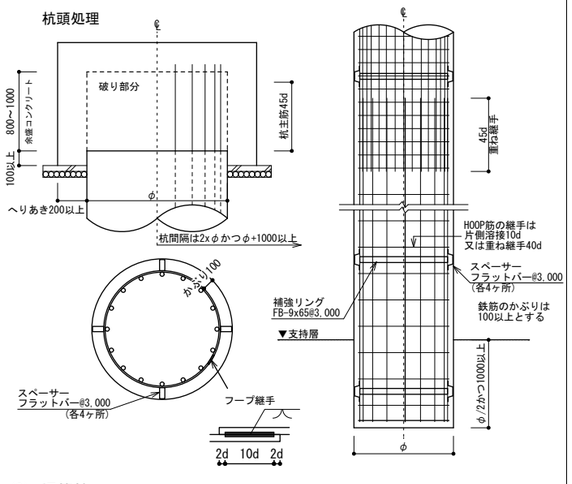


3. 杭　　(使用する場合は設計図に詳細図を示す)

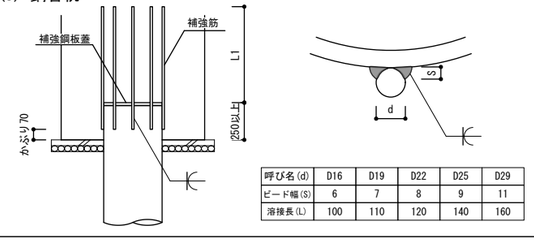
(1) ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の場所に止まった場合			所定より低く止まった場合		
補強筋 HOOP @150 100以上 基礎下端 コンクリート止め板			但し▮≦φの場合（下げ止まりの影響をあらかじめ設計上考慮されている場合に限る） ▮＞φの場合は工事監理者の指示による HOOP@150 3-D16 基礎下端 45° 150 150 1.5φ コンクリート止め板		
杭　径	300φ・350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
Ｈ００Ｐ	D10−@150				

(2) 現場打ちコンクリート杭



(3) 鋼管杭

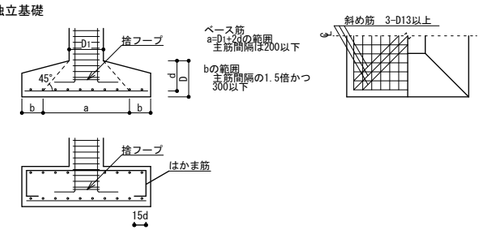


呼び名(d)	D16	D19	D22	D25	D29
ビード幅(S)	6	7	8	9	11
溶接長(L)	100	110	120	140	160

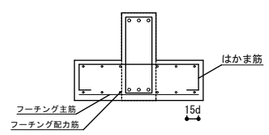
4. 基　礎　　(使用する場合は設計図に詳細図を示す)

(1) 直接基礎

a) 独立基礎

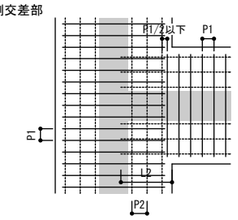


b) 布基礎

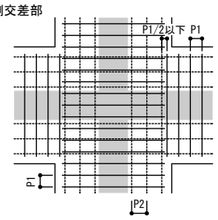


P1:主筋ピッチ
P2:配力筋ピッチ

・側交差部

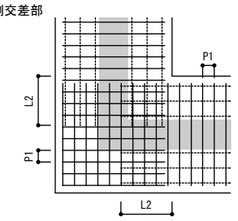


・側交差部



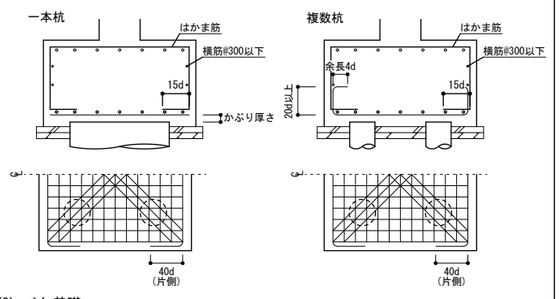
フーチング主筋が多い方を勝たせること

・側交差部

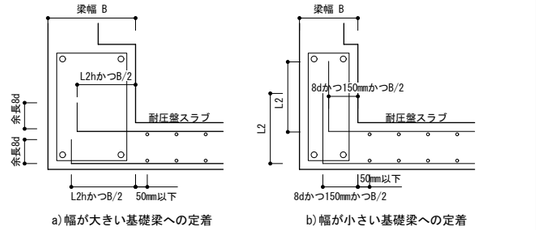


フーチング主筋を交差させること

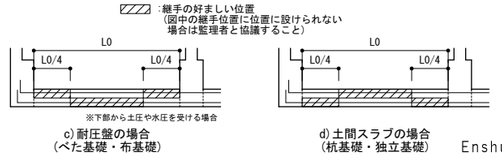
(2) 杭 基 礎



(3) べた基礎

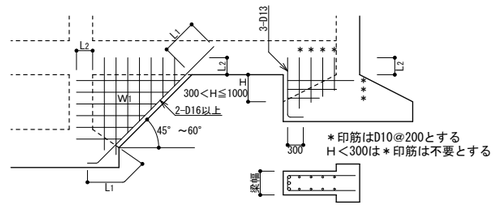


a) 幅が大きい基礎梁への定着　　b) 幅が小さい基礎梁への定着



c) 耐圧盤の場合 (べた基礎・布基礎)　　d) 土間スラブの場合 (杭基礎・独立基礎)

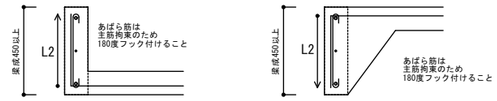
(4) 基礎接合部の補強



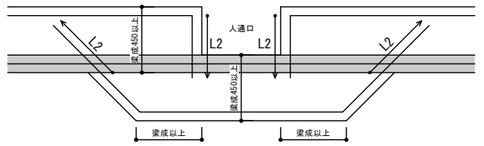
Wiの三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

(5) 住宅等の小規模建物の基礎

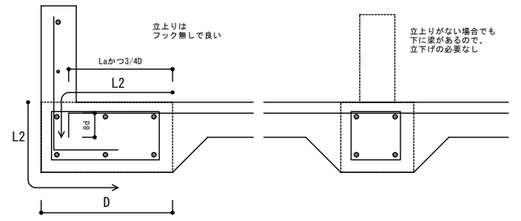
a) 立上りを基礎梁とする場合



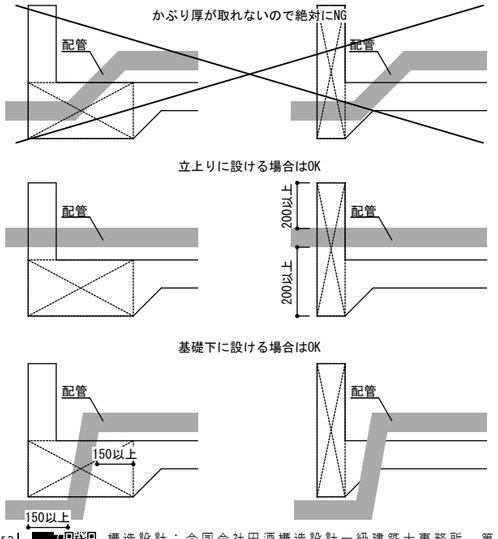
立上りがない場合は下記の様に人通口補強(立下げ)が必要になるので注意



b) 偏平梁等で立上りを基礎梁としない場合



(5) 住宅等の小規模建物の基礎でのスリーブ位置について



Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

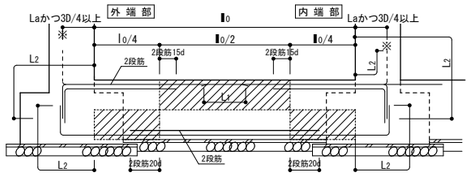
Name of Drawing
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
Scale S=－(A3)
Drawing No. S-03

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

5．地中梁

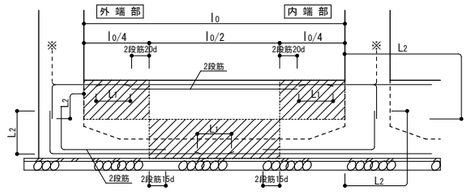
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)
(長期荷重が支配的な場合の継手は7.(2)大梁継手位置とする)



:継手の好ましい位置
(図中の継手位置に位置に設けられない場合は監理者と協議すること)

※上端筋の定着は、やむを得ない場合上向きとすることができる

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



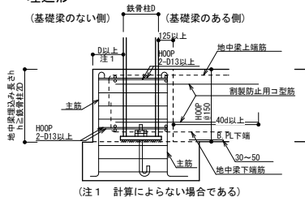
:継手の好ましい位置
(図中の継手位置に位置に設けられない場合は監理者と協議すること)

※上端筋の定着は、やむを得ない場合上向きとすることができる

(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋

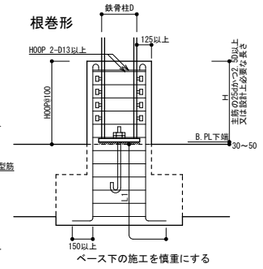
地中梁の主筋と頭付スタッドによる、おさまりに注意する

埋込形



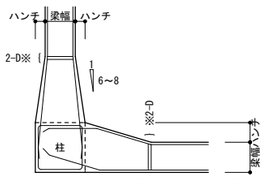
(注1　計算によらない場合である)

根巻形



ベース下の施工を慎重にする

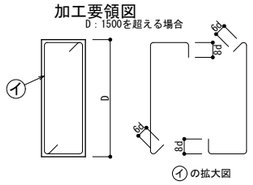
(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



※ 一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる

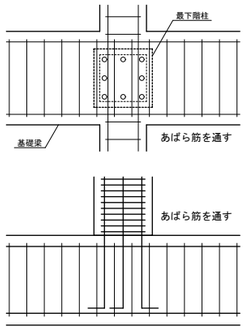
(5) せいの高い梁のあばら筋

加工要領図
D：1500を超える場合

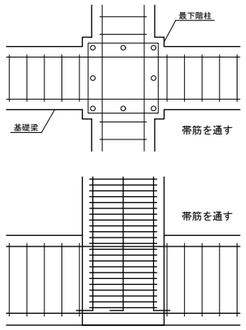


(6) 基礎梁と最下階柱の取合い部配筋要領

a)柱より梁・基礎梁が大きい場合



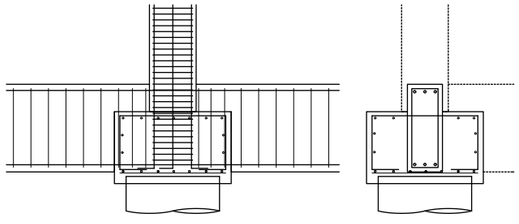
b)柱より梁・基礎梁が小さい場合



・上記のように柱主筋が梁内に定着する場合の基礎梁はべた基礎や布基礎であり、杭基礎や独立基礎の場合はフーチング内まで柱主筋を下ろすこと。

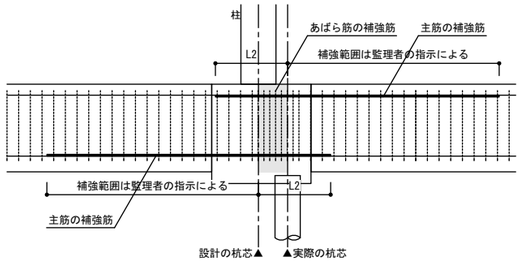
(7) 基礎梁とフーチングの取合い部配筋要領

・フーチング内も原則として柱筋及び梁筋は通すこと。



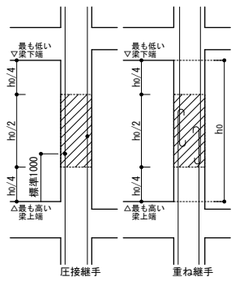
(5) 杭芯ずれに対する補強(例)

・実際の補強方法は、施工監理者の指示による。
・芯ずれ100mm以下の場合は、原則として補強不要とする。
・耐力壁付きの梁については、原則として補強不要とする。
・下記の図のように補強筋を施工監理者の指示のもと補強を行うこと。



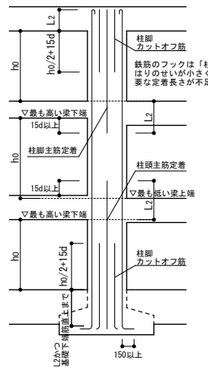
6．柱

(1) 柱主筋の継手



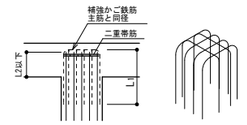
:継手の好ましい位置
(図中の継手位置に位置に設けられない場合は監理者と協議すること)

(2)柱主筋の定着



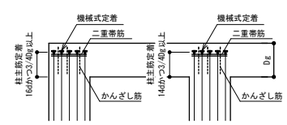
※柱頭、梁の定着L2以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により補強する。

1. 補強かご鉄筋(かんざし筋)



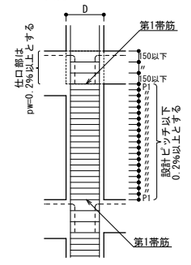
・かんざし筋は柱の主筋と同径、同本数で配筋する
・最上段の帯筋は二重巻きとする

2. 機械式定着＋かんざし筋

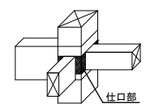


・かんざし筋は梁のあばら筋と同径、同ピッチで配筋する
・最上段の帯筋は二重巻きとする

(3) 帯筋

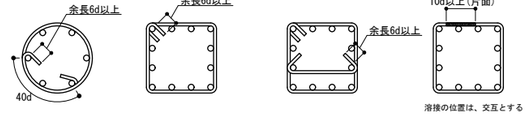


1. 柱の仕口部の範囲は設計図による。設計図に記載のない場合は柱の取付く全ての梁せいが重なる範囲を仕口部とする
2. 直交梁がない場合柱の仕口部帯筋範囲は設計図による
設計図に記載のない場合は、仕口部帯筋は適用しない



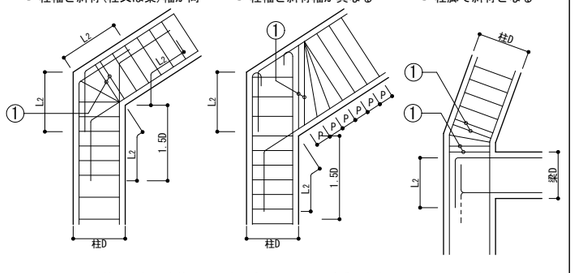
注1 第1帯筋は、梁づらに入れる
注2 W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注3 フックおよび継手の位置は、交互とする

・帯筋形状(フックは135°以上とする)



(4) 斜め柱・斜め梁

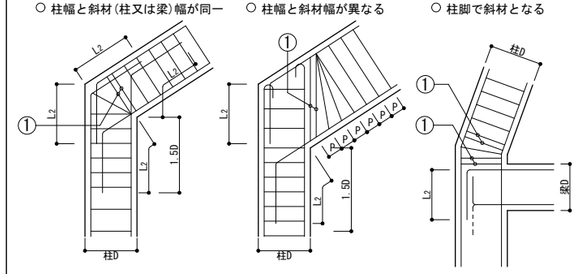
○ 柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一　○ 柱幅と斜材幅が異なる　○ 柱脚で斜材となる



注1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い都筋とする

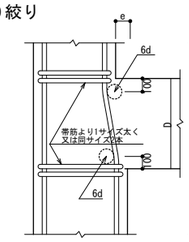
(4) 斜め柱・斜め梁

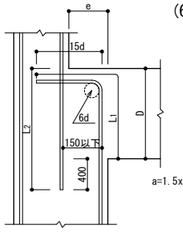
○ 柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一　○ 柱幅と斜材幅が異なる　○ 柱脚で斜材となる



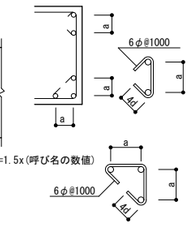
注1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い都筋とする

(5)絞り

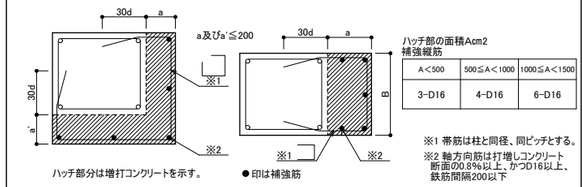




(6) 二段筋の保持



(6) 柱増打コンクリート補強　(増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと)



ハッチ部の面積Acm2
補強縦筋

A<500	500≦A<1000	1000≦A<1500
3-D16	4-D16	6-D16

※1 帯筋は柱と同径、同ピッチとする。
※2 軸方向筋は打増しコンクリート断面の0.8%以上、かつD16以上、鉄筋間隔200以下

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。　●印は補強筋

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)
Scale　S=－(A3)
Drawing No.　S-04

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (4)

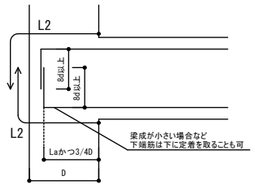
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

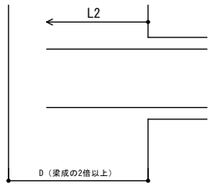
(1) 定着 ⓐ 大梁

(i) 一般

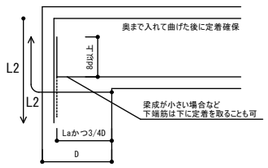
(a) 一般階のト形接合部



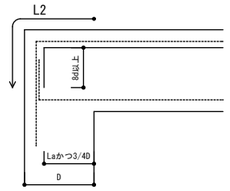
柱幅が梁せいの2倍以上ある場合



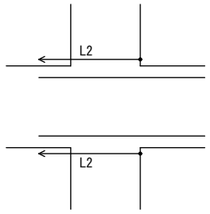
(b) 最上階のL形接合部の1段筋



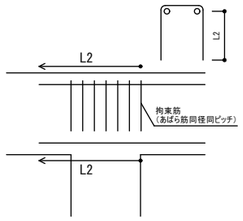
(c) 最上階のL形接合部の2段筋



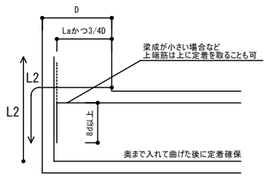
(d) 一般階の十字形接合部



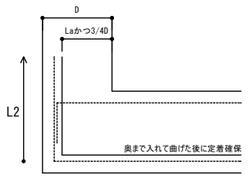
(e) 最上階のT形接合部



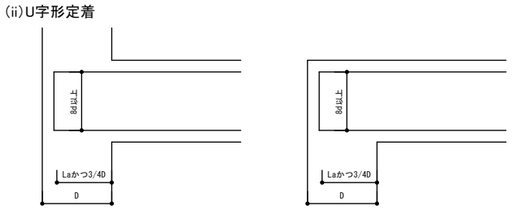
(f) 丘立ち柱のL形接合部の1段筋



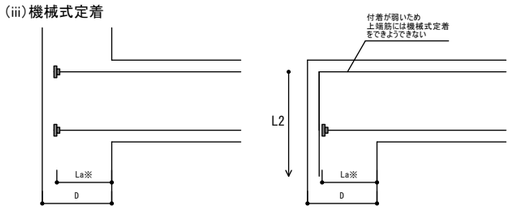
(g) 丘立ち柱のL形接合部の2段筋



(ii) U字形定着

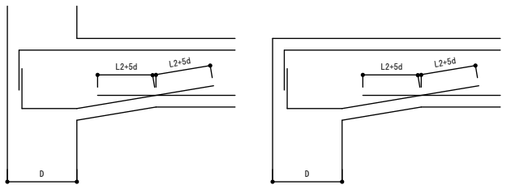


(iii) 機械式定着

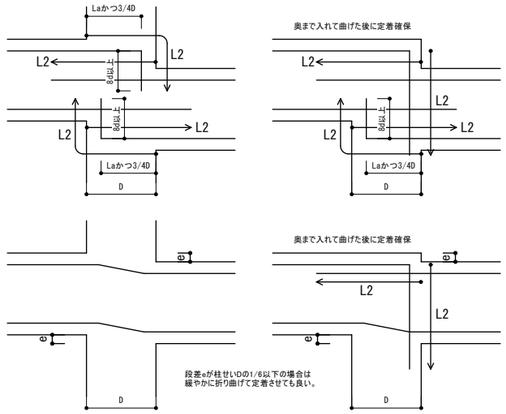


※Laは指定性能評価機関で技術評価を受けた設計・施工指針に従う

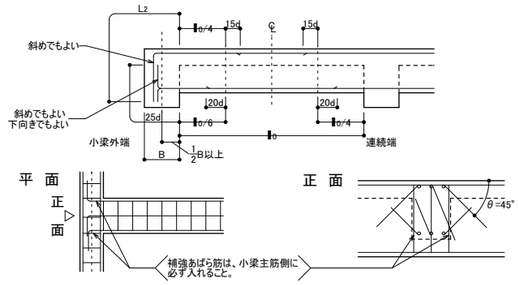
(iv) ハンチがある場合



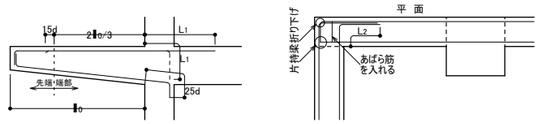
(v) 段差がある場合



ⓑ小梁の定着

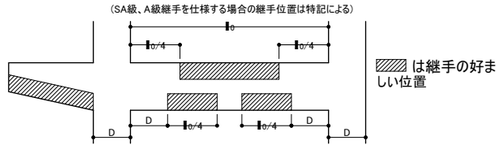


ⓒ片持梁の定着



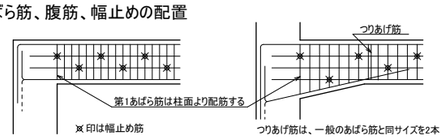
(2) 大梁主筋の継手

（SA級、A級継手を仕様する場合の継手位置は特記による）

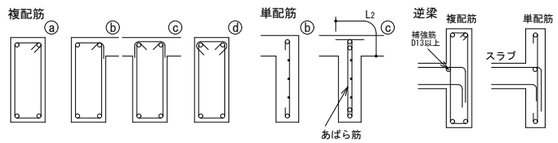


▨ は継手の好ましい位置

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

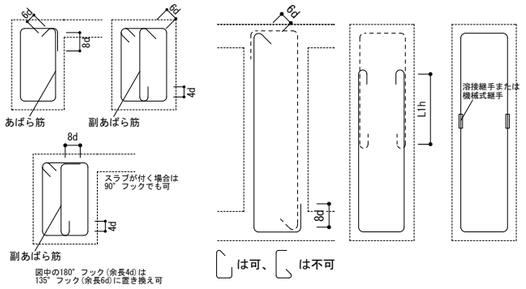


(4) あばら筋の型（注、床板がない場合は135° 以上のフックとする）



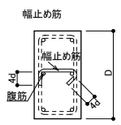
（イ）原則としてⓐのフック先曲げとする。片側スラブ付(L型)梁でⓑ、両側スラブ付(T型)梁でⓒとすることができる

（ロ）フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

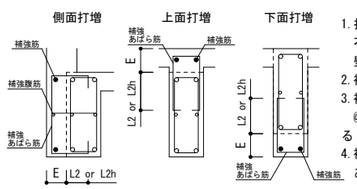


(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D＜ 600	不要
	600≦D＜ 900	2-D10(9φ) 1段
	900≦D＜1200	4-D10(9φ) 2段
	1200≦D	D10(9φ)@300以内
幅止め筋	D10(9φ)@1000以内で割り付ける	

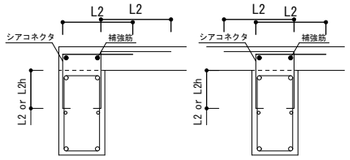


(6) 打増補強



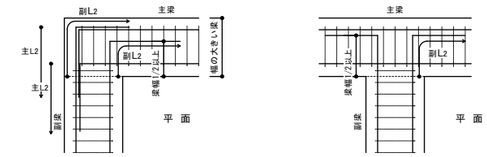
1. 打増部分 E ＜ 70mmの場合は補強筋不要。但し、壁が取合う場合には壁筋を延長して補強筋とすること
2. 補強筋の定着は原則としてL2とする
3. 補強筋は主筋と同径筋を使用し、@250mm以下となる本数(2本以上)とする
4. 補強あばら筋、補強腹筋はあばら筋と同径、同間隔とする

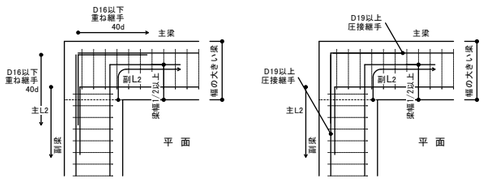
(7) 置きスラブ



1. 補強筋は主筋と同径筋を使用し、@250mm以下となる本数とする
2. シアコネクタはあばら筋と同径、同間隔とする

(8) 偏平梁同士の定着（主筋を梁内側（上下）に定着できなく横に定着する場合）





・主梁のあばら筋は通すこと。

(9) 梁貫通孔補強 （開口補強については、計算により確認すること）

梁貫通孔が存在する場合は、径の大きさに関わらず、設計者・工事監理者に報告すること
貫通孔の補強を、鉄筋で行うか、既製品で行うかを、設計者・工事監理者に確認すること

(1) 設置可能範囲

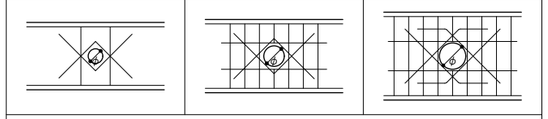
梁端部(スパン▮0/10以内かつ2D以内)は原則としてさける

※D/3かつ250以上を標準とする。
計算で確認された場合は、設計者・工事監理者の指示による。

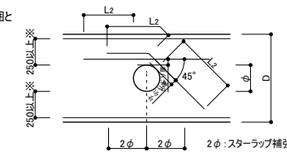
貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100＜φ≦150	150＜φ≦250
折 筋 2-(2-D13)	折 筋 2-(2-D13)	斜 筋 4-(2-D13)
縦 筋 STP 2-D13	縦 筋 STP 2-D13 @50	縦 筋 STP 2-D13 @50
	横 筋 2-(2-D13)	横 筋 2-(2-D13)
	上下縦筋 STP 2-D13 @50	上下縦筋 STP 2-D13 @50



孔補強の有効範囲と定着長さのとり方



※部分について計算で確認された場合は左記の位置、寸法によらなくて良い。
※鉄筋とスリーブとのかぶり厚を確保すること

(3)既製品 （使用するときは、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

ウェブレン、ダイヤレン等 日本建築センター評価取得品とする。
施工前に計算書を提出し、設計者の承諾を得ること。
設計時に使用する評価取得品については計算書を提出すること。

■リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所 第64037号(東京都)
一級建築士 第364075号／構造設計一級建築士 第11102号 圓酒 昂

Note

Project Title
鎌南町 観光物産センター改修工事

Client 鎌南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

Name of Drawing
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)
Scale S=－(A3)
Drawing No. S-05

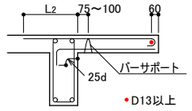
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (5)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

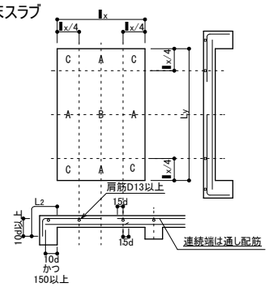
8. 床板

(1) 定着および継手

ⓐ片持ち床スラブ



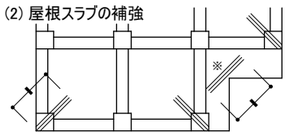
ⓑ一般床スラブ



継手位置は原則として下表による。

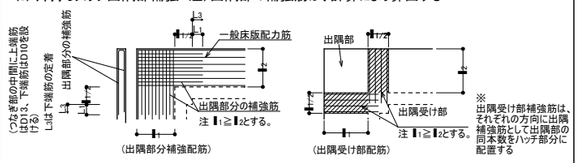
		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

(2) 屋根スラブの補強



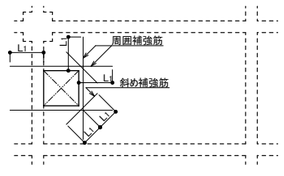
ⓐ補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径で
ℓ=1,500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ※の箇所(入隅)は各階補強する

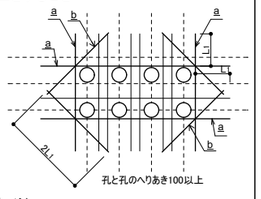
(3) 片持ちスラブ出隅部補強　注)出隅部の補強筋は、計算により算出する



(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)

1. 開口の最大寸法が両方向の配筋以下、且つ、150㎜以下の場合は補強筋不要とする
   但し、開口間隔は3x(隣接する開口寸法の平均)以上を原則とする
2. 開口の大きさが500㎜を超える場合は補強方法の確認を工事監理者にとること
3. 床スラブ筋がD16以上の場合、補強筋は同径筋以上とすること

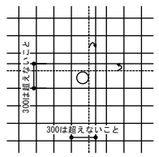




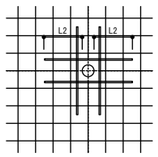
開口の大きさ	床板厚さD	周囲(a)	斜め(b)
開口の最大寸法 W≦500㎜	D≦150	各2－D13	各1－D13
	150<D≦200	各2－D13	各2－D13
	200<D≦300	各2－D19	各2－D16
開口の最大寸法 W>500㎜ (監理者承認必要)	D≦150	各4－D13	各2－D13
	150<D≦200	各4－D13	各4－D13
	200<D≦300	各3－D19	各3－D16

注)
設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。
縦横補強筋(a)、斜補強筋(b)は左記による。

※単独小開口(150㎜以下)の場合



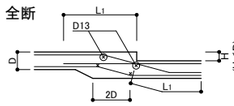
適宜ずらして
かぶり厚を確保する



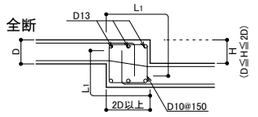
鉄筋を切断した場合は切断した鉄筋量以上を開口わきに配筋する。

(5) 床板段差

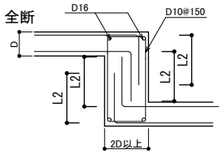
全断



全断



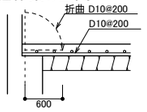
全断



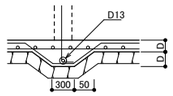
・補強方法は施工監理者に確認すること

(6) 土間コンクリート

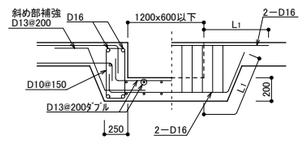
ⓐ軽作業の土間



ⓑ間仕切壁との交差部



(7) 釜場



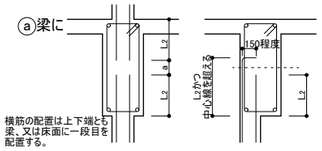
(8) 打継ぎ補強(ダメ穴打断面について)

・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2xL1以上
・無筋部分D10@200 長さ800以上

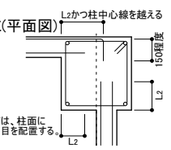
9. 壁

(1) 定着

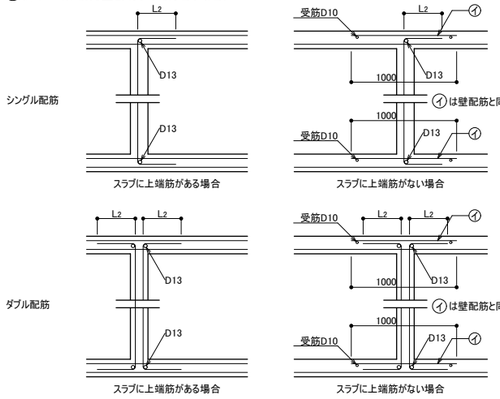
ⓐ梁に



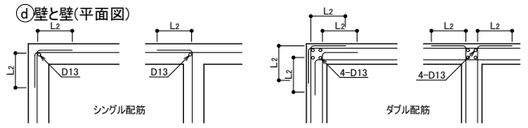
ⓑ柱に(平面図)



ⓒ床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)

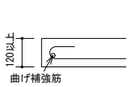


ⓓ壁と壁(平面図)

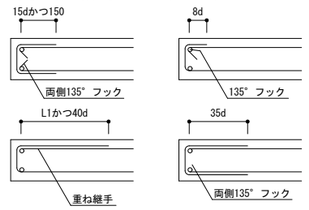


(2) 壁端部　※曲げ補強筋は設計図に示す開口補強筋によること

[単配筋の場合]



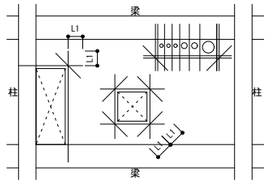
[複配筋の場合]　・コ型補強筋は壁筋と同径以上、同ピッチとする。



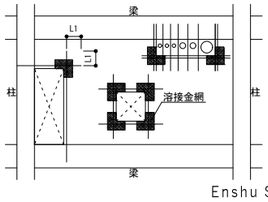
(3) 壁の開口部の補強

1. 鉄筋補強や溶接金網補強での補強筋は壁断面表(壁リスト)によること。
2. 補強筋の定着長さは原則、L1定着とする。(柱、梁内であればL2定着でも可)
3. 補強筋は規定壁配筋以外に入れること。
4. 小開口のピッチは、隣接する開口寸法の平均の3倍以上を確保すること。
5. 小開口のピッチが確保されており、開口最大寸法が配筋間隔以下、且つ、150㎜以下の場合でかぶり厚を確保できる場合は補強筋不要とする。
6. 壁開口が柱又は梁に接する場合(離隔150以下)、接する柱・梁の部分には補強筋を省略できる。
7. 設備開口のように開口ピッチが守れない場合は大きな開口としてまとめて補強すること。
8. 開口部に鉄筋が当たる場合には1/6以下で鉄筋を曲げ、かぶり厚を確保すること。
   かぶり厚が確保できない場合は、無理に曲げずに切ってかぶり厚を確保すること。
9. 構造図に示されていない設備開口(φ150以下)により鉄筋を切ってしまった場合は、補強筋として開口両側に同径筋を追加(L1定着)すること。
10. コンセントボックス等の壁に埋め込む場合も開口補強として扱うこと。

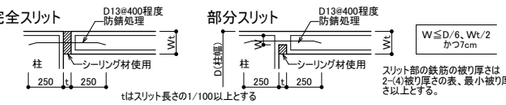
[鉄筋補強]



[溶接金網補強]

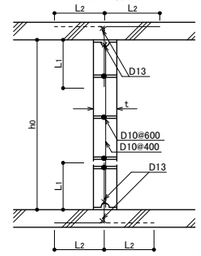


(4) スリット部(設計図に記入のあるとき)

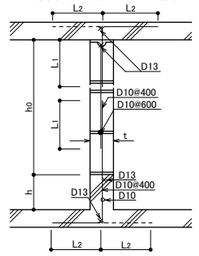


(5) コンクリートブロック帳壁

一般の場合



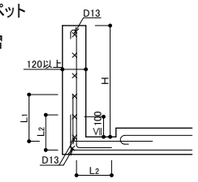
下部防水立上りのある場合



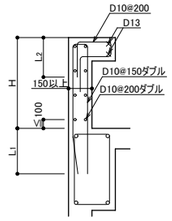
注) h0≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルを充填すること

(6)手摺、パラペット

手摺



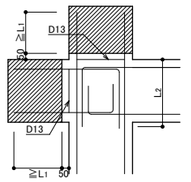
パラペット



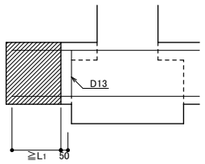
(但し、H＞800の場合、設計図による)

10. 増築予定　〈 将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する 〉

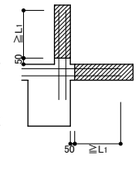
(1) 柱、梁



(2)地中梁

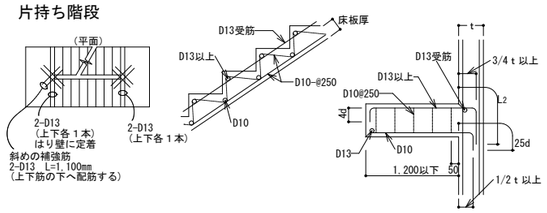


(3) 床版、壁



12. 階　段

片持ち階段



Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)
Scale　S=－(A3)
Drawing No.　S-06

木質工事特記仕様書（１）

１．一般事項

（１）適用範囲

本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。

■ は適用項目を示すものとする。

（２）設計図書

設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。

（３）標準仕様書

設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）

「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)
上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

（４）設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2. 設計図
3. 特記仕様書
4. 標準図

（５）疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（６）製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

（７）施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット製品を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（８）製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。

（９）各種試験・検査報告書の提出

工場生産者、施工者は、その工種工事毎に自主検査を行い、記録を作成、保管する。
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

２．材料の品質

2.1 木質材料

（１）構造用製材

本項の内容は特記無き限り、構造用製材や広葉樹製材、下地用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。

【構造用製材】 詳細はS**参照

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
梁	米松 or 欧州赤松 or 唐松 or ヒバ or 檜	米松, 欧州赤松 E110相当 唐松, ヒバ, 檜 E90相当	D15, D20, SD15, SD20 相当	外部にさらされる箇所はK3相当	等級に準ずること
柱	杉or唐松	杉E70相当 or 唐松E90相当			

【下地用製材】

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
間柱	杉	無等級材	D20, SD20相当		
根太, 受材	米松	無等級材	D20, SD20相当		

【広葉樹製材】

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観

□ 記入無き梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種２級、見えない部分の木材は甲種３級とする。その他は乙種２級とする。
□ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
□ 乾燥の際背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
■ 含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。
■ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。
■ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級１級相当とする。

（２）枠組壁工法構造用製材、枠組壁工法構造用たて継ぎ材

本項の内容は特記無き限り、枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格に準拠する。 詳細はS**参照

部 位	品 名	寸法形式	樹種名・群	区分、等級	保存処理

（３）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。

【構造用集成材】

ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。 詳細はS**参照

部 位	樹種名	品 名	強度等級	材面の品質	使用環境	ホルムアルデヒド放散量
梁	米松 or 欧州赤松 or 唐松, 檜	対称等級 or 同一等級	米松E105-F300以上 or 欧州赤松E105-F300以上 or 唐松, 檜E105-F300以上	2種以上		原則 F☆☆☆
柱	杉or唐松	同一等級	杉E65-F255以上 or 唐松E85-F300以上	2種以上		原則 F☆☆☆

【構造用単板積層材（LVL）】

単板の樹種や防虫処理については必要に応じて特記する。

部 位	樹種名	区 分	曲げ性能	水平せん断性能	使用環境	ホルムアルデヒド放散量

（４）構造用合板、構造用パネル(OSB)

本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格に準拠する。

【構造用合板】

単板の樹種や防虫処理については必要に応じて特記する。

部 位	強度等級	曲げ性能基準（1級のみ）	板面の品質	接着の程度	厚 さ	ホルムアルデヒド放散量
耐力壁	2級		C-D	特類	12mm	原則 F☆☆☆☆
水平構面	2級		C-D	特類	24mm	原則 F☆☆☆☆

板面の品質は、通常は１級がB-C、２級がC-D

【構造用パネル（OSB）】

部 位	曲げ性能	厚 さ	ホルムアルデヒド放散量

（５）丸太やそま角

本項の内容は特記無き限り、銘木類を除く建築その他一般の用に供される、素材の日本農林規格などに準拠する。

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等 級

2.2 接合具

ここに示す接合具などは、木質構造の接合部に適用する。
接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。
接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27(JIS G 3302) 電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn5/CM2とする。

（１）くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種 類	材 質			長さ (mm)	使用箇所	頭部／胴部形状
□ Ｎ釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N		耐力壁、床板、屋根	皿頭網目付き／スムース
	ステンレス	JIS G 4309	SUS304		耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び網目付き/スムース
■ ＣＮ釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N	CN50, CN75	耐力壁、床板、屋根	平頭フラット
□ ＳＮ釘	鉄	JIS G 3532	SWM-B		シージングボード用	平頭フラット／パーブ
□ ＧＮＦ釘	鉄	JIS G 3532	SWM-B		石膏ボード用	平頭フラット
□						
□ ＤＴＳＮネジ	鉄	JIS G 3507-2	SWCH18A、22A		石膏ボード用	トランペット
□ 石膏ボードビス	(大臣認定番号)				石膏ボード用	トランペット
□						

（２）ボルト、ナット、座金

ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B1181の規格による。

種 類	材 質			径 (mm)	防錆処理、使用箇所など
■ 呼び径六角ボルト □ 有効径六角ボルト □ 全ネジボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SWRM8～10 SWRCH8～10	M12～M16	■ 電気亜鉛めっき相当 □ ( )
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地
■ アンカーボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SWRM8～10 SWRCH8～10	M12～M16	■ 電気亜鉛めっき相当 □ ( )
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地
■ 角座金 ■ 丸座金	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400	M12～M16	■ 電気亜鉛めっき相当 □ ( )
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地

・座金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。 （単位：mm）

座金の大きさ ＼ ボルト径		8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	40	60	70	80

（３）ドリフトピン、ラグスクリュー、ジベル（スプリットリング、シアプレート）、木栓

種 類	材 質			径 (mm)	防錆処理、使用箇所など
■ ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する炭素鋼	φ12	■ 電気亜鉛めっき相当 □ ( )
□ ラグスクリュー（コーチボルト）	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する炭素鋼	φ12	□ 電気亜鉛めっき □ ( )
□ スプリットリング	鉄	JIS G 3101	SS400		
□ シアープレート	鉄				□ 電気亜鉛めっき
□ 木栓	堅木				

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。

（４）接合金物、鋼材 詳細はS**参照

種 類	材 質	短期許容接合耐力	メーカー、品名等	防錆処理、使用箇所など
■ 筋かい端部の接合部			Zマーク金物同等品	□ 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっき
■ 柱頭・柱脚接合部＊				□ 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっき
■ 横架材接合部				□ 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっき
□ ( )				□ ( ) □ ( )
□ 鋼材				□ ( ) □ ( )

＊15kN以上、25kN以下の場合は、アンカー長 L=360mm

（５）接着剤（接着接合）

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

３．材料品質の検査方法

（１）構造用製材および枠組壁工法構造用製材

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

（数値は%を示す）

部 材	確認する仕 様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定			ヤング係数測定		
						表示	全乾重量法	含水率計	表示	静的試験	動的試験
柱,梁	無等級材	社内	材種:100	100	100		＊1	100		＊1	100
		監理者									
	目視等級区分材	社内	100	100	100	100			等級判断		
		監理者									
	機械等級区分材	社内	100	100	100	100			100		
		監理者									
		社内									
		監理者									

■ 日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。
□ 含水率測定の時期は、監理者の指示による。
□ ( )

＊1：監理者の指示による （樹種、等級、伐採地等が同じであれば１荷口と判断できる）

・監理者欄の○は立会い検査が必要であることを示す。
・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
・全乾重量法や静的ヤング係数試験は１荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。
・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
・特記無き場合は、動的試験は製材後（継手などの工場加工前に）に行う。

（２）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)、構造用合板、構造用パネルなど

搬入される全製品について、下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに管理者に報告する。

材 料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部位、断面、長さ、数量、樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量	■ 製造工場の認定書等の写し ■ 日本農林規格(JAS)表示の確認 □ 立会い目視検査
構造用ＬＶＬ	部材、断面、長さ、数量、樹種、区分、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量	
構造用合板	寸法、数量、強度等級、曲げ性能基準、板面の品質、接着の程度、ホルムアルデヒド放散量	
構造用パネル	寸法、数量、部位、曲げ性能、ホルムアルデヒド放散量	

・必要性能を満たさない材料は用いない。

（３）接合具

現場または加工工場に搬入される全ての接合具について、下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに管理者に報告する。

接合具の種類	確認項目	確認の方法
■ くぎ	・鋼材種別、胴・頭径部、長さ、仕上げ	■ ミルシートの写し ■ 表示の確認 □ 木栓曲げ試験
■ 木ネジ、特殊釘	・鋼材種別、径、長さ、仕上げ	
■ ボルト・ナット	・鋼材種別、径、長さ、仕上げ	
■ 座金	・鋼材種別、径、仕上げ	
■ ドリフトピン	・鋼材種別、径、長さ、仕上げ	
■ ラグスクリュー	・鋼材種別、径、長さ、仕上げ	
■ スプリットリング	・鋼材種別、径、形状、仕上げ	
■ シアープレート	・鋼材種別、径、形状、仕上げ	
■ 木栓、車知	・材種、曲げ強度	

・設計図書に明記された接合具であることを確認する。同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。
・木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

（４）接合金物

現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について、下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに管理者に報告する。

接合金物	確認項目	確認の方法
■ アンカーボルト・座金	・座金・鋼材種別、径、長さ、仕上げ	□ ミルシートの写し ■ 表示の確認 □ Ｚマーク同等認定書 □ Ｃマーク同等認定書 □ 性能認定書 □ 性能評価書
■ Ｚマーク金物	・鋼材種別、形状、仕上げ、製造所	
■ Ｚマーク同等認定品		
□ Ｃマーク金物		
□ Ｃマーク同等認定品		
■ 性能認定品		
■ 性能評価品		
□		
■ 鋼材	・鋼材種別、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所 第 64037 号(東京都)
一級建築士 第364075号／構造設計一級建築士 第 11102 号 圓酒 昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

Name of Drawing 木質工事特記仕様書(1)
Scale S=－(A3)
Drawing No. S-07

木質工事特記仕様書（２）

４．耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

（１）木材の防腐・防蟻処理　　詳細はS**参照

・高耐久材の使用（注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする）

・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる）

JAS保存処理材　：　K5　K4　(K3)　K2　K1

AQ認証保存処理材：　１種　(２種)　３種

・現場処理（注：接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。
給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を
保護する。　処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。）

・塗布　　・吹付　　・浸漬

特記無き場合は、処理量：　300 ml/m2、処理回数：2回

使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	■　ひば, ひのき	□ Ｋ３　□（　　）	□　塗布
	□	□ Ｋ３　□）（　　）	□　塗布
外周柱下部1m	□　ひのき	■ Ｋ３　□）（　　）	□（　　）
外周柱筋かい下部1m	□　ひのき	■ Ｋ３　□（　　）	□（　　）
水周り	□（　　）	□ Ｋ３　□（　　）	□（　　）
その他	□（　　）	□ Ｋ４　□（　　）	□（　　）

（２）土壌処理

□防蟻薬剤による処理：薬剤（　　）

特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。

□防蟻薬剤による処理と同等以上の対策　（　べた基礎　　）

□土壌処理省略 □北海道　□東北　□北陸　□（　　）

注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺２０ｃｍ、東石等の周囲２０ｃｍ
を標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

（３）耐候処理（塗装）

部位	塗料の種類	色の有無
	・造膜型　・含浸型	・着色（　色）　・透明
	・造膜型　・含浸型	・着色（　色）　・透明
	・造膜型　・含浸型	・着色（　色）　・透明
	・造膜型　・含浸型	・着色（　色）　・透明

５．木材の加工

（１）刻み時の注意

製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

（２）加工寸法の精度

図面表示は仕上がり寸法である。

下記を除き、2. 1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。

材種：□（　　）　□（　　）

構造用製材、下地用製材、広葉樹製材、枠組壁工法構造用製材、枠組壁工法構造用たて継ぎ材、化粧梁構造用集成柱の材長

■　軸組み工法の継ぎ手仕口の場合：±1.5mm以下

■　ボルト接合工法の場合　　：±5mm以下

構造用集成材、構造用単板積層材の材長

材長：■　±5mm以下　　□　　（　　）

ボルト穴径　（ｄはボルト径）

集成材　　：ｄ+1.0mm　（ｄ≦M12）、ｄ+2.0mm（ｄ≧M16）

接合金物等：ｄ+1.5mm　（ｄ≦M12）、ｄ+1.5mm（ｄ≧M16）

ドリフトピンの穴径：ｄ±0mm　　(dはボルト径)

（３）表面仕上げ

□製材　　化粧材：　　野物材：　　板材：

（４）塗装

素地調整：汚れ付着物を除去する

下地塗り：　　仕上げ塗り：

（５）面取り

□柱：（　　）　mm

□梁：（　　）　mm

６．接合

（１）仕口、継手の原則

・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1.(3)標準仕様書に示された在来構法用の一般的な適用慣例に従う。一般的な適用慣例については、木造軸組接合部標準図による。

・採用する方法は監理者の承認を得る。

・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗をする補強部材を併用する。

・下記接合部の項目について2.2接合具に記載された仕様での施工を確認する。

・接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、耐力を低減する、接合具の本数を増加するなど監理者と協議して承認を得る。

（２）釘接合

・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。

・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。

・１ヶ所の釘の本数は２本以上とする。

・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。

・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。

・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。

・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・木口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

（３）木ネジ接合

・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・木口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。

・木ネジの先孔の径：針葉樹・・・主材　0.6ｄ、側材　0.8ｄ（dはネジ径）
広葉樹・・・主材　0.8ｄ、側材　1.0ｄ
（先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの２／３程度とする。）

・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油などを用いてもよい。

（４）ボルト接合

・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。

・ボルトの締め付けは2回以上に分けて行い、1群のボルトの締め付けは一様となるように行う。

・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。

・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから２山以上突き出ていることを確認する。

・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（５）ラグスクリュー接合

・構造耐力上主要な部分において、ラグスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。

・締め付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径等が施工箇所に適しているものであることを確認する。

・ネジ部の先孔の径：比重　0.5以上の樹種・・・ネジ径の 60～ 75%
その他の樹種・・・ネジ径の 40～ 70%
（長さはネジ部の長さと同寸以上とする。）

・ラグスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油などを用いてもよい。

・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。

・一度ねじ込んだラグスクリューを抜き直し、再びねじ込むことは避ける。

（６）ドリフトピン接合

・ドリフトピンは孔に密着させる。

・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（７）ジベル接合

・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点がないよう注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。

・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

・特殊ジベルは使用箇所、使用方法を確認する。

（８）接合金物による接合

・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。

・大断面材用の接合金物に関しては、それぞれの仕様に基づく。

（９）接着接合

・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。

・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

（１０）その他の方法による接合

・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。

７．運搬・建方

（１）輸送計画

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。

□　輸送計画書の提出　〔　　〕

（２）集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。

□　集積場の確認　　〔　　〕

（３）建方計画

■　建方計画書の提出

アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

（４）施工時の安全性

建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。

□　施工時の安全性に対する検討書の提出　　□　施工時荷重条件の通知

（５）アンカーボルトの施工

・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。

・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。

・アンカーボルトはダブルナットとする。　□適用除外　〔　　〕

・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

（６）建方精度

・建方の精度基準は下記による。

■建物の倒れ　：　■　e≦H/2500+10mm　かつ　e≦50mm
□　〔　　〕

■梁の水平度　：　■　e≦Ｌ/700+ 5mm　かつ　e≦15mm
（節点間のレベル差）　□　〔　　〕

■建物のわん曲　：　■　e≦L/2500mm　かつ　e≦25mm
□　〔　　〕

■柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差　：　■±3mm以下　□〔　　〕
通り芯からの誤差　：　■±3mm以下　□〔　　〕
階高　：　■－5mm≦ΔH≦+5mm
□〔　　〕

・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

（７）施工状況の検査

・アンカーボルト施工時の立会い検査
■　目視による精度確認　□　計測機器による精度確認　□　アンカーボルト径、間隔
□　施工者自主検査記録の提出〔　　〕

・地組み時の立会い検査
□　目視による精度確認　□　計測機器による精度確認　□　材料の加工寸法検査
□　施工者自主検査記録の提出〔　　〕

・建方時の立会い検査
■　目視による精度確認　□　計測機器による精度確認　□　材料の加工寸法検査
■　施工者自主検査記録の提出〔　　〕

・建方後の施工状況の検査
■　防腐・防蟻処理　□　材料の加工寸法検査　■　接合具の施工状況
■　接合金物の施工状況
□　その他〔　　〕
□　施工者自主検査記録の提出〔　　〕

・最終確認
工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
□　施工者自主検査記録の提出〔　　〕

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号　東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
木質工事特記仕様書(2)
Scale　S= -(A3)
Drawing No.　S-08

本仕様書及び標準図は、ＰＷＡ標準図WG及び品質管理WGが作成したものです。内容を自由に修正して使用することができます。使用上の責任は全て使用者にあり、ＰＷＡはいかなる責務も負いません。お気付きの点や改良案等の御意見は、contact@precut.

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（１）

１．一般事項

（１）適用範囲
※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

（２）設計図書
設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。

（３）準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（ ※全て最新版による。）

「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)

上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

（４）設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2. 設計図
3. 特記仕様書
4. 本標準図

（５）疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（６）製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

（７）施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（８）製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける

（９）各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

(10) 接合工法
本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。

・継手仕口による在来工法
・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法

なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。
また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。
本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。

(11) 加工部材に関する留意事項
本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。

・梁:部材断面が幅90㎜～150㎜、梁成が幅と同寸～450㎜、及び材長６ｍ以下
・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下

これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

２．材料

（１）木材及び木質材料
主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。

（２）接合具
a)くぎ
主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。

b)木質構造用ビス
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。
使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

c)ボルト・ナット・座金

1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼
・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット
【 Ｚマーク表示金物 】
【 Ｄマーク表示金物 】
【 Ｓマーク表示金物 】
・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット

2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。
3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。

※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。

d)ドリフトピン・ラグスクリュー
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

e)木栓・木ダボ
主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。
樹種・径等については、特記仕様書で指定する。
節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。

（３）接合金物
a)規格金物
構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。
・JIS A 5531；木構造用金物
・公益財団法人日本住宅･木材技術センターによる規格に準じた金物；
Ｚマーク表示金物 、又は Ｃマーク表示金物
・同等認定金物；Ｄマーク表示金物
・性能認定金物；Ｓマーク表示金物

上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。
使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。

b)製作金物
製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、
特記仕様書及び設計図による。

（４）接着剤
原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。
建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。

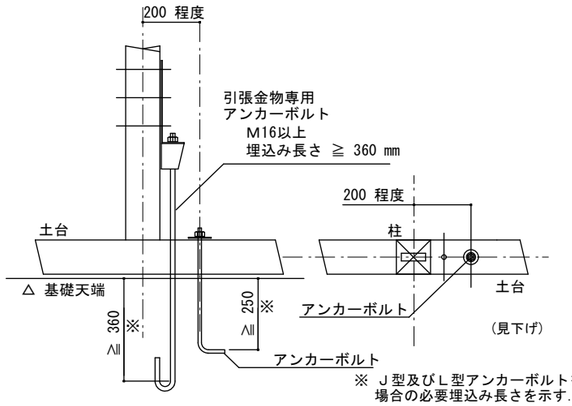
（５）防腐防蟻処理及び耐候処理
防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。
土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。
適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

３．アンカーボルト

※共通事項
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。

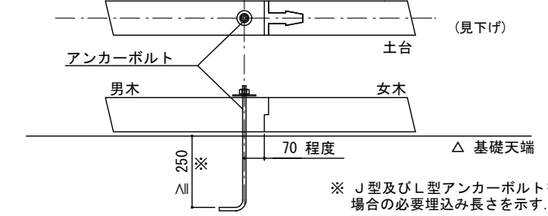
（１）土台固定用アンカーボルト
a).アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。

-1.耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部；
耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200㎜内外)とする。

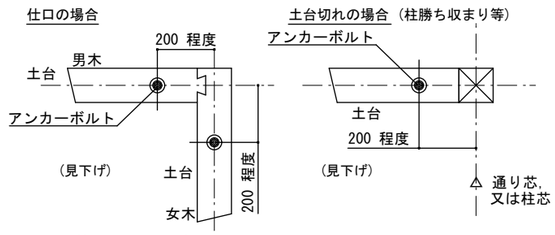


※ Ｊ型及びＬ型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す.

-2.土台切れの端部及び、土台の継手仕口；
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。
当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。



※ Ｊ型及びＬ型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す.



-3.その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。

（２）引張金物専用アンカーボルト

a).引張金物専用アンカーボルトの径
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。

b).引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、
Ｊ型アンカーボルトを用いる場合は、360 ㎜ 以上とする。その他の
アンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満た埋込み長さとする。

４．接合一般

（１）釘接合
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。
・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

（２）木質構造用ビス接合
・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの２／３程度とする。

（３）ボルト接合
・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから２山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。

（４）ラグスクリュー接合
・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。

・呼び径 M12以下；＋1.0㎜
・呼び径 M16以上；＋1.5㎜

（５）ドリフトピン接合
・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・ドリフトピンは、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、孔に対しテーパーのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。

（６）木栓接合
・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・木栓は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。
・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。

（７）グルードインロッド接合
・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。
・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

平成27年 9月15日発行 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

Enshu Structural Consultants LLC 円酒構造設計一級建築士事務所 静岡県知事登録 第11257号（東京都）
Esc 一級建築士 第364075号／構造設計一級建築士 第 11102 号 圓酒 昂

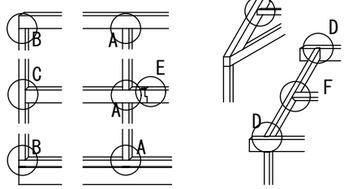
Note	Project Title	Client / Architect / Engineer	Drawn by / Checked by	Date	Name of Drawing / Scale / Drawing No.
	鎌南町 観光物産センター改修工事	鎌南町 / NASCA / 円酒構造設計 設備計画	K.IKUTA / N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	2025.02.26	木造軸組接合部標準図(1) / S= -(A3) / S-09

本仕様書及び標準図は、ＰＷＡ標準図WG及び品質管理WGが作成したものです。内容を自由に修正して使用することができます。使用上の責任は全て使用者にあり、ＰＷＡはいかなる責務も負いません。お気付きの点や改良案等の御意見は、contact@precut.jp

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（２）

５．軸組標準接合部

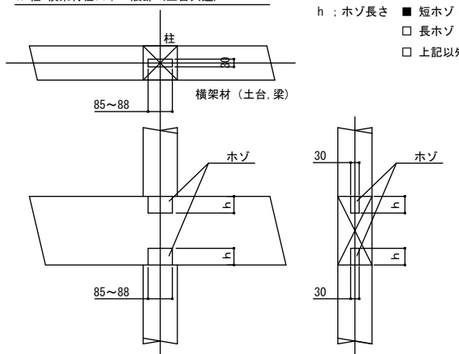
（１）共通事項及びキーフレーム



（２）標準的な継手仕口　(mm)

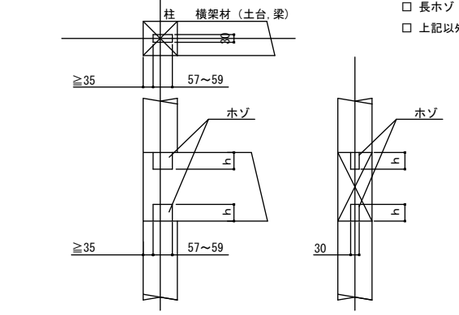
A 柱-横架材仕口；一般部（土台共通）

h ；ホゾ長さ　■ 短ホゾ 45～60 mm　□ 長ホゾ 90 mm　□ 上記以外（ ） mm

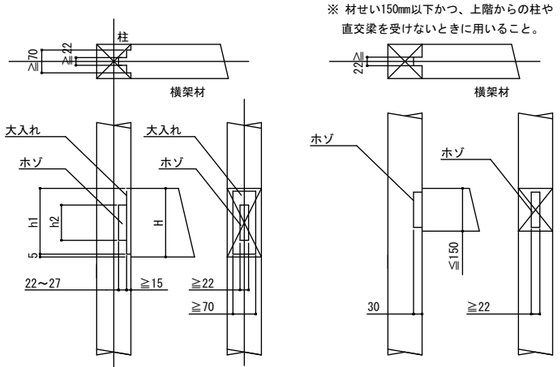


B 柱-横架材仕口；出隅部（土台共通）

h ；ホゾ長さ　■ 短ホゾ 45～60 mm　□ 長ホゾ 90 mm　□ 上記以外（ ） mm



C 通柱—横架材仕口；胴差し



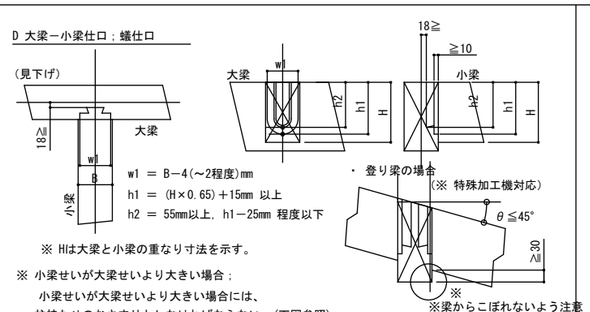
h1 ＝ H-5 mm 程度

※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、２方向までとする。

C 通柱—横架材仕口；桁差し

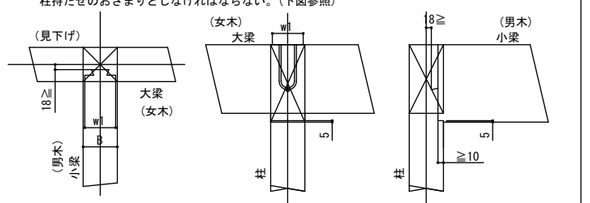
※ 材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。

D 大梁－小梁仕口；蟻仕口



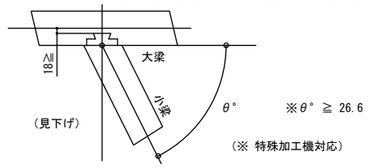
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

※ 小梁せいが大梁せいより大きい場合；
小梁せいが大梁せいより大きい場合には、
柱持たせのおさまりとしなければならない。(下図参照)

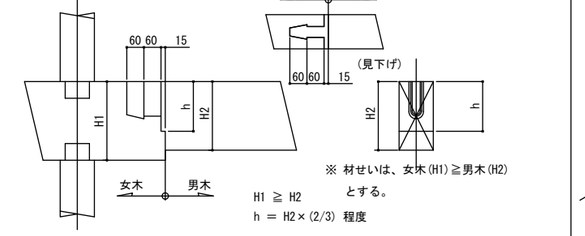


※ 柱持たせの柱幅は、大梁の幅と同寸以上とする。

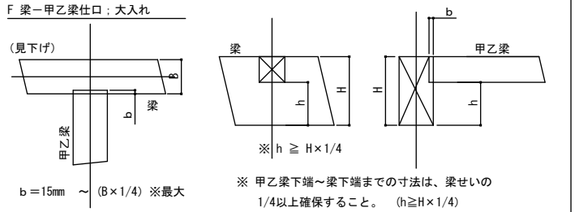
※ 斜め蟻の場合；



E 梁－梁継手；腰掛鎌継



F 梁－甲乙梁仕口；大入れ

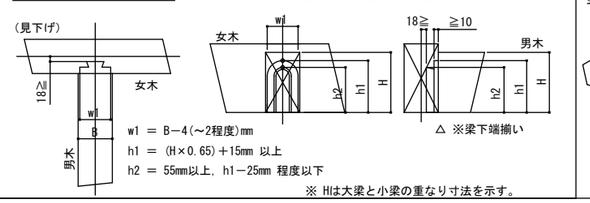


b＝15mm ～ (B×1/4) ※最大

※ 甲乙梁下端～梁下端までの寸法は、梁せいの1/4以上確保すること。 (h≧H×1/4)

G 梁－梁仕口；逆蟻仕口

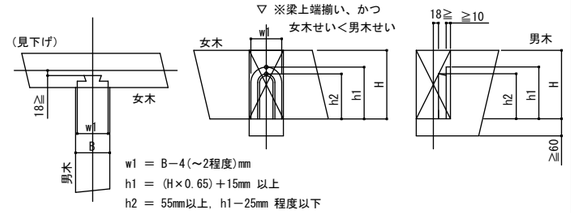
※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。



※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

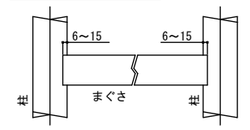
H 梁－梁仕口；茶臼仕口

※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。
▽ ※梁上端揃い、かつ
女木せいく男木せい



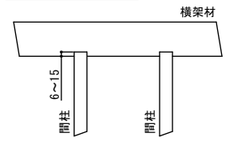
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

I その他；まぐさ欠き



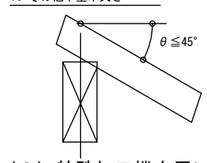
※ 筋交い耐力壁の中桟も上図に準じる。

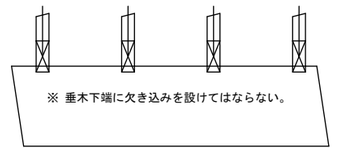
J その他；間柱欠き



※ 開口上部の横架材の間柱欠きは、0～6mm 以下とする。

K その他；垂木欠き

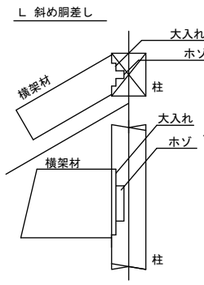




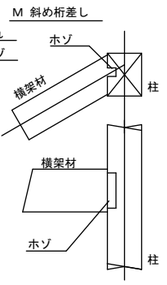
（３）特殊加工機を用いた標準的な継手仕口　(mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工エコストが増すので注意すること。

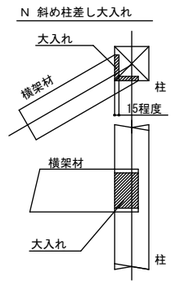
L 斜め胴差し



M 斜め桁差し

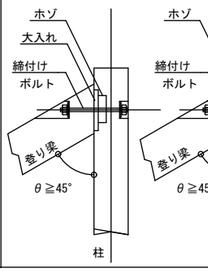


N 斜め柱差し大入れ

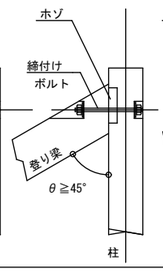


※ L，Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L，Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

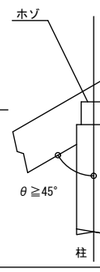
O 登り胴差し



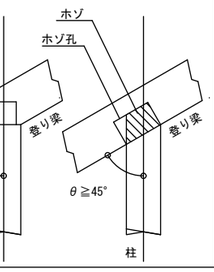
P 登り桁差し



Q 登り斜めホゾ

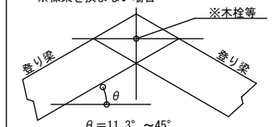


R 登り座付きホゾ

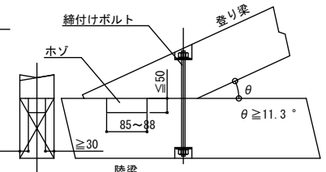


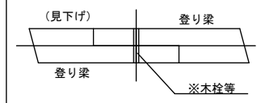
S 登り梁合掌部

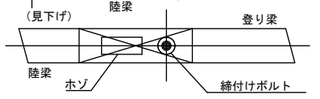
※棟束を挟まない場合



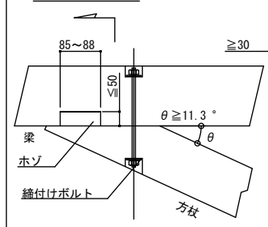
T 登り梁合掌尻



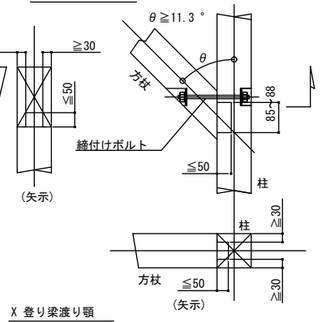




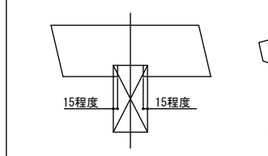
U 方杖－梁仕口



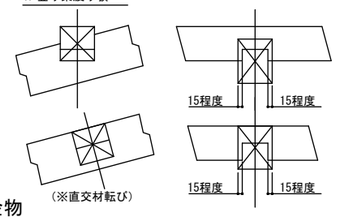
V 方杖－柱仕口



W 渡り顎

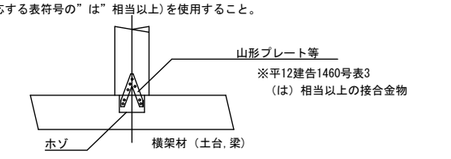


X 登り梁渡り顎

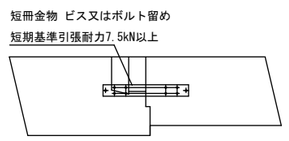


（４）継手・仕口の補強金物

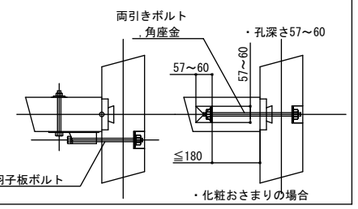
・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の柱脚接合部には、5.1KN以上の引張耐力を保有する接合金物(平12建告1460号表３に対応する表符号の”は”相当以上)を使用すること。



（梁-梁 接合部）
・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5KN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。（右図参照）



（小梁端部接合部）
・小梁端部接合においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を保有する接合金物で緊結すること。



平成30年4月5日改訂　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号（東京都）
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第29348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
木造軸組接合部標準図(2)
Scale　S= -(A3)
Drawing No.　S-10

本仕様書及び標準図は、ＰＷＡ標準図WG及び品質管理WGが作成したものです。内容を自由に修正して使用することができます。使用上の責任は全て使用者にあり、ＰＷＡはいかなる責務も負いません。お気付きの点や改良案等の御意見は、contact@precut.jp

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（3）

6．面材耐力壁

（注）（単位）mm

6.1 共通事項

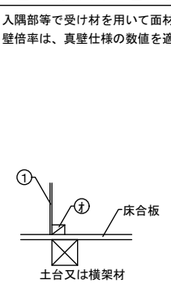
各部仕口形状は、（３）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図（２）５.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比（断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比）は、150以下とすること。

6.2 面材耐力壁の仕様

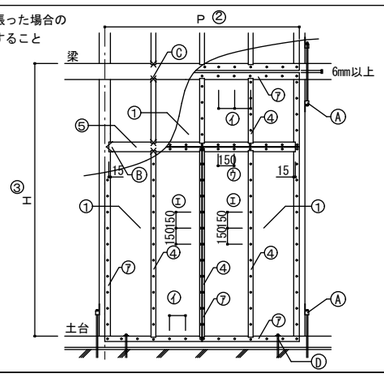
（１）昭56建告1100号に準じた耐力壁　　面材種類：構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル（OSB）

a．面材張り大壁仕様耐力壁

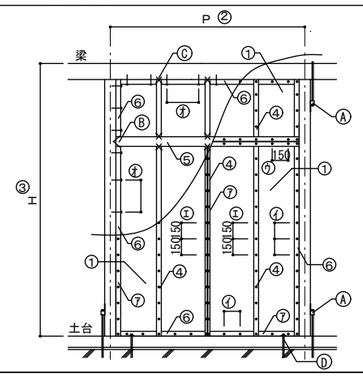
※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



床合板勝ち受け材要領図



b．受け材付き真壁仕様耐力壁



a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁　　壁倍率：4.3または3.7

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・4.3 倍	
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・3.7 倍	
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm		
③ 高さ	H≦6000mm、　かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下		
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下		
⑤ 中桟	幅90mm以上		
2)各部仕口形状及び性能			
Ⓐ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する		
Ⓑ 中桟端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち		
Ⓒ 間柱端部	間柱欠きに6～15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち		
Ⓓ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける		
3)面材の釘打ち方法		※ 構造用合板には、ＣＮ釘を用いること.	
⑦ 面材の釘打ち	面材の４周を釘打ちする. 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする.		
	柱及びはりに対するかかり寸法	22.5mm以上	
	面材に対するへり空き	10mm以上	
	柱はりのへり空き	12.5mm以上	
㋑ 横架材・柱	構造用合板：CN50@75mm以下、　左記以外の面材：N50@75mm以下		
㋒ 中桟	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下		
㋓ 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下		
㋔ 受け材 ※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材	45×60以上	
	受け材と柱梁	釘N90@120mm以下　（両面張りの場合は、@60mm以下）	
	※ 枠材用ホールダウン金物は,45mm用を用いること(30mm用は不可)		

a-2. 標準仕様大壁耐力壁　　壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・2.5 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・2.5 倍
②③④⑤	a-1.（高倍率仕様）に同じ	
2)各部仕口形状及び性能		
ⒶⒷⒸⒹ	a-1.（高倍率仕様）に同じ	
3)面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	a-1.（高倍率仕様）に同じ	
㋑ 横架材・柱	N50@150mm以下	
㋒ 中桟	N50@150mm以下	
㋓ 間柱	N50@150mm以下	
㋔ 受け材 ※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	釘N90@200mm以下　（両面張りの場合は、@100mm以下）

b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁　　壁倍率：4.0または3.3

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・4.0 倍	
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・3.3 倍	
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm		
③ 高さ	H≦6000mm、　かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下		
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下		
⑤ 中桟	幅90mm以上	⑥ 受け材	幅45mm以上
2)各部仕口形状及び性能			
Ⓐ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する		
Ⓑ 中桟端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち		
Ⓒ 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち		
Ⓓ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける		
3)面材の釘打ち方法		※ 構造用合板には、ＣＮ釘を用いること.	
⑦ 面材の釘打ち	面材の４周を釘打ちする. 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする.		
	受け材に対するかかり寸法	22.5mm以上	
	面板に対するへり空き	10mm以上	
	受け材のへり空き	12.5mm以上	
㋐ 外周受材	構造用合板：CN50@75mm以下、　左記以外の面材：N50@75mm以下		
㋒ 中桟	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下		
㋓ 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下		
㋔受け材	受け材	45×60以上	
	受け材と柱梁	構造用パーティクルボード、構造用MDF：釘N90@120mm以下（両面張りの場合は、@60mm以下）	
		構造用合板、構造用パネル：釘N90@200mm以下（両面張りの場合は、@100mm以下）	
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はａ-1.に準ずる			
※ 枠材用ホールダウン金物は,45mm用を用いること(30mm用は不可)			

b-2. 標準仕様真壁耐力壁　　壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・2.5 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・2.5 倍
②③④⑤⑥	b-1.（高倍率仕様）に同じ	
2)各部仕口形状及び性能		
ⒶⒷⒸⒹ	b-1.（高倍率仕様）に同じ	
3)面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	b-1.（高倍率仕様）に同じ	
㋐ 外周受材	N50@150mm以下	
㋒ 中桟	N50@150mm以下	
㋓ 間柱	N50@150mm以下	
㋔ 受け材	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	釘N90@300mm以下　（両面張りの場合は、@150mm以下）
※床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はａ-2.に準ずる		

（２）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁（JIS A 3301標準仕様）：　短期許容せん断耐力◿Qa＝29.6kN/m

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

ａ．条件及び仕様

1)各部材料

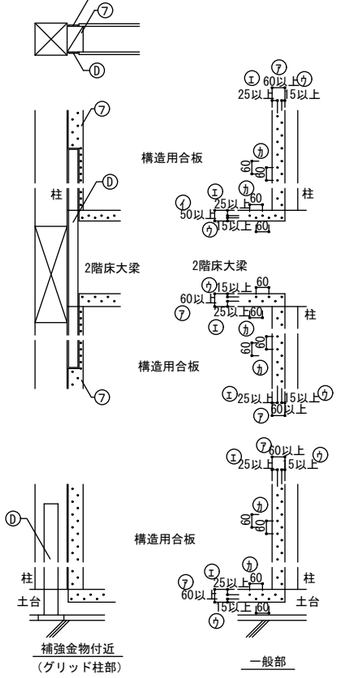
①	面材：構造用合板　t=12mm　両面張り
②	間隔：900mm≦P≦1000mm
③	高さ：1800mm≦H≦3650mm
④	高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150mm×150mm以上 （グリッド柱：Ｘ方向とＹ方向の主要鉛直構面の交点の柱）
⑤	高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120mm×120mm以上
⑥	構造用合板継ぎ目部横つなぎ材：120mm×120mm以上
⑦	グリッド柱に取付く受け材：75mm×120mm以上
⑧	間柱：見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔Ｐ/3以下
⑨	小屋柱：120mm×120mm以上

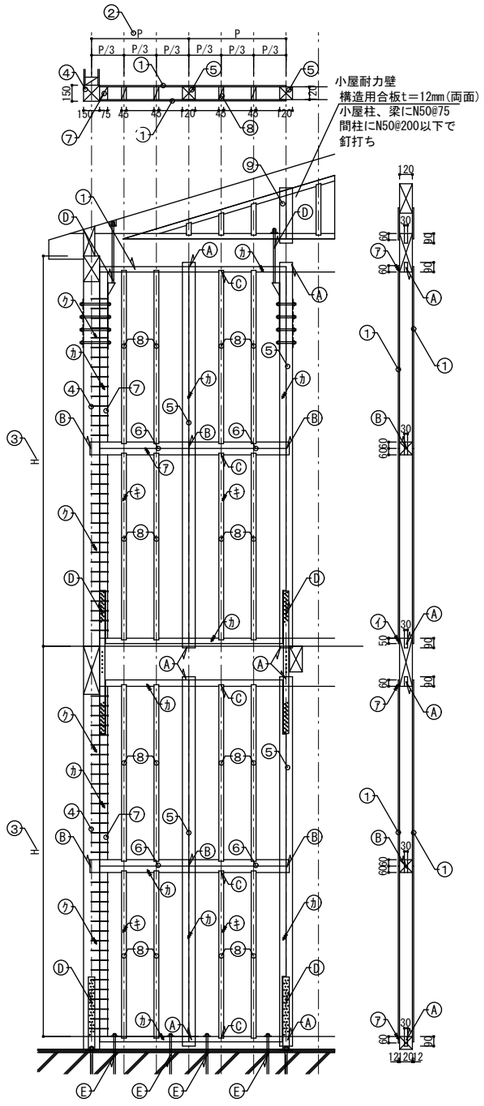
2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	柱頭柱脚ホゾ:厚さ30mm×深さ90mm以上
Ⓑ	中桟端部ホゾ： 片側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ90mmホゾ差し 両側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ60mmホゾ差し
Ⓒ	間柱両端:横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
Ⓓ	各階の柱頭柱脚部: 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓔ	耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M16アンカーボルト耐力壁１P当り２本設ける

3)各部への釘打及びビス止め

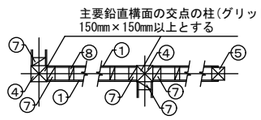
	構造用合板はたて張り、４周を釘打ちする
⑦	㋑を除き、柱及びはりに対するかかり寸法:60mm以上
㋑	2階耐力壁合板を２階床大梁へ留め付ける場合かかり代:50mm以上
㋒	㋓を除き、合板に対するへり空き:15mm以上
㋓	柱はりのへり空き:25mm以上
㋔	金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き:8mm以上
㋕	横架材・柱・受け材：N50@60mmチドリ打ち
㋖	間柱:N50@90mm打ち
㋗	⑦の受け材とグリット柱: 木質構造用ビスφ6、L130～150@100(2列)で留め付ける。





釘打ち要領図

主要鉛直構面の交点の柱(グリッド柱)は150mm×150mm以上とする



6.3 その他の耐力壁

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に準拠することとする。
・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

令和元年9月改訂　一般社団法人 日本木造住宅耐力壁技術協会

Enshu Consultants LLC　構造計画研究所　〒430-0937 静岡県浜松市中区中央1-12-4 浜松中央ビル3階 TEL 053-458-2037（東京都）
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

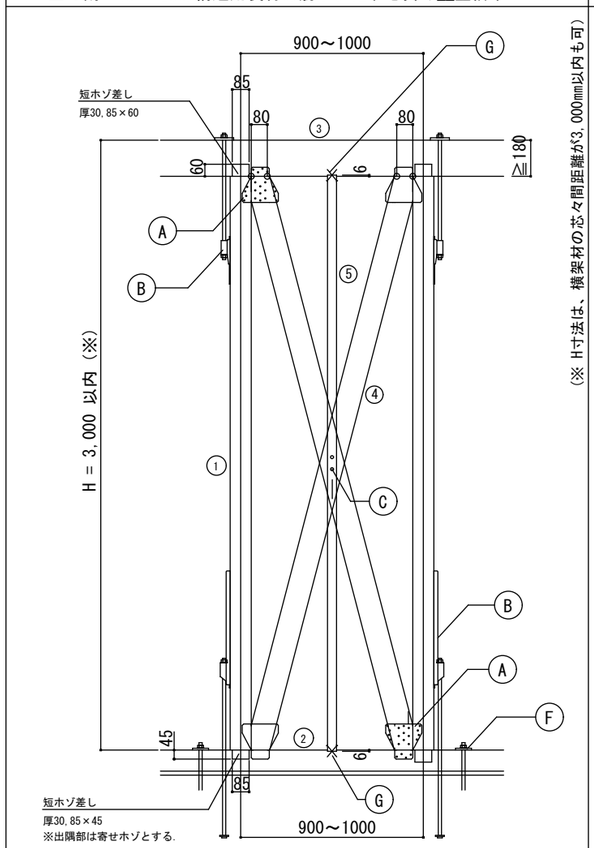
Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 木造軸組接合部標準図(3) Scale S=－(A3) Drawing No. S-11

本仕様書及び標準図は、ＰＷＡ標準図WG及び品質管理WGが作成したものです。内容を自由に修正して使用することができます。使用上の責任は全て使用者にあり、ＰＷＡはいかなる責務も負いません。お気付きの点や改良案等の御意見は、contact@precut.jp

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（４）

1.令46条に定められた仕様に準じ,かつ実験で性能が確認された筋かい耐力壁（ＰＷＡ推奨仕様筋かい耐力壁）

A．二つ割：45×120の構造用製材の筋かいたすき掛け__壁倍率：4.0

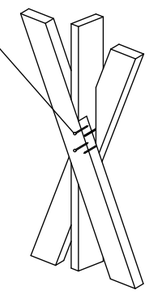


部材断面

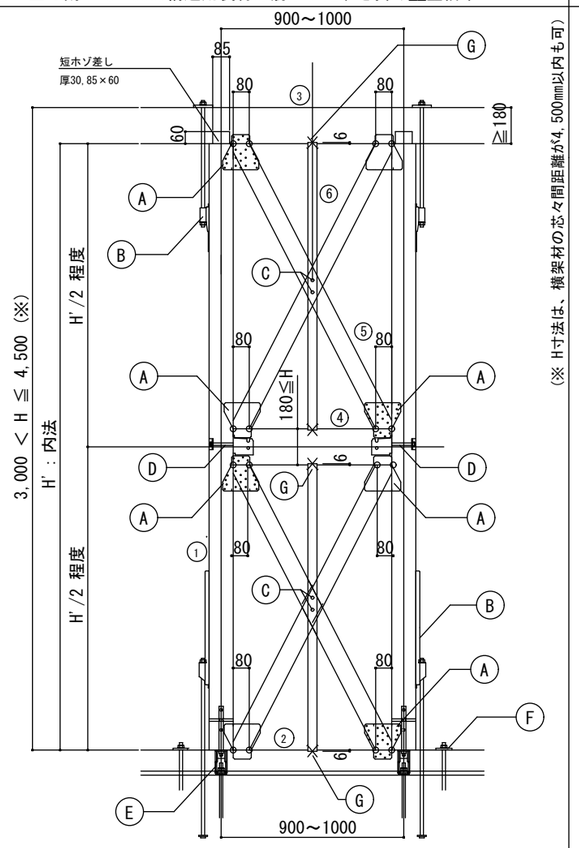
① 柱：105×105,または120×120以上．※ E65以上のヤング係数を有する製材または集成材とすること。
② 土台：105×105,または120×120　※ 樹種はスギ，スプルース等、比重の低いものを除く。
③ 横架材：梁幅_柱寸法と同寸以上,梁せい_180以上，かつ地震時の応力負担が可能な断面寸法とする.
④ 筋かい：45×120以上
E70相当以上のヤング係数を有する材とすること。
※ 節・目切れの少ないものを用いること。
筋交い端部の横架材に対する胴付き面の見付幅は、80mm程度とする.
⑤ 間柱：45×105,または45×120以上

金物例示仕様　　木質構造用ねじφ6-L100（片面２本×両面、計４本）

Ⓐ 筋かい金物：柱梁３点留めフラットタイプ
ヘキサプレートSD または ２倍筋かい<ブレイン>（タナカ）、
DP-2ジャステンプレート（BXカネシン）、
ターミネイションプレート（カナイ）同等以上
Ⓑ 柱頭・柱脚金物：※ 計算によって求めた必要な耐力を有すること。
Ⓒ 筋かい-間柱接合：木質構造用ねじφ6，L100（片面２本×両面、計４本）
Ｘポイントビス_DXP6100（若井産業）
パネリード[¥fMS Gothic;Ⅱ]+_P6×100[¥fMS Gothic;Ⅱ]+(シネジック)　(ア詳細図参照)
Ⓕ 土台固定用アンカーボルト：M12
Ⓖ 間柱端部接合 2-N75釘　※ 斜め打ち

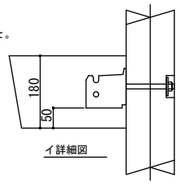


B．二つ割：45×90の構造用製材の筋かいたすき掛け__壁倍率：4.0



部材断面

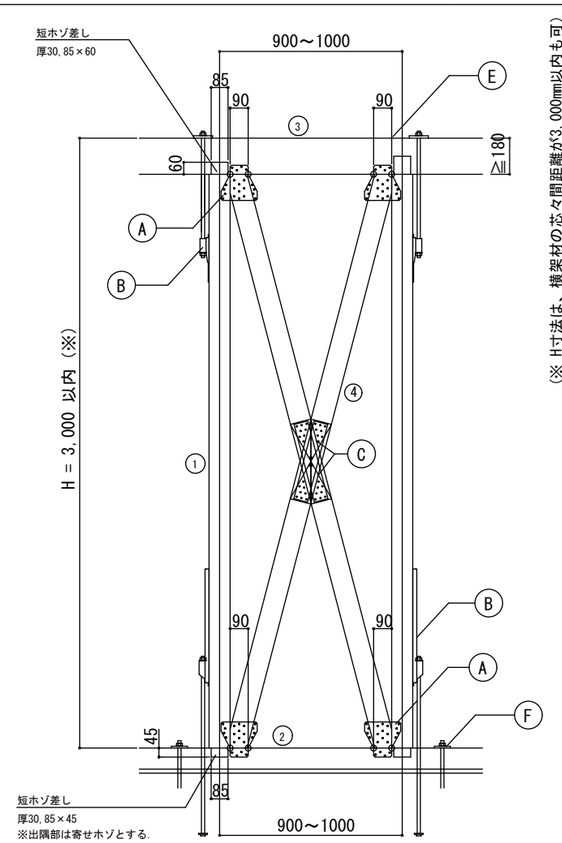
① 柱：120×120以上　※ E65以上のヤング係数を有する製材または集成材とすること。
② 土台：120×120以上　※ 樹種はスギ，スプルース等、比重の低いものを除く
③ 横架材：梁幅_柱寸法と同寸以上,梁せい_180以上，かつ地震時の応力負担が可能な断面寸法とする.
④ 中間横架材：梁幅_柱寸法と同寸以上,梁せい_180以上
⑤ 筋かい：45×90以上　※ E70相当以上のヤング係数を有する材とすること。
※ 節・目切れの少ないものを用いること。
筋かい端部の横架材に対する胴付き面の見付幅は、80mm程度とする.
⑥ 間柱：45×120以上



金物例示仕様

Ⓐ 筋かい金物：柱梁３点留めフラットタイプ
ヘキサプレートSD または ２倍筋かい<ブレイン>（タナカ）、
DP-2ジャステンプレート（BXカネシン）、ターミネイションプレート（カナイ）同等以上
Ⓑ 柱頭・柱脚金物：※ 計算によって求めた必要な耐力を有すること。
Ⓒ 筋かい-間柱接合：木質構造用ねじφ6，L100（片面２本×両面、計４本）　（ア詳細図参照）
Ⓓ 中間横架材端部梁受金物：金物工法用梁受け金物　※_h105用を梁せいの中心に取付（イ詳細図参照）
TH-10(タツミ)、PS-10SU(BXカネシン)、MH-90(タナカ)　同等以上
（短期耐力：引張_8.0kN以上,せん断および逆せん断_5.5kN以上）
Ⓔ 柱-基礎直結型柱脚金物：PS-OP_120角用（BXカネシン）
Ⓕ 土台固定用アンカーボルト：M12　　Ⓖ 間柱端部接合 2-N75釘　※ 斜め打ち

C．柱同寸：柱と同寸の構造用製材の筋かいたすき掛け__壁倍率：5.0

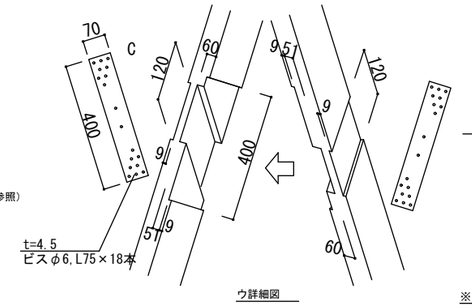


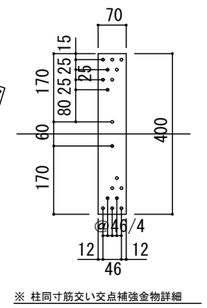
部材断面

① 柱：105×105,または120×120以上．※ E65以上のヤング係数を有する製材または集成材とすること。
② 土台：105×105,または120×120　※ 樹種はスギ，スプルース等、比重の低いものを除く。
③ 横架材：梁幅_柱寸法と同寸以上,梁せい_180以上，かつ地震時の応力負担が可能な断面寸法とする.
④ 筋かい：105×105,または120×120以上　※ E65以上のヤング係数を有する材とすること。
※ 節・目切れの少ないものを用いること。
筋かい端部の横架材に対する胴付き面の見付幅は、90mm程度とする.

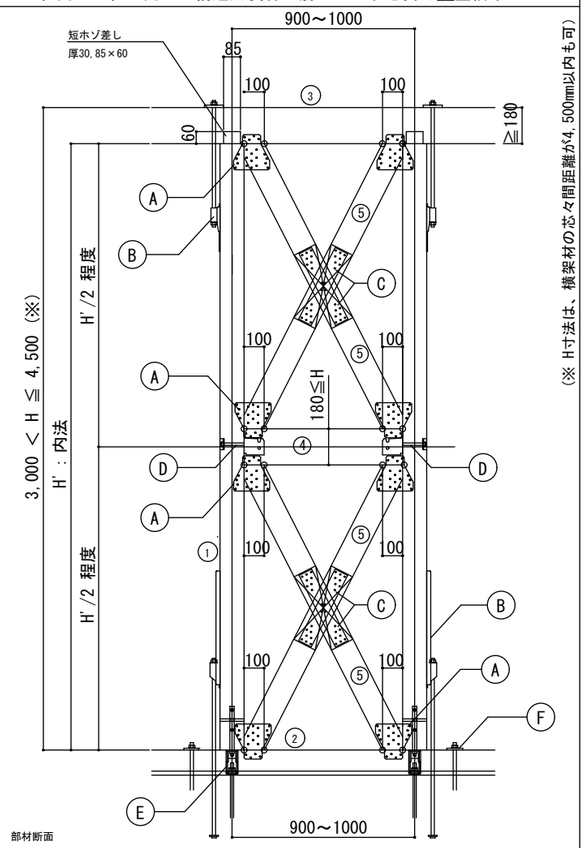
金物例示仕様　（※C．D．共通）

Ⓐ 筋かい金物：柱梁３点留めフラットタイプ
ヘキサプレートSD または ２倍筋かい<ブレイン>（タナカ）、
DP－２ジャステンプレート（BXカネシン）、ターミネイションプレート（カナイ）同等以上
Ⓑ 柱頭・柱脚金物：※ 計算によって求めた必要な耐力を有すること。
Ⓒ 筋かい交差部：柱同寸筋交い交点補強金物　（ウ詳細図参照）
_PL-4.5x70x400(使用鋼材:SS400) ビスφ6x75-18本/枚，※ 両面張り
※補強金物の取付面は、筋交い全幅に9mm彫込みとする.
※補強金物は、タナカまたはカネシンBXで製作可能.
Ⓓ 中間横架材端部梁受金物：金物工法用梁受け金物　※_h105用を梁せいの中心に取付（イ詳細図参照）
TH-10(タツミ)、PS-10SU(BXカネシン)、MH-90(タナカ)　同等以上
（短期耐力：引張_8.0kN以上,せん断および逆せん断_5.5kN以上）
Ⓔ 柱-基礎直結型柱脚金物：PS-OP_120角用（BXカネシン）※D．に適用
Ⓕ 土台固定用アンカーボルト：M12





D．柱同寸：柱と同寸の構造用製材の筋かいたすき掛け__壁倍率：5.0



部材断面

① 柱：120×120以上　※ E65以上のヤング係数を有する製材または集成材とすること。
② 土台：120×120以上　※ 樹種はスギ，スプルース等、比重の低いものを除く。
③ 横架材：梁幅_柱寸法と同寸以上,梁せい_180以上，かつ地震時の応力負担が可能な断面寸法とする.
④ 中間横架材：梁幅_柱寸法と同寸以上,梁せい_180以上
⑤ 筋かい：120×120以上　※ E65以上のヤング係数を有する材とすること。
※ 節・目切れの少ないものを用いること。
筋かい端部の横架材に対する胴付き面の見付幅は、100mm程度とする.

令和元年9月1日発行　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会
Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
木造軸組接合部標準図(4)
Scale　S=－(A3)
Drawing No.　S-12

本仕様書及び標準図は、ＰＷＡ標準図ＷＧ及び品質管理ＷＧが作成したものです。内容を自由に修正して使用することができます。使用上の責任は全て使用者にあり、ＰＷＡはいかなる責務も負いません。お気付きの点や改良案等の御意見は、contact@precut.jp

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図（5）

7．水平構面

(注) (単位)mm

7.1共通事項

・各部仕口形状は、（3）高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図（2）5.軸組標準接合部に準ずる。
・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計（2008年）の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

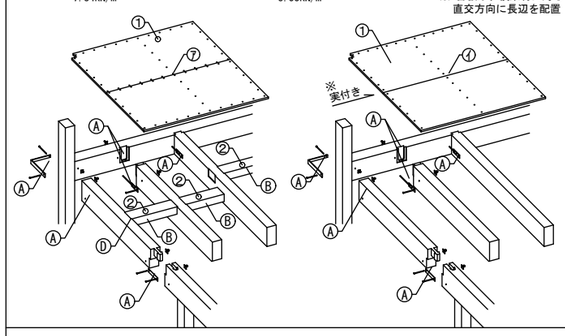
7.2水平構面の仕様

（1）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

(a) 日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m

(b) 川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m

※ 合板は、横架材に対し直交方向に長辺を配置



1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
②	甲乙梁:幅45mm以上×せい45mm以上・梁及び甲乙梁の間隔1000mm以下

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各仕口部分： 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓑ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓒ	高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
Ⓓ	甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ　N75　1本斜め打ち

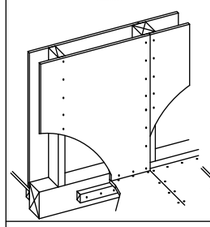
3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@150mm目の字釘打ちで横架材，甲乙梁，床受材に留め付ける
㋑	構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材，甲乙梁，床受材に留め付ける ※ 構造用合板は、実付きとする．

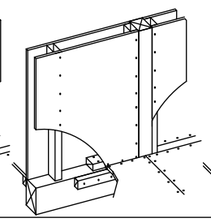
注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする
2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
撓み等に注意する事

告示耐力壁-床納まり

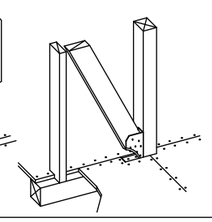
大壁合板耐力壁-床構面
（壁勝）



真壁合板耐力壁-床構面
（壁勝）

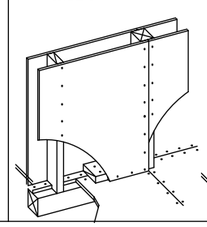


筋違耐力壁-床構面
（筋違勝）

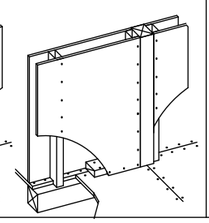


認定仕様例示）日合連（JPMA）仕様耐力壁-床勝納まり

大壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0296

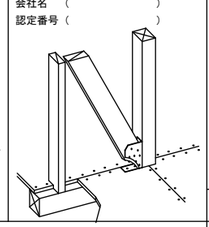


真壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0298



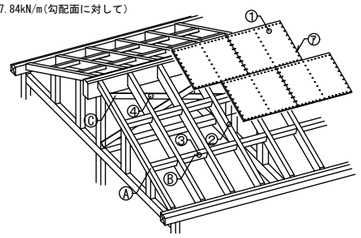
筋違金物による床勝ち納まり

筋違耐力壁-床構面
（床勝:大臣認定仕様）
会社名（　　）
認定番号（　　）

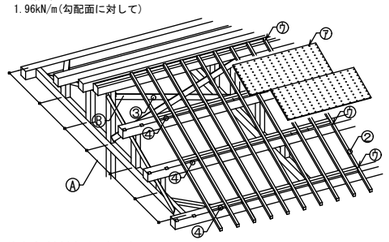


（2）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

(a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)



(b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)



1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
②	登梁：幅105mm以上×せい105mm以上　間隔1000mm以下
③	甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上　間隔1000mm以下
④	小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上 （端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合）

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓑ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓒ	耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@150mmで日の字に垂木に留め付ける

1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=9mm～15mm(横置)
②	垂木：幅45mm上×せい45mm～90mm@500mm以下
③	小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上 （端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合）
④	転び止め：45mm×60mm程度

2)各部仕口形状及び性能

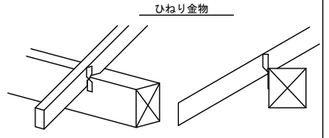
Ⓐ	母屋ピッチ:1000mm以下
Ⓑ	耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
㋑	転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
㋒	垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

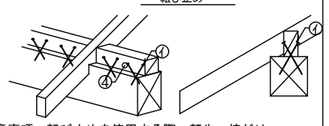
注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする

ひねり金物

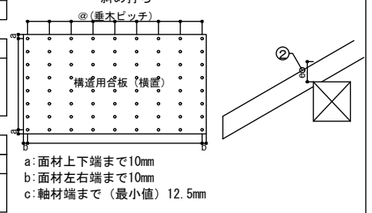


注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する

転び止め



注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)
斜め打ち

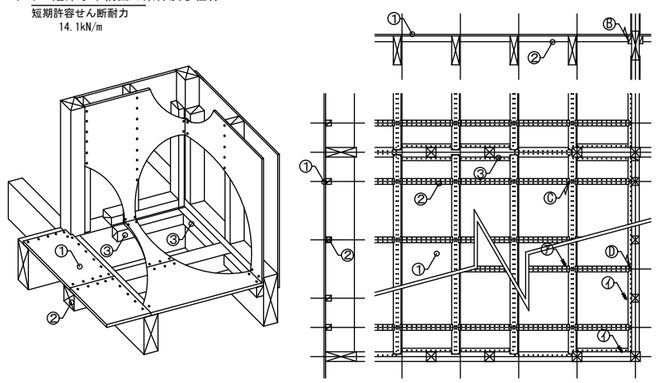


a:面材上下端まで10mm
b:面材左右端まで10mm
c:軸材端まで（最小値）12.5mm

7.3　JISA3301仕様高耐力水平構面

（1）2階床水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力
14.1kN/m



1)各部材料

①	面材：構造用合板t=24mm又は28mm横架材に直張り
②	甲乙梁:90mm×90{mmの正角材又は幅75mm×成120mm製材を平使い
③	大梁側面に取り付ける床受材:幅55mm～75mm×成120mmの製材

2)各部仕口形状及び性能

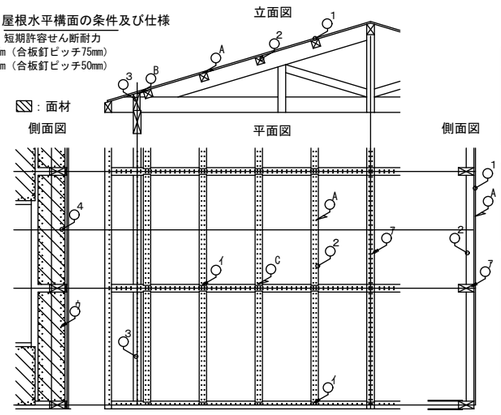
Ⓐ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓑ	高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
Ⓒ	甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ
Ⓓ	甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ15mm×成60mm切り欠き甲乙梁は成60mm分大入れし床受け材勝ちの納まりとする

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@75mm目の字釘打ちで横架材，甲乙梁，床受材に留め付ける
㋑	大梁側面へ取り付ける床受材は木質構造用ビスφ6,L130～150を150 mmピッチの二列打ちとして留め付ける

（2）屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力
13.5kN/m（合板釘ピッチ75mm）
19.1kN/m（合板釘ピッチ50mm）



1)各部材料

①	面材：構造用合板t=24mm登梁及び母屋に直張り
②	母屋:幅120mm×成120mmの製材 多雪区域(3級及び4級)の場合は幅120mm×成150mmの製材
③	軒先転び止め:幅105mm×成300mmの製材を用い，天端は屋根面に合わせ切り欠く
④	軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板:t=12mm

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
Ⓑ	屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
Ⓒ	母屋端部は登梁に対して深さ15mm程度の大入れ

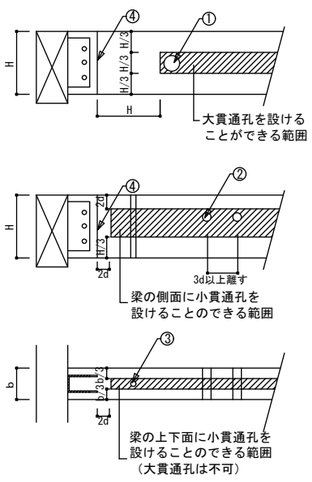
3)各部への釘打及びビス止め

⑦	13.5kN/m仕様:構造用合板はN75@75mm4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける 19.1kN/m仕様:構造用合板はN75@50mm4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
㋑	母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビスφ5,L150（頭部径φ12.5以上ねじ部長さ50以上）1本を斜め打ちとする
㋒	軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は，N50くぎを50 mmピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8．貫通孔

8.1　梁貫通孔の条件及び仕様

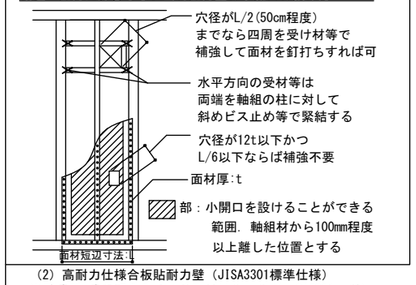
①	大貫通孔:d≦H/4かつ150mm
②	小貫通孔:d≦30mm(隣り合う孔は3d以上離す)
③	縦小貫通孔:d≦b/6かつ30mm
④	接合金物用切り欠きライン

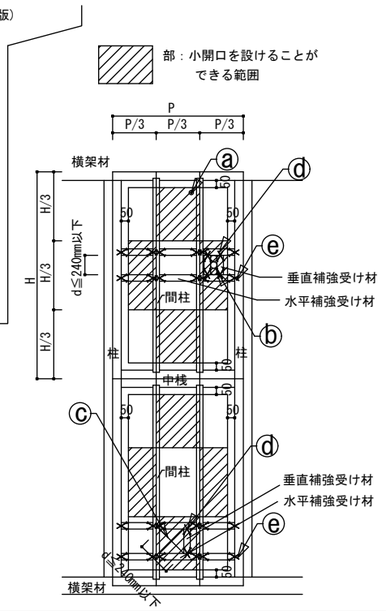


8.2　耐力壁貫通孔

(1)小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍までの孔開けルール

剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方





(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁（JISA3301標準仕様）
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール（JISA3301仕様）

a)貫通孔基準

ⓐ	小貫通孔(d≦30mm) 1区画につき1か所までなら補強不要
ⓑ	小貫通孔×3(外接円の径d≦240mm) 四周を補強受材で補強 面材1枚につき1か所のみ可
ⓒ	大貫通孔(d≦240mm) 四周を補強受材で補強 面材1枚につき1か所のみ可

b)釘打ち及び断面

ⓓ	合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち 補強受材は間柱と同寸以上の断面
ⓔ	補強受け材の留め付けは斜めビス2本止め

令和2年 2月17日改訂　一般社団法人　中大規模木造プレカット技術協会
Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第29348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
木造軸組接合部標準図(5)
Scale　S=－(A3)
Drawing No.　S-13

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

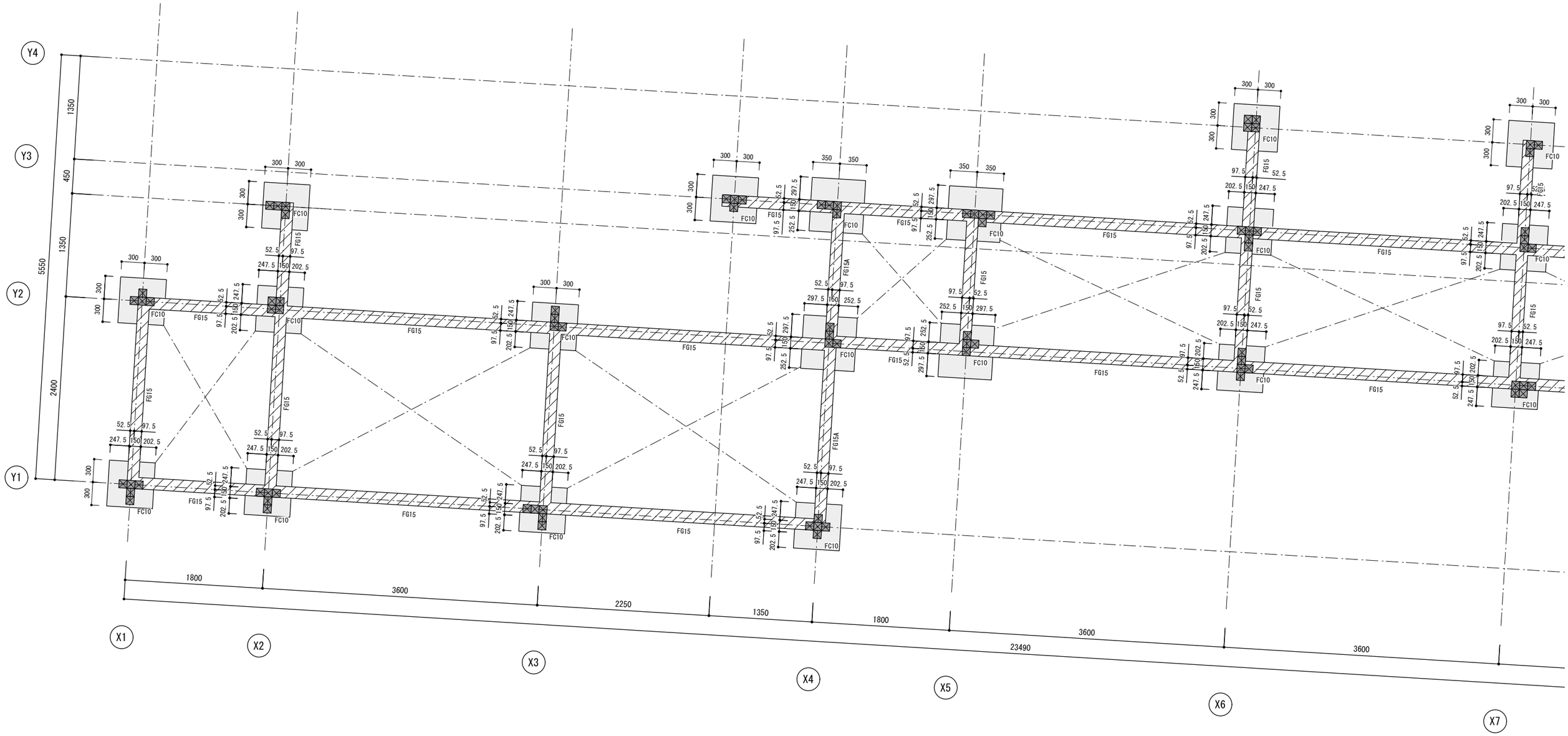
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



基礎伏図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 伏図(1) Scale S=1/50 Drawing No. S-14

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

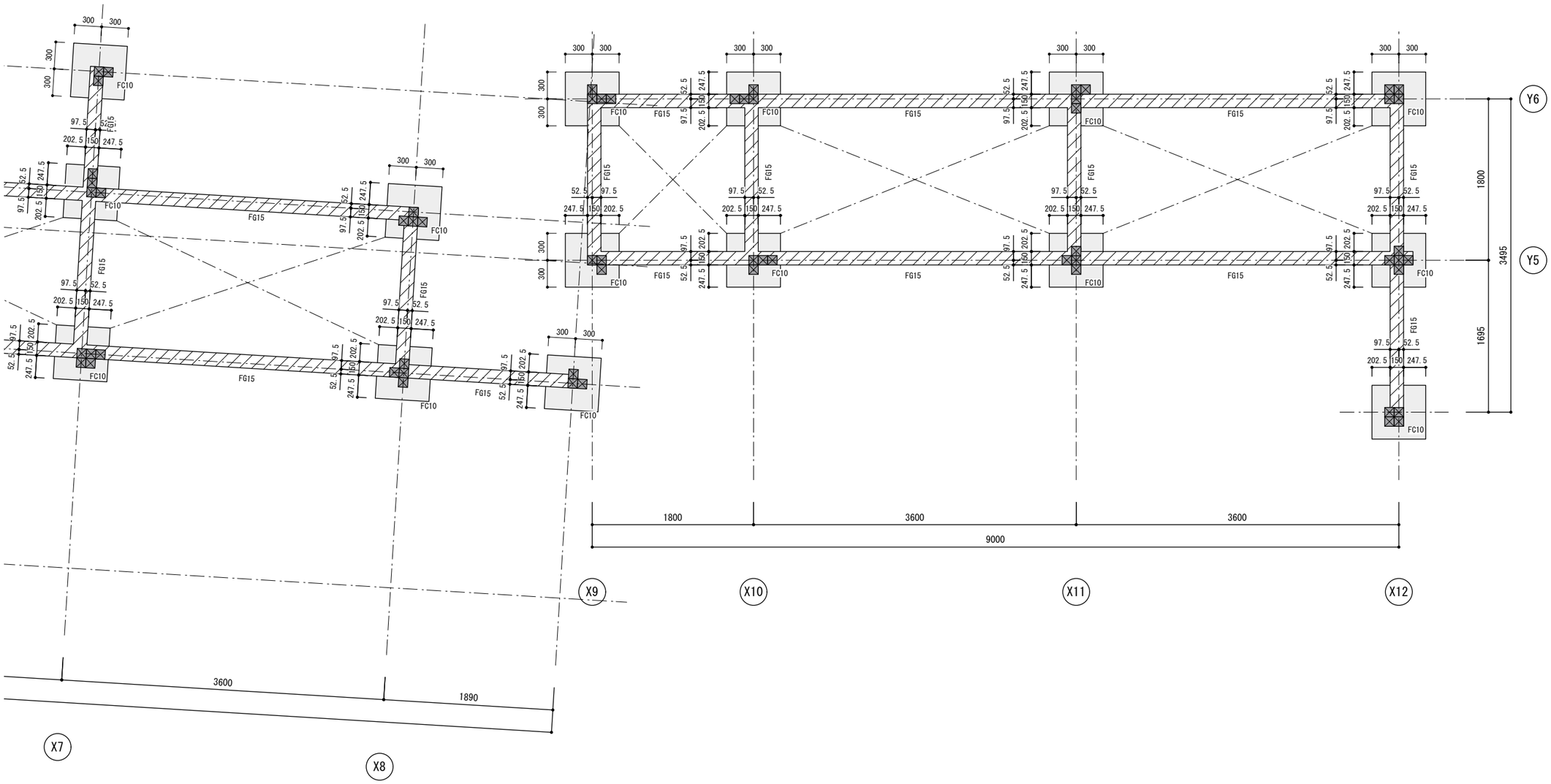
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



基礎伏図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
伏図(2)
Scale S=1/50
Drawing No. S-15

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

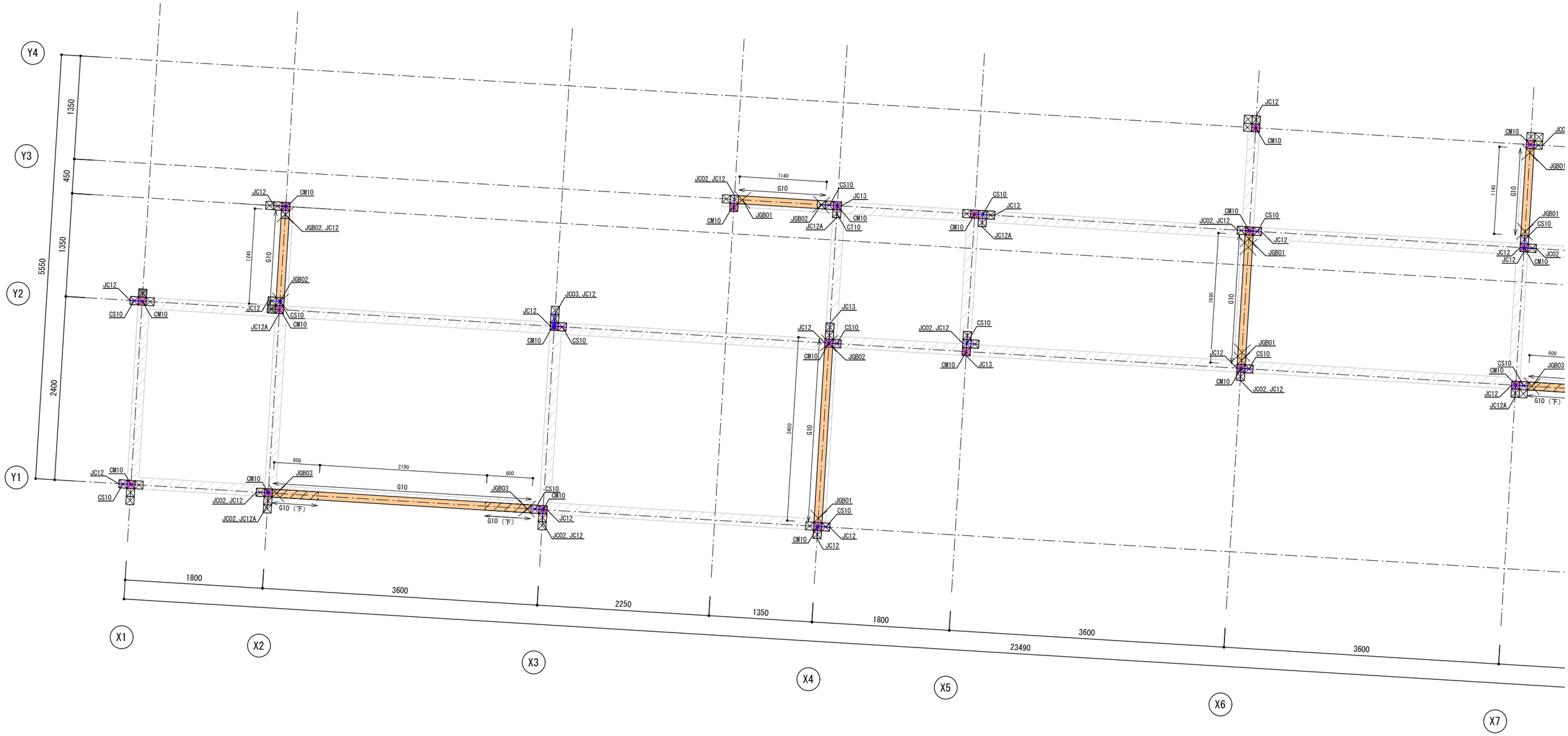
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



1F伏図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階 Date 2025.02.26	Name of Drawing 伏図(3) Scale S=1/50 Drawing No. S-16

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

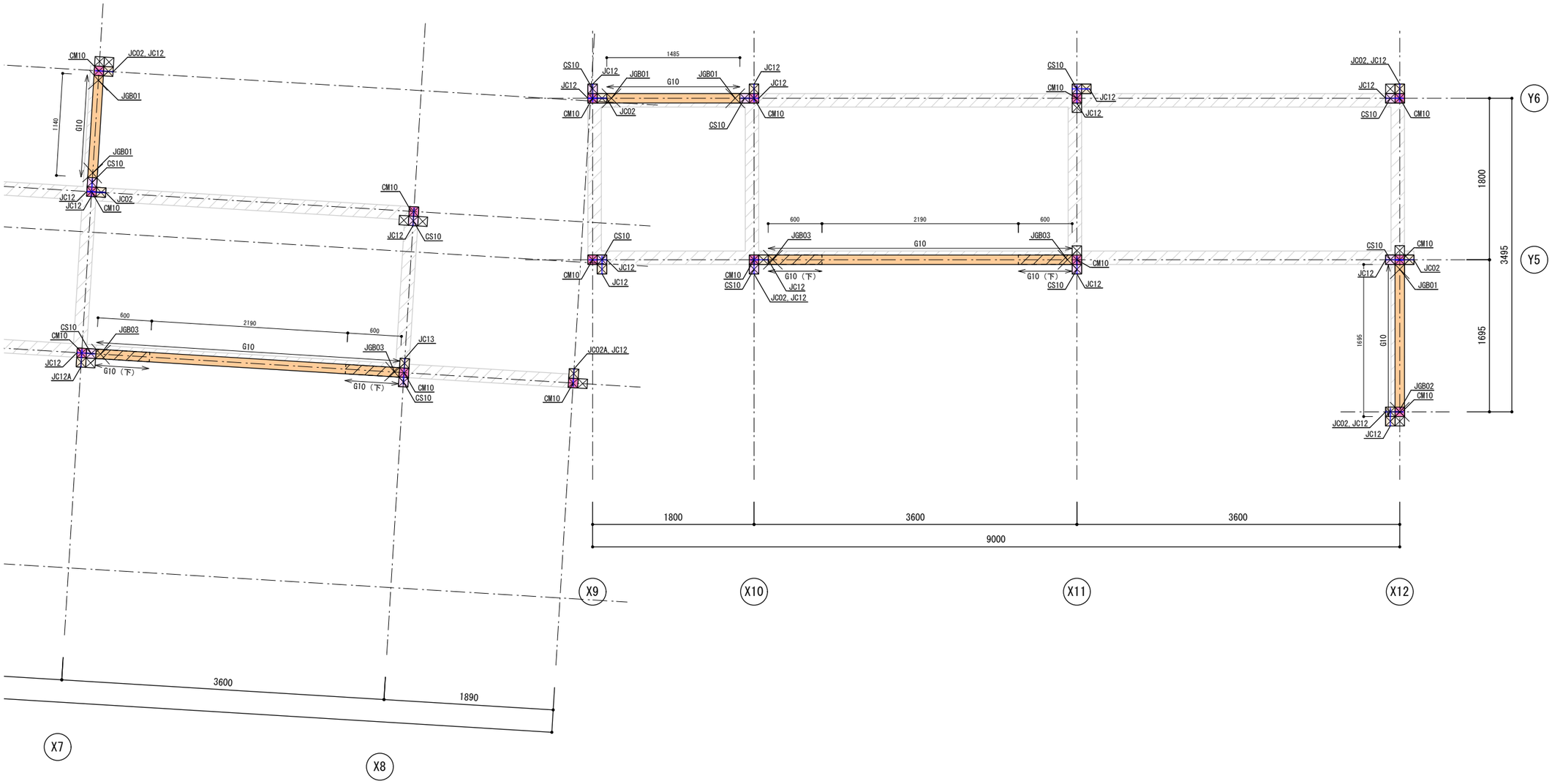
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　　C10 ：■-105x105



1F伏図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 伏図(4) Scale S=1/50 Drawing No. S-17

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

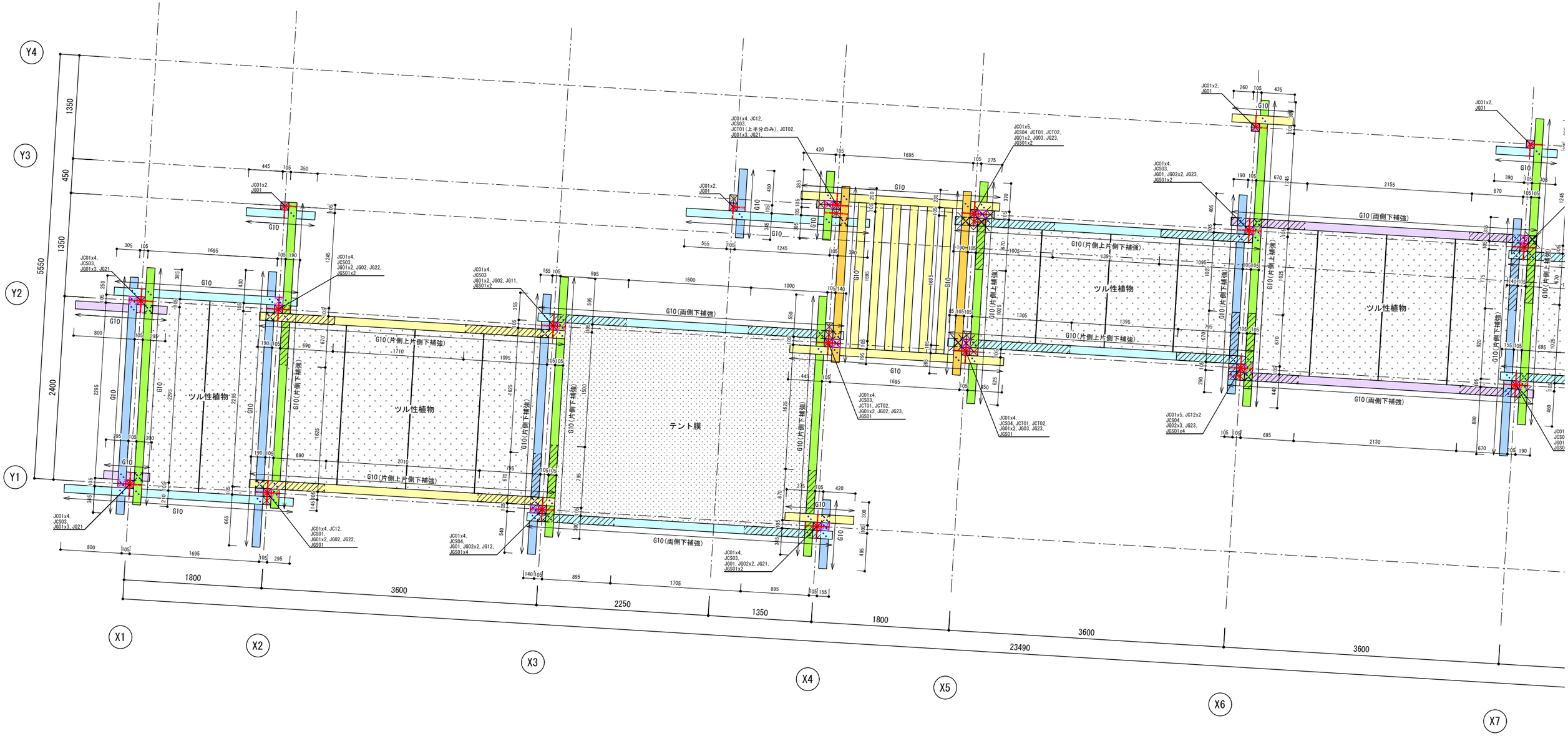
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　　C10 ：■-105x105



1FL+2190～2925伏図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	**Project Title** 鋸南町　観光物産センター改修工事	**Client** 鋸南町 **Architect** NASCA **Engineer** 円酒構造設計 設備計画	**Drawn by** K. IKUTA **Checked by** N. FURUYA　T. KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	**Date** 2025. 02. 26	**Name of Drawing** 伏図(5) **Scale** S=1/50 **Drawing No.** S-18

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

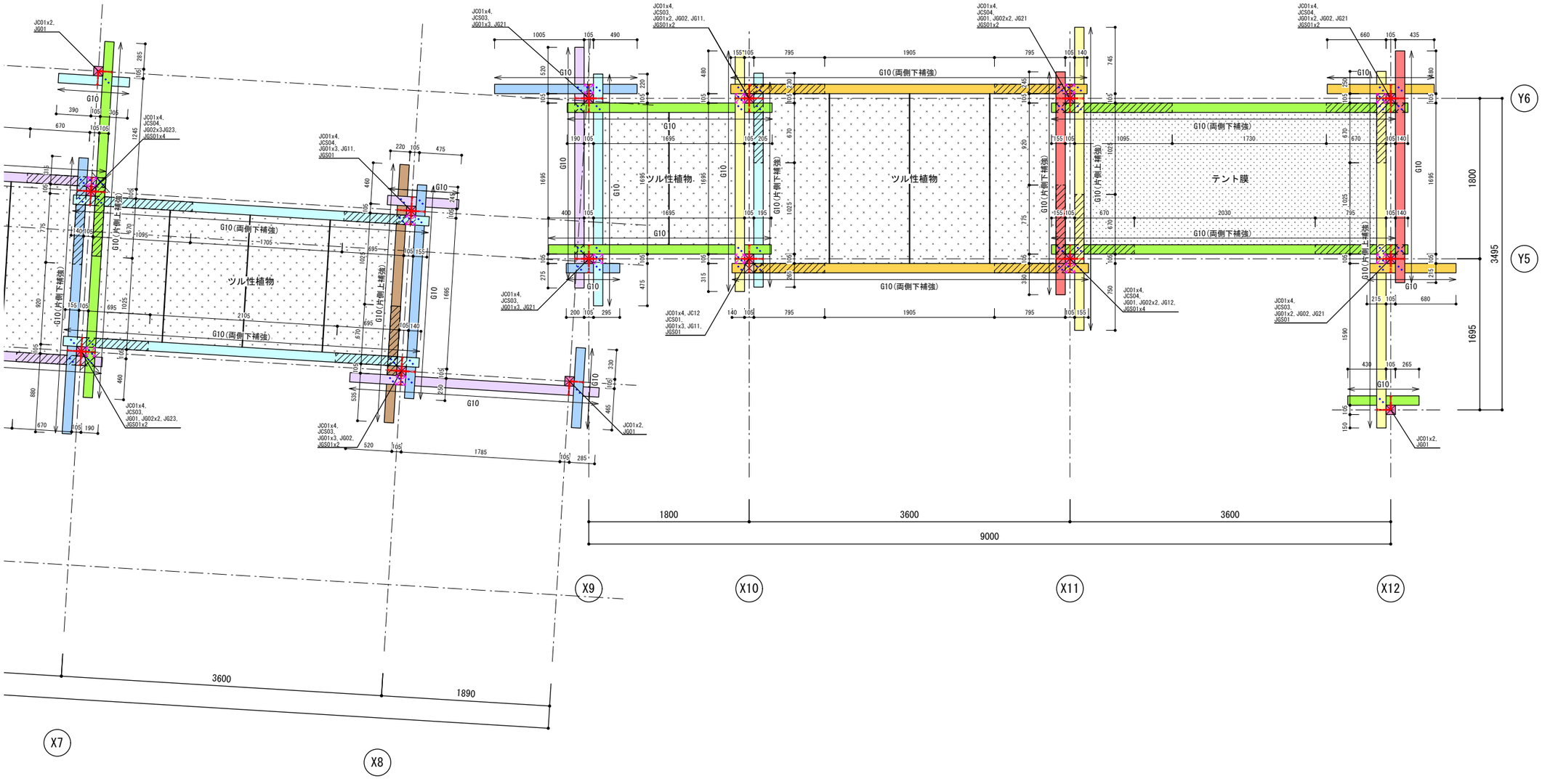
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　　C10 ：■-105x105



1FL+2190～2925伏図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第33348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 伏図(6) Scale S=1/50 Drawing No. S-19

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

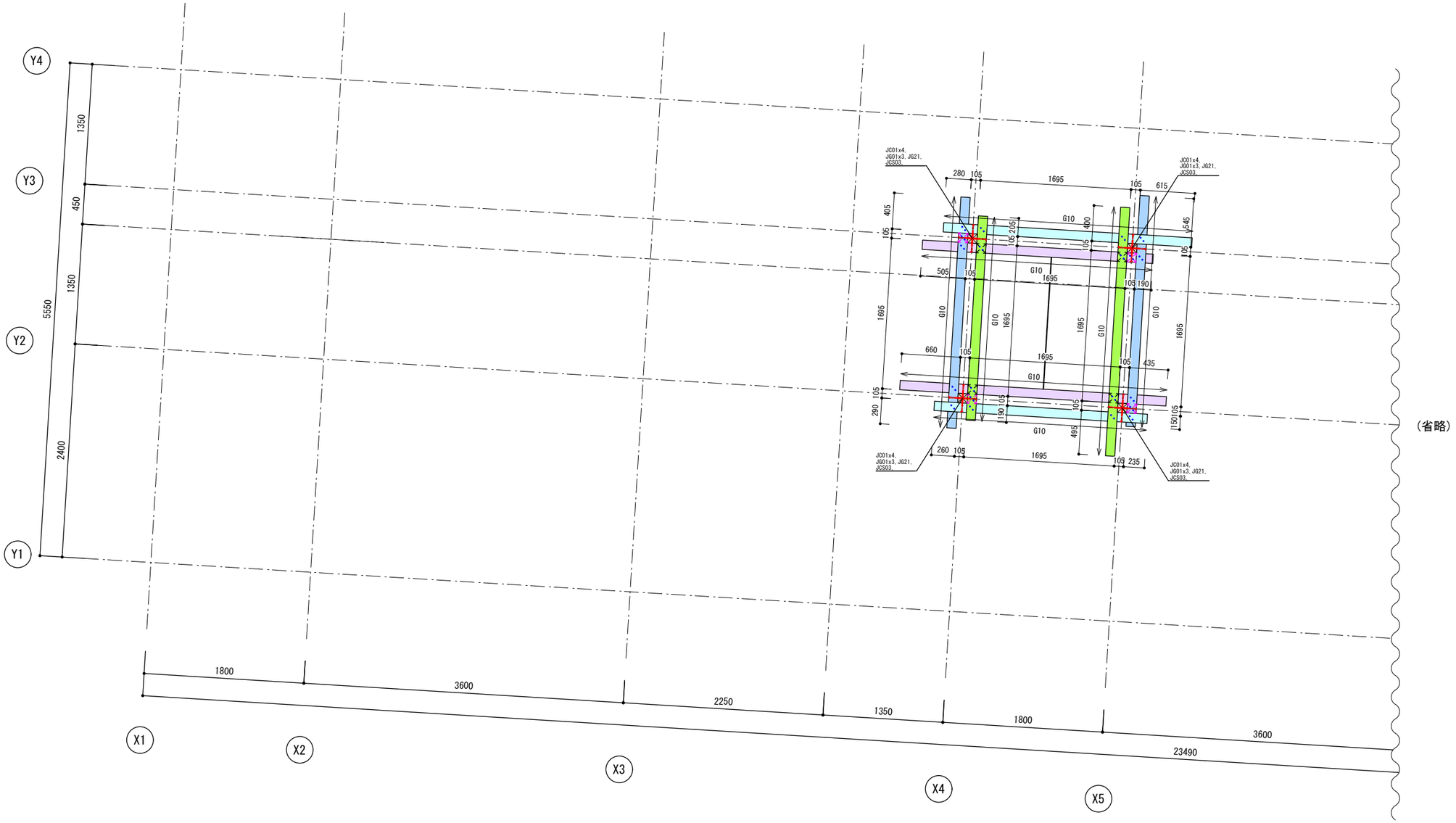
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



1FL+5920～6325伏図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階 Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 伏図(7) Scale S=1/50 Drawing No. S-20

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

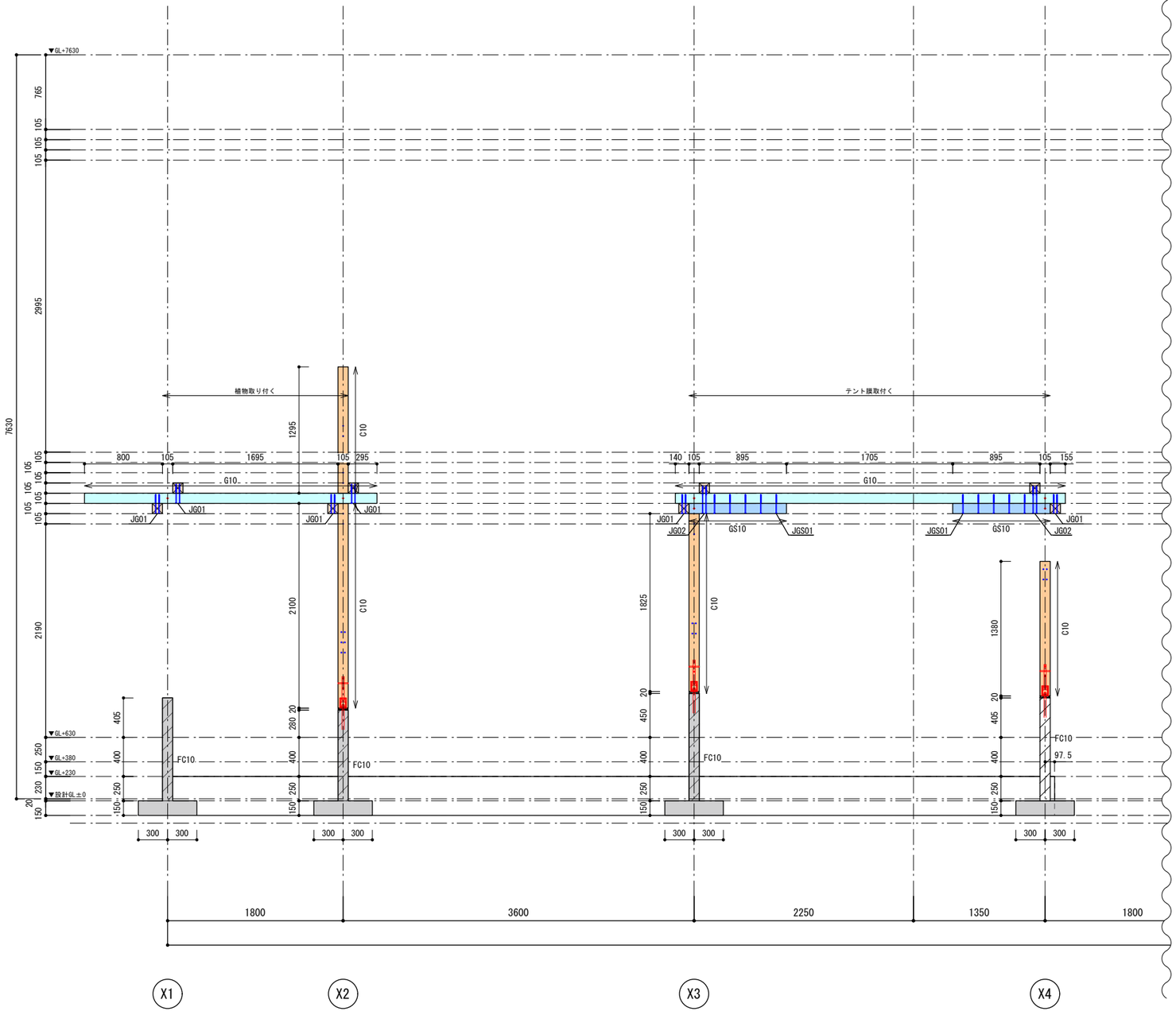
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



（省略）

Y1-105通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(1)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-21

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

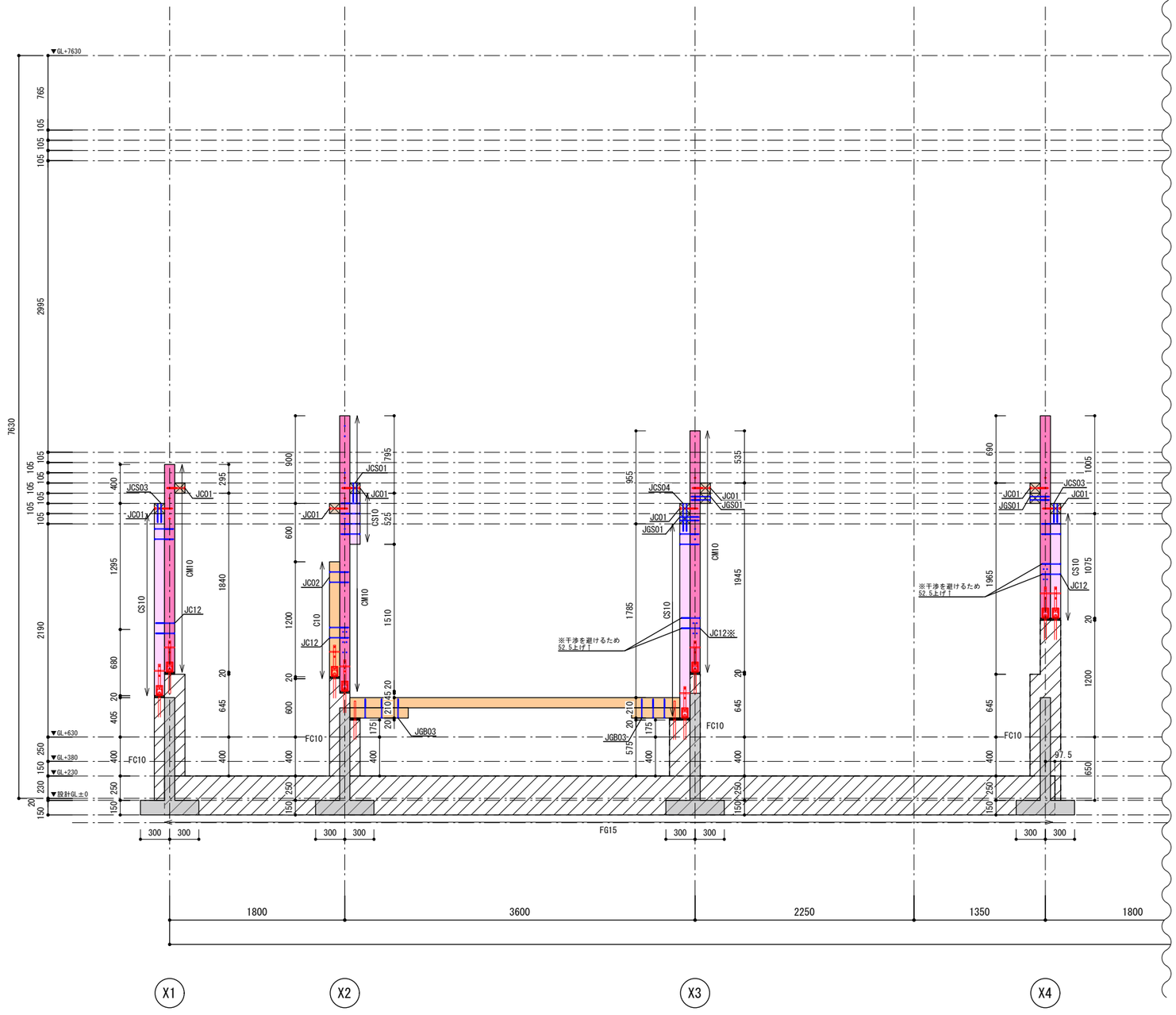
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



（省略）

Y1通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(2)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-22

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

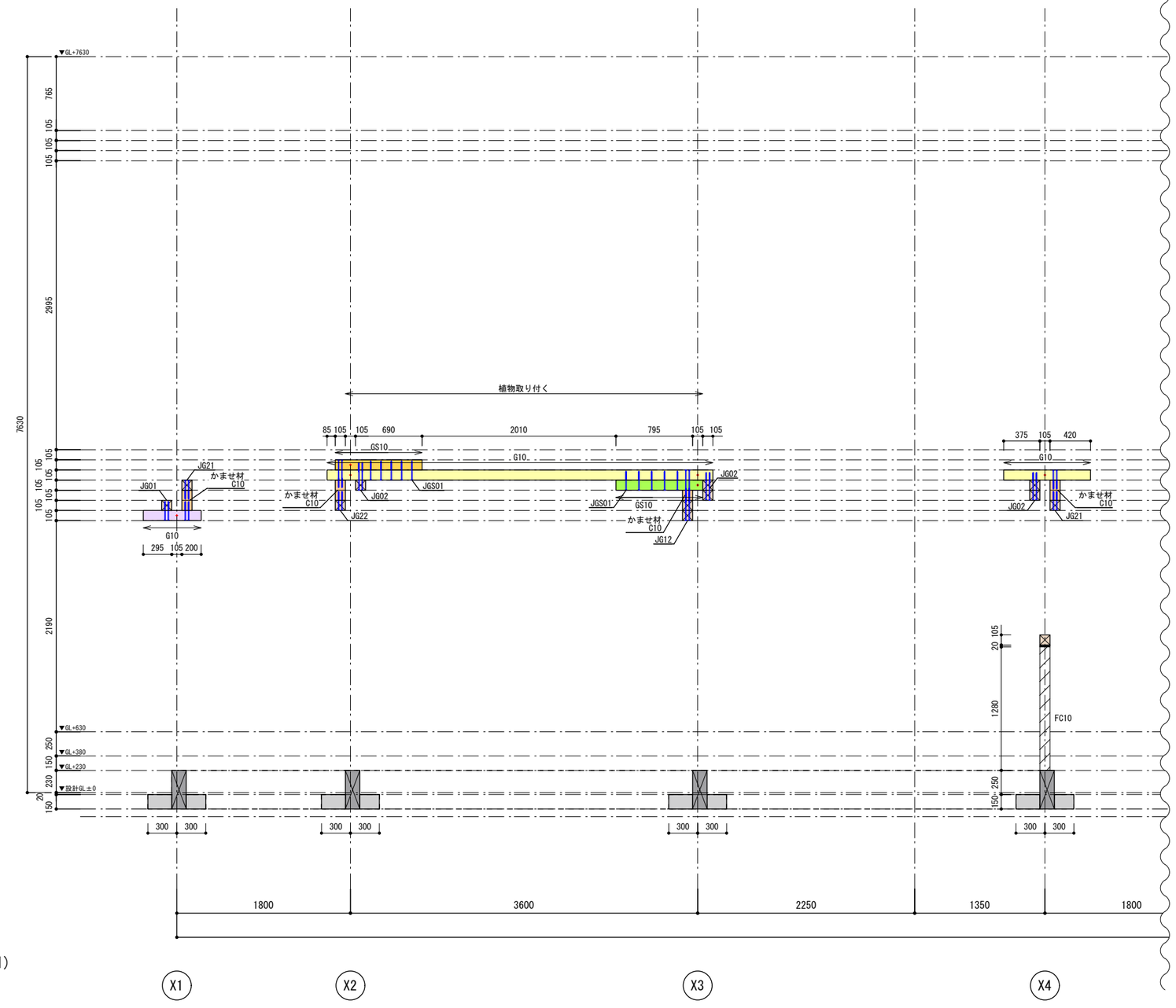
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



（省略）

Y1+105通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA

一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(3)
Scale S=1/50
Drawing No. S-23

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

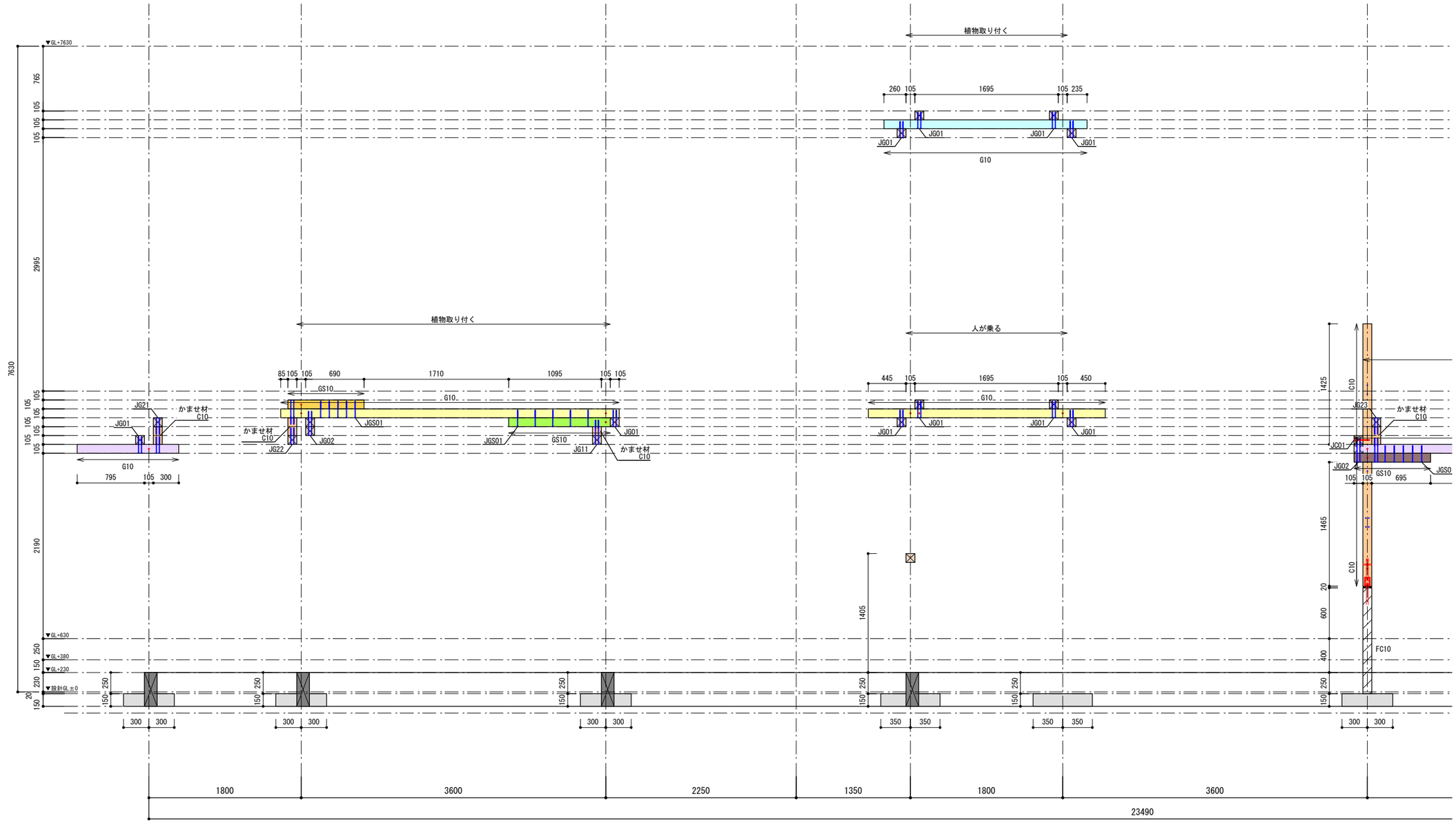
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y2-105通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(4) Scale S=1/50 Drawing No. S-24

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

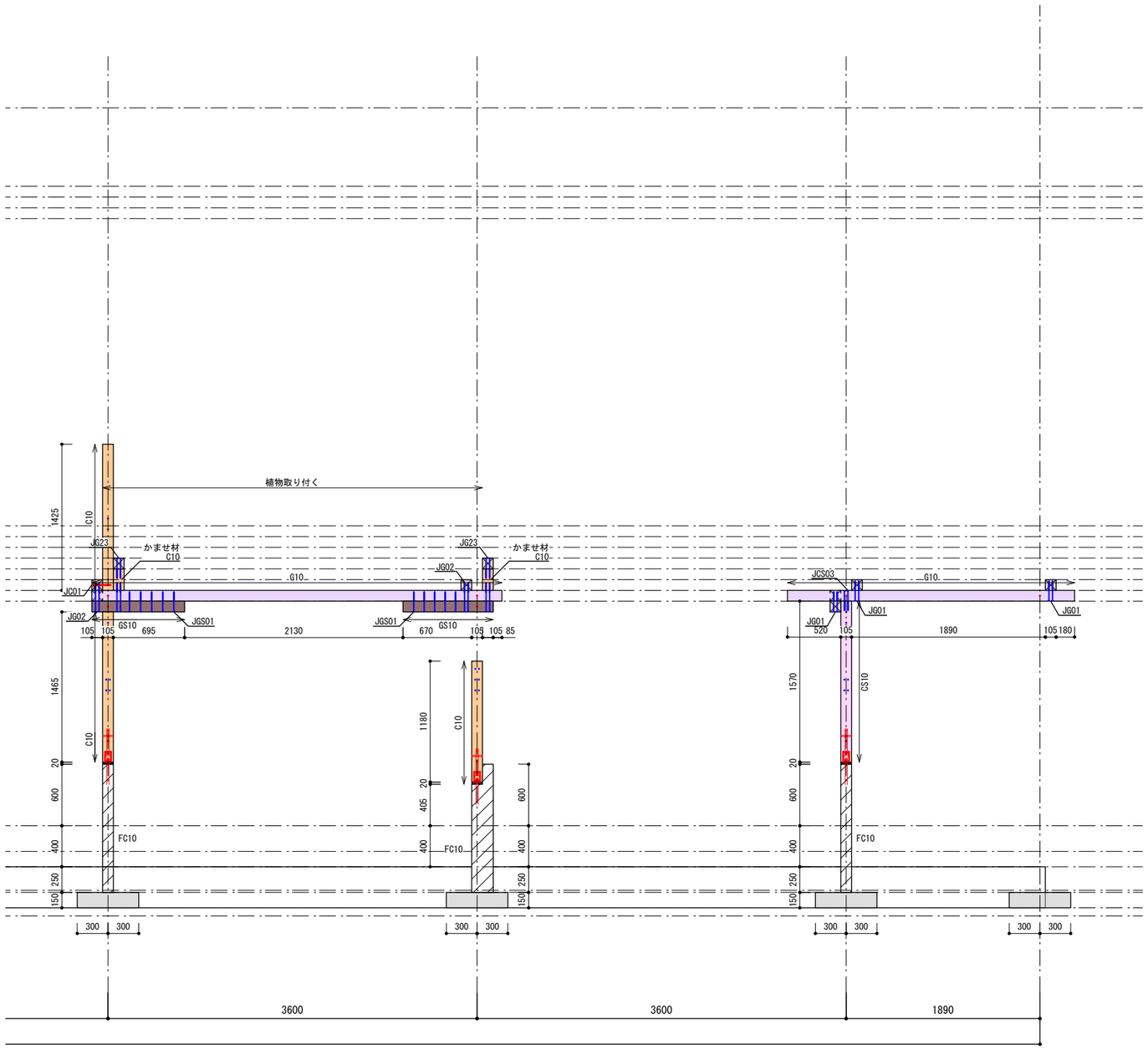
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y2-105通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
　　設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(5)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-25

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

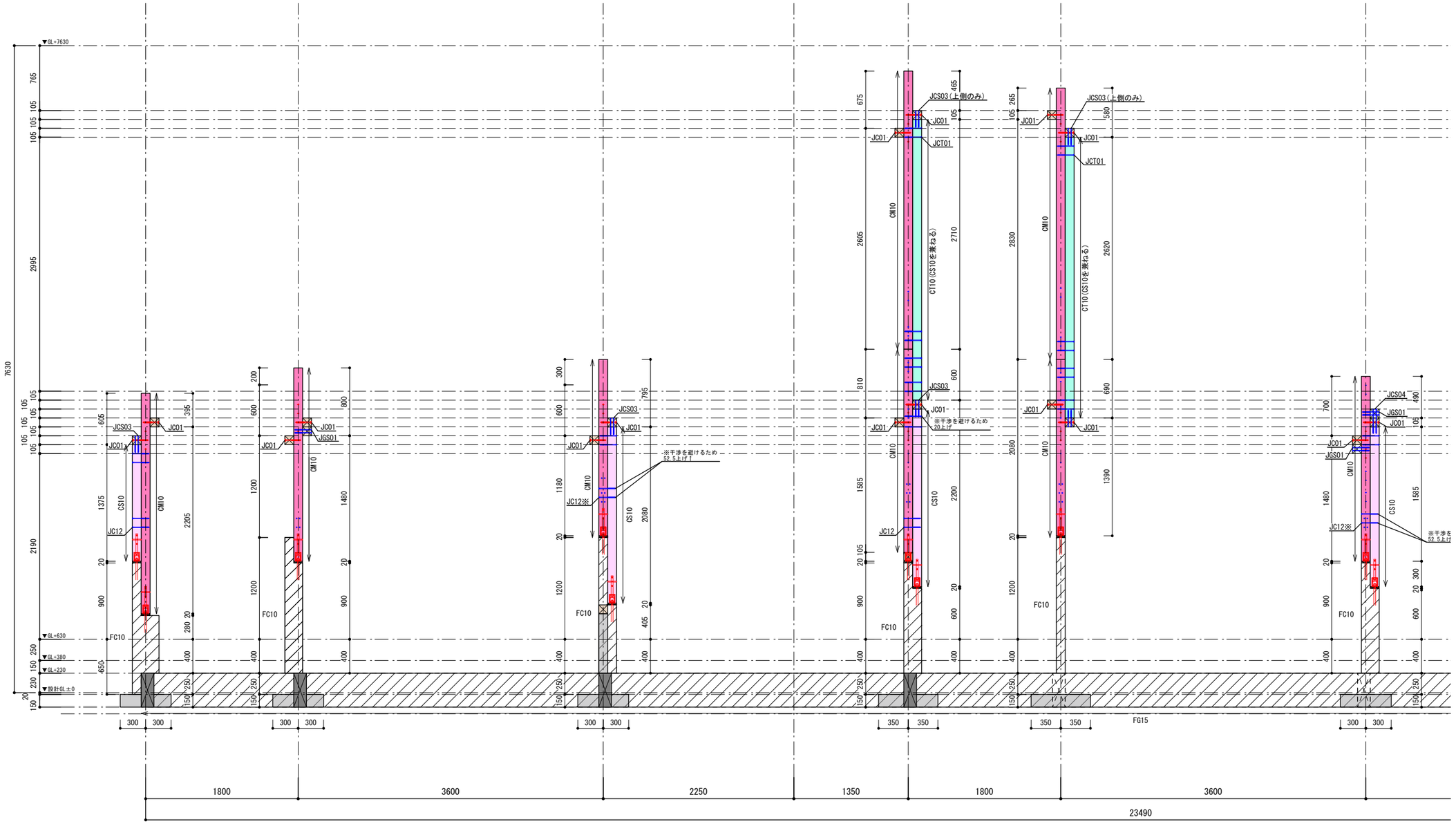
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　　C10 ：■-105x105



Y2通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	
Project Title	鋸南町　観光物産センター改修工事
Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画
Drawn by	K.IKUTA
Checked by	N.FURUYA　T.KIKKAWA
	一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号
	一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階
Date	2025.02.26
Name of Drawing	軸組図(6)
Scale	S=1/50
Drawing No.	S-26

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

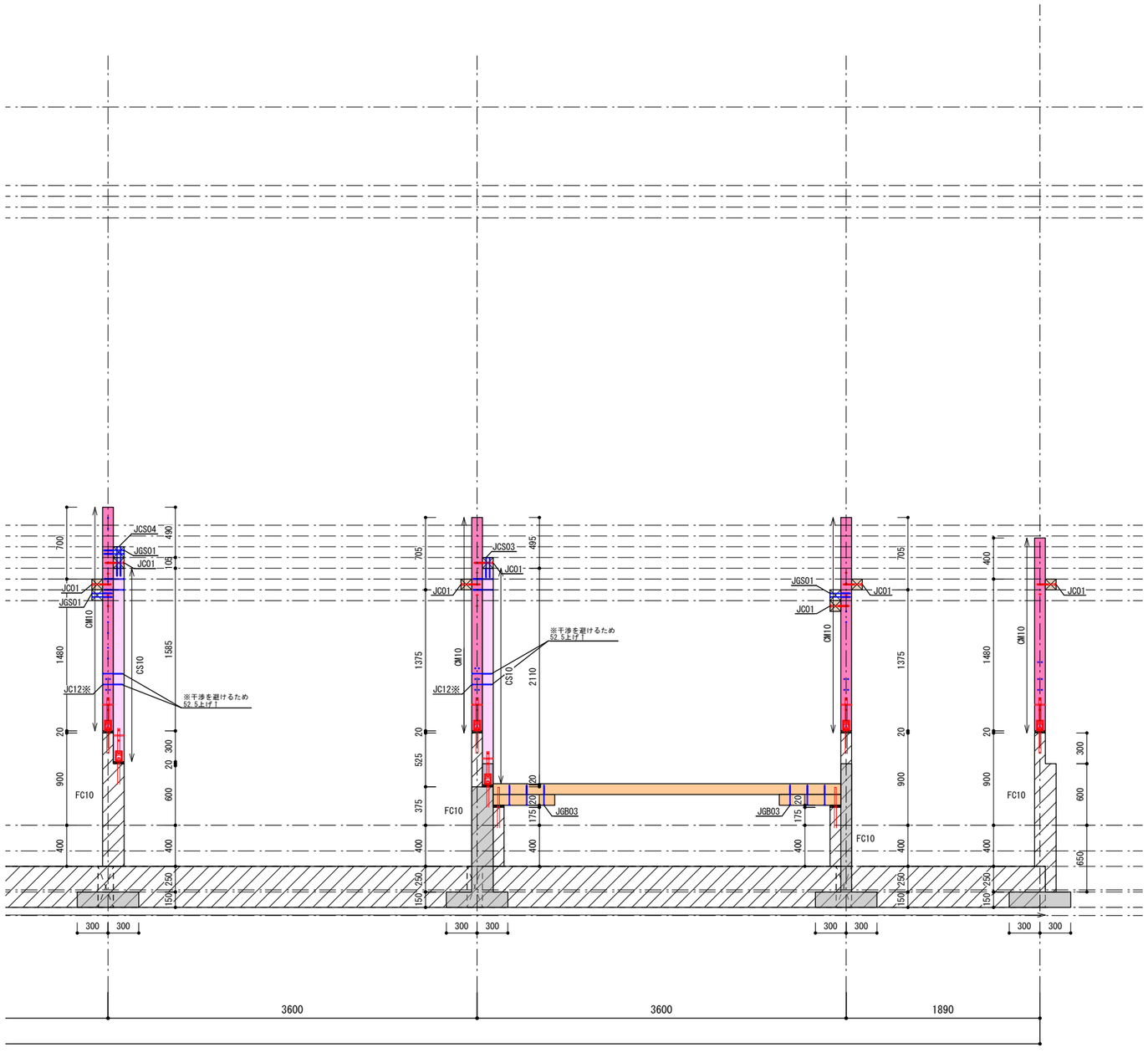
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y2通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(7)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-27

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

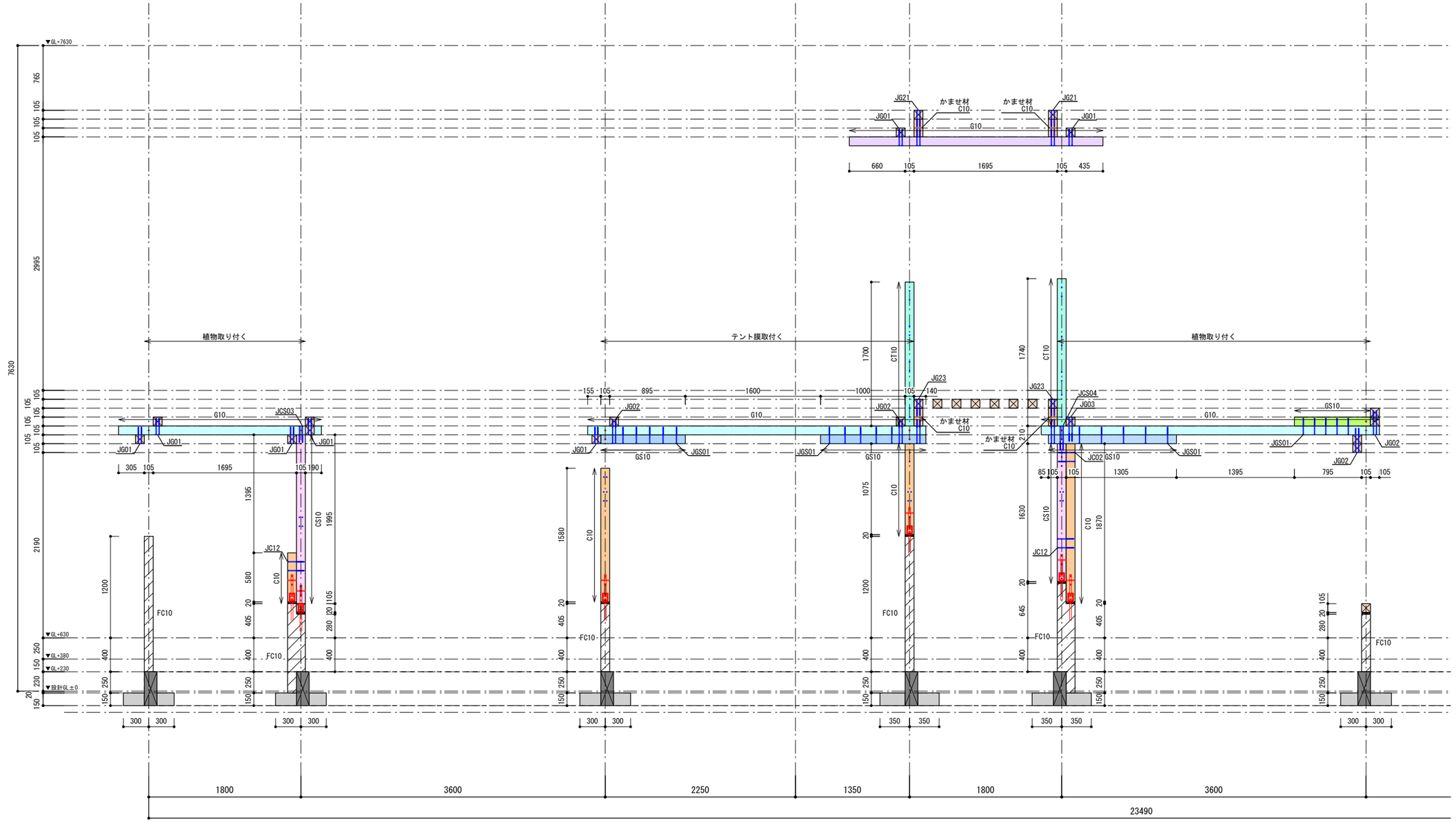
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y2+105通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(8) Scale S=1/50 Drawing No. S-28

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

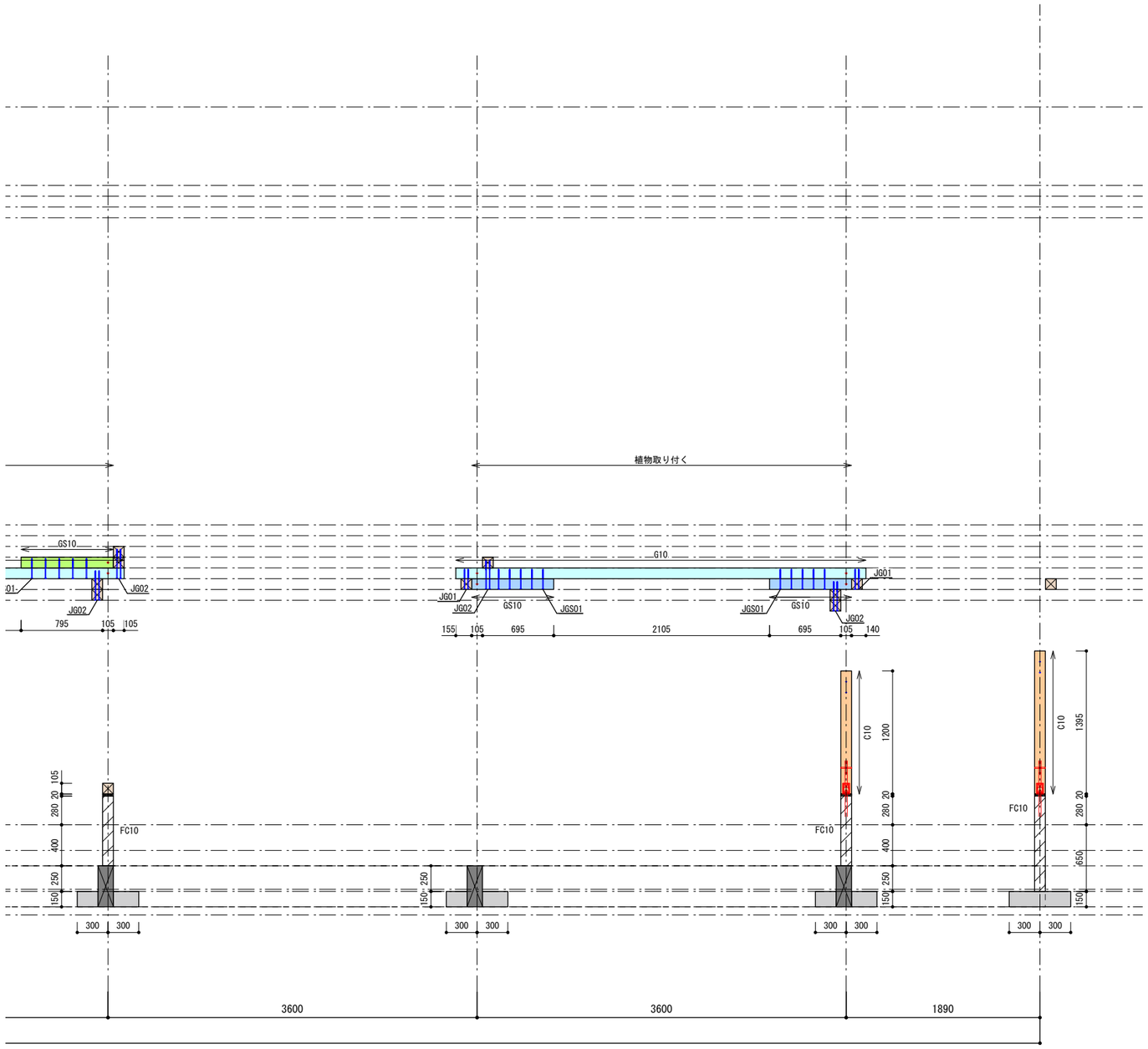
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y2+105通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(9) Scale S=1/50 Drawing No. S-29

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

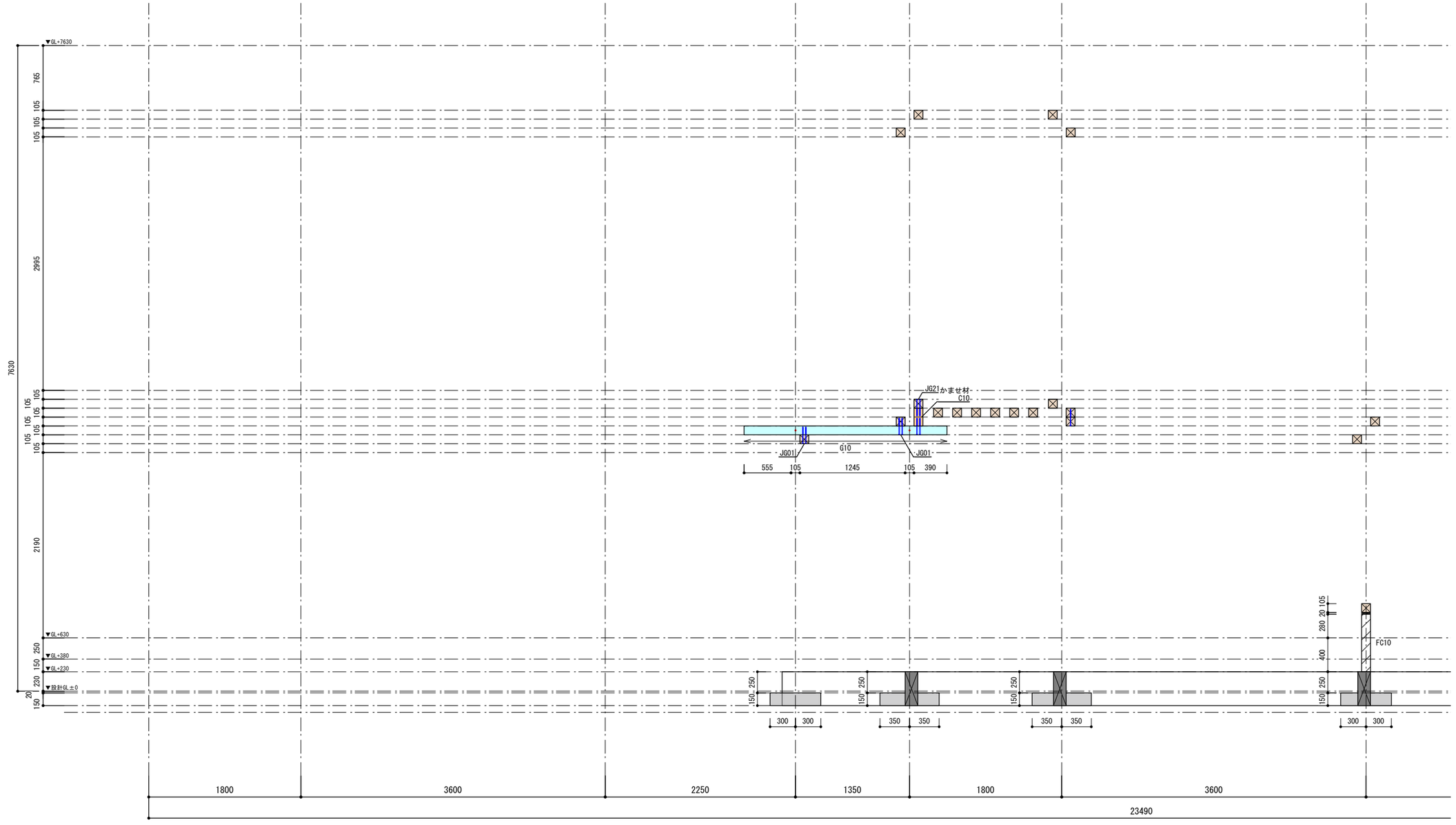
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y3-210通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(10)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-30

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

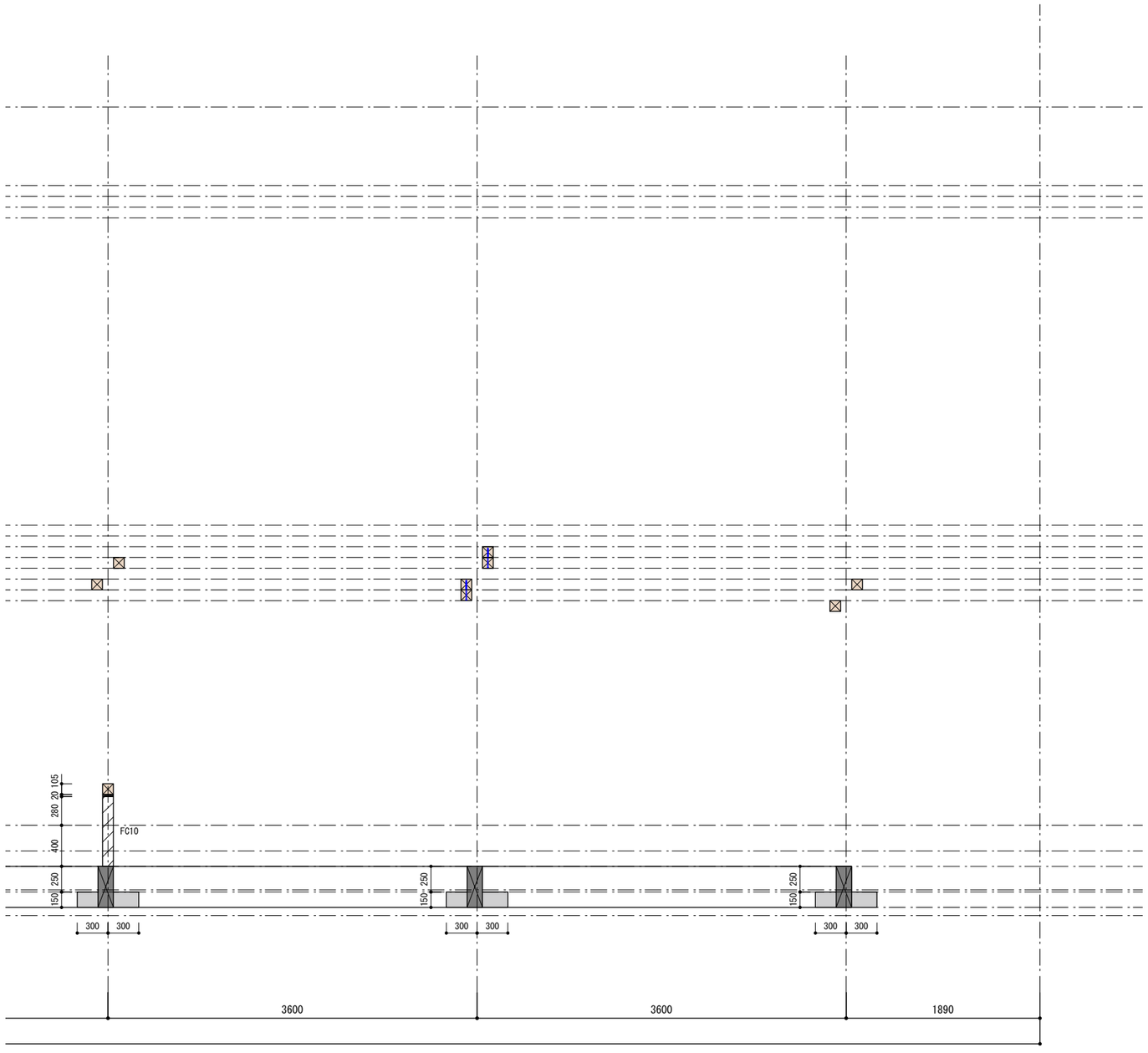
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y3-210通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(11) Scale S=1/50 Drawing No. S-31

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

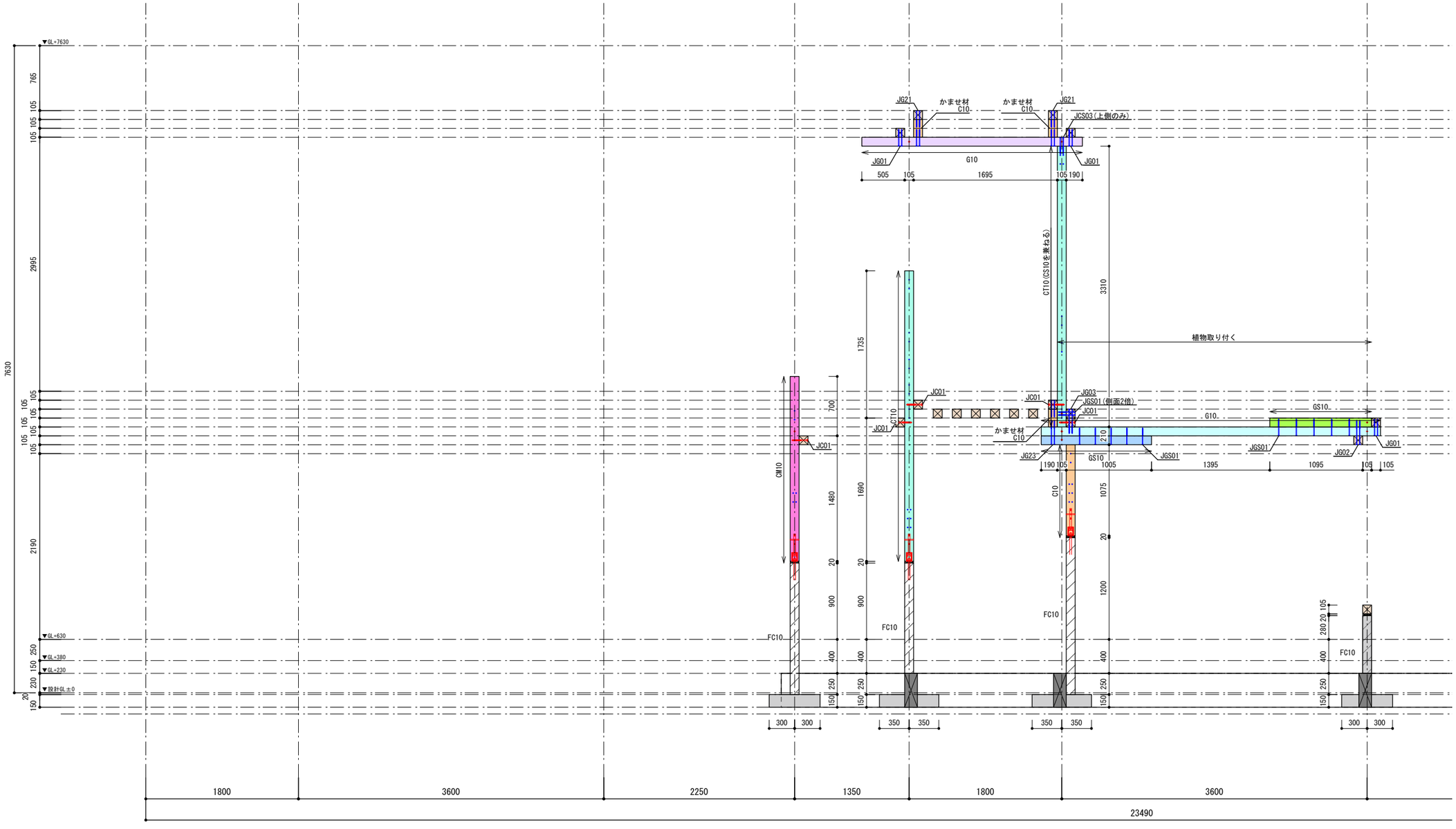
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y3-105通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(12)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-32

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

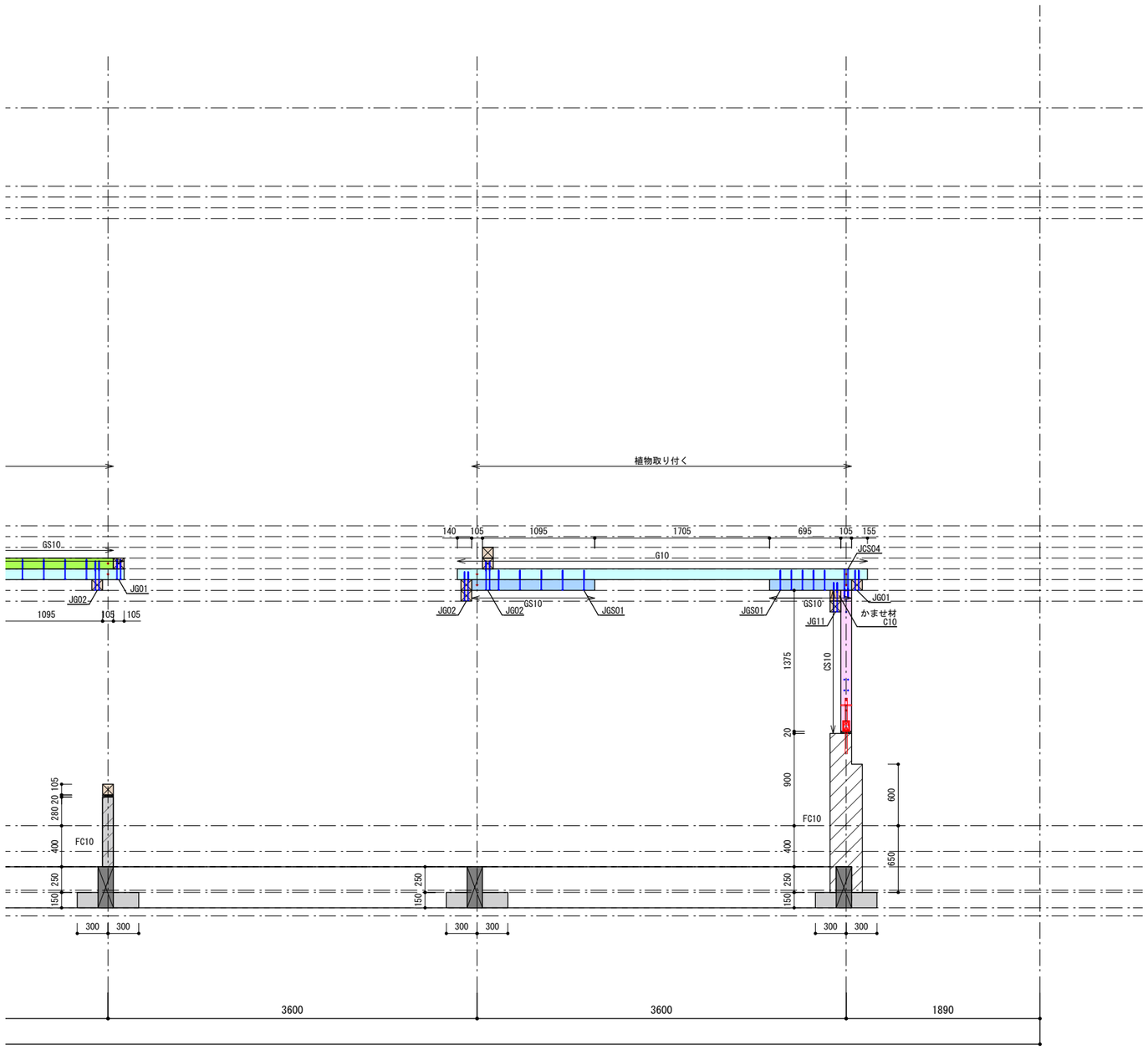
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y3-105通軸組図(2)
S=1/50

X6　X7　X8

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(13) Scale S=1/50 Drawing No. S-33

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

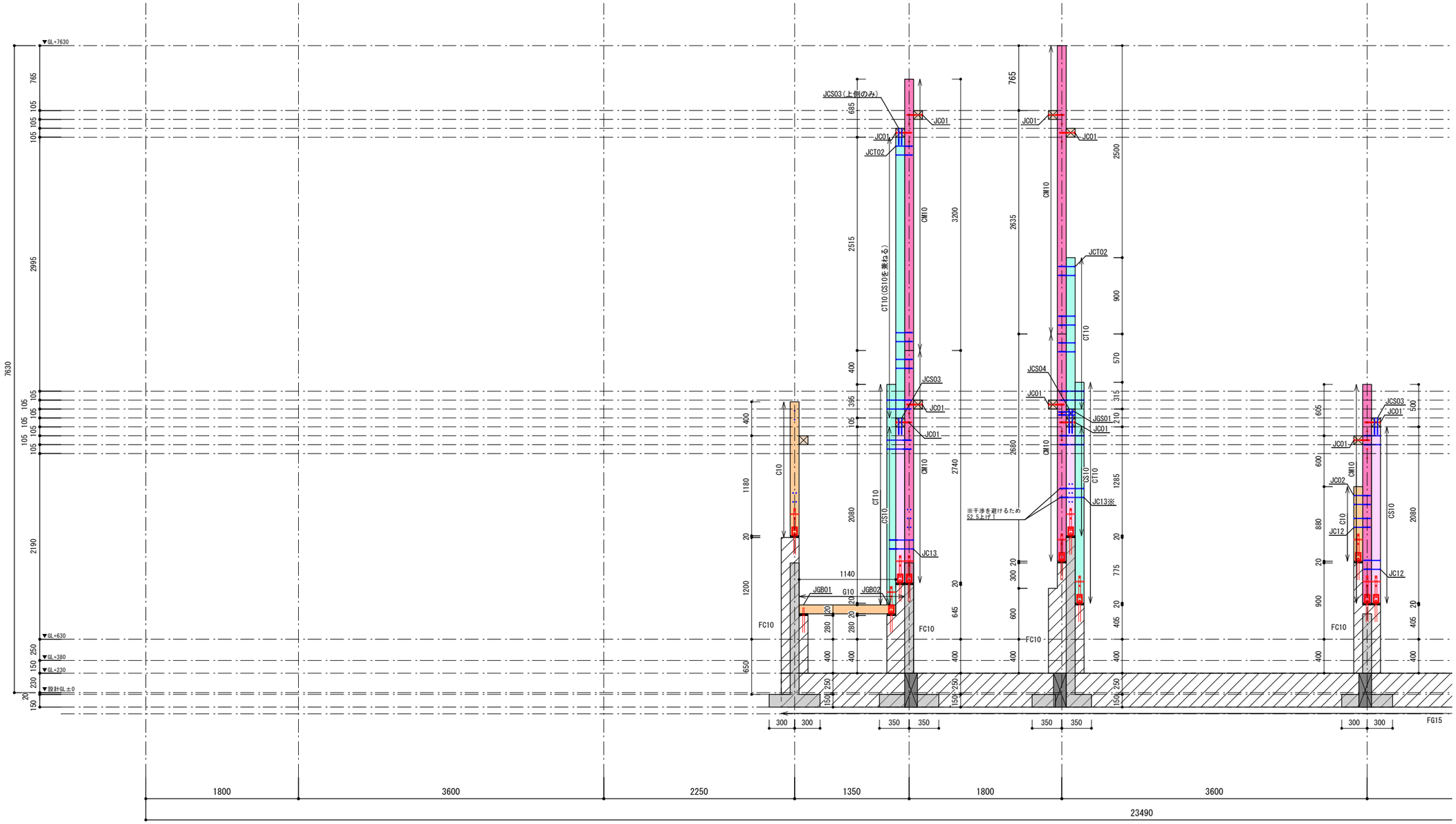
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　　C10 ：■-105x105



Y3通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(14)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-34

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

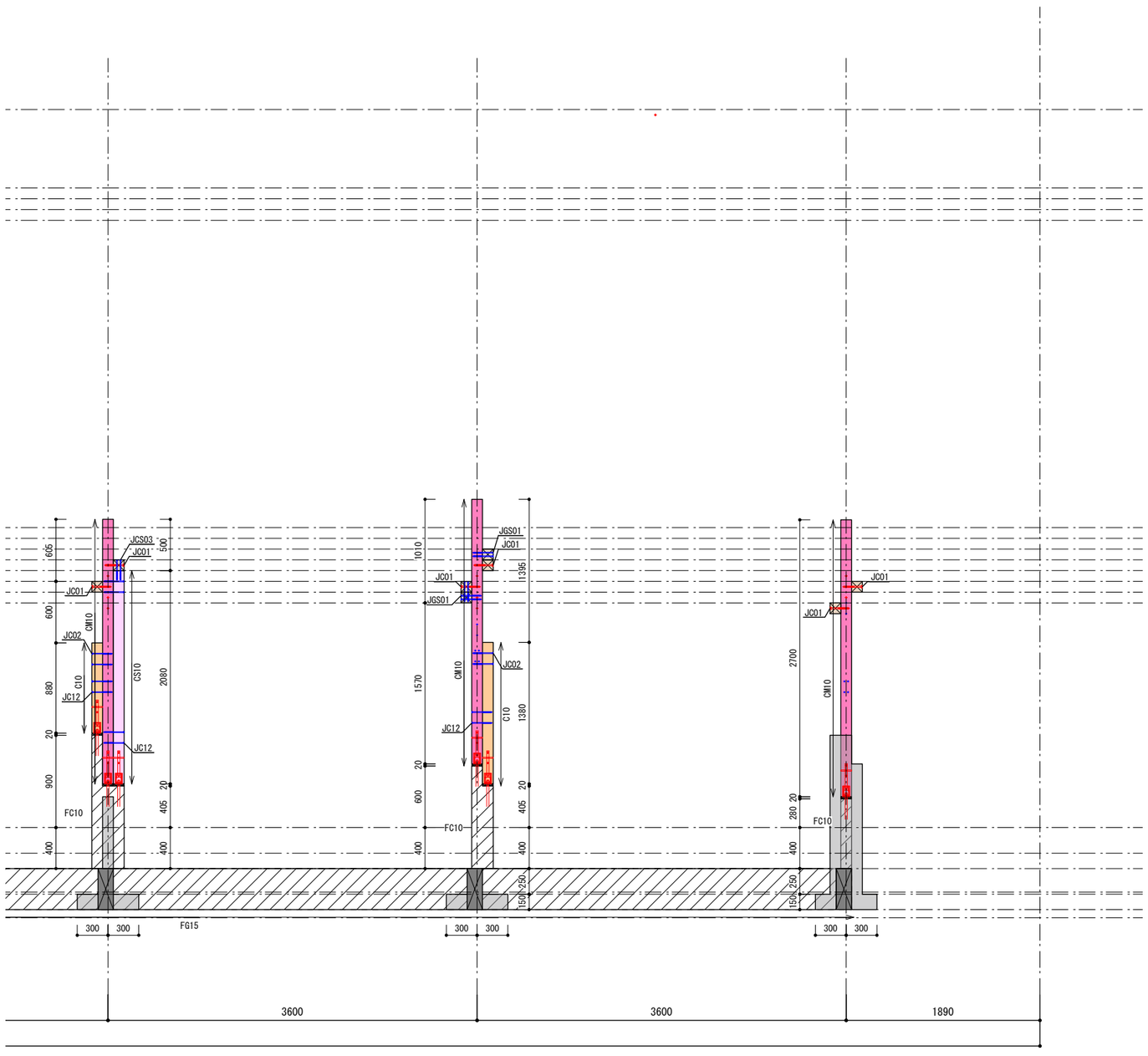
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y3通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(15)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-35

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

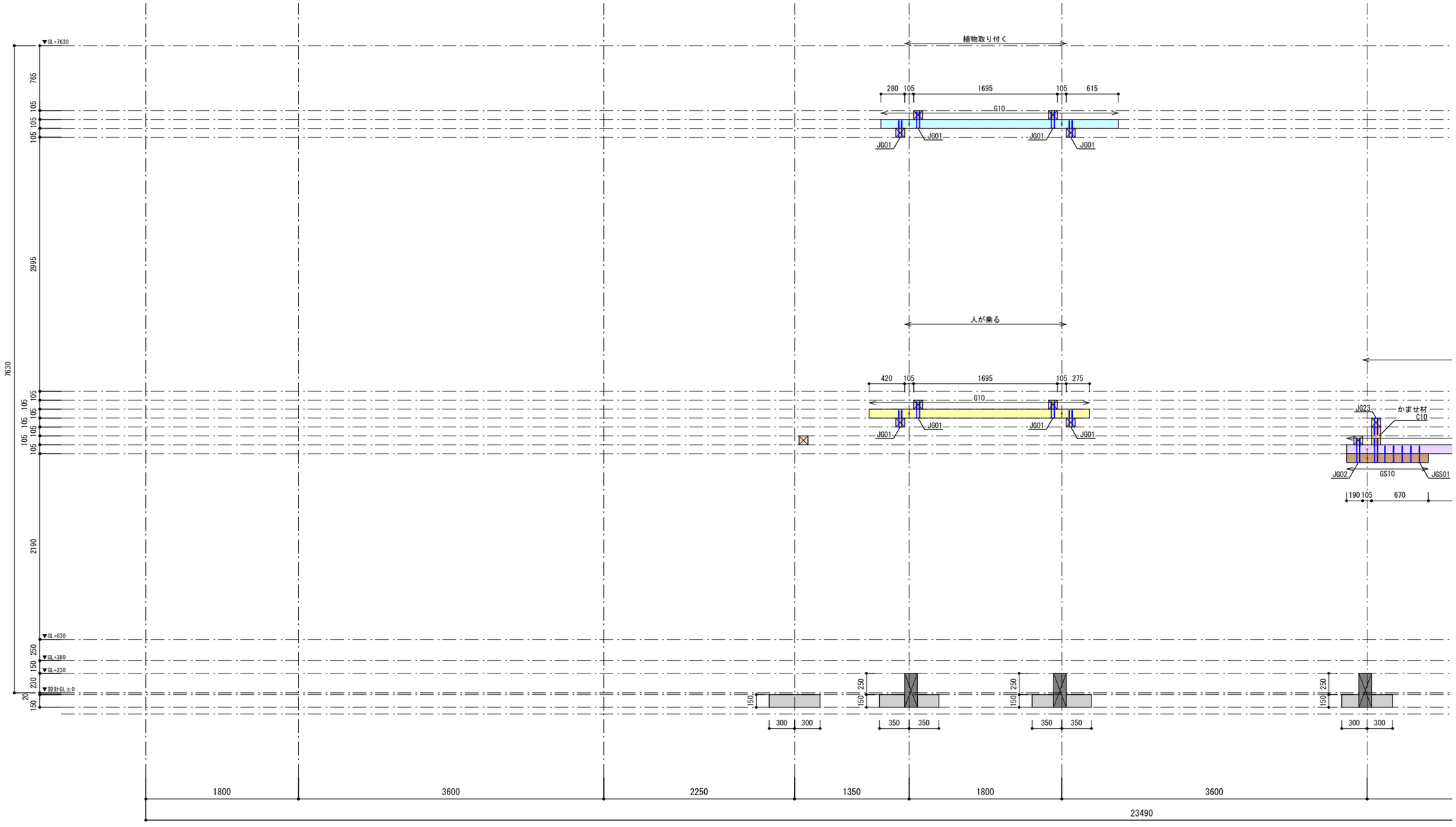
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y3+105通軸組図(1)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(16)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-36

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

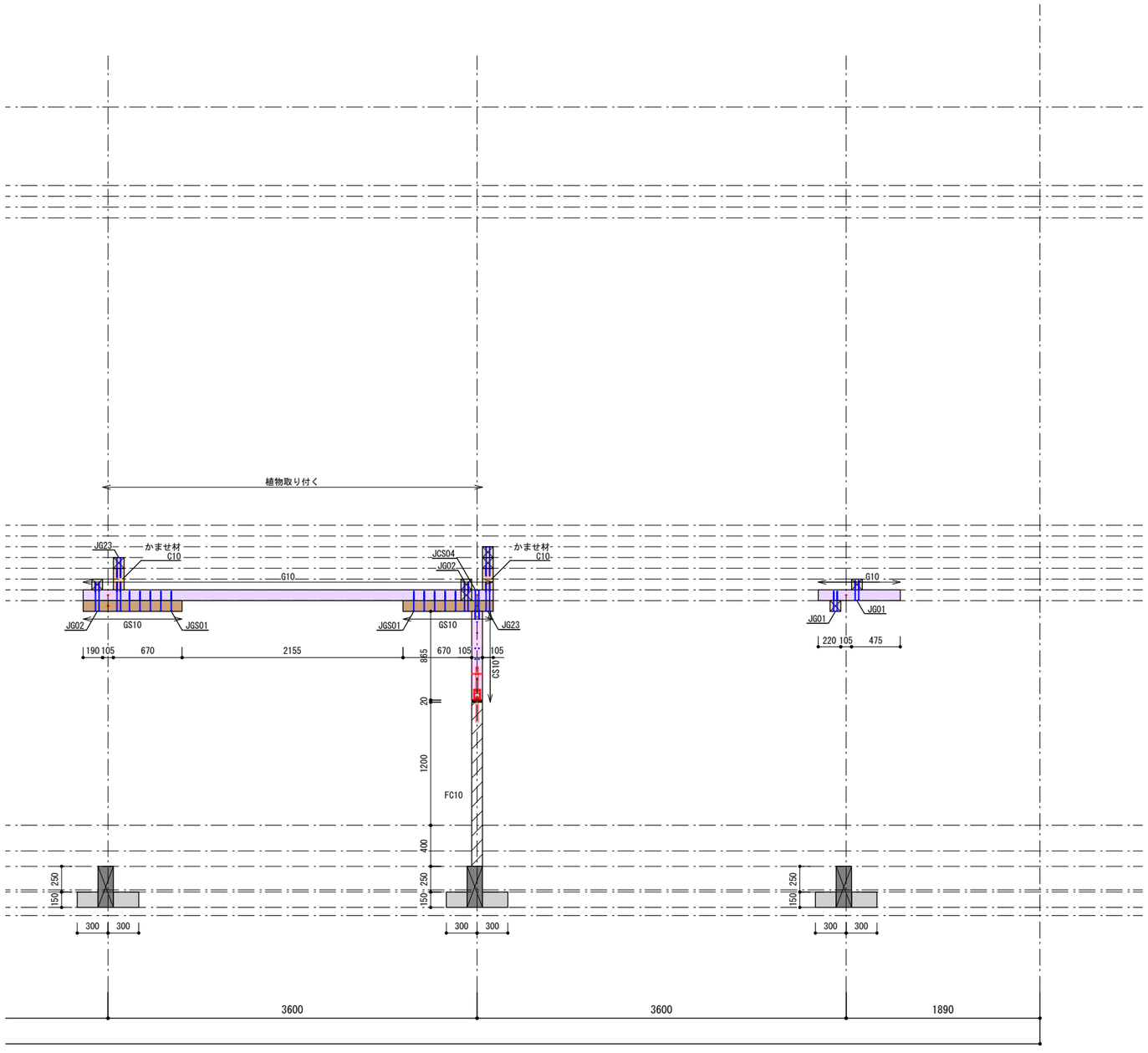
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y3+105通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(17)
Scale S=1/50
Drawing No. S-37

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

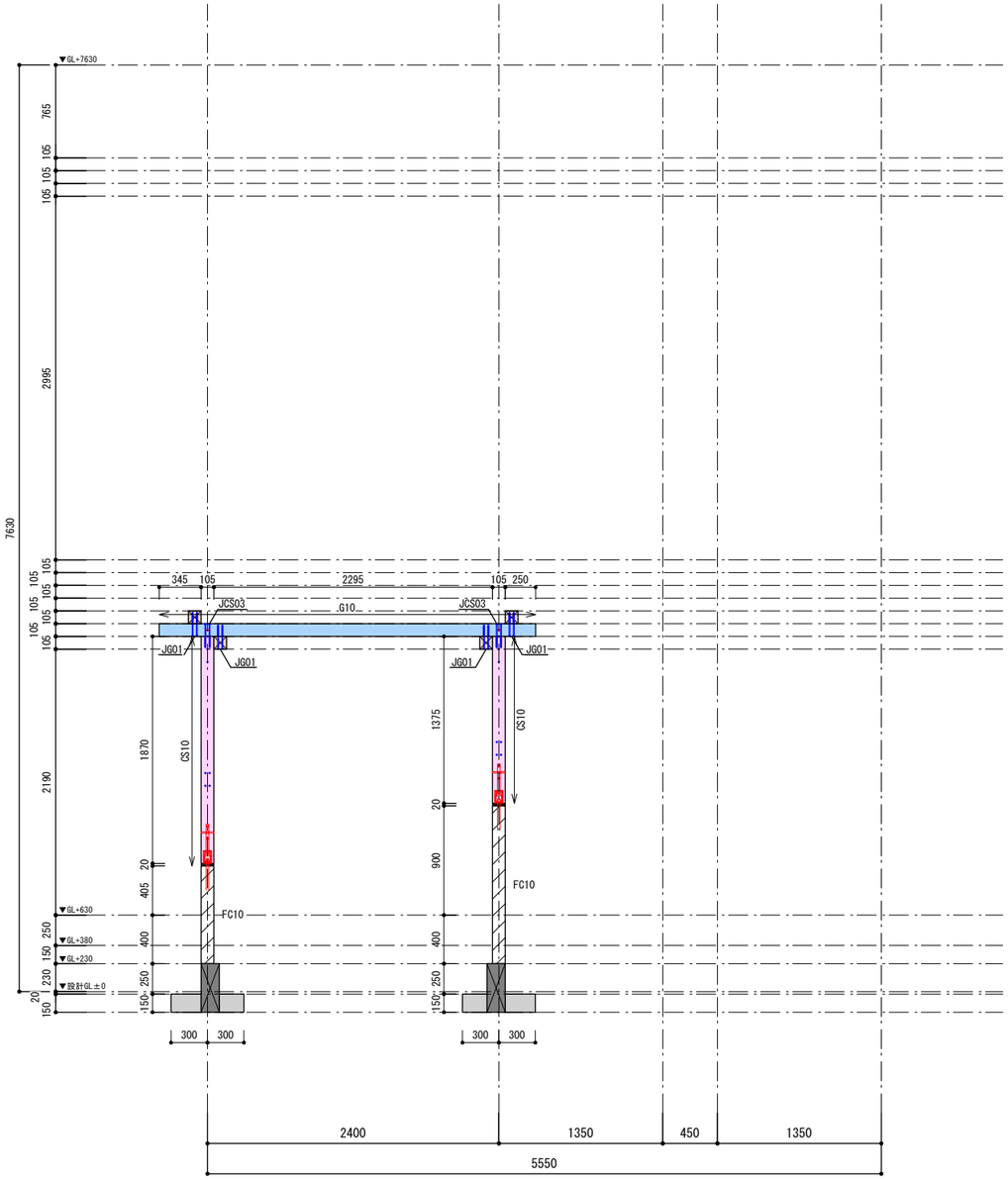
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

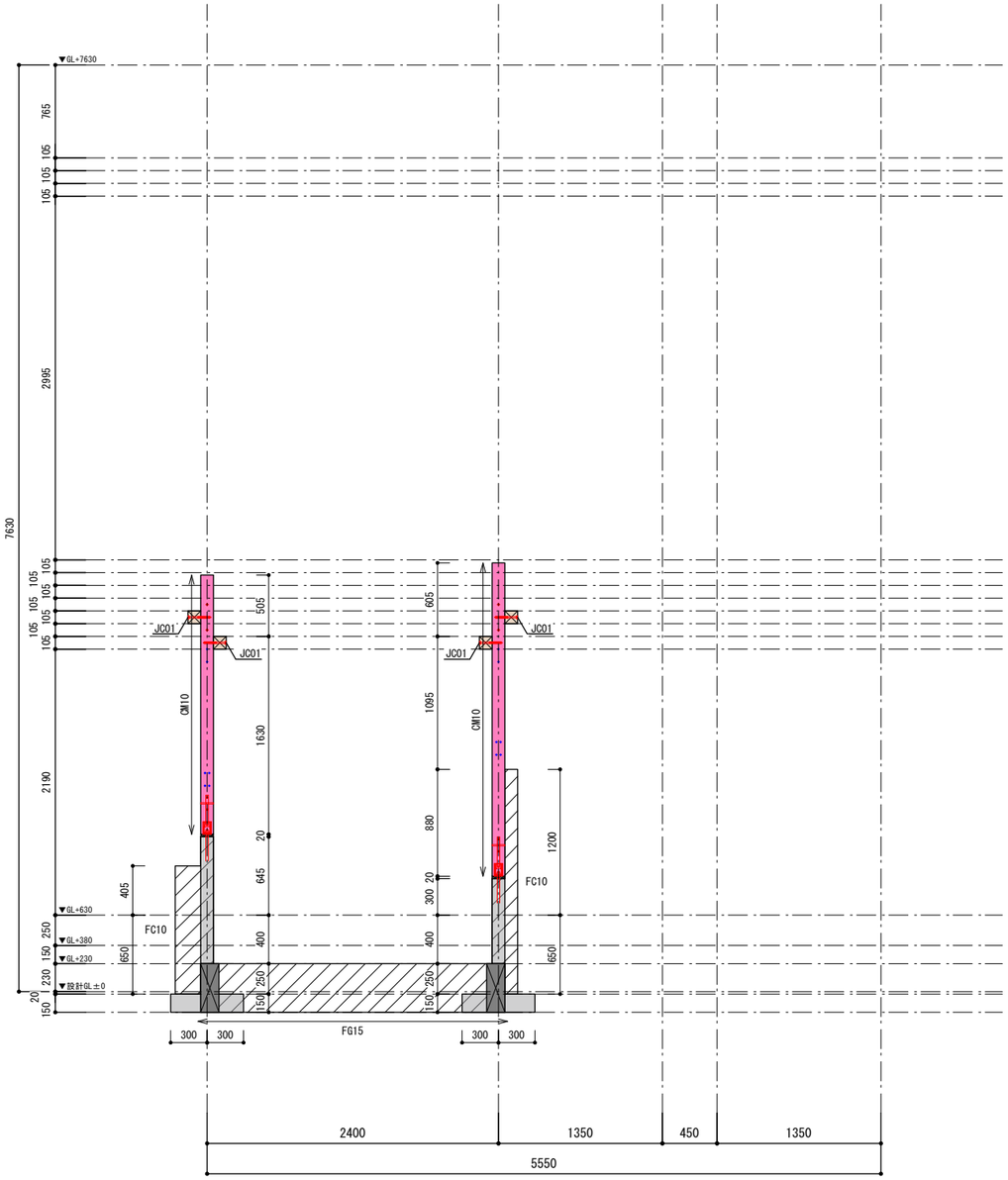
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X1-105通軸組図
S=1/50



X1通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(18)
Scale S=1/50
Drawing No. S-38

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

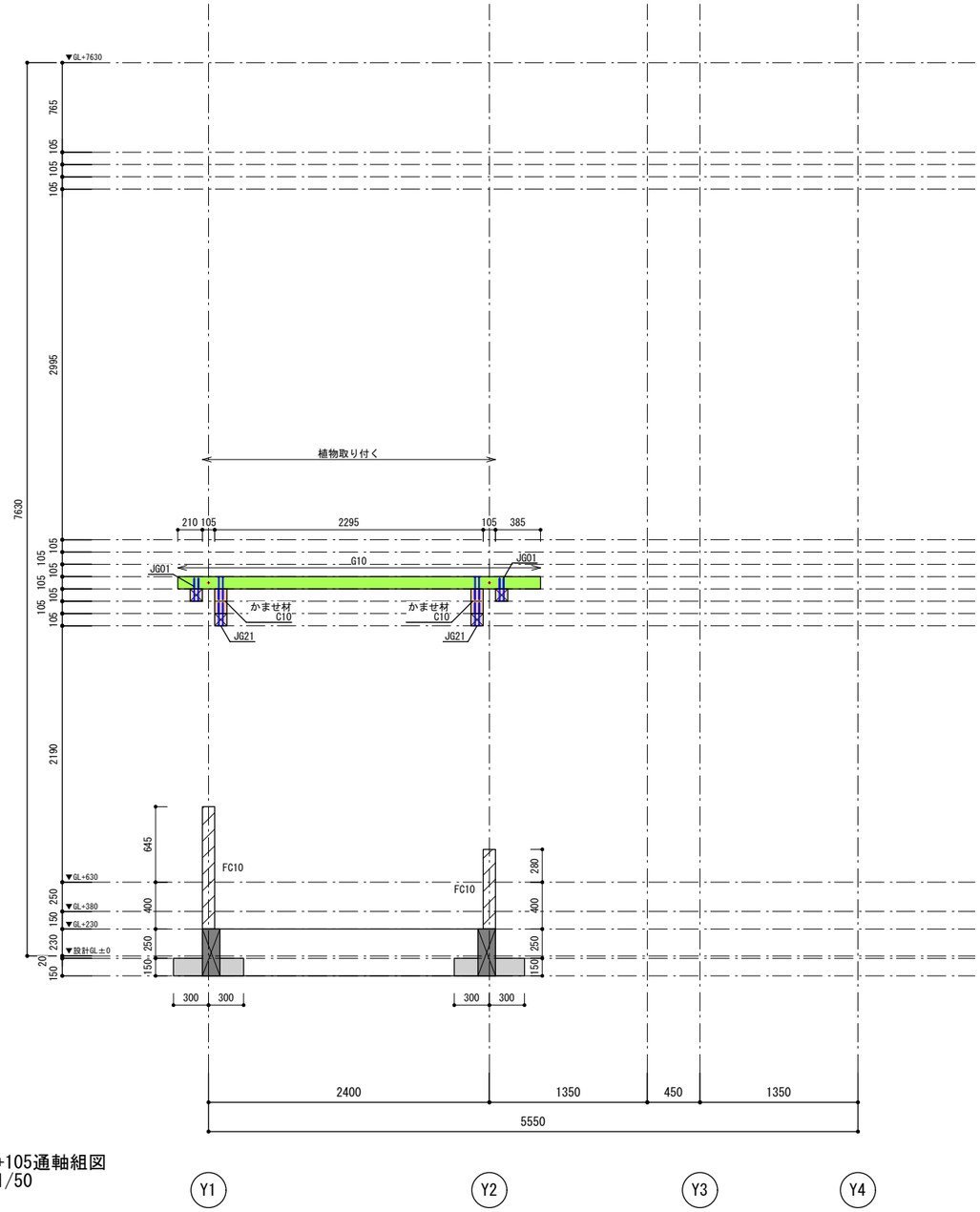
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



X1+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画

Drawn by	K. IKUTA
Checked by	N. FURUYA　T. KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(19)

Scale S=1/50

Drawing No. S-39

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

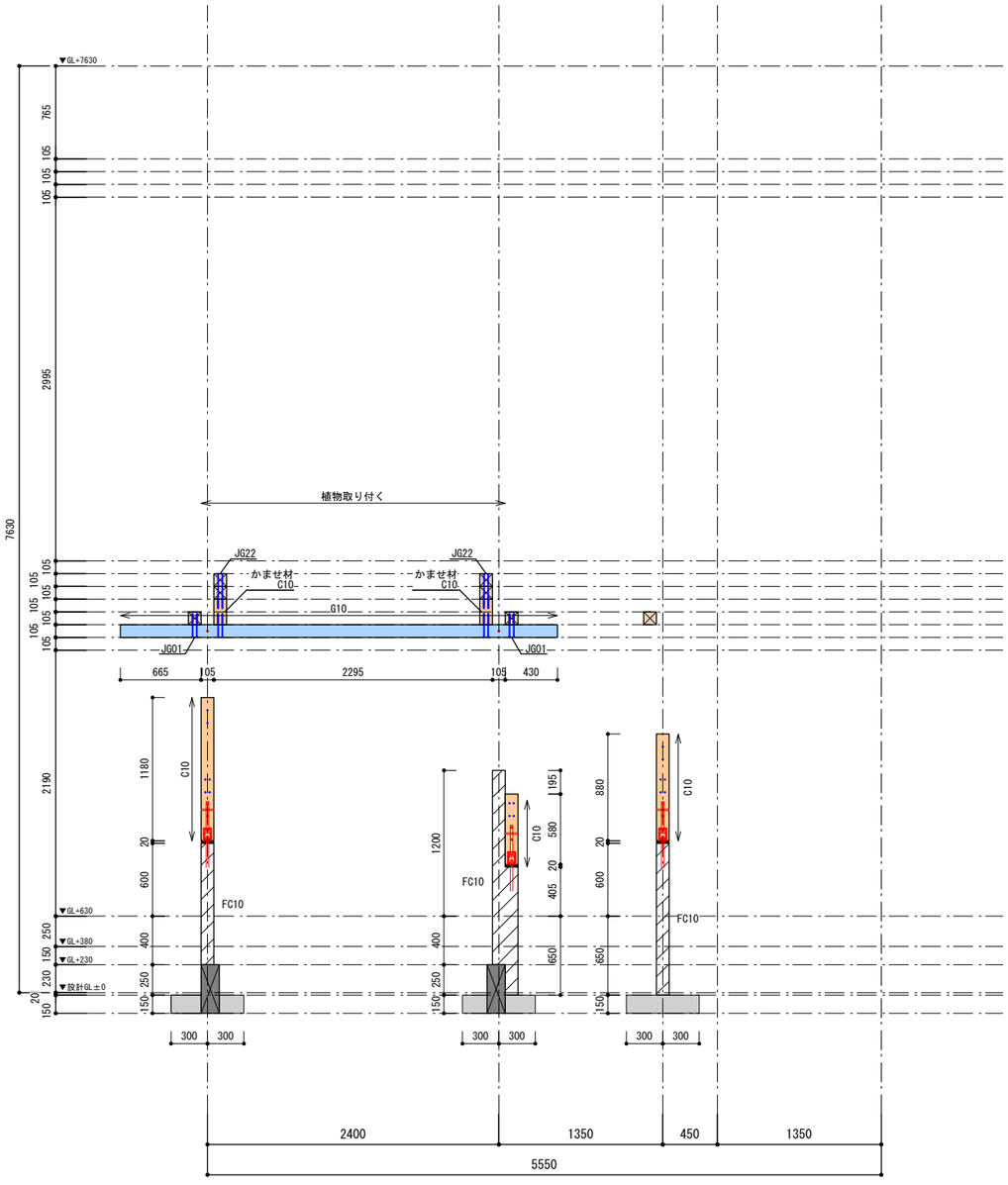
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

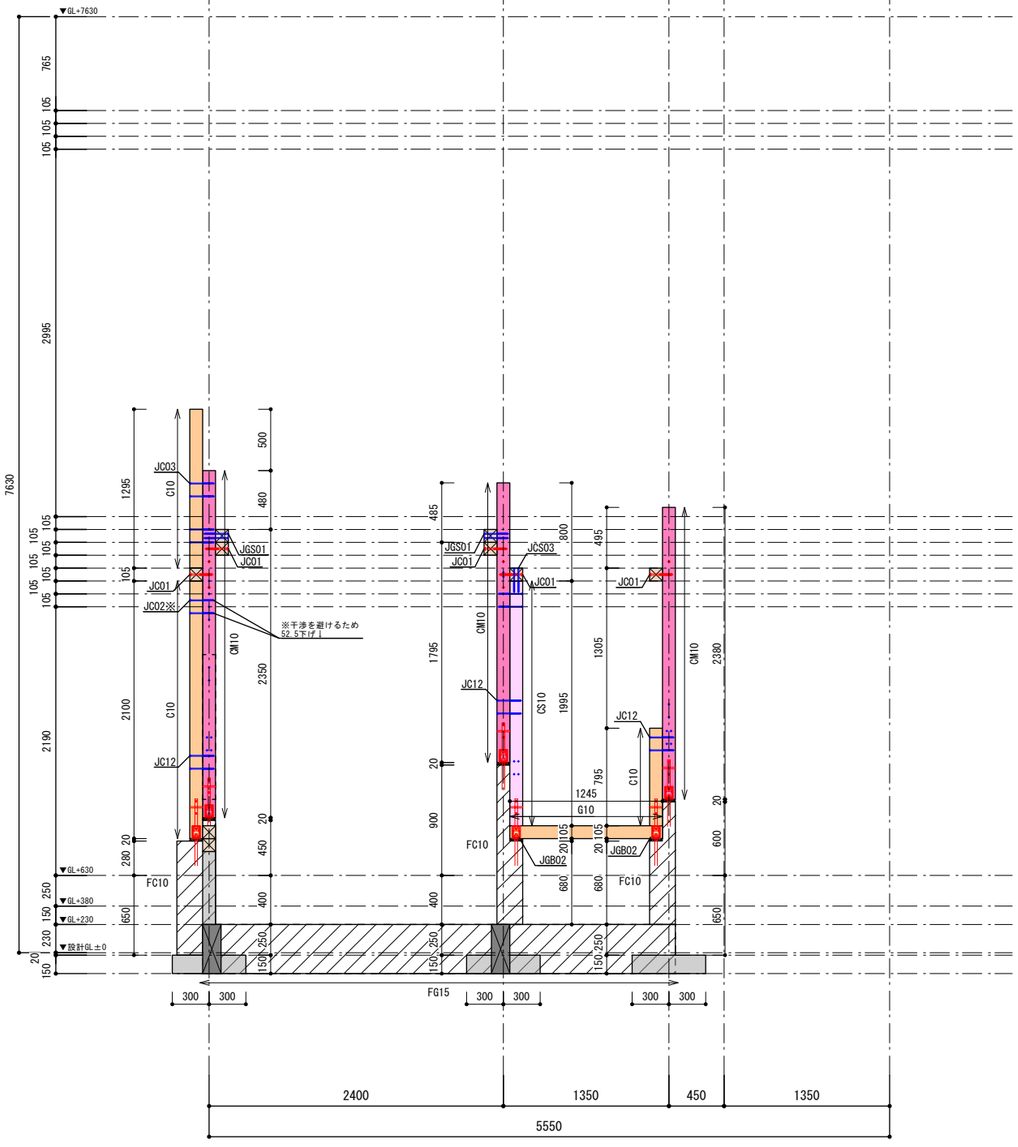
・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X2-105通軸組図
S=1/50



X2通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

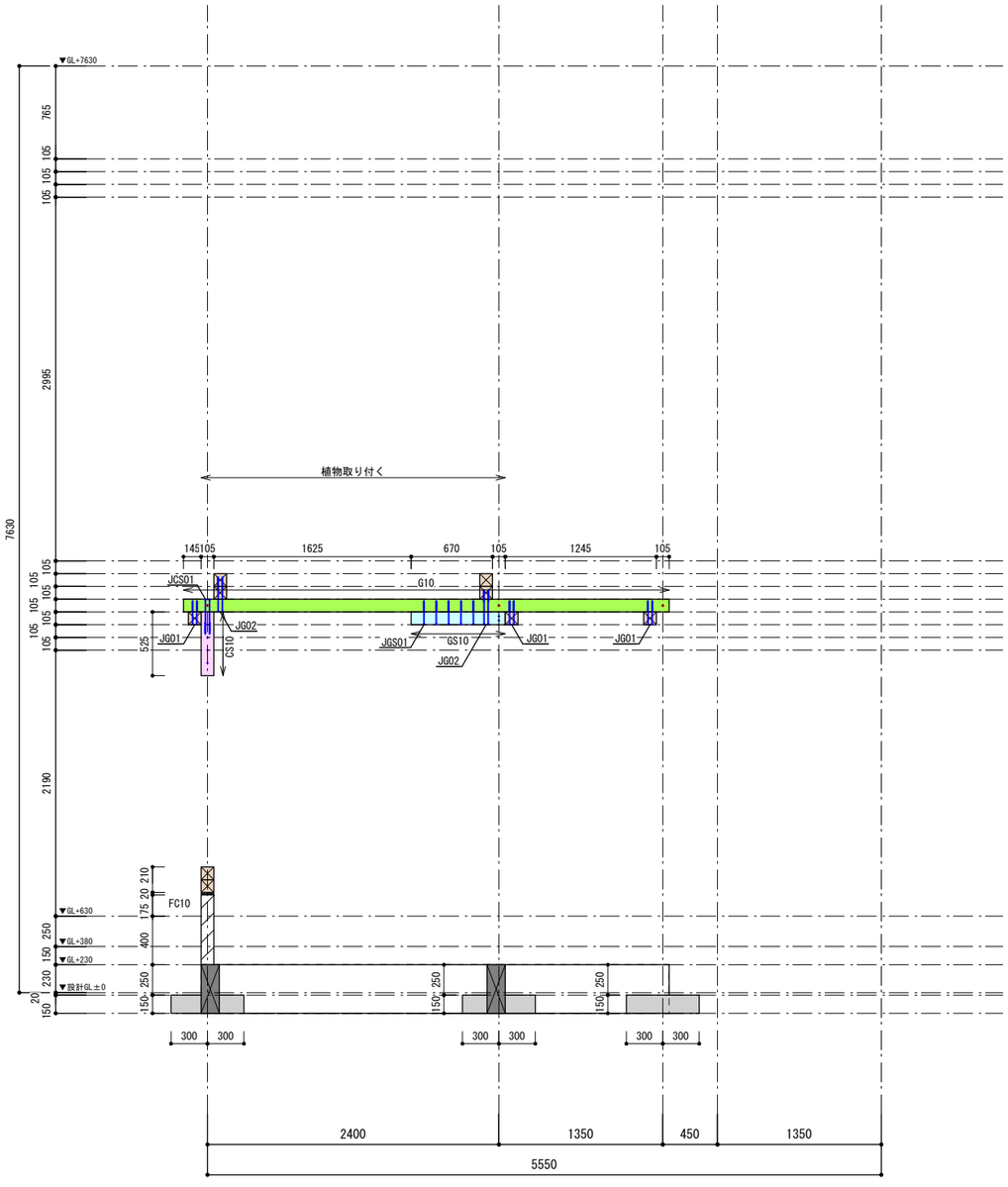
Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第33345号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(20)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-40



X2+105通軸組図
S=1/50

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title	Client / Architect / Engineer	Drawn by / Checked by		Name of Drawing / Scale / Drawing No.
	鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(21) Scale S=1/50 Drawing No. S-41

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

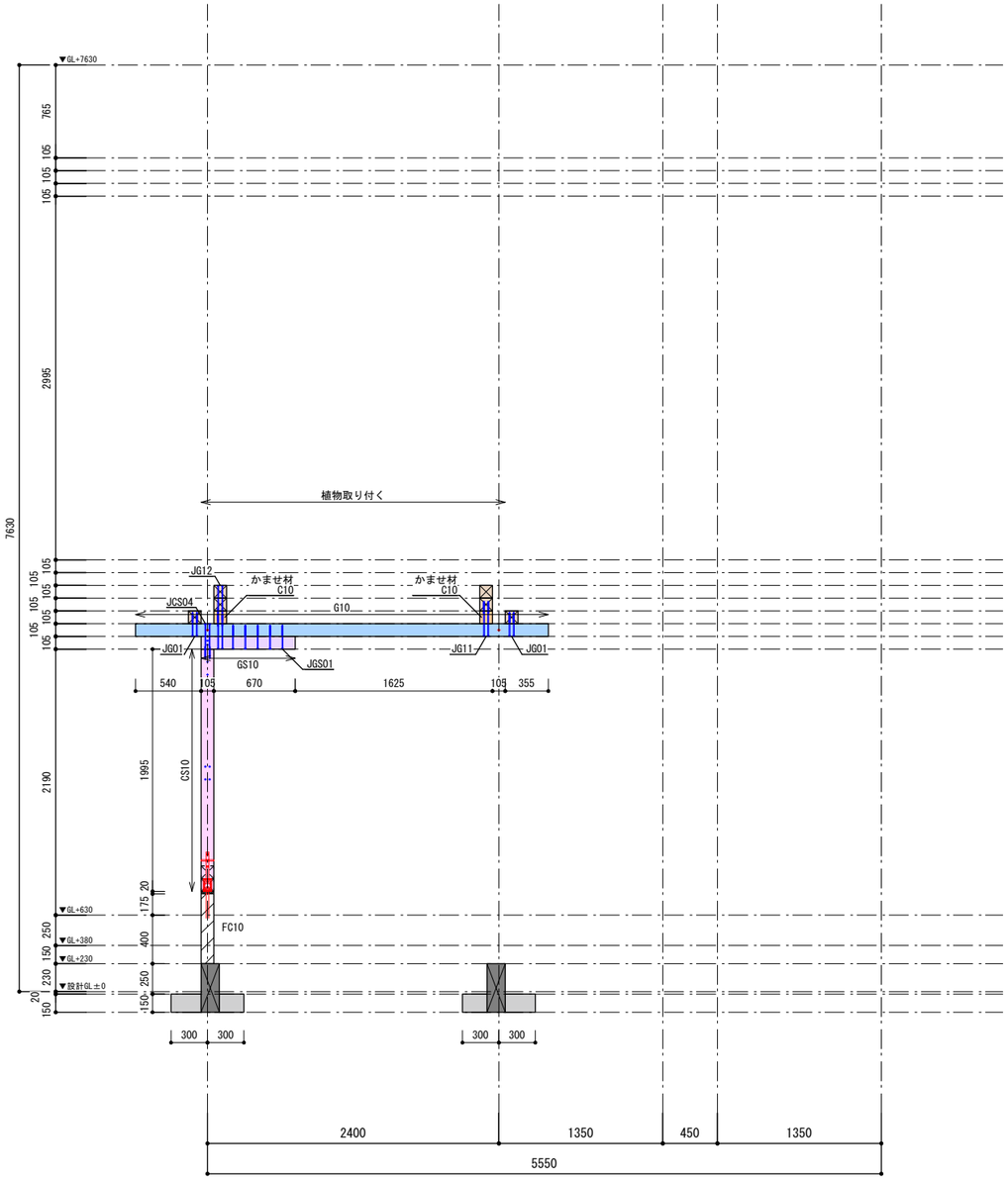
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

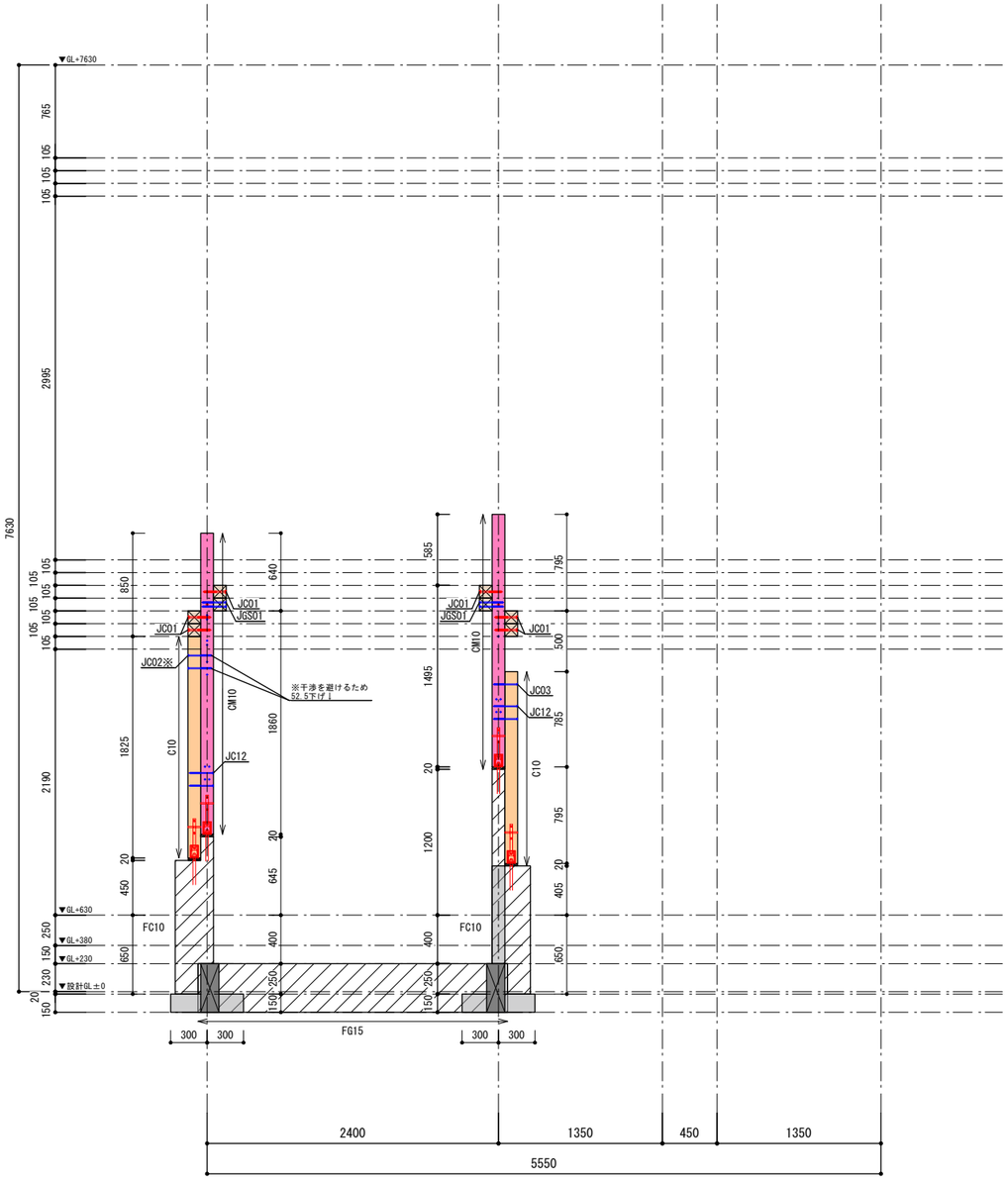
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X3-105通軸組図
S=1/50



X3通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title

鋸南町　観光物産センター改修工事

Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計 設備計画

Drawn by	K. IKUTA
Checked by	N. FURUYA　T. KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing　軸組図(22)

Scale　S=1/50

Drawing No.　S-42

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

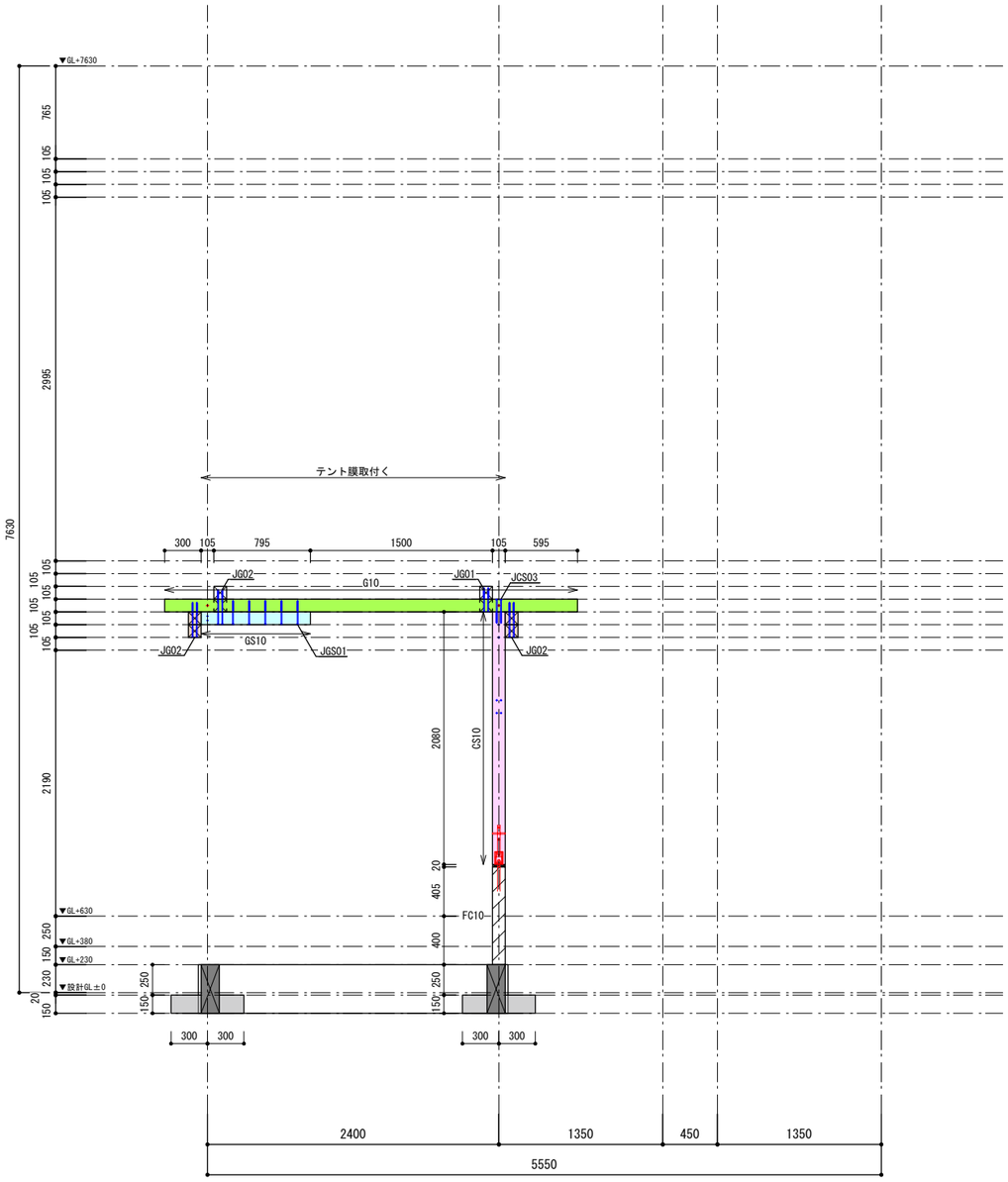
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



X3+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(23)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-43

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

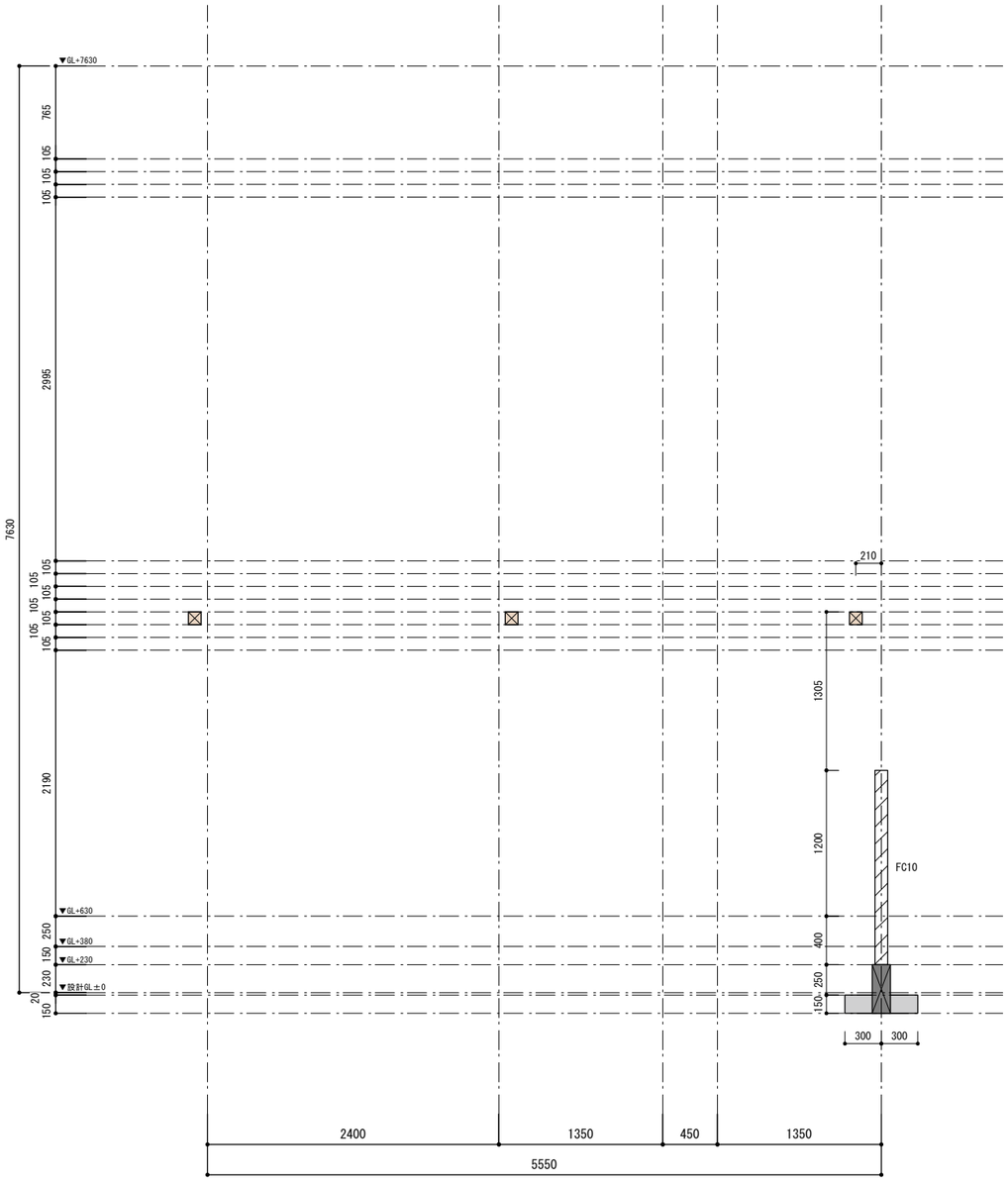
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

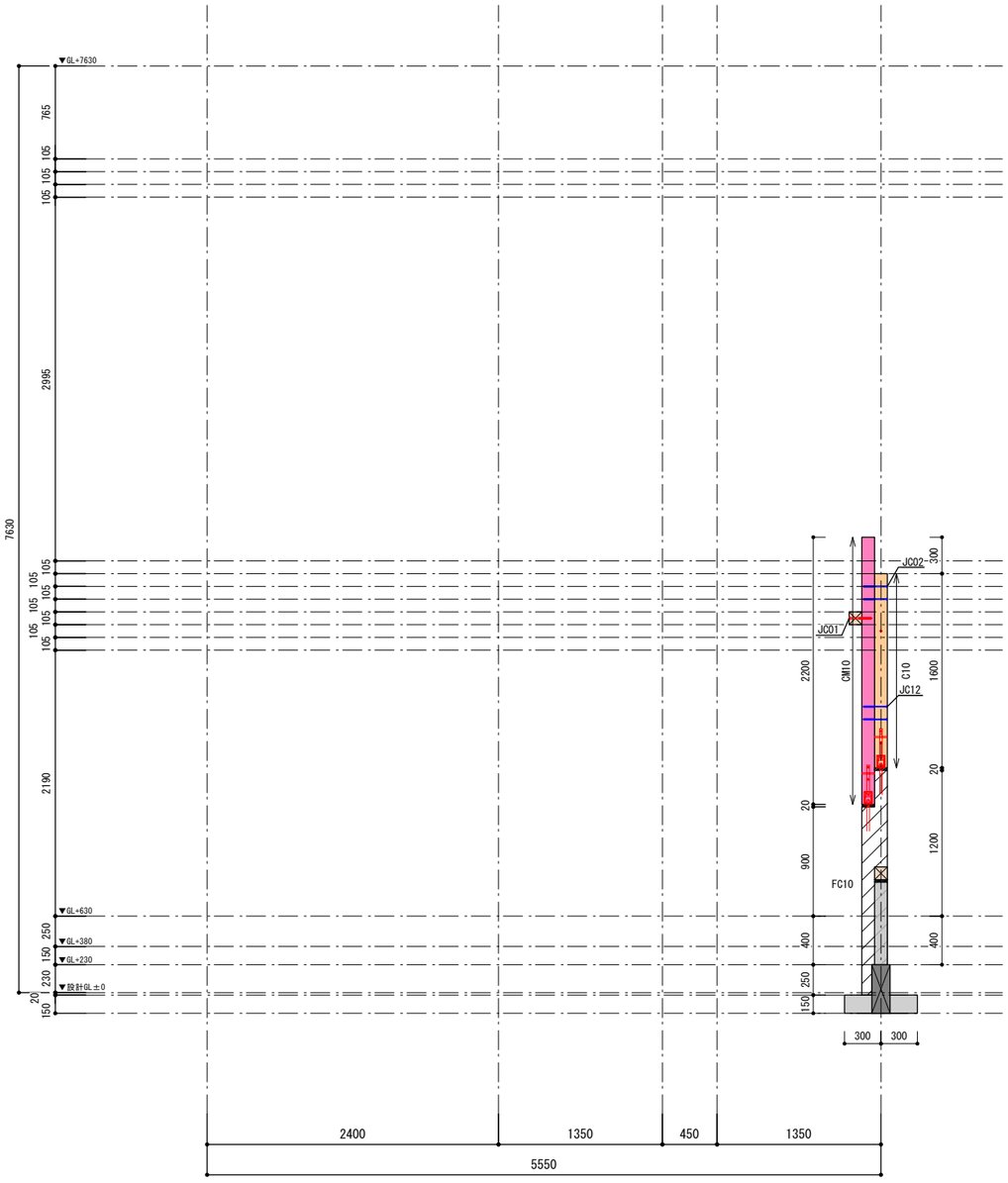
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　　C10 ：■-105x105



X3+2250-105通軸組図(1)
S=1/50



X3+2250通軸組図(2)
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note

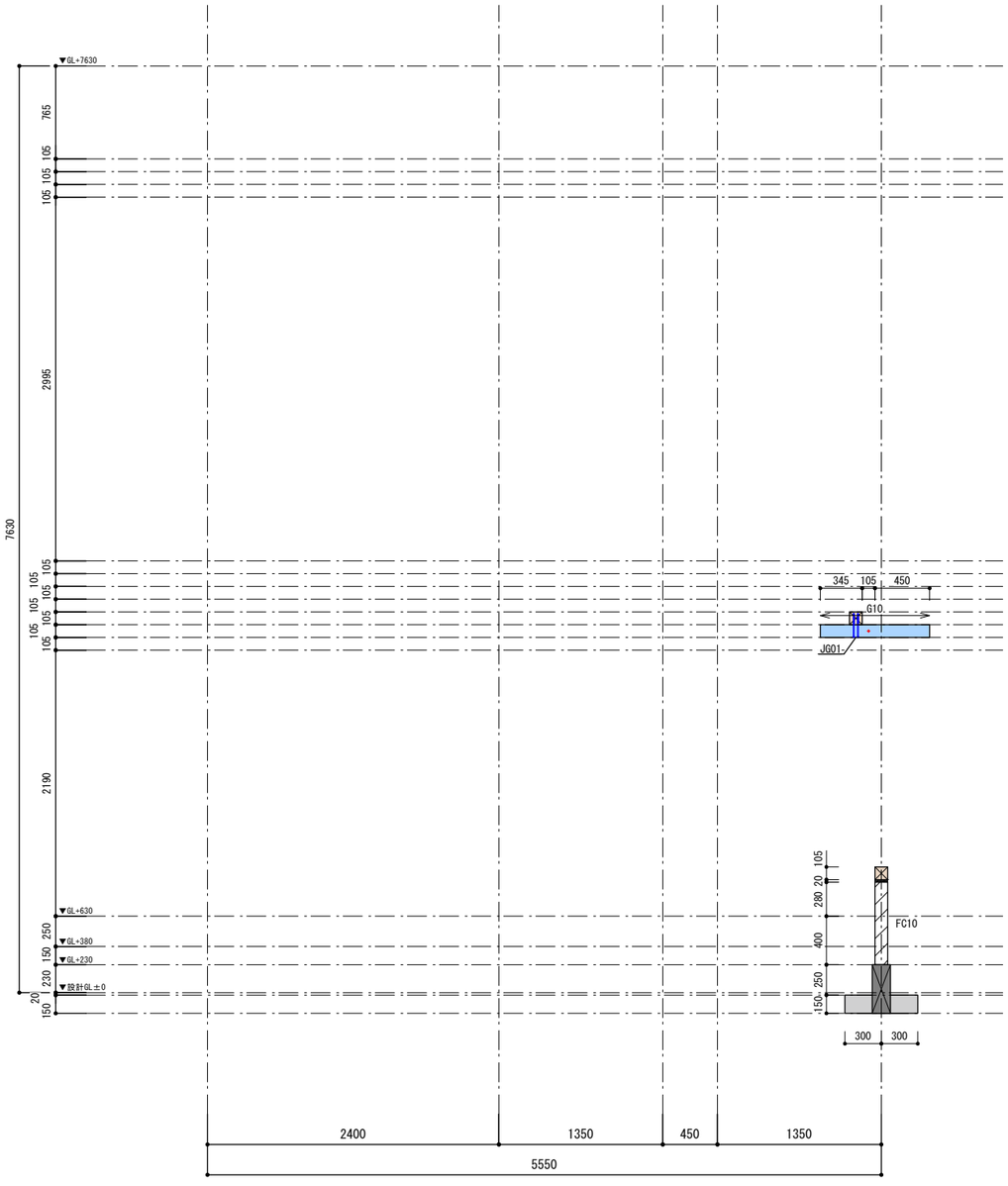
Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
　　設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(24)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-44



X3+2250+105通軸組図(3)
S=1/50

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(25)
Scale S=1/50
Drawing No. S-45

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

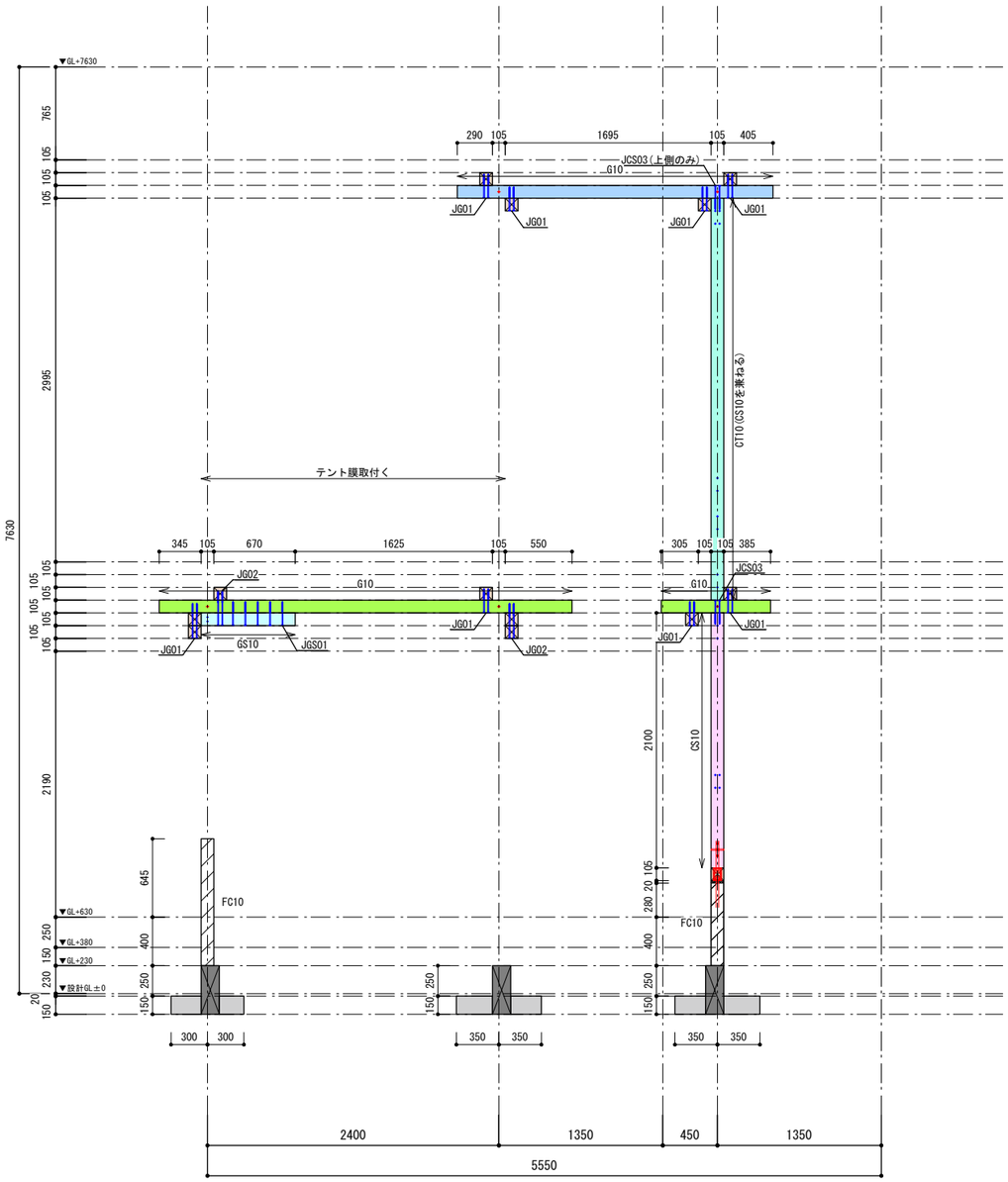
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

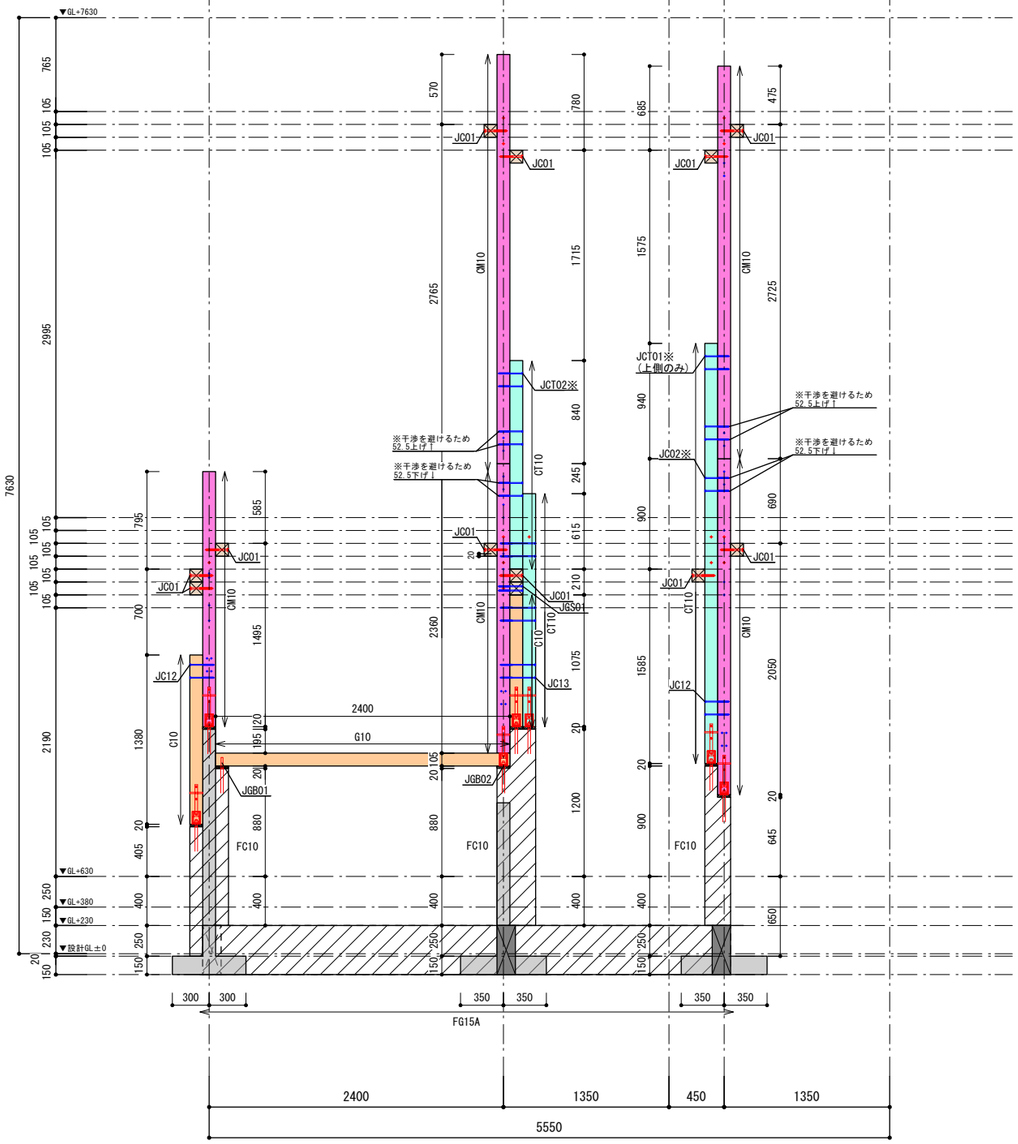
・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X4-105通軸組図
S=1/50



X4通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(26)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-46

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

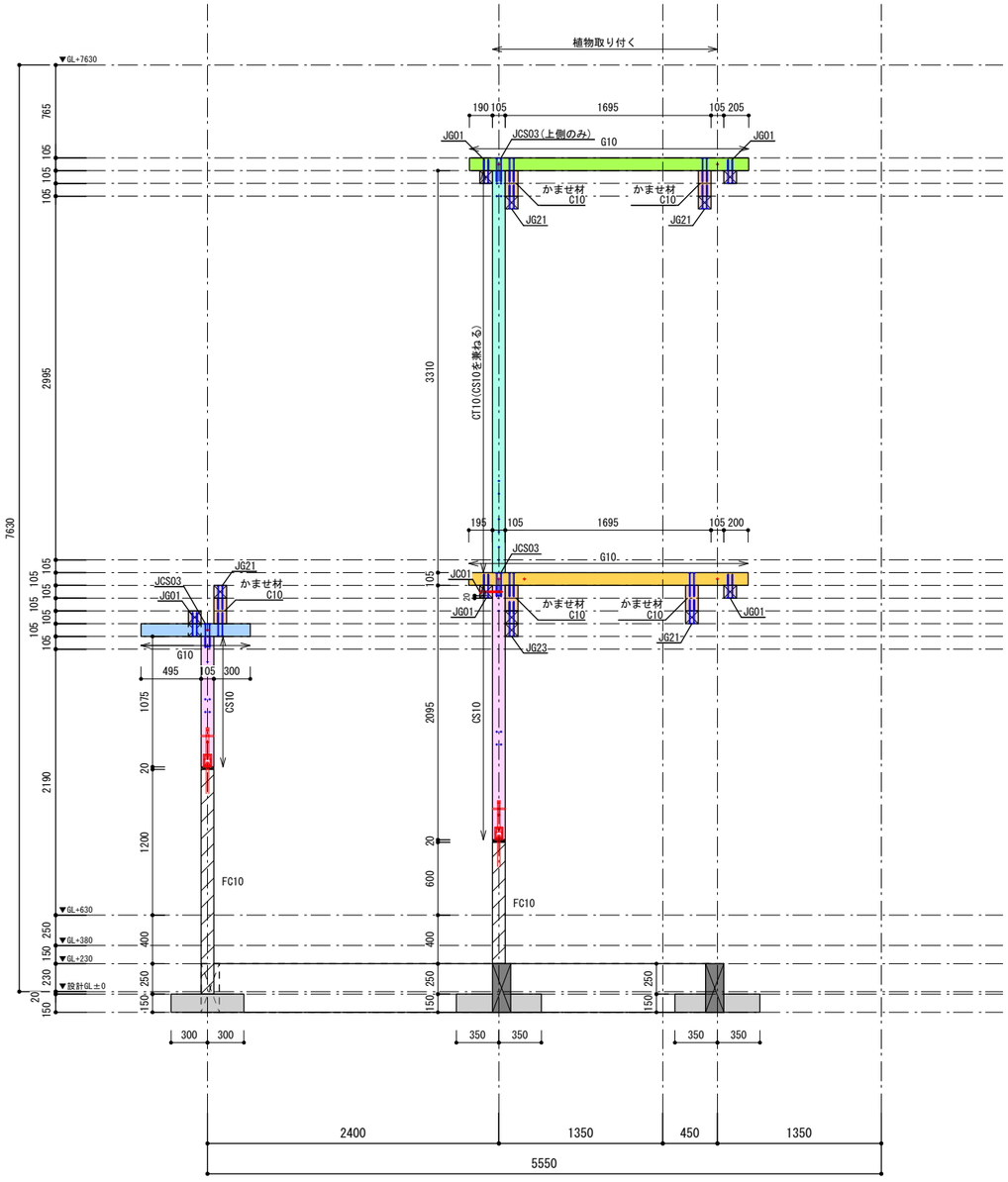
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X4+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 軸組図(27) Scale S=1/50 Drawing No. S-47

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

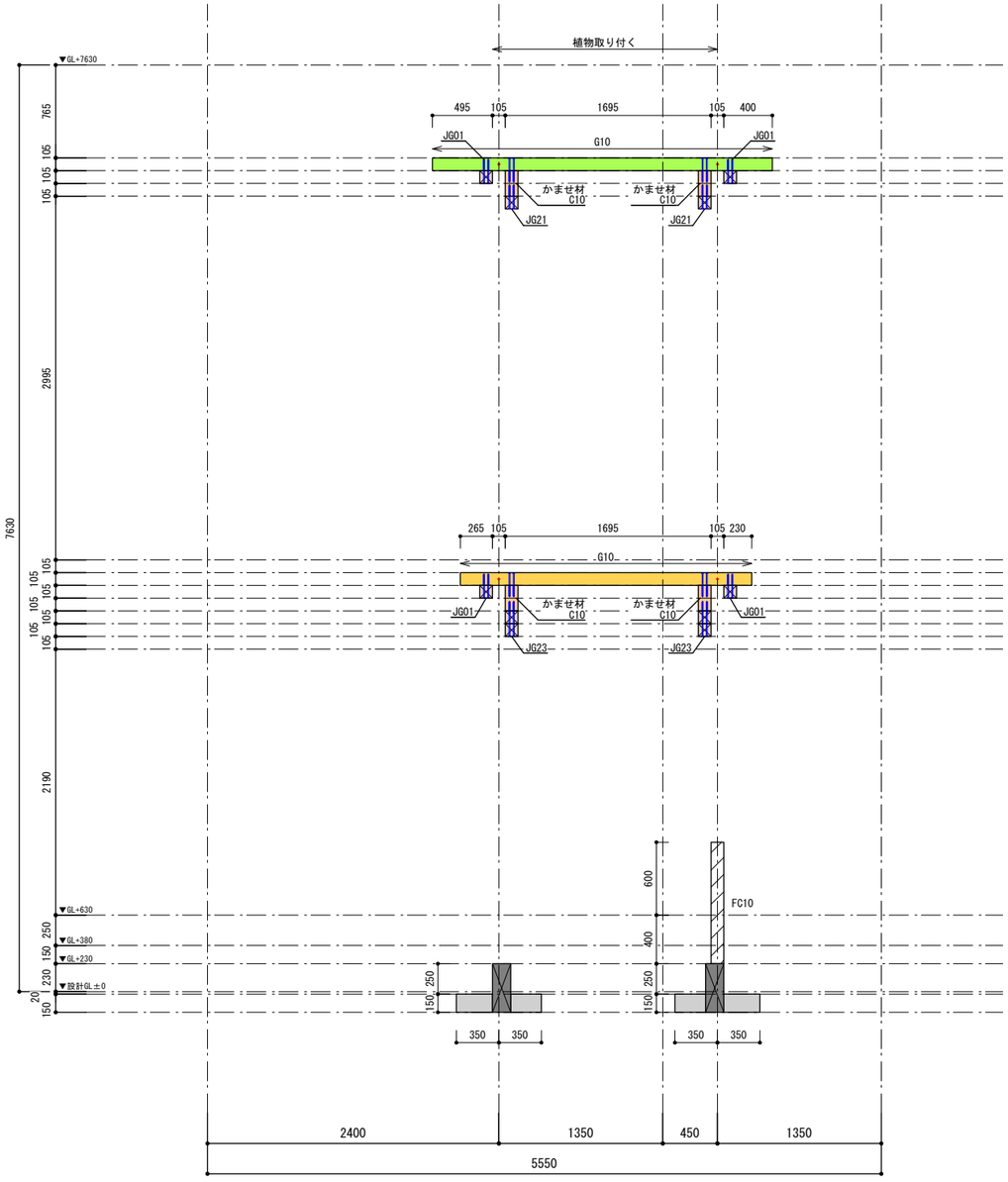
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

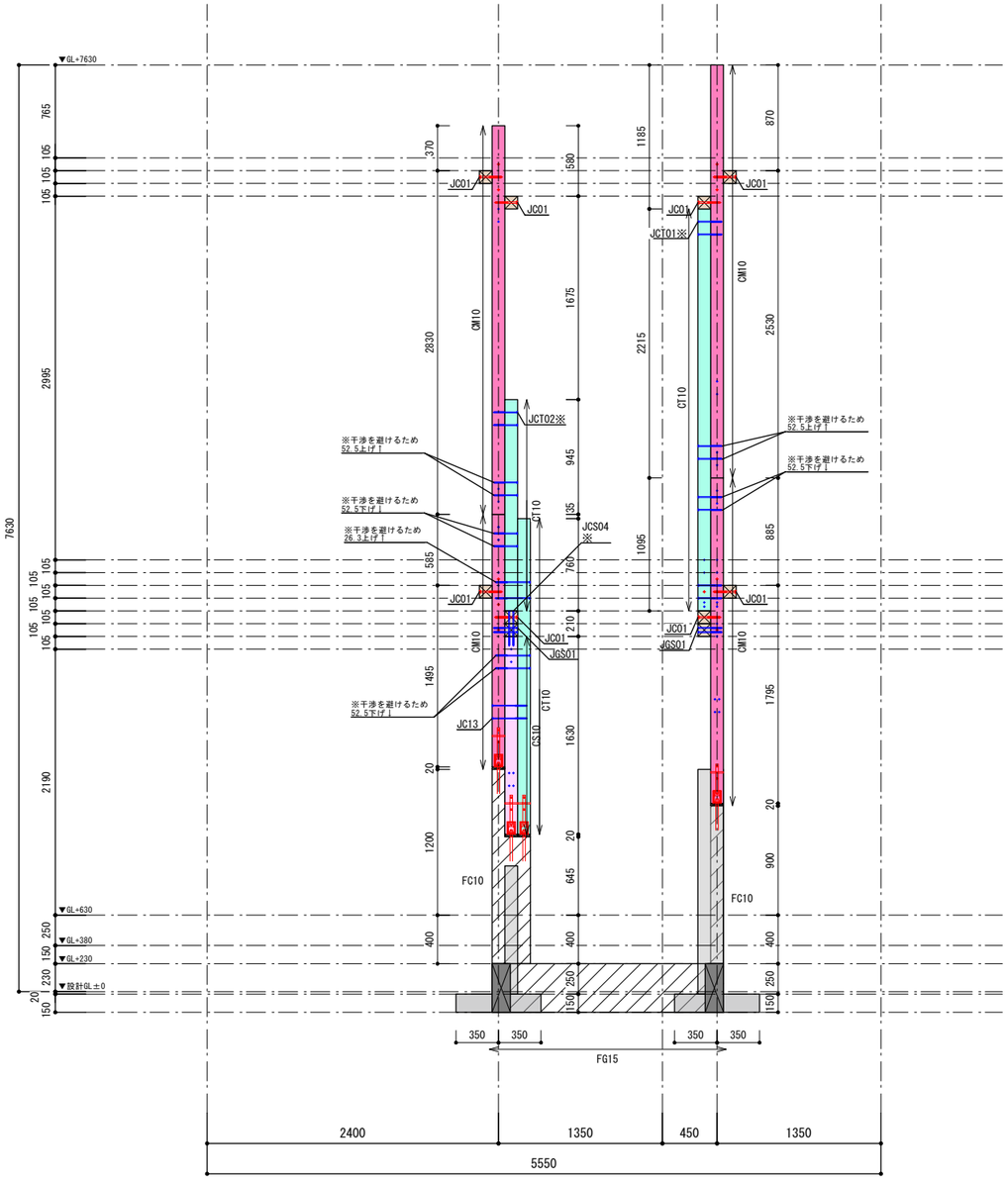
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X5-105通軸組図
S=1/50



X5通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
　　設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(28)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-48

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

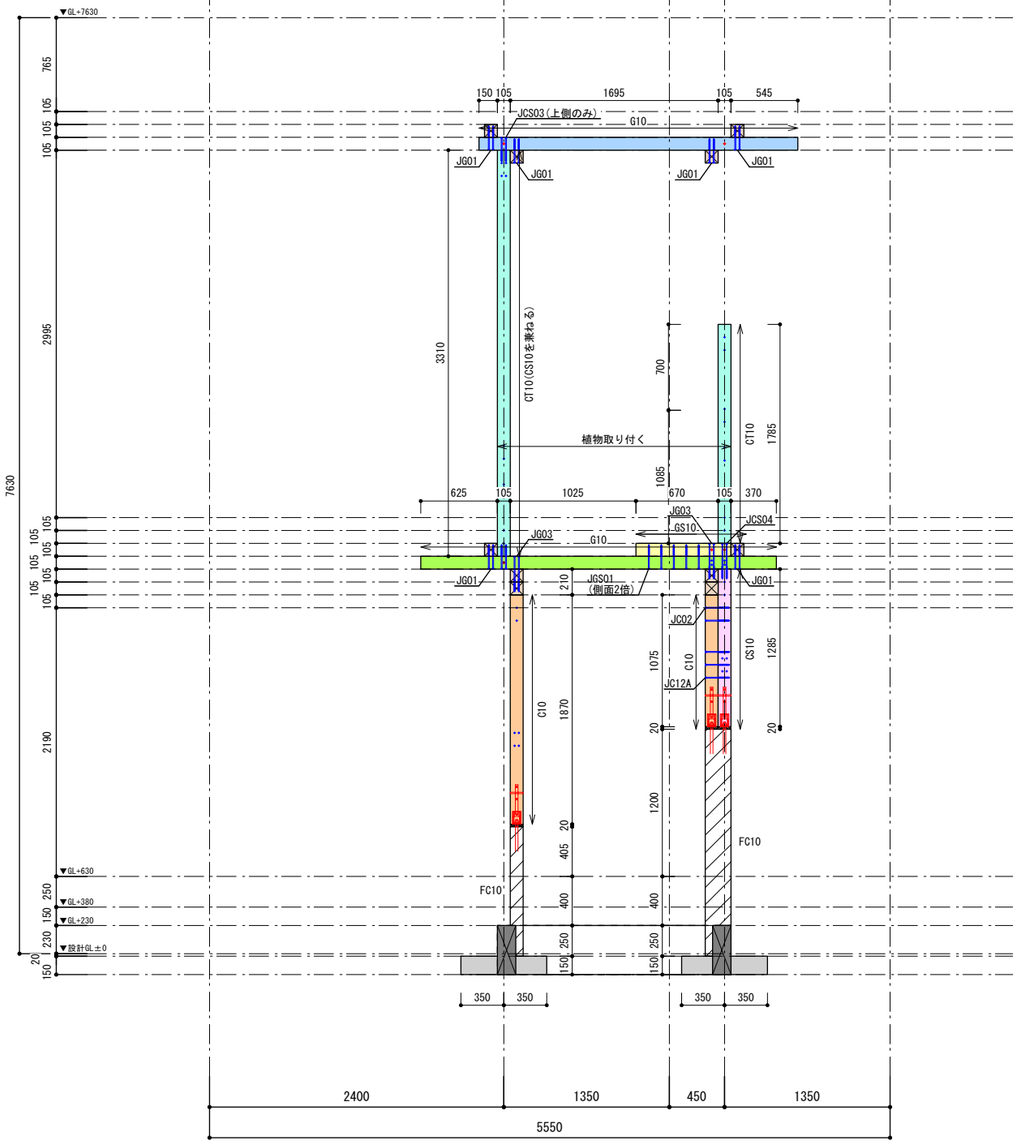
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



X5+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(29)
Scale S=1/50
Drawing No. S-49

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

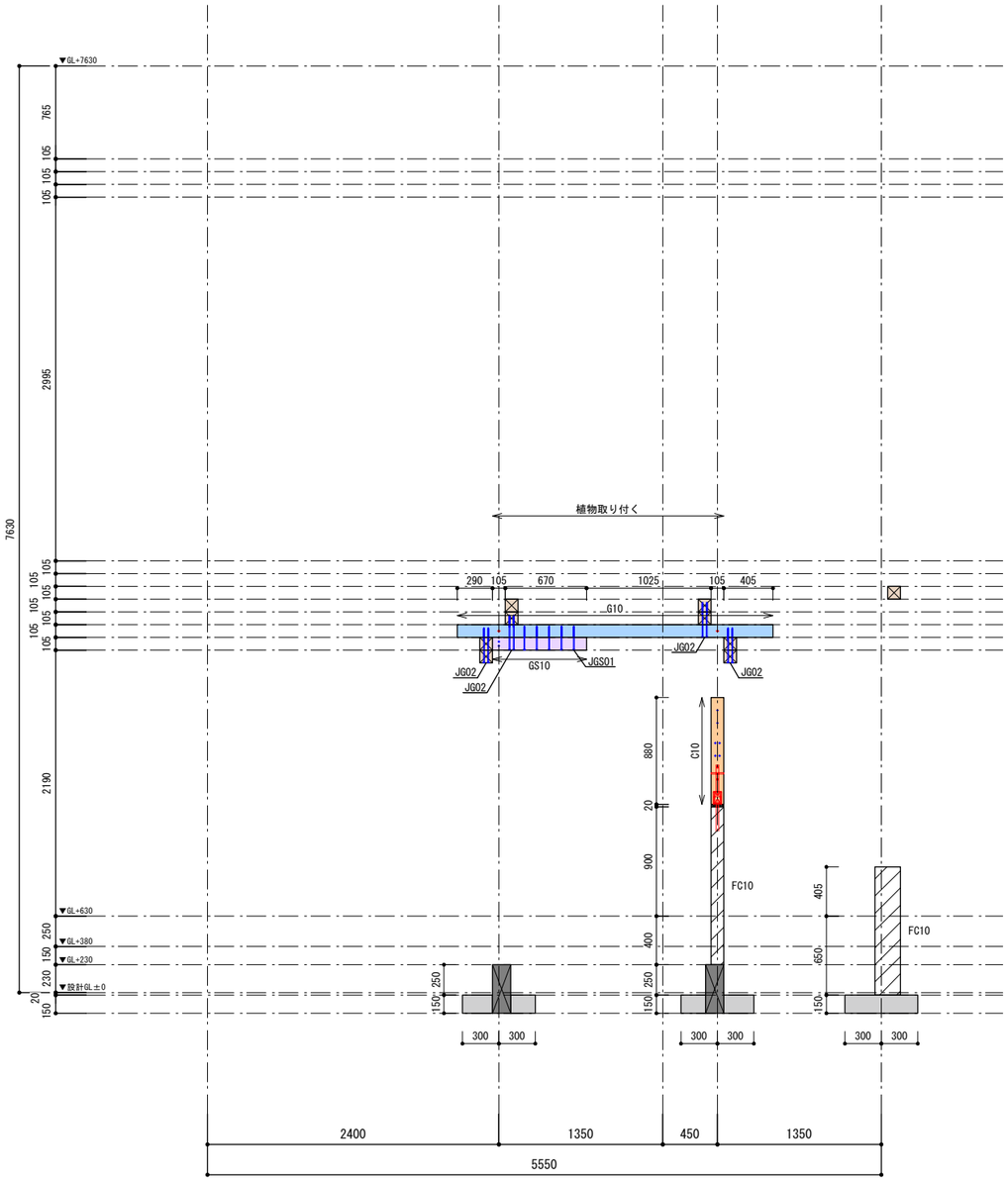
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

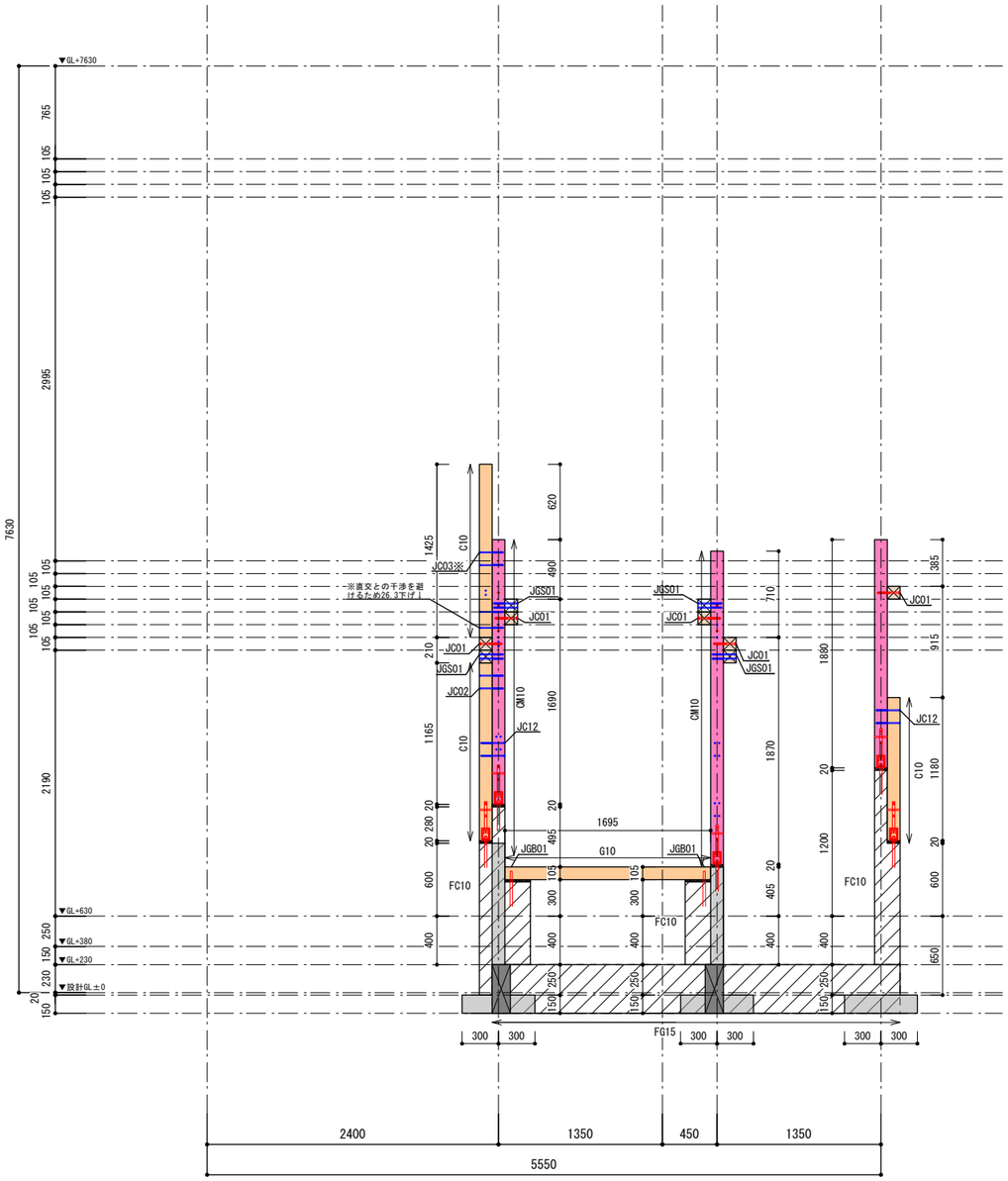
・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X6-105通軸組図
S=1/50



X6通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing 軸組図(30)
Scale S=1/50
Drawing No. S-50

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

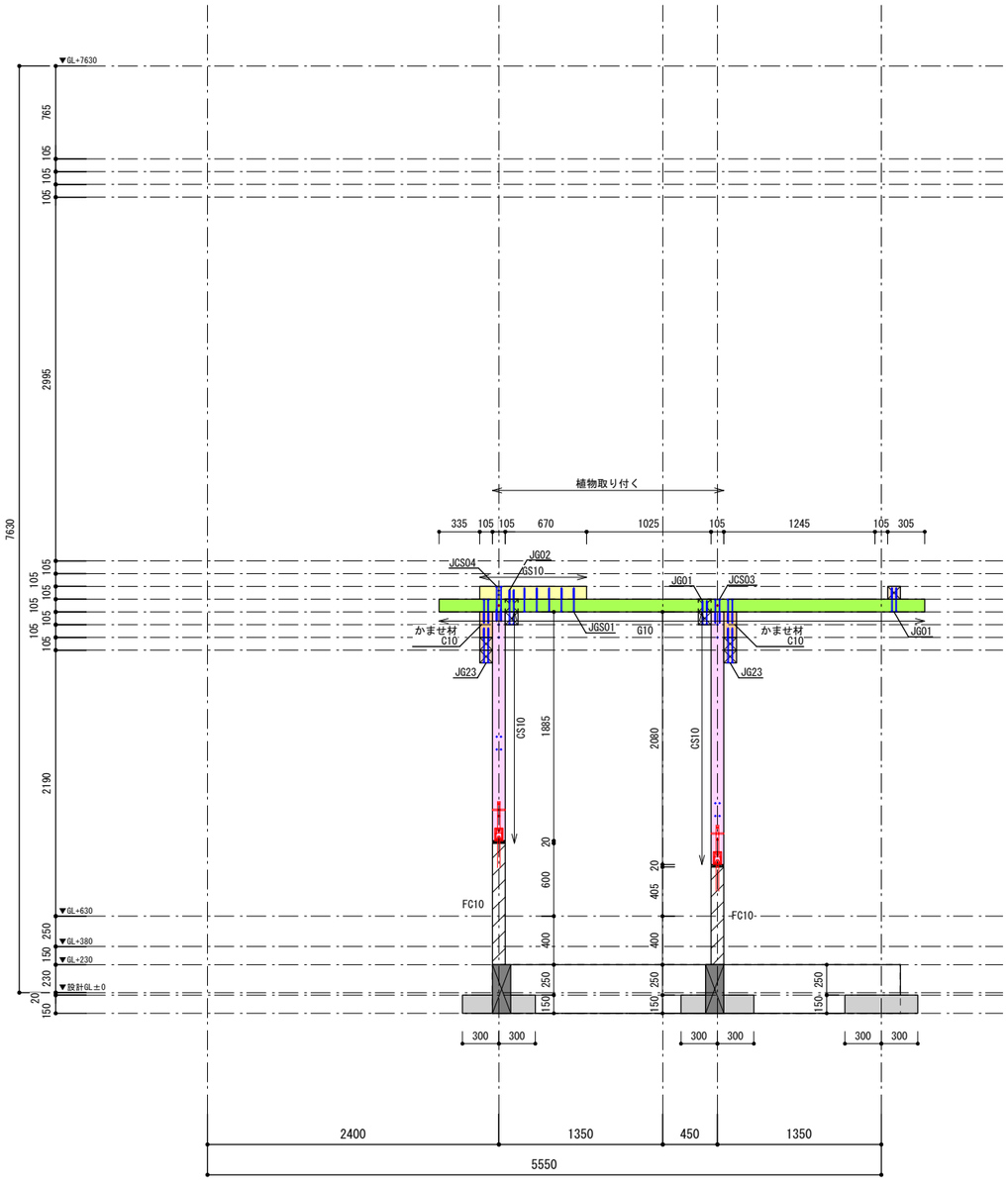
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X6+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(31)
Scale S=1/50
Drawing No. S-51

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925	梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2820	梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2715	梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2610, FL+6235	梁天端=1FL+2085
梁天端=1FL+2505, FL+6130	

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

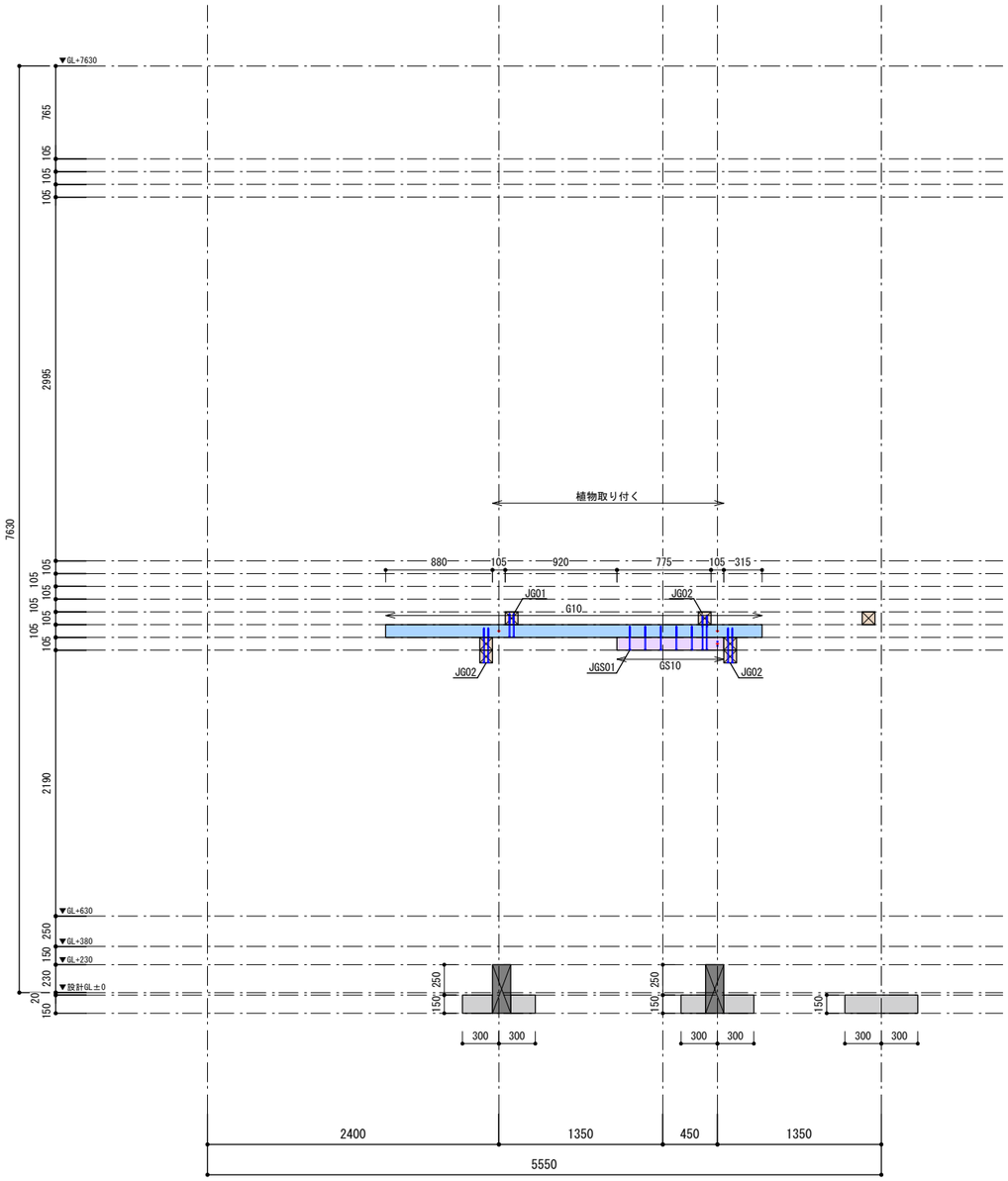
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

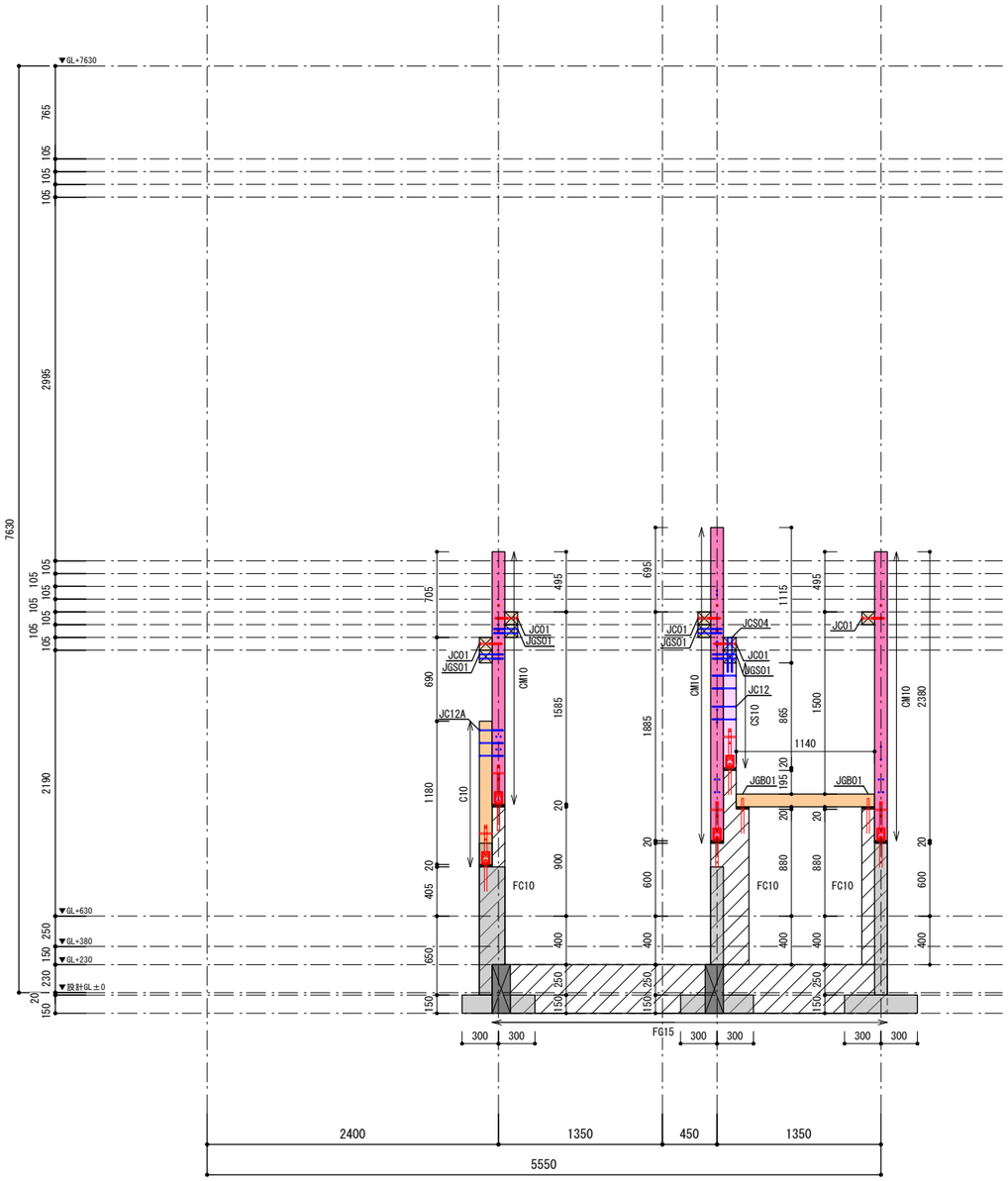
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



X7-105通軸組図
S=1/50

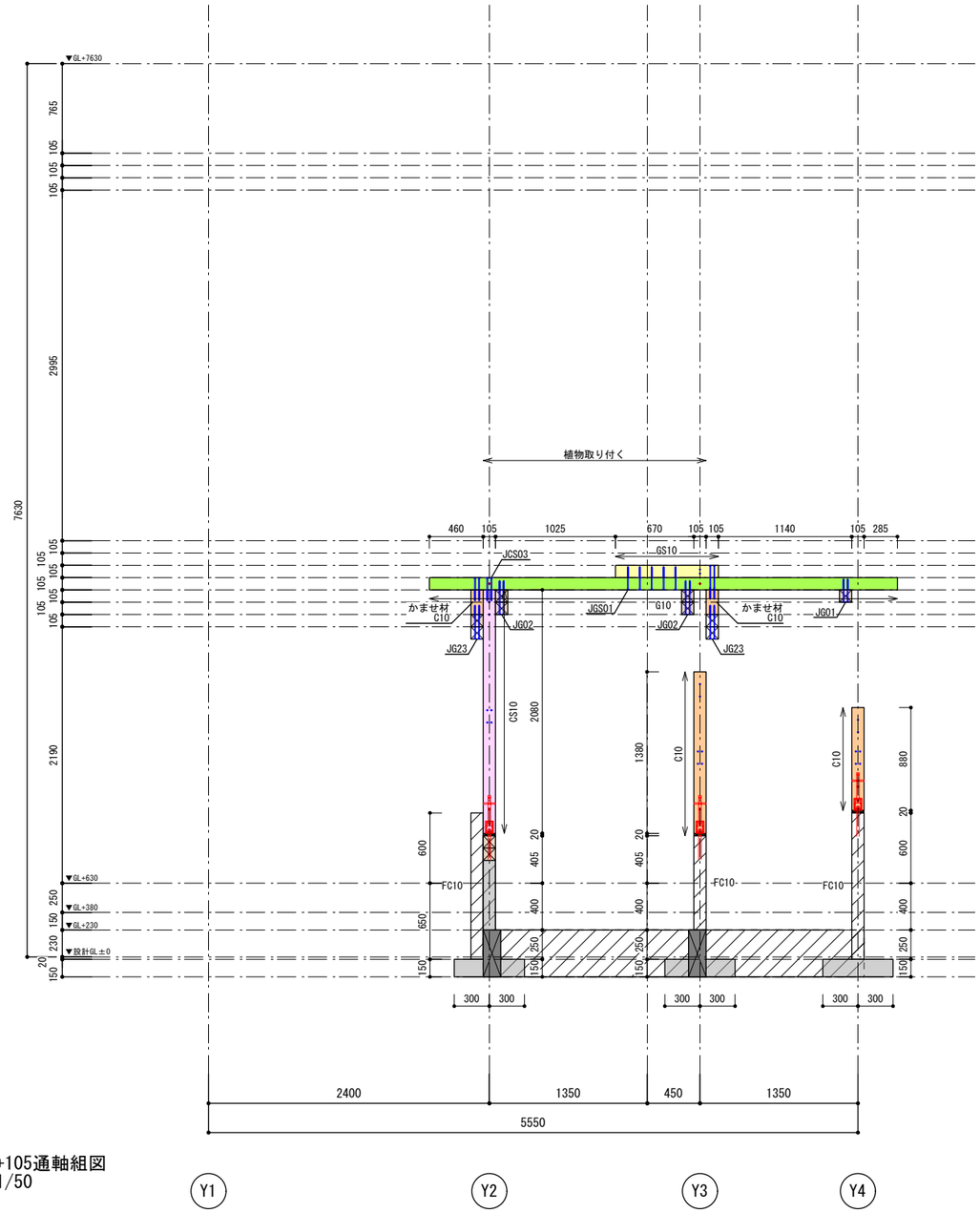


X7通軸組図
S=1/50

Y1　Y2　Y3　Y4

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(32) Scale S=1/50 Drawing No. S-52



X7+105通軸組図
S=1/50

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(33) Scale S=1/50 Drawing No. S-53

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

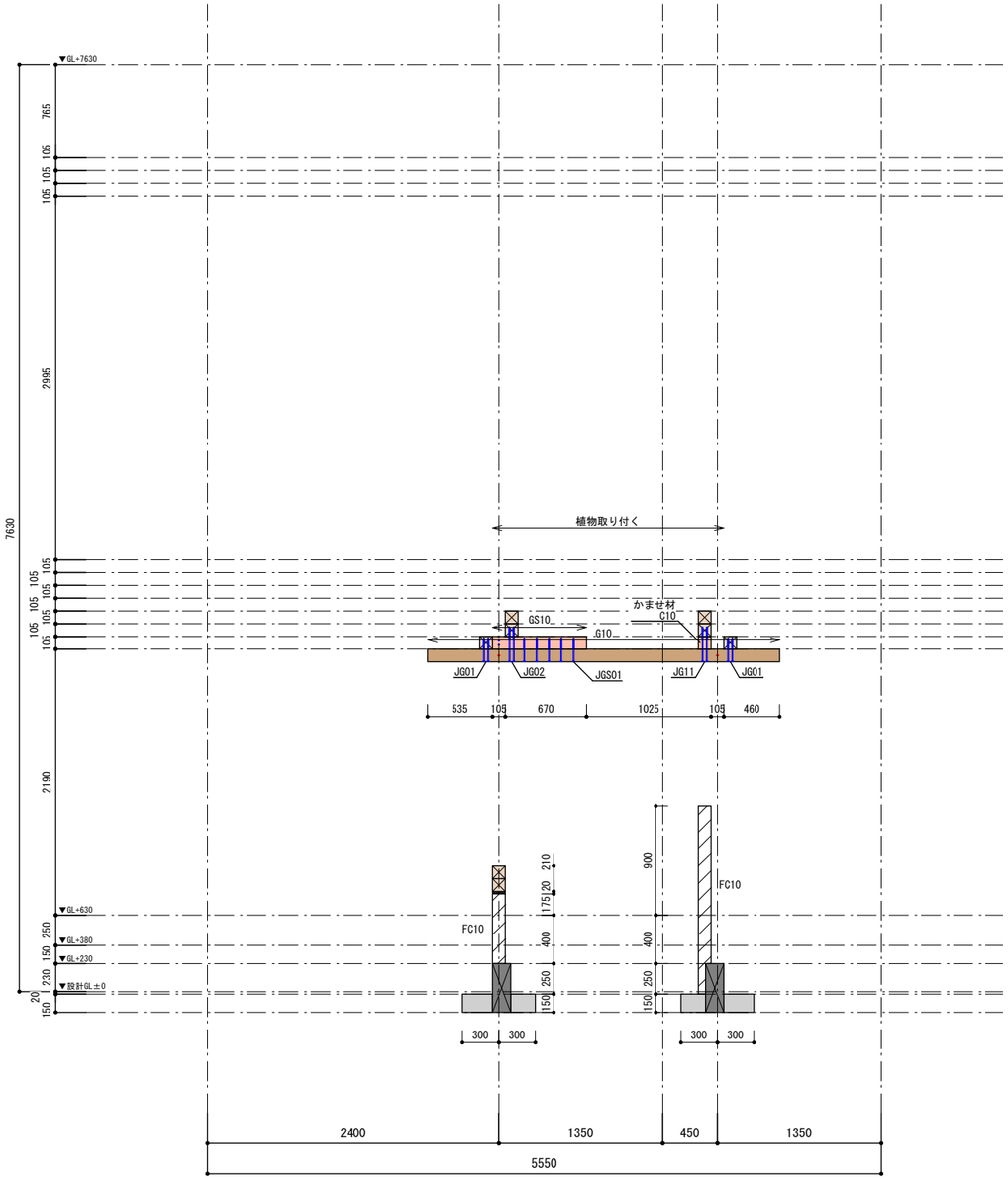
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

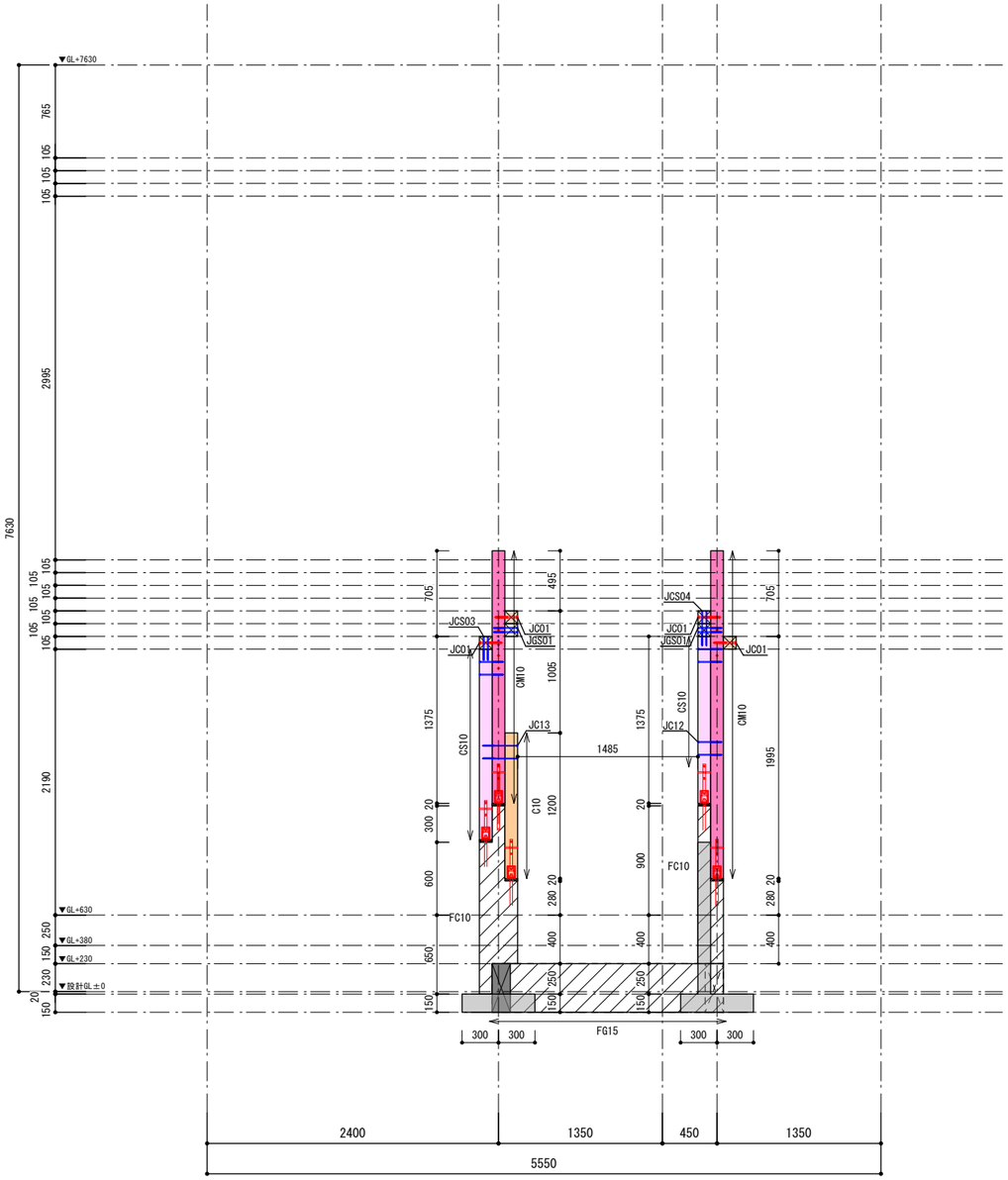
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X8-105通軸組図
S=1/50



X8通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title

鋸南町　観光物産センター改修工事

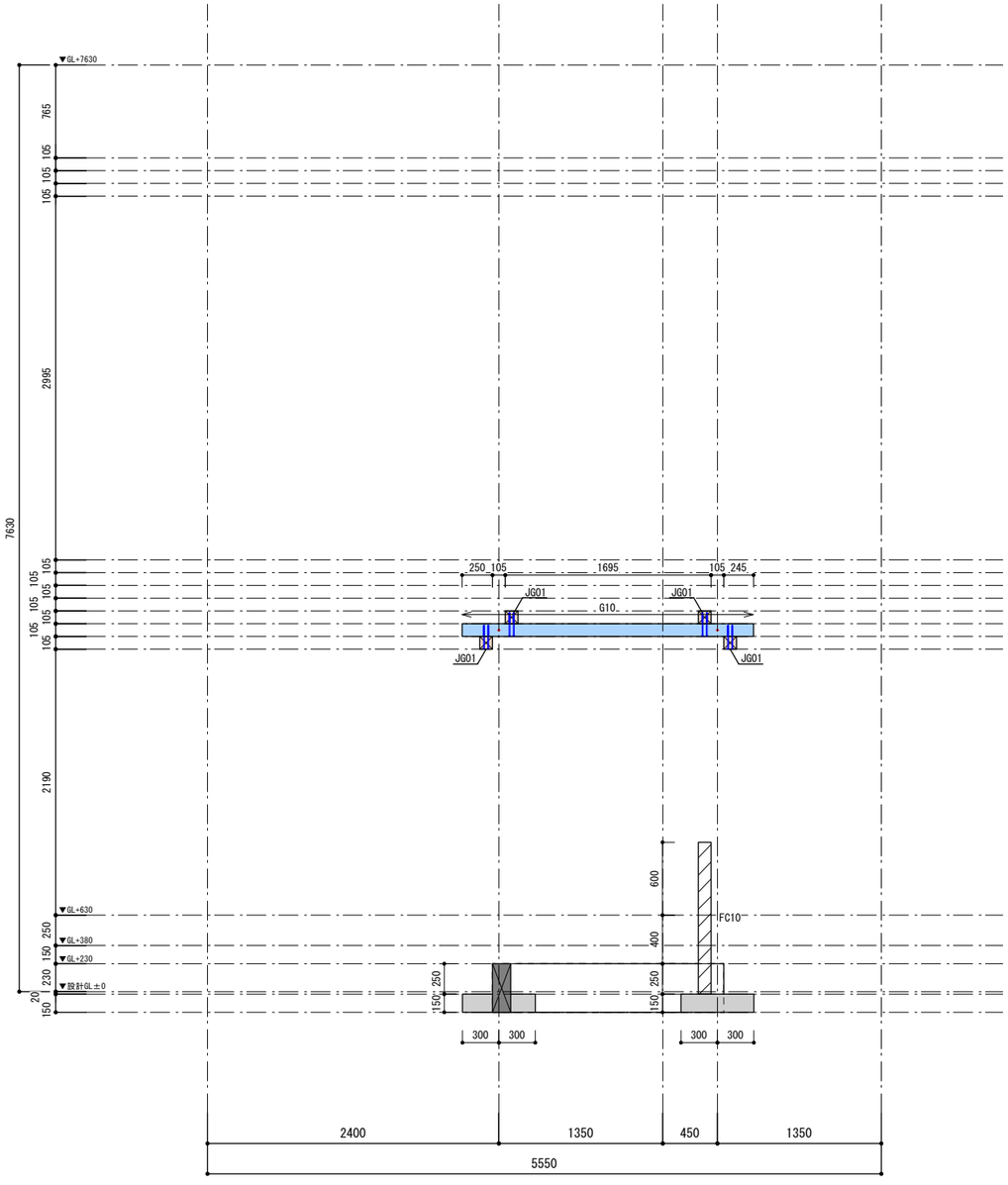
Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画

Drawn by	K. IKUTA
Checked by	N. FURUYA　T. KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date	2025. 02. 26

Name of Drawing	軸組図(34)
Scale	S=1/50
Drawing No.	S-54



X8+105通軸組図
S=1/50

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA　T. KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 軸組図(35) Scale S=1/50 Drawing No. S-55

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

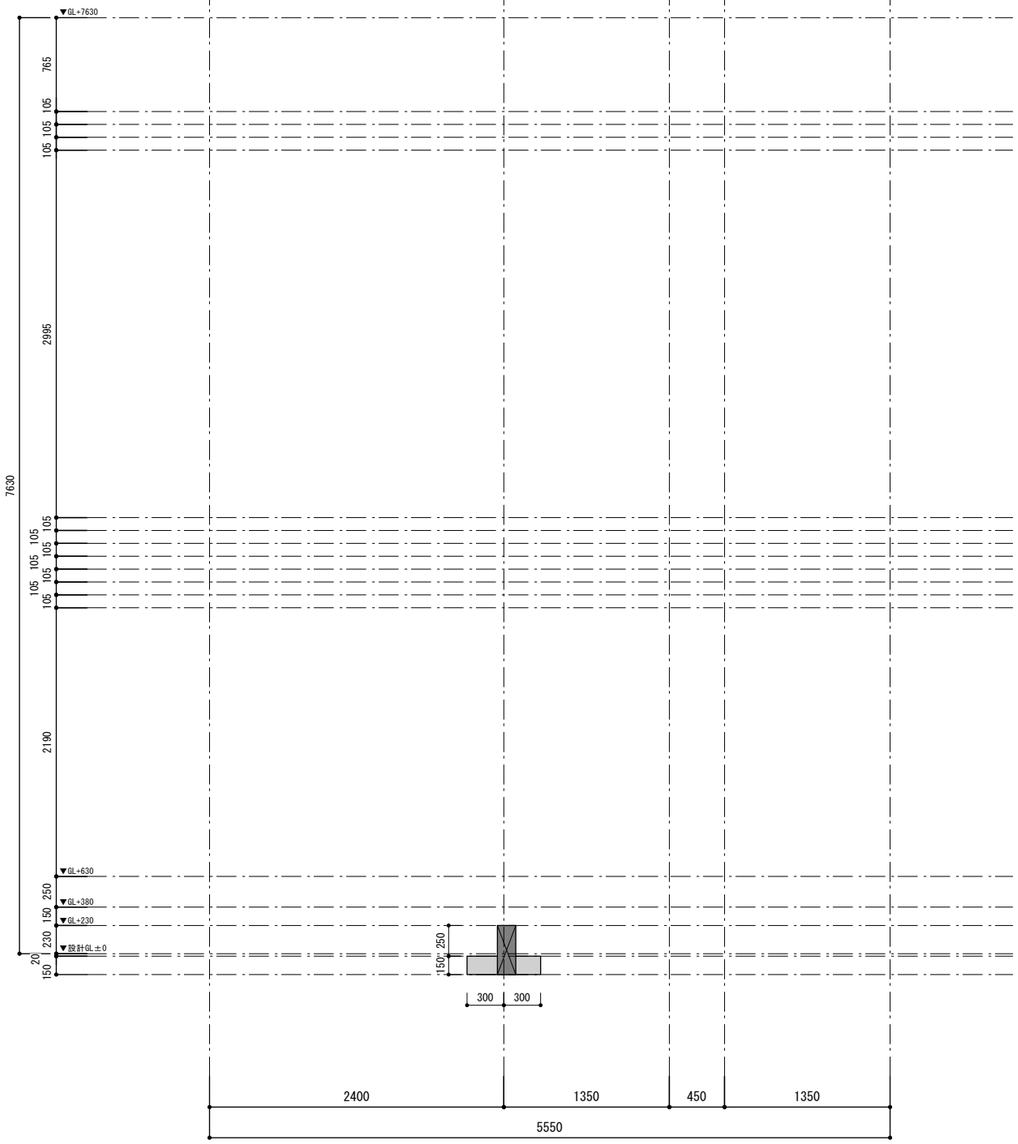
- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

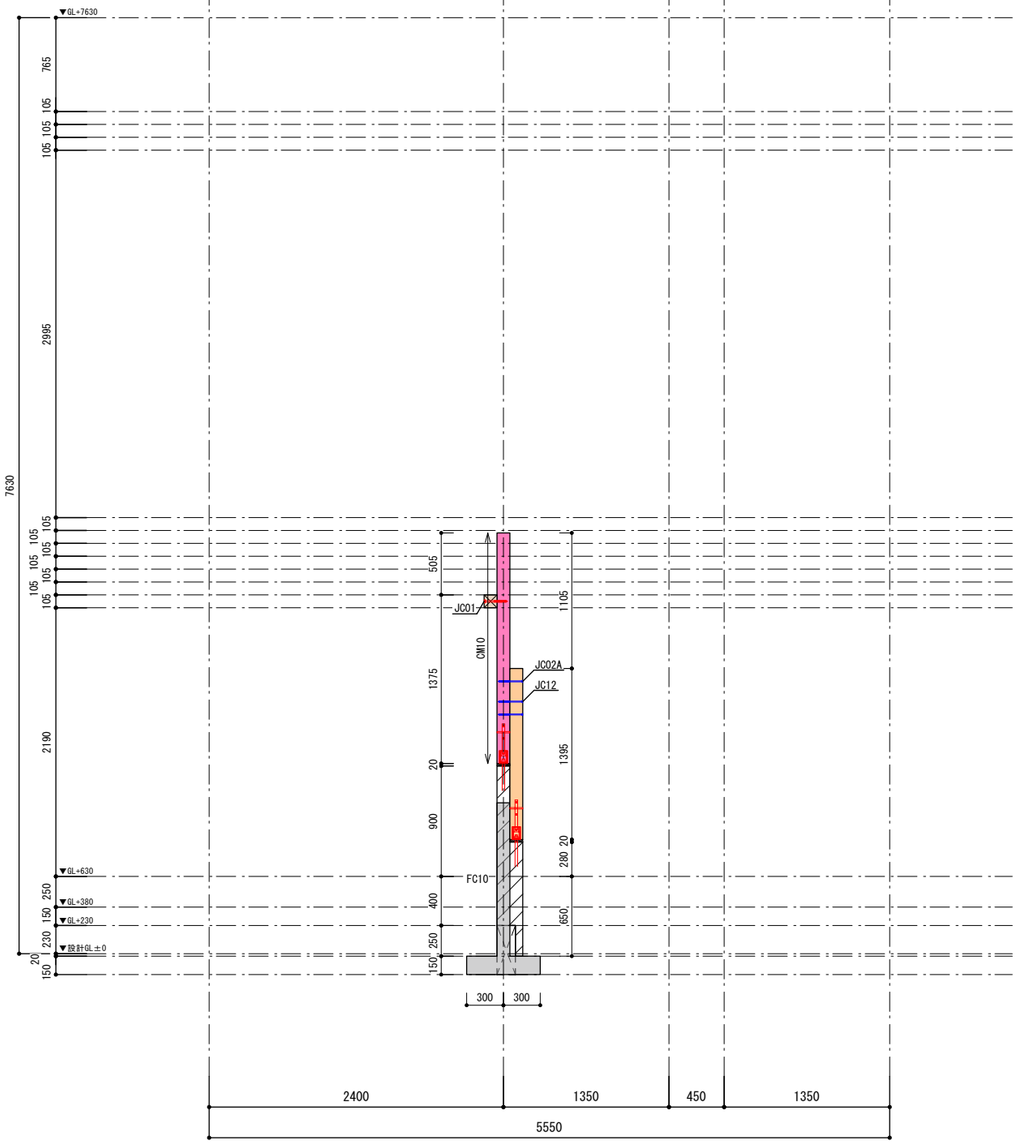
- ・梁
  G10 ：■-105x105
- ・梁補強材
  GS10:■-105x105
- ・主柱
  CM10:■-105x105
- ・袖柱
  C10 ：■-105x105
- ・柱補強材
  CS10:■-105x105
- ・柱継手補強材
  CT10:■-105x105
- ・フーチング
  S15 ：t=150 600x600
- ・基礎柱
  FC10:105x105単位
  （フーチング有り）
- ・基礎梁
  FG15:150x400

［特記外］

柱　C10 ：■-105x105



X8+1900-105通軸組図
S=1/50



X8+1900通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title

鋸南町　観光物産センター改修工事

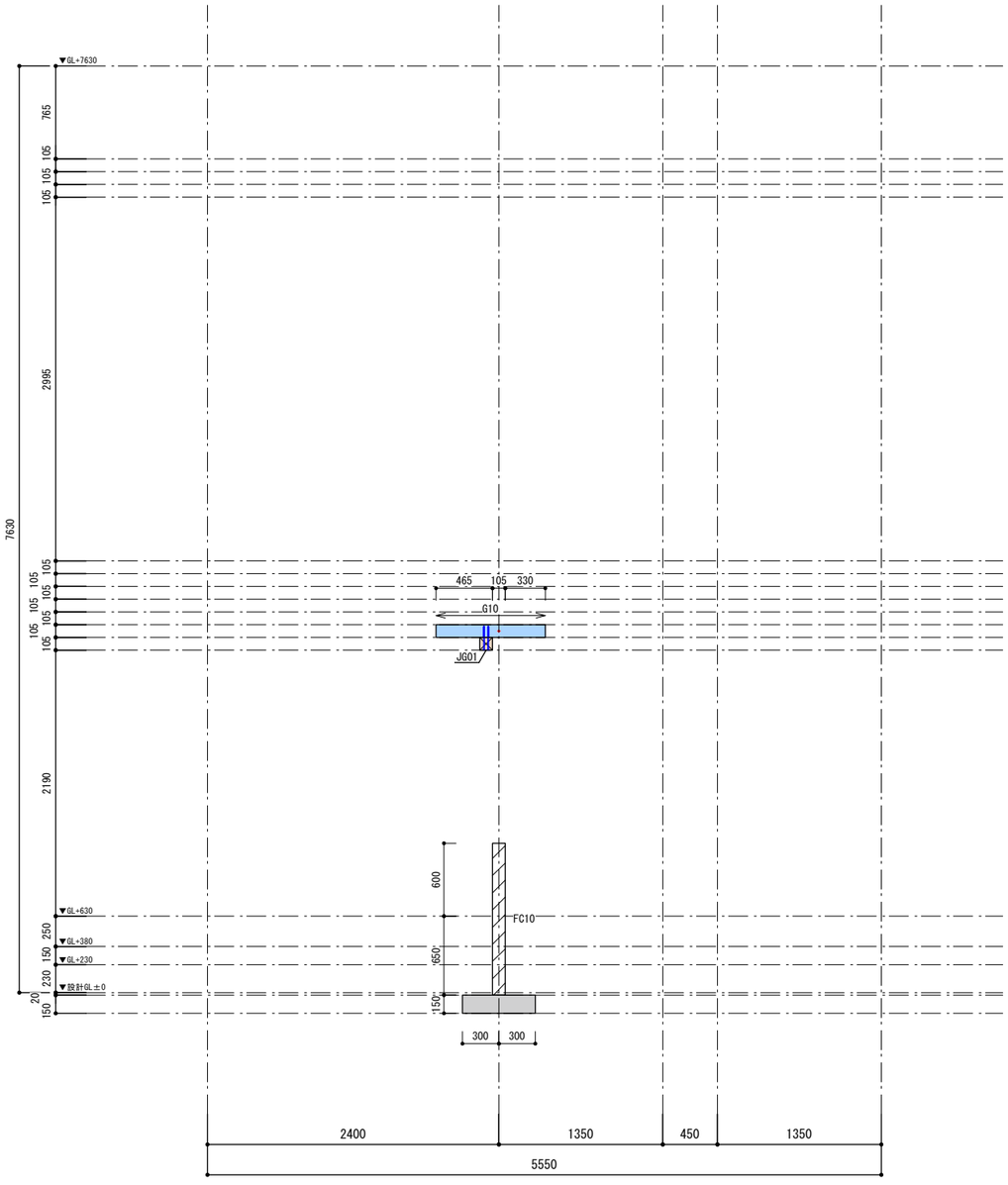
Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画

Drawn by	K. IKUTA
Checked by	N. FURUYA　T. KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing	軸組図(36)
Scale	S=1/50
Drawing No.	S-56



X8+1900+105通軸組図
S=1/50

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA　T. KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 軸組図(37) Scale S=1/50 Drawing No. S-57

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

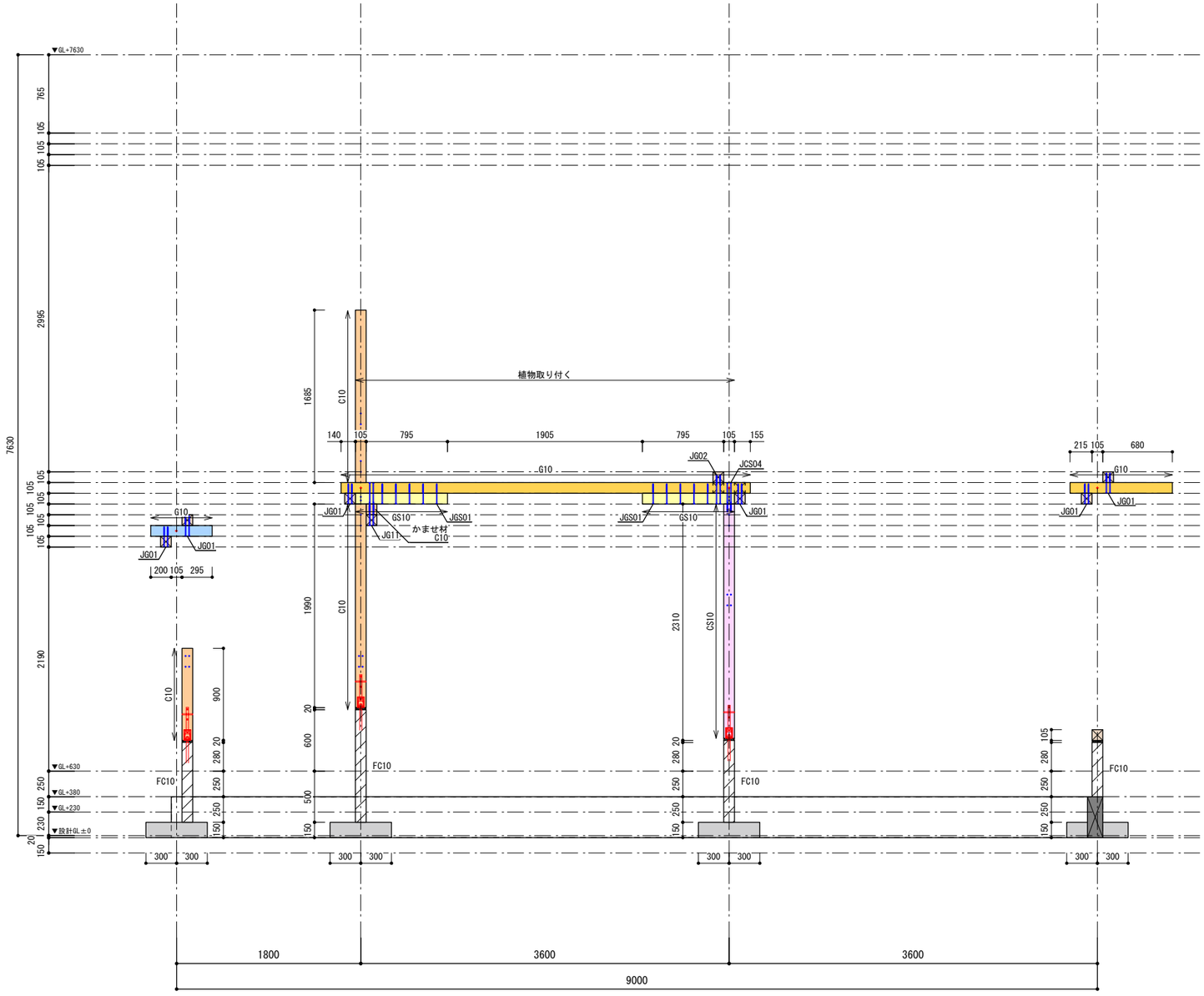
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y5-105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(38)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-58

［凡例］

：下階柱

：当該柱

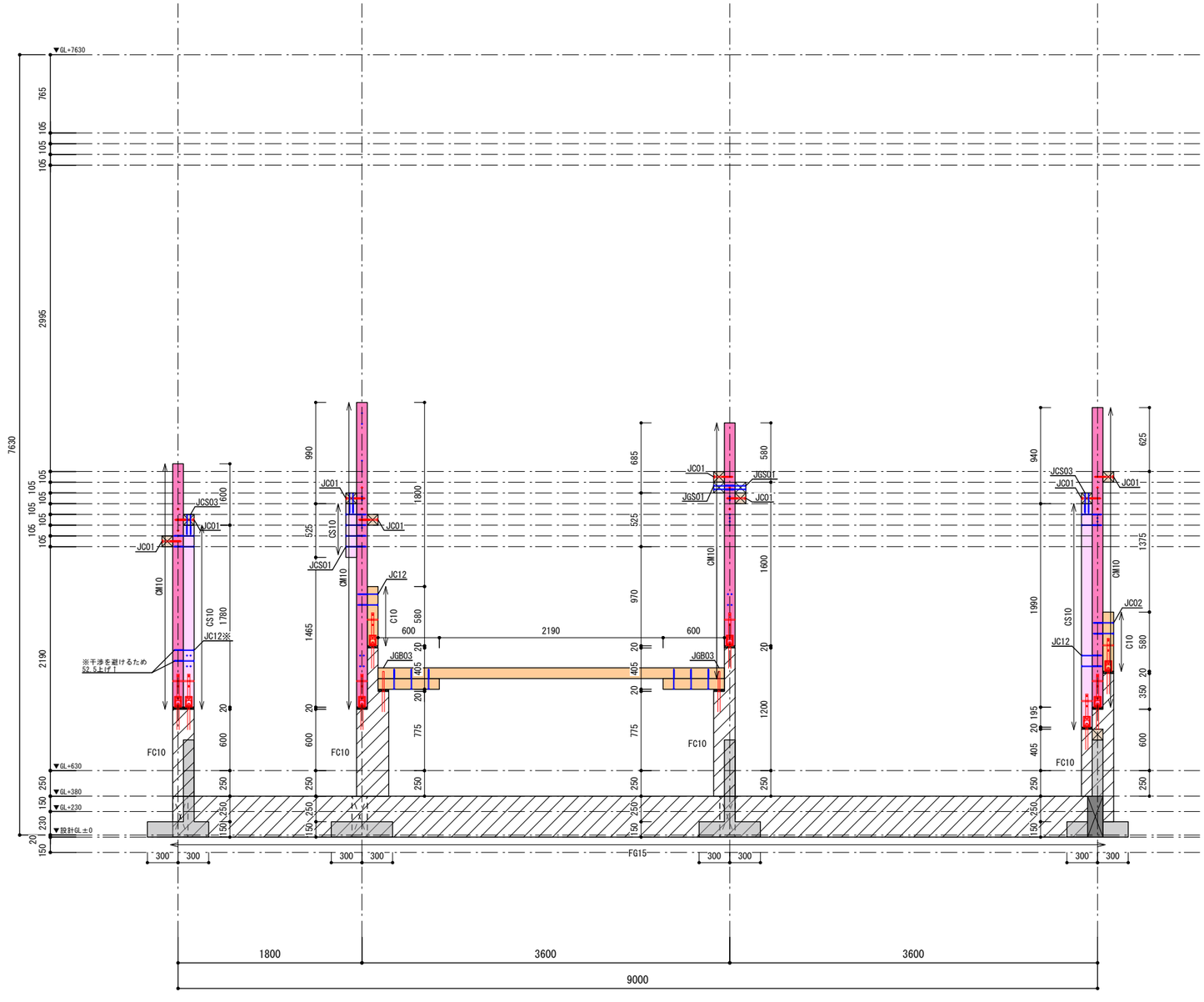
［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

- ・梁
  G10 ：■-105x105
- ・梁補強材
  GS10:■-105x105
- ・主柱
  CM10:■-105x105
- ・袖柱
  C10 ：■-105x105
- ・柱補強材
  CS10:■-105x105
- ・柱継手補強材
  CT10:■-105x105
- ・フーチング
  S15 ：t=150 600x600
- ・基礎柱
  FC10:105x105単位
  （フーチング有り）
- ・基礎梁
  FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



Y5通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第33345号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(39) Scale S=1/50 Drawing No. S-59

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

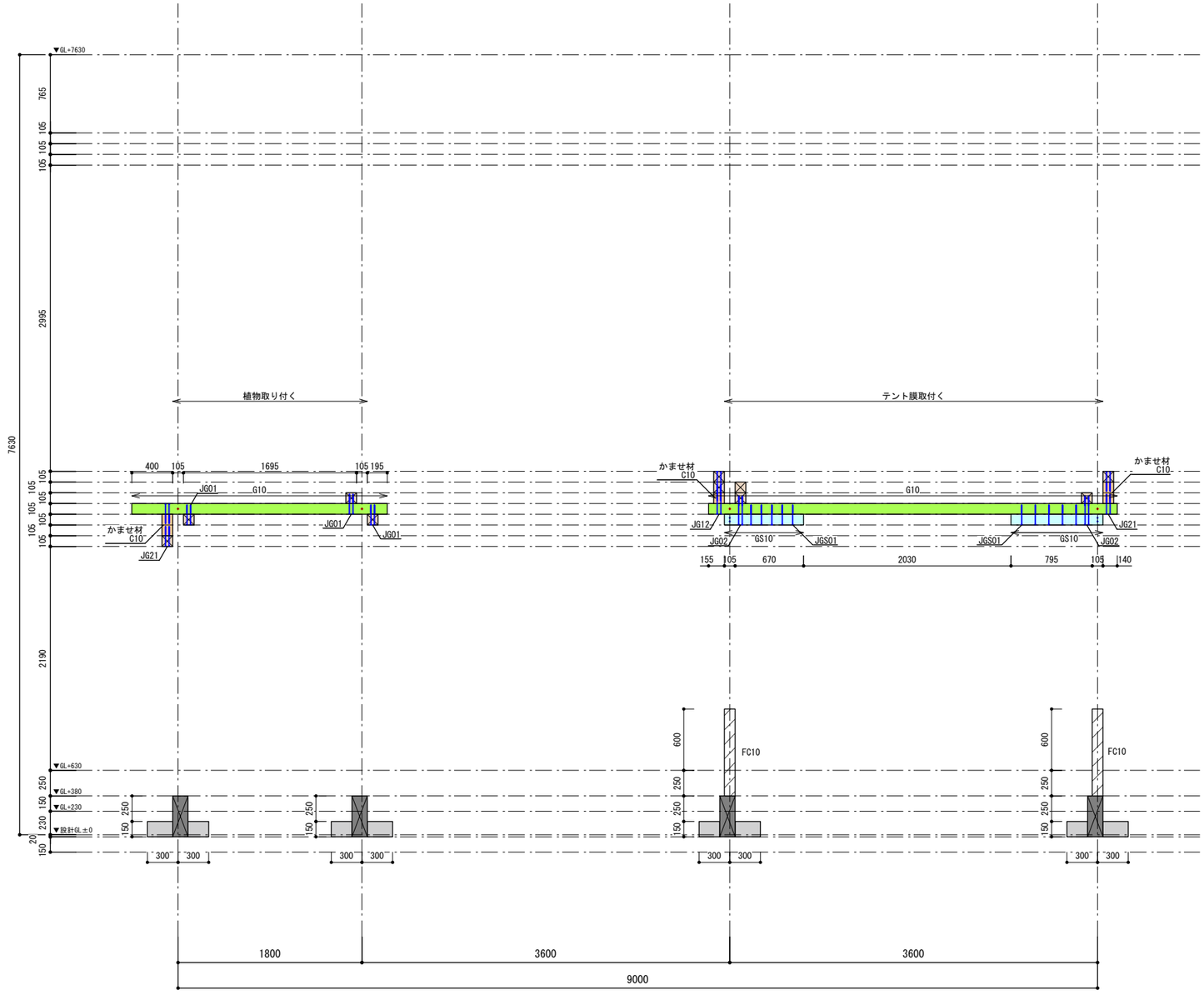
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y5+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(40)
Scale S=1/50
Drawing No. S-60

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

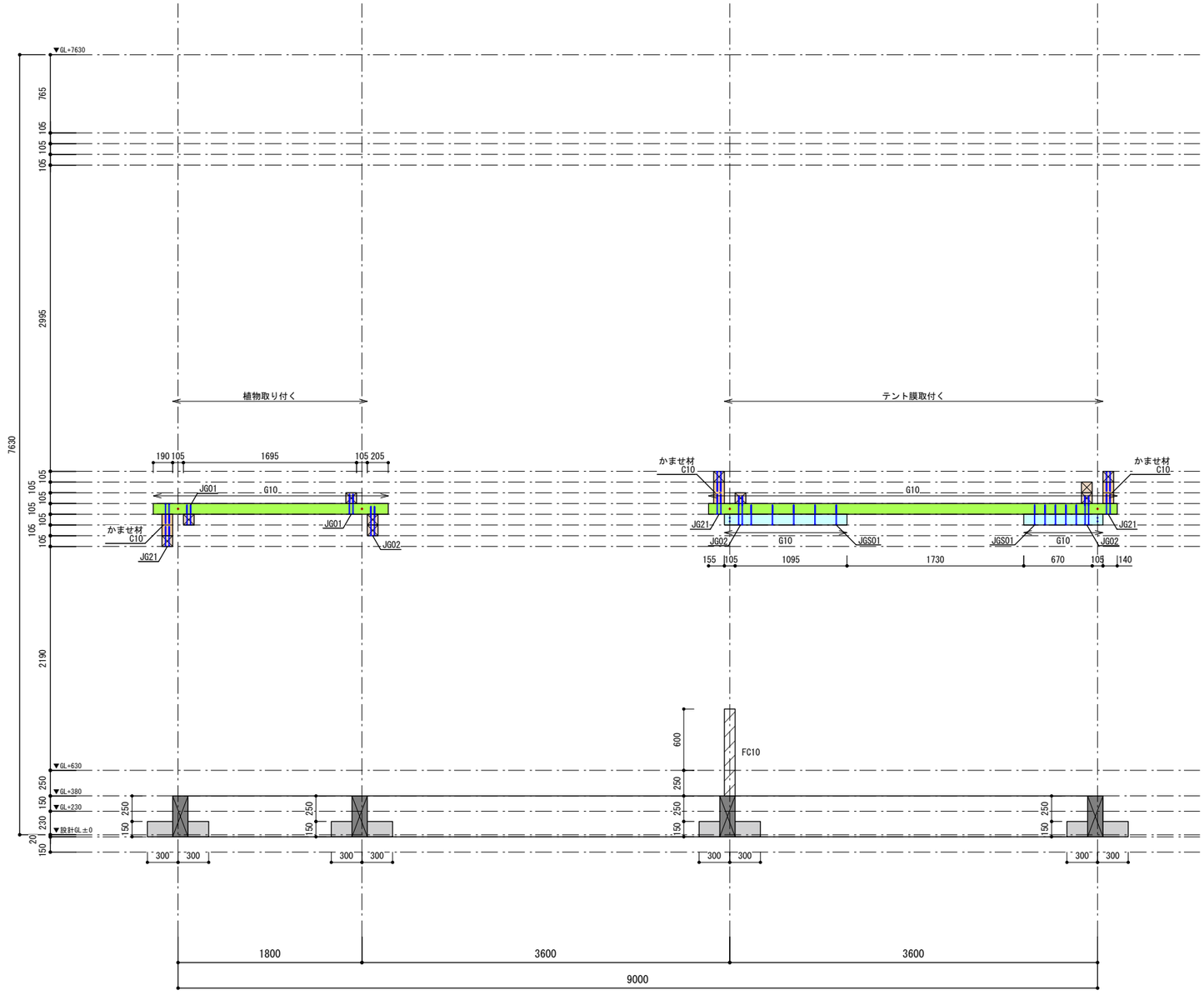
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y6-105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title				
	鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA　T. KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 軸組図(41) Scale S=1/50 Drawing No. S-61

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

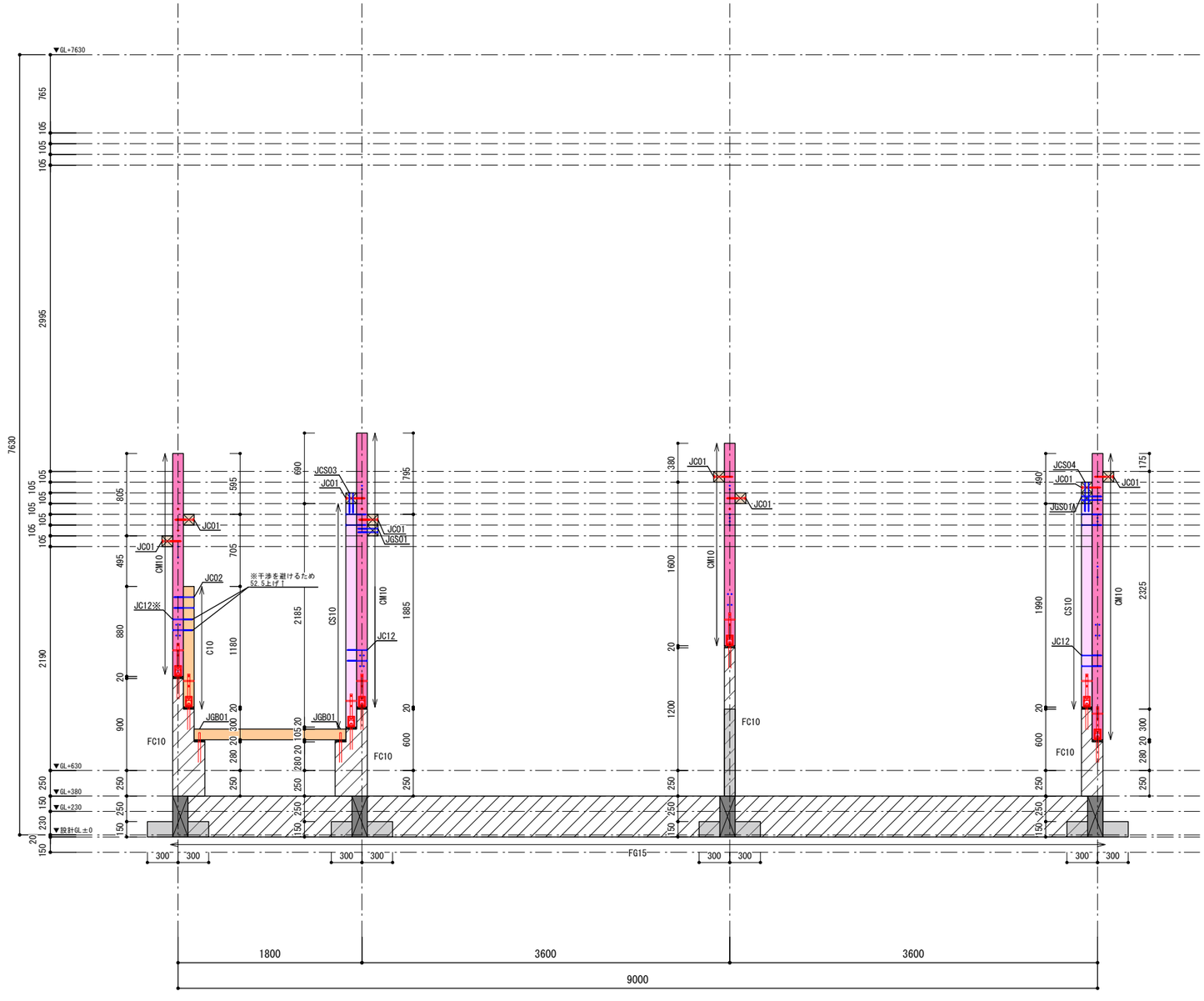
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y6通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第33345号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(42) Scale S=1/50 Drawing No. S-62

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 :■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 :■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

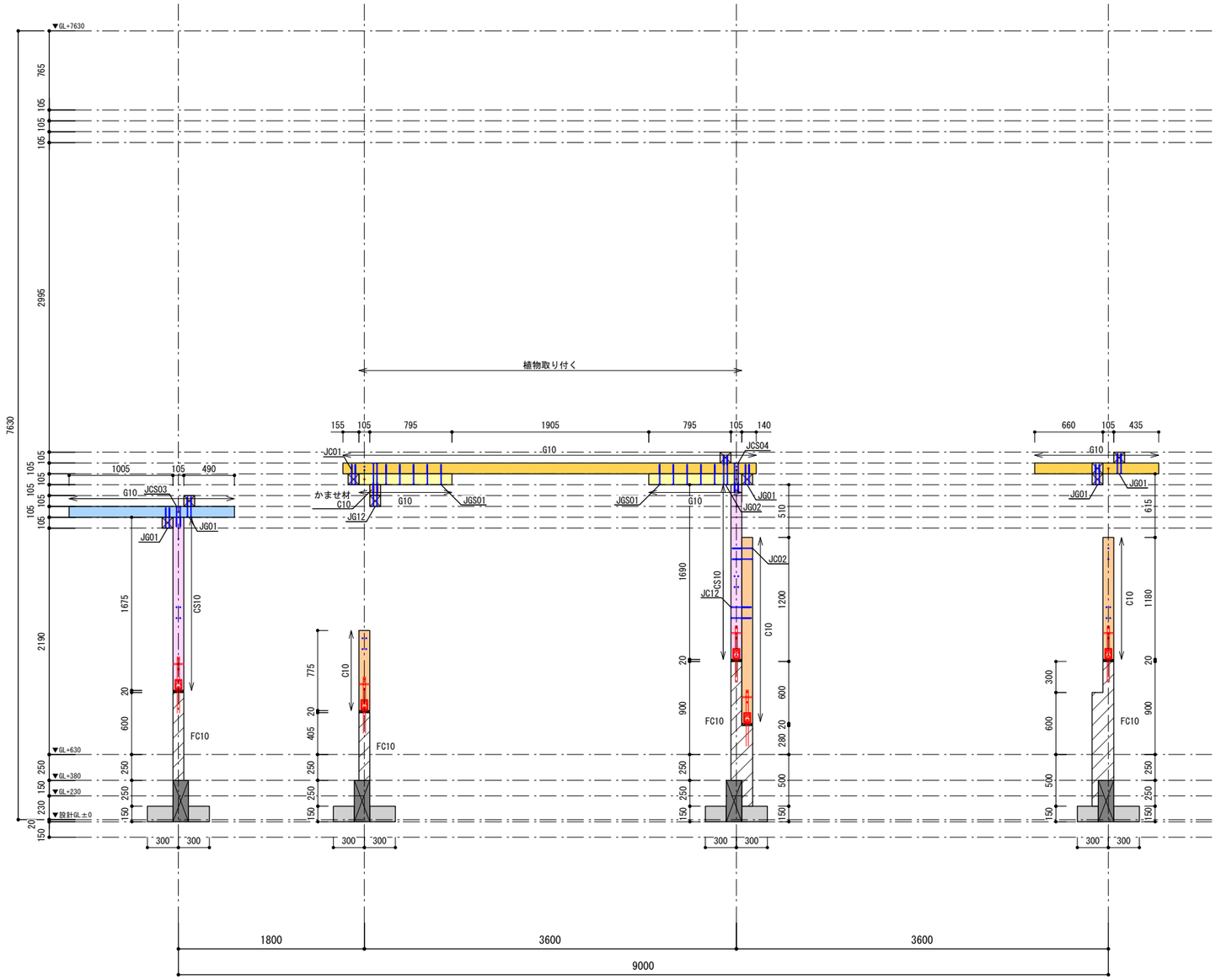
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 :t=150 600x600

・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

［特記外］
柱　C10 :■-105x105



Y6+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
軸組図(43)
Scale　S=1/50
Drawing No.　S-63

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

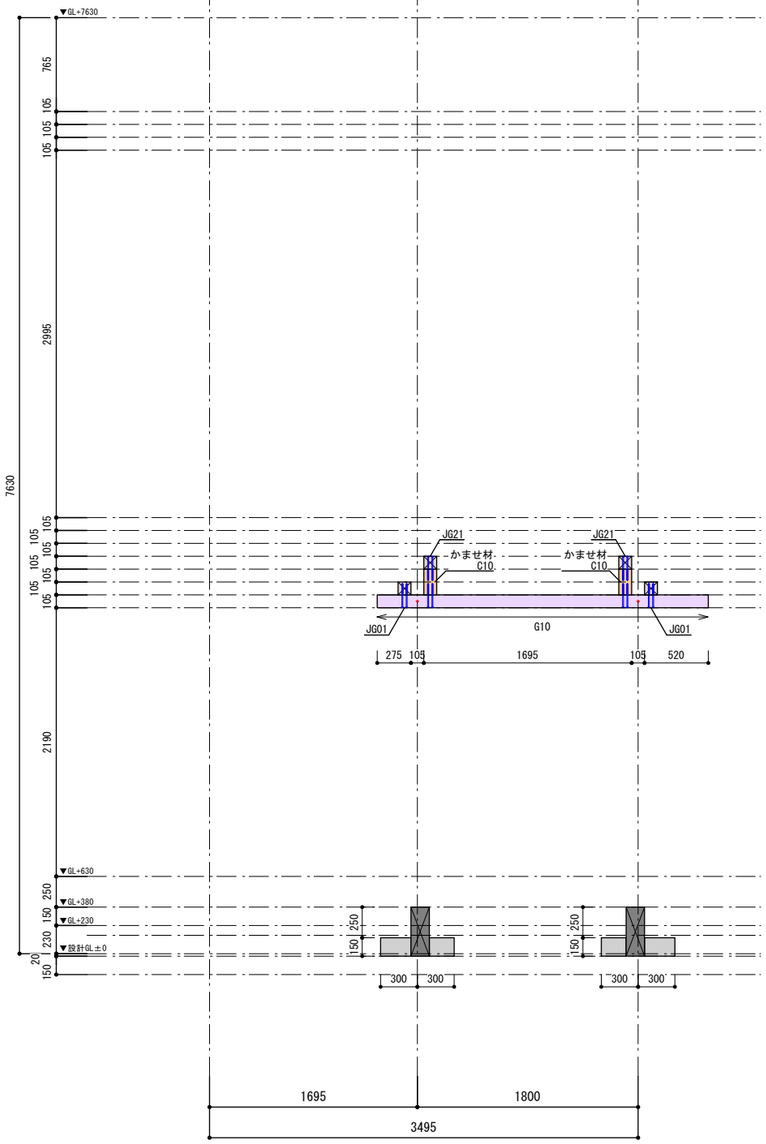
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

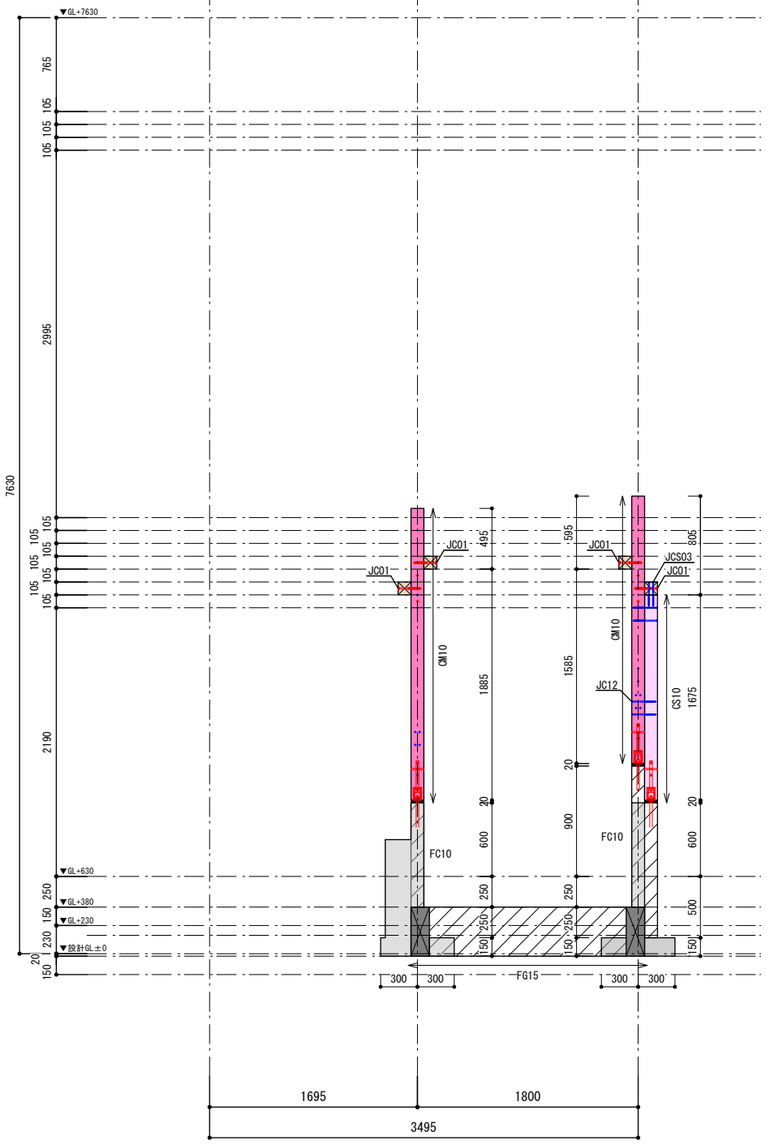
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

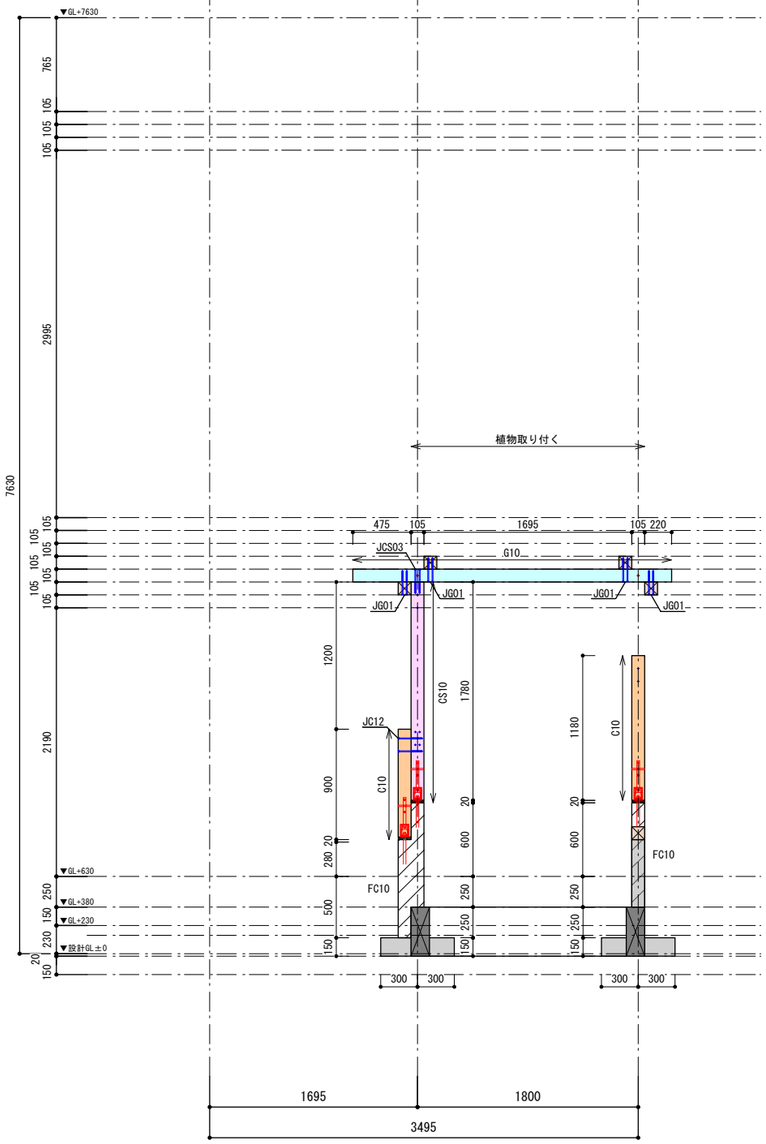
［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X9-105通軸組図
S=1/50



X9通軸組図
S=1/50



X9通+105軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title

鋸南町　観光物産センター改修工事

Client	鋸南町
Architect	NASCA
Engineer	円酒構造設計
	設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA

一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(44)

Scale　S=1/50

Drawing No.　S-64

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10:■-105x105

・主柱
CM10:■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10:■-105x105

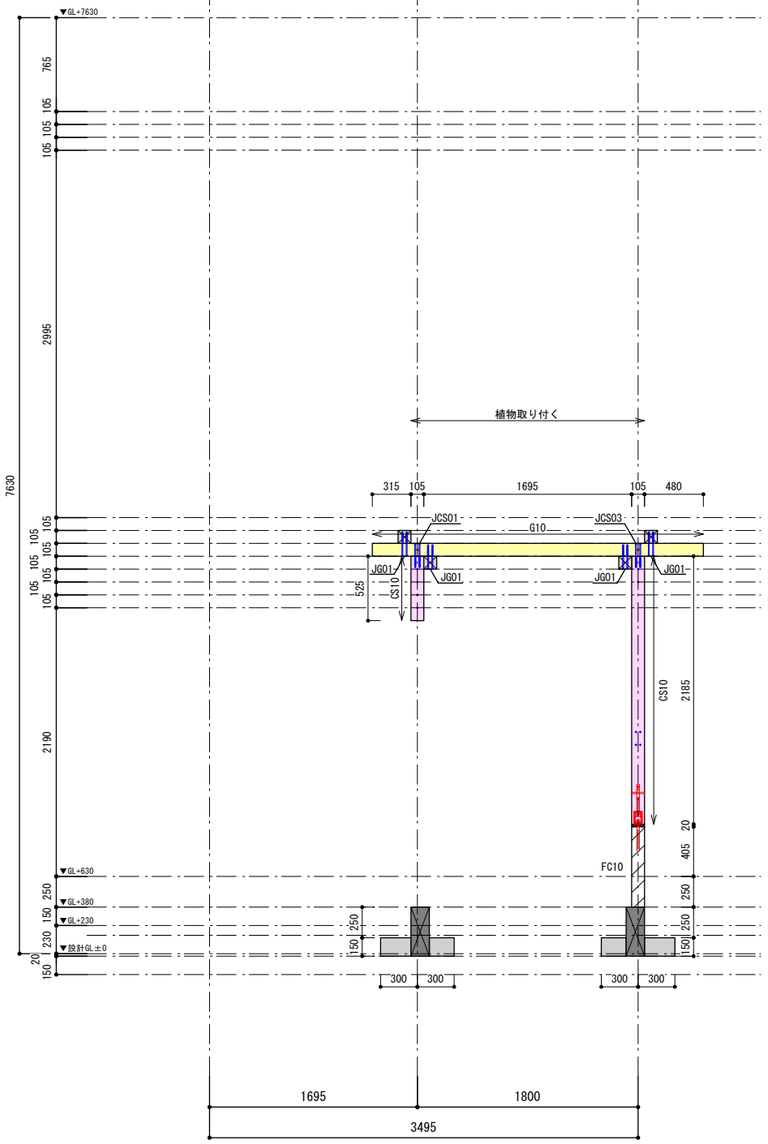
・柱継手補強材
CT10:■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

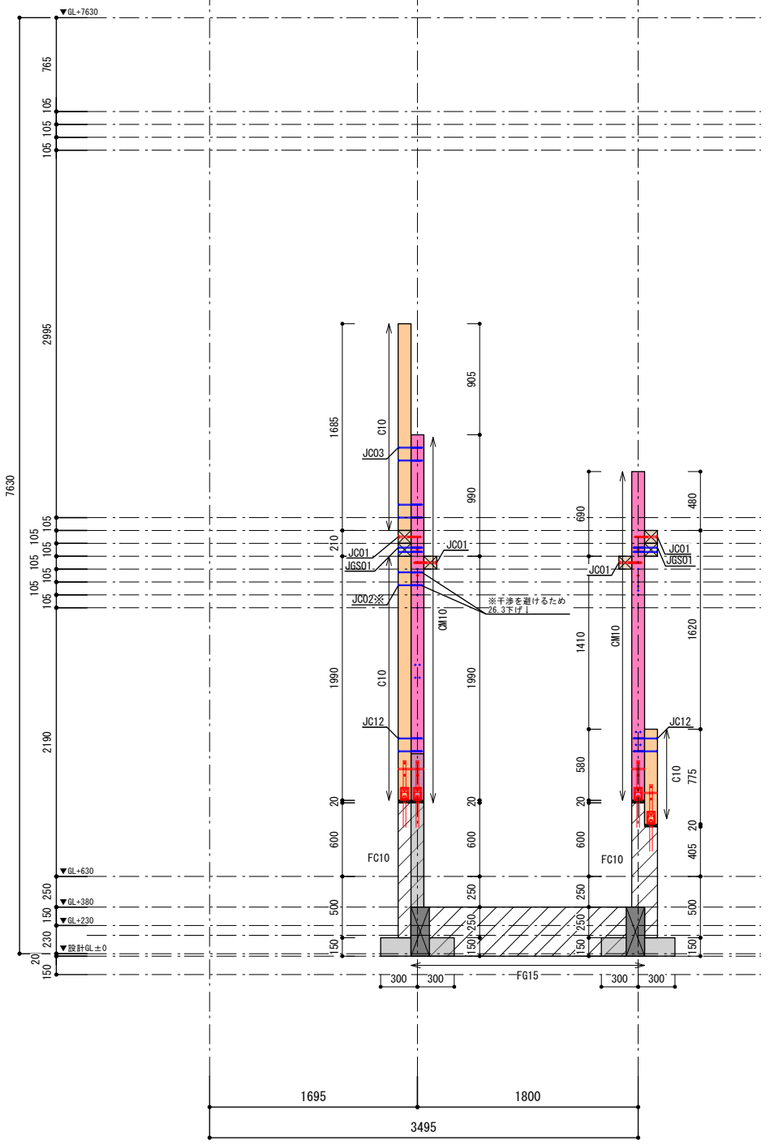
・基礎柱
FC10:105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15:150x400

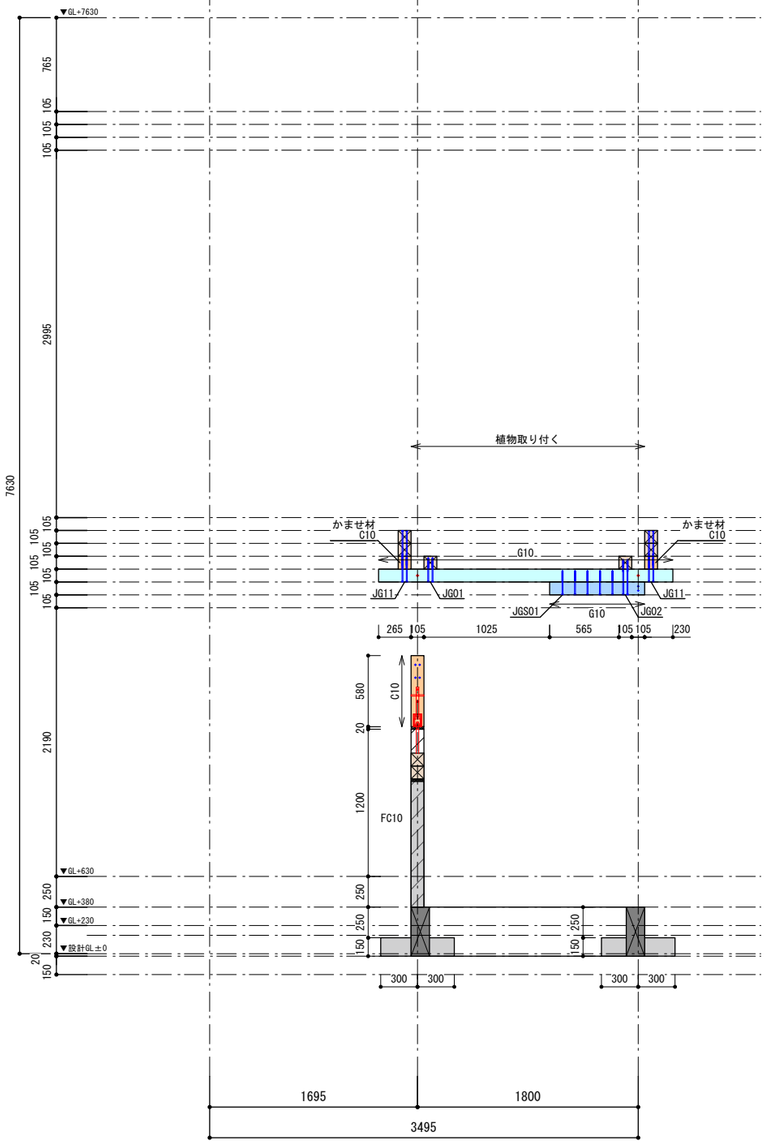
［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X10-105通軸組図
S=1/50



X10通軸組図
S=1/50



X10+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第64037号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第11102号　圓酒　昂

Note	Project Title 鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K.IKUTA Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章 国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ 東京都知事登録　第33348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025.02.26	Name of Drawing 軸組図(45) Scale S=1/50 Drawing No. S-65

［凡例］

：下階柱

：当該柱

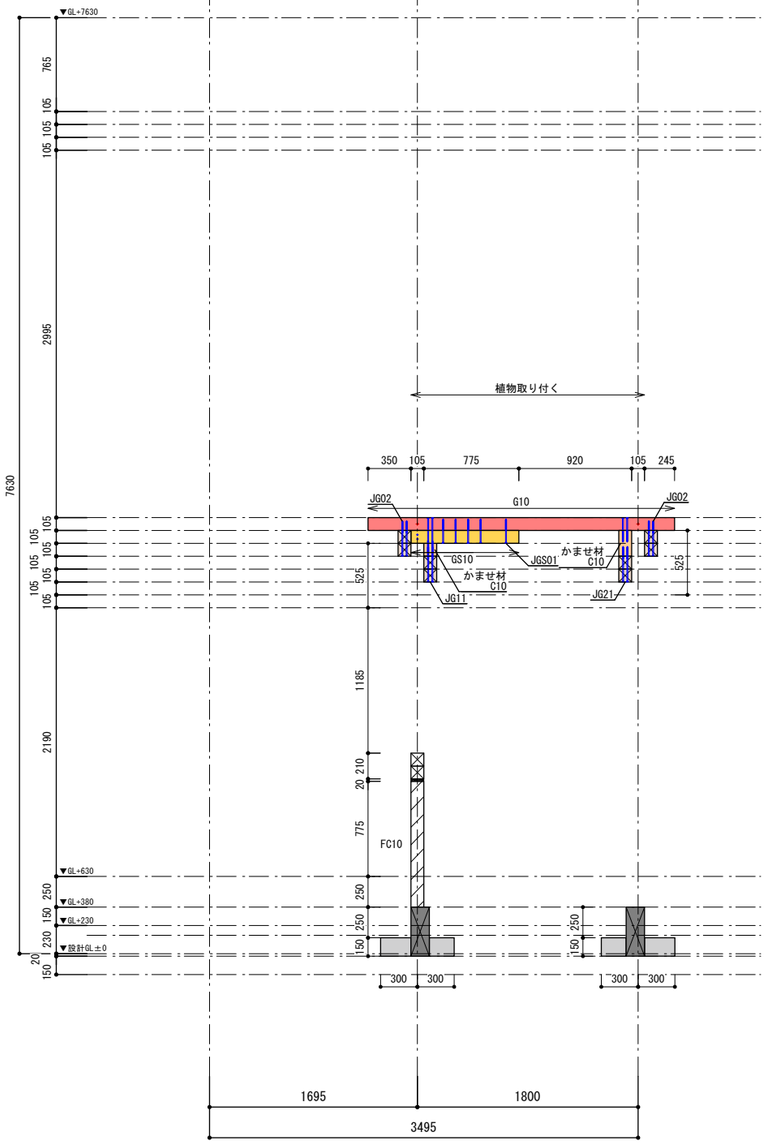
［梁・梁補強材の色分けについて］

- 梁天端=1FL+2925
- 梁天端=1FL+2820
- 梁天端=1FL+2715
- 梁天端=1FL+2610, FL+6235
- 梁天端=1FL+2505, FL+6130
- 梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
- 梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
- 梁天端=1FL+2190
- 梁天端=1FL+2085

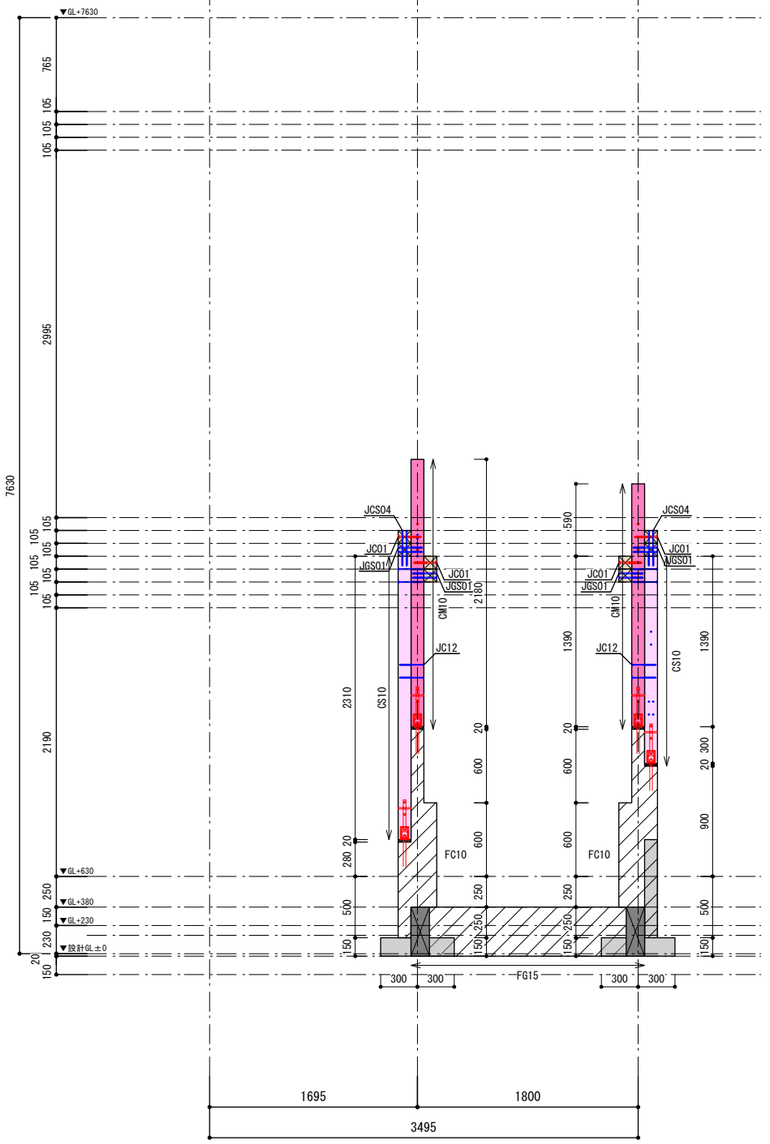
［部材リスト］

- ・梁 G10 ：■-105x105
- ・梁補強材 GS10:■-105x105
- ・主柱 CM10:■-105x105
- ・袖柱 C10 ：■-105x105
- ・柱補強材 CS10:■-105x105
- ・柱継手補強材 CT10:■-105x105
- ・フーチング S15 ：t=150 600x600
- ・基礎柱 FC10:105x105単位（フーチング有り）
- ・基礎梁 FG15:150x400

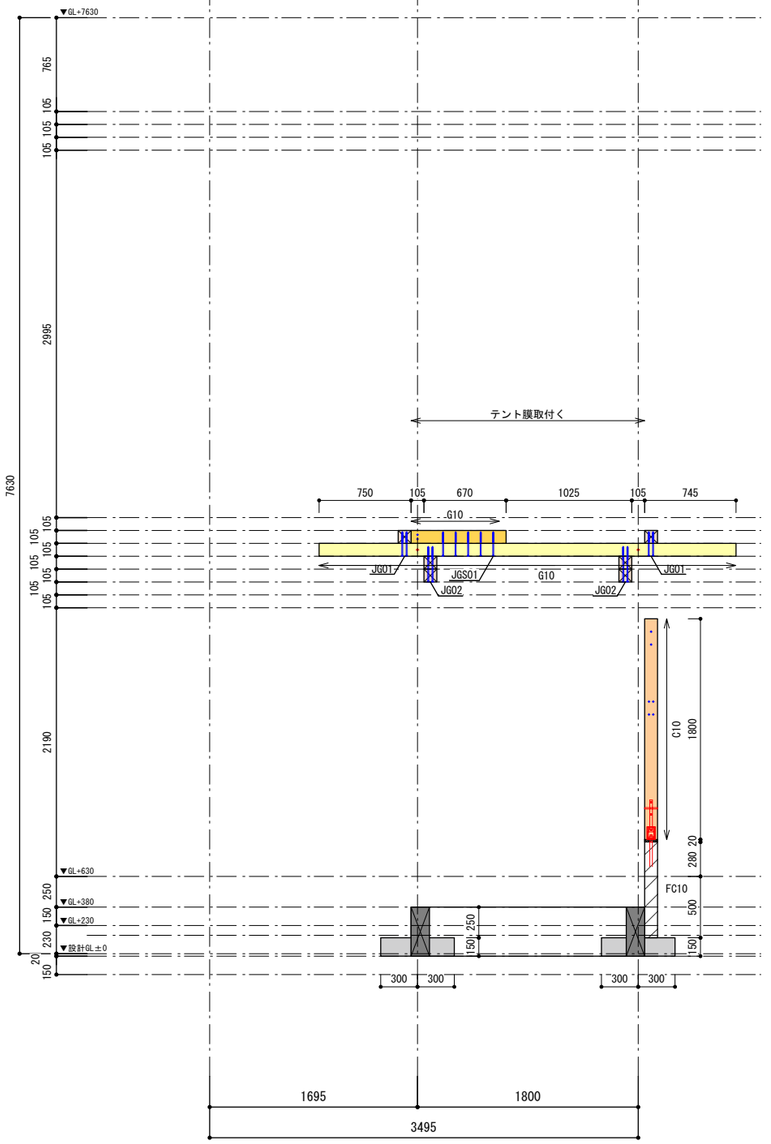
［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X11-105通軸組図
S=1/50



X11通軸組図
S=1/50



X11+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K. IKUTA
Checked by N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025. 02. 26

Name of Drawing
軸組図(46)
Scale S=1/50
Drawing No. S-66

［凡例］

：下階柱

：当該柱

［梁・梁補強材の色分けについて］

梁天端=1FL+2925
梁天端=1FL+2820
梁天端=1FL+2715
梁天端=1FL+2610, FL+6235
梁天端=1FL+2505, FL+6130
梁天端=1FL+2400, 1FL+6025
梁天端=1FL+2295, 1FL+5920
梁天端=1FL+2190
梁天端=1FL+2085

［部材リスト］

・梁
G10 ：■-105x105

・梁補強材
GS10：■-105x105

・主柱
CM10：■-105x105

・袖柱
C10 ：■-105x105

・柱補強材
CS10：■-105x105

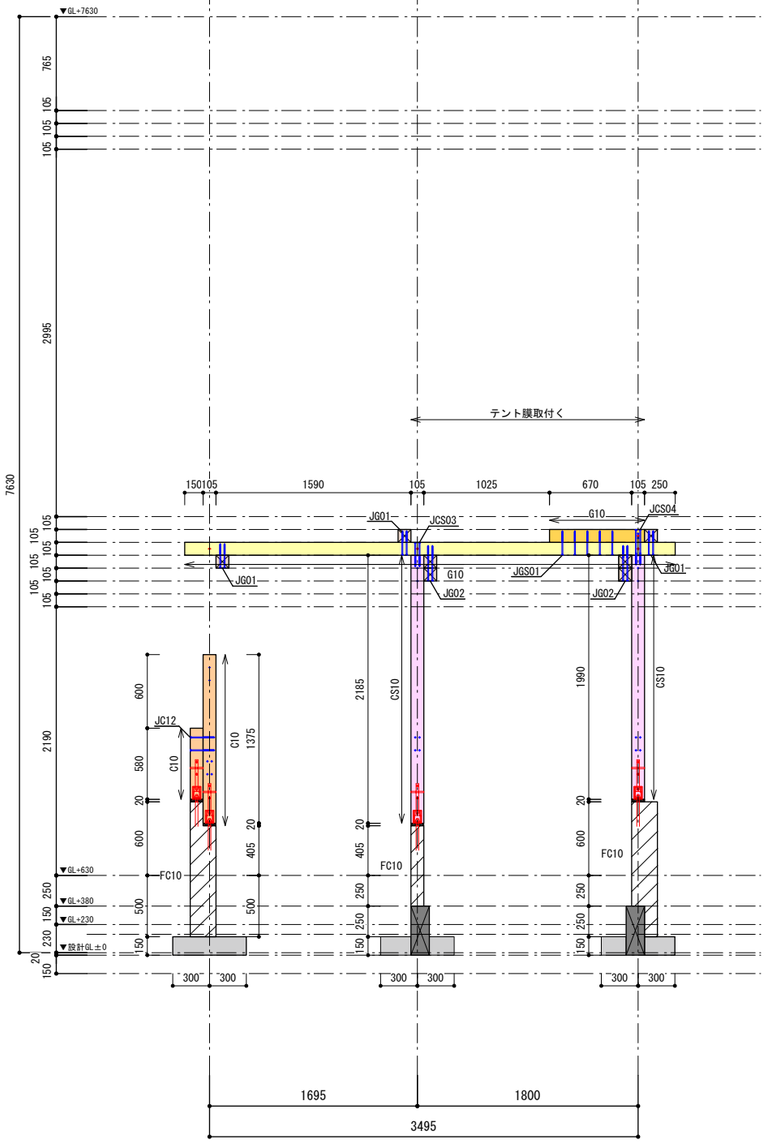
・柱継手補強材
CT10：■-105x105

・フーチング
S15 ：t=150 600x600

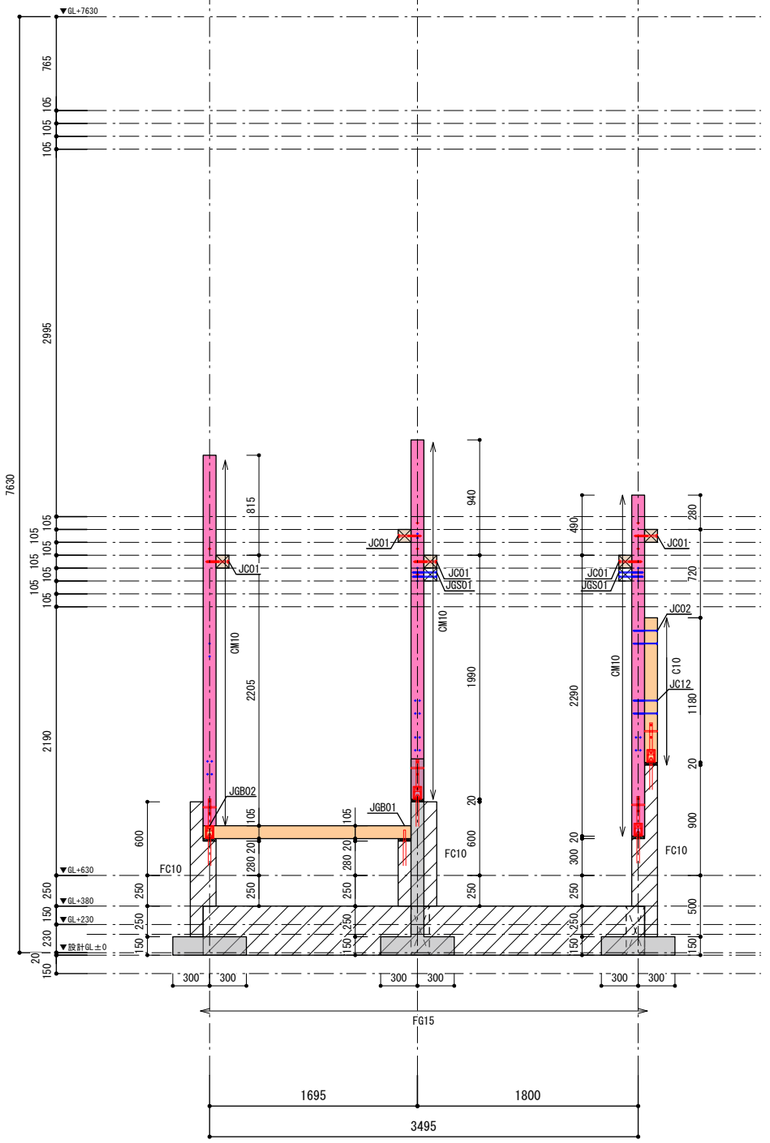
・基礎柱
FC10：105x105単位
（フーチング有り）

・基礎梁
FG15：150x400

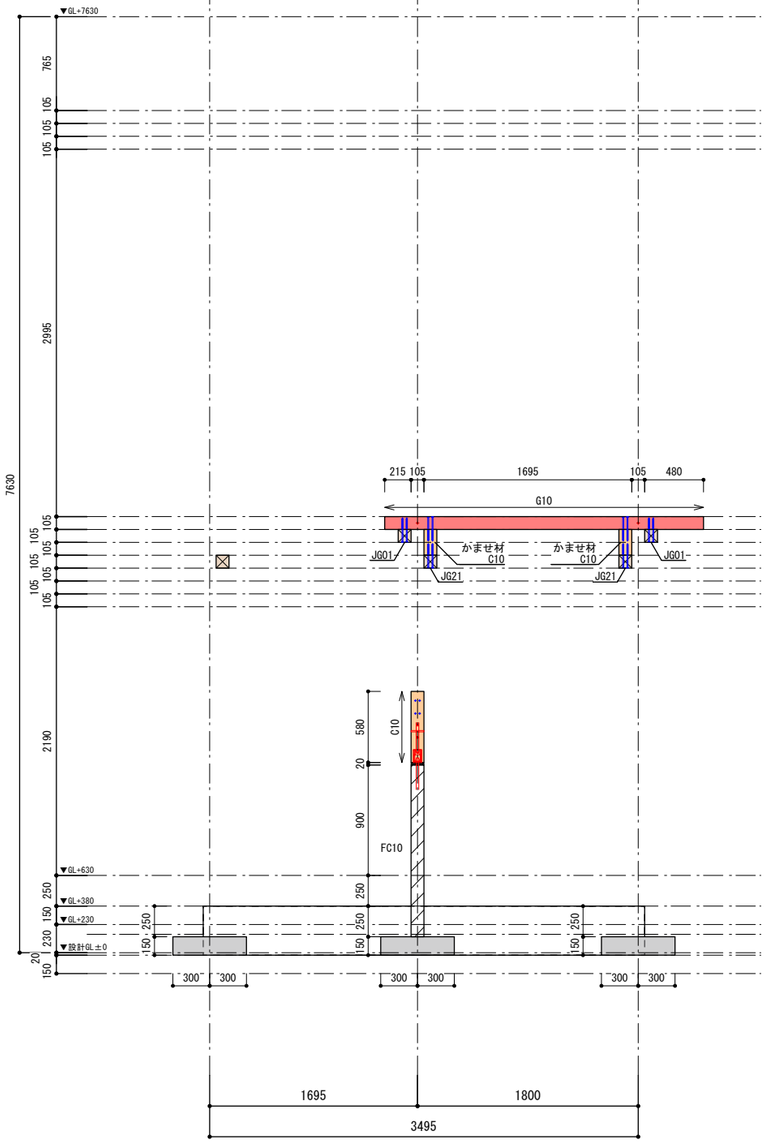
［特記外］
柱　C10 ：■-105x105



X12-105通軸組図
S=1/50



X12通軸組図
S=1/50



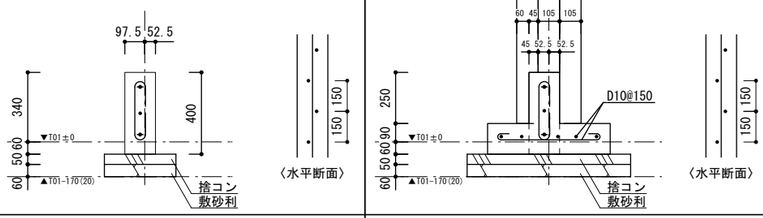
X12+105通軸組図
S=1/50

Enshu Structural Consultants LLC

構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note	Project Title	Client / Architect / Engineer	Drawn by / Checked by	Date	Name of Drawing / Scale / Drawing No.
	鋸南町　観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA　T. KIKKAWA 一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号 一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing 軸組図(47) Scale S=1/50 Drawing No. S-67

基礎梁リスト S=1/30　　幅止め筋　D10-@1000

符号	FG15A	FG15A(基礎柱下部分)
位置	全断面	全断面
断面	
上端筋	1-D16	1-D16
下端筋	1-D16	1-D16
腹筋	1 - D10	1 - D10
あばら筋	STP. ⌋-D10@200(千鳥)	STP. ⌋-D10@200(千鳥)

符号	FG15	FG15(基礎柱下部分)
位置	全断面	全断面
断面	
上端筋	1-D13	1-D13
下端筋	1-D13	1-D13
腹筋	1 - D10	1 - D10
あばら筋	STP. ⌋-D10@200(千鳥)	STP. ⌋-D10@200(千鳥)

コンクリート配合リスト

部位＼単位	設計基準強度 N/mm2	構造体温度補正値 N/mm2	スランプ cm	単位セメント量 kg/m3	単位水量 kg/m3	水セメント比 %	空気量 %	備考
基礎構造	FC24	+3 +6(夏期,冬期)	SL18	300以上	175以下	55以下	4.5±1.5	高性能AE減水剤使用
捨てコン	FC18	-	SL15 (SL18でも可)	250以上	185以下	75以下	4.5±1.5	AE減水剤使用

直接基礎条件

［根切特記事項］

・基礎下はN値10以上自沈層の無い盛土層支持(長期支持力100kN/m2以上)とする。
支持層が出ない場合は適宜補強を行うこと。
補強は、敷砂利で行う場合は600mmまでの厚さとする。
それ以上はラップルコンクリートで補強すること。

・地業を行う前に監理者による支持地盤確認検査を行うこと。

・敷砂利地業は150mm毎に転圧を行うこと。

・ラップルコンクリートはFc=18、SL=15とする。

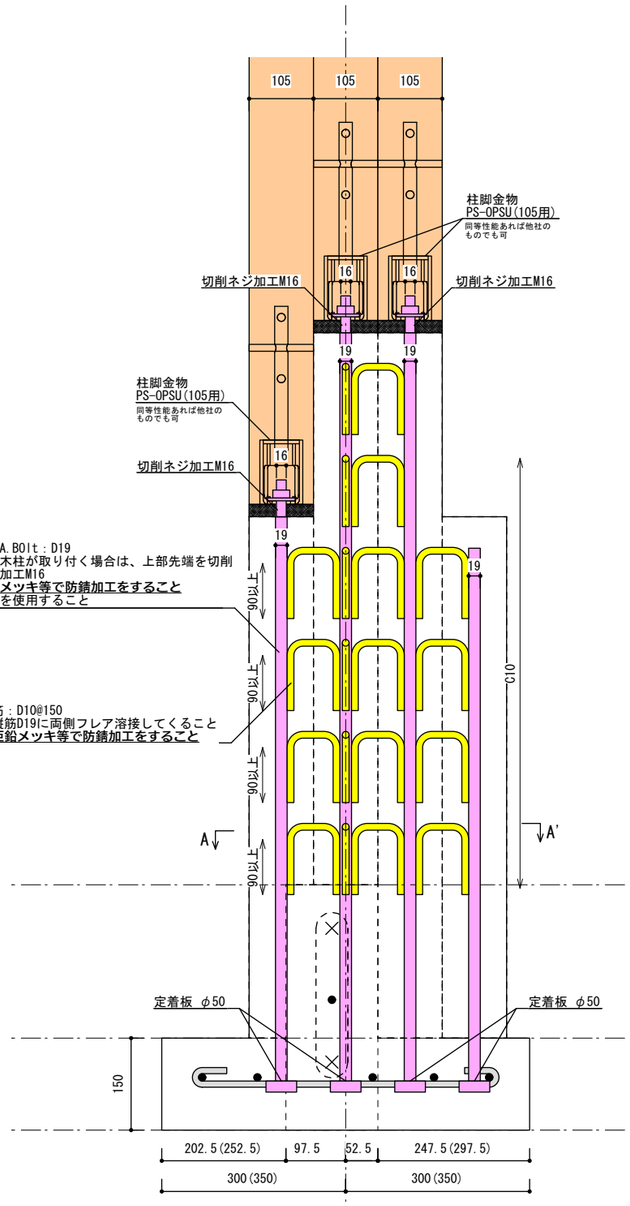
使用構造材料一覧表

部材	符号	断面	材質	備考
柱	CM10	■-105x105	杉	KD材(無等級) ※防腐対策を行い、 定期的に塗り直すこと。
	C10	■-105x105		
柱補強材	CS10	■-105x105		
柱継手補強材	CT10	■-105x105		
梁	G10	■-105x105		
梁補強材	GS10	■-105x105		
A.Bolt 兼 基礎部縦筋	-	●-φ19	SR235 or SS400	

〈鉄筋表示記号〉

• D10　× D13　⌁ D16　● D19
◆ D22　✹ D25　⊗ D29　◎ D32

基礎柱・柱脚リスト　S=1/10　※フーチング内も基礎梁配筋を通すこと

符号	FC10
基礎柱形状	BxD=105x105単位
フーチング形状	BxD=600x600(X4～X5, Y2～Y3の4か所のみBxD=700x700)　t=150
断面	 ※かぶり厚を確保するため、縦筋と横筋は同一平面内とし、　溶接してユニットとして持ってくる
木柱柱脚	柱脚金物PS-OPSU(105用)　同等性能あれば他社のものでも可
縦筋	■-105x105につき　1-D19(SD345)※亜鉛メッキ等で防錆加工すること
横筋	D10@150(SD295)　※亜鉛メッキ等で防錆加工すること

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

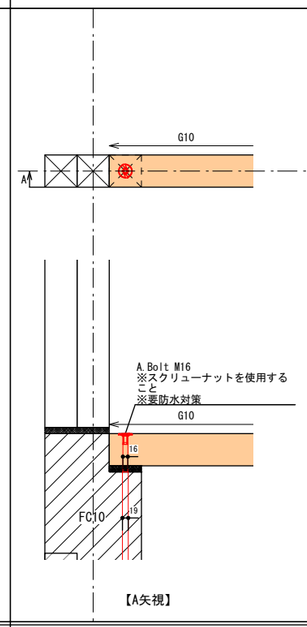
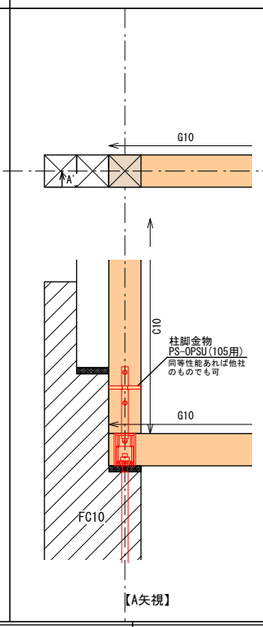
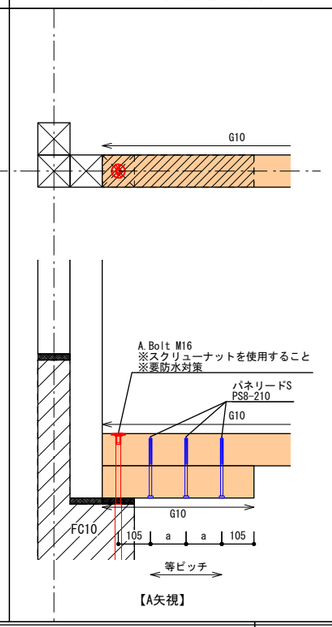
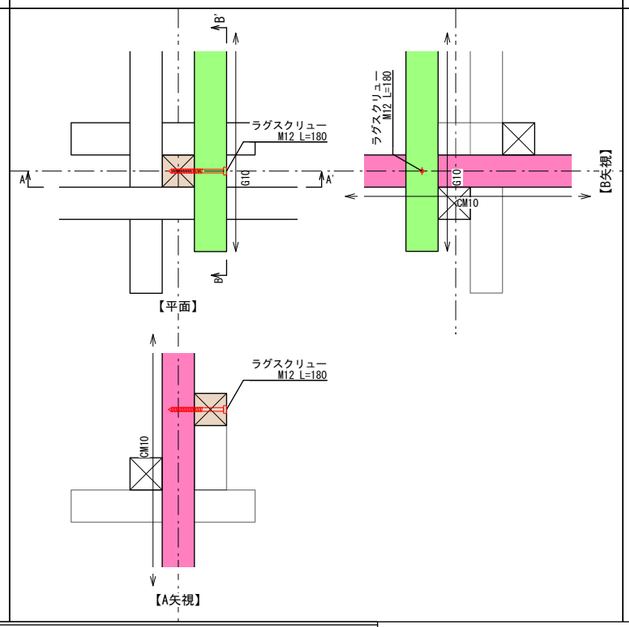
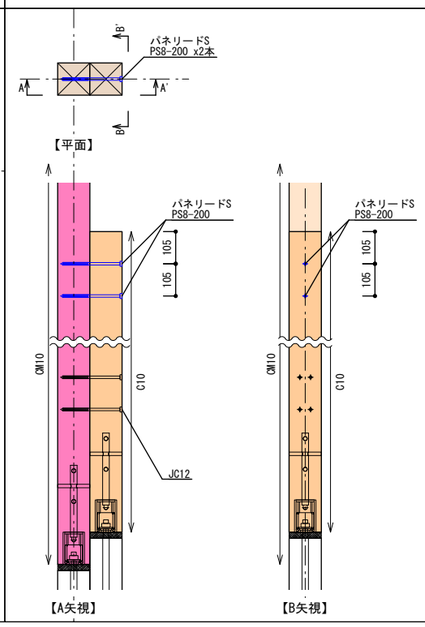
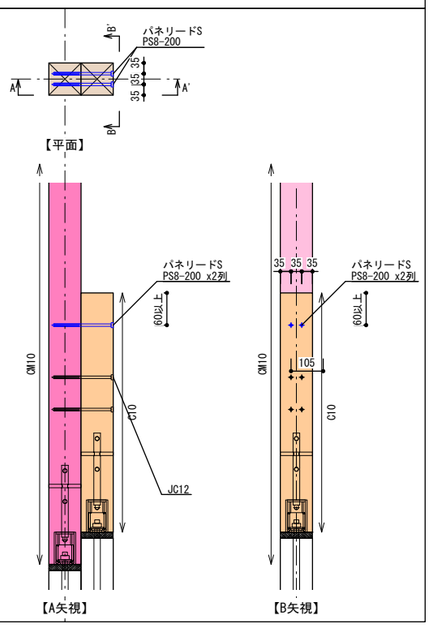
Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA

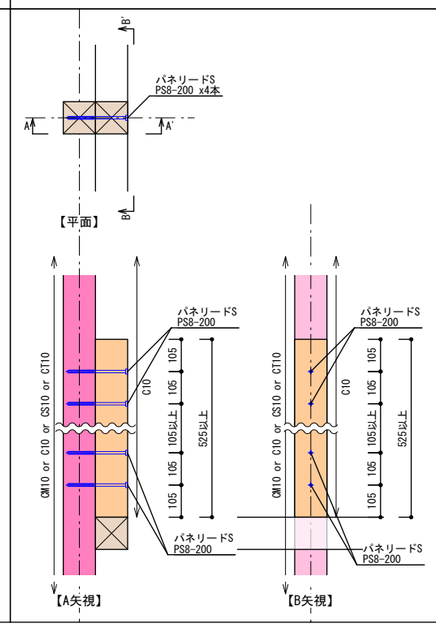
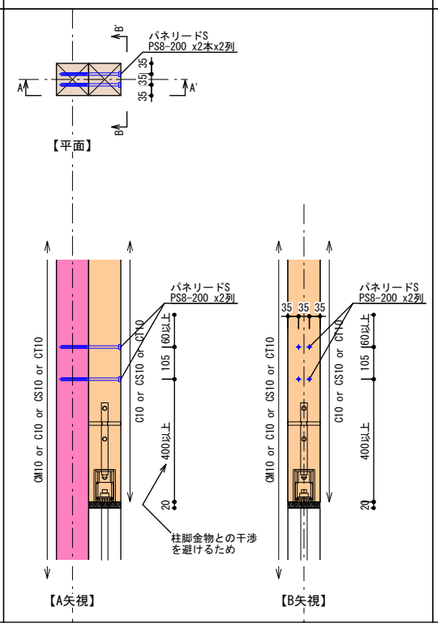
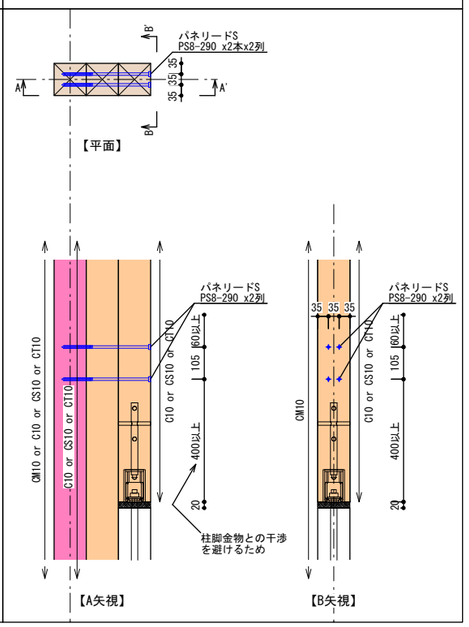
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date　2025.02.26

Name of Drawing
リスト(1)
Scale　S=1/30, 10, 5
Drawing No.　S-68

接合部リスト(1) S=1/20　※雨水が溜まることを避けるため、ビスは原則下側から打つこと

接合部名	JGB01	JGB02	JGB03	JC01	JC02	JC02A
概要	FC10の上にG10を載せる接合部(ベンチ等用) [FC10 + G10]	FC10の上にG10、その上にC10を載せる時の柱脚接合部(ベンチ等用) [FC10 + G10 + C10]	FC10の上にG10を2本重ねて載せる接合部(ベンチ等用) [FC10 + G10 + G10]	主柱CM10 と G10の標準接合部 [CM10 + G10]	袖柱C10と主柱CM10の柱頭側標準接合部 [CM10 + C10]	袖柱C10と主柱CM10の柱頭側接合部 (パネリードを横に2本並べる方が都合が良い場合) [CM10 + C10]
接合方法	A.Bolt M16	柱脚金物PS-OPSU(105用) ※同等性能あれば他社のものでも可	A.Bolt M16 + パネリードS PS8-200 x3本	ラグスクリュー M12 L=180　x1本	パネリードS PS8-200 x2本	パネリードS PS8-200 x2本
図						

接合部名	JC03	JC12	JC13
概要	柱脚金物なしの袖柱C10と主柱CM10の接合部 [CM10(柱脚金物なし) + C10]	柱材2本の柱脚側標準接合部 [(CM10 or C10 or CS10 or CT10) + (C10 or CS10 or CT10)]	柱材3本の柱脚側標準接合部 [(CM10 or C10 or CS10 or CT10) + (C10 or CS10 or CT10)x2]
接合方法	パネリードS PS8-200 x4本	パネリードS PS8-200 x4本(=2本x2列)	パネリードS PS8-290 x4本(=2本x2列)
図			

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

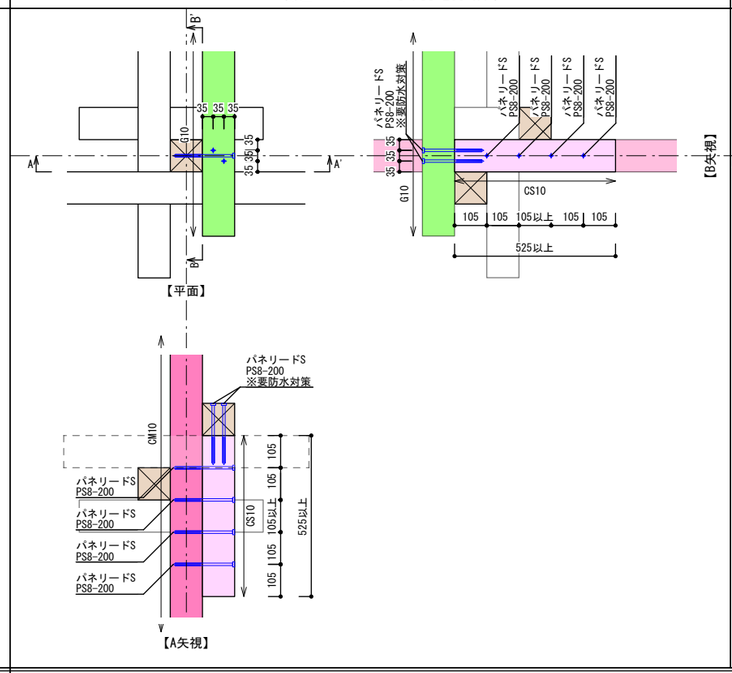
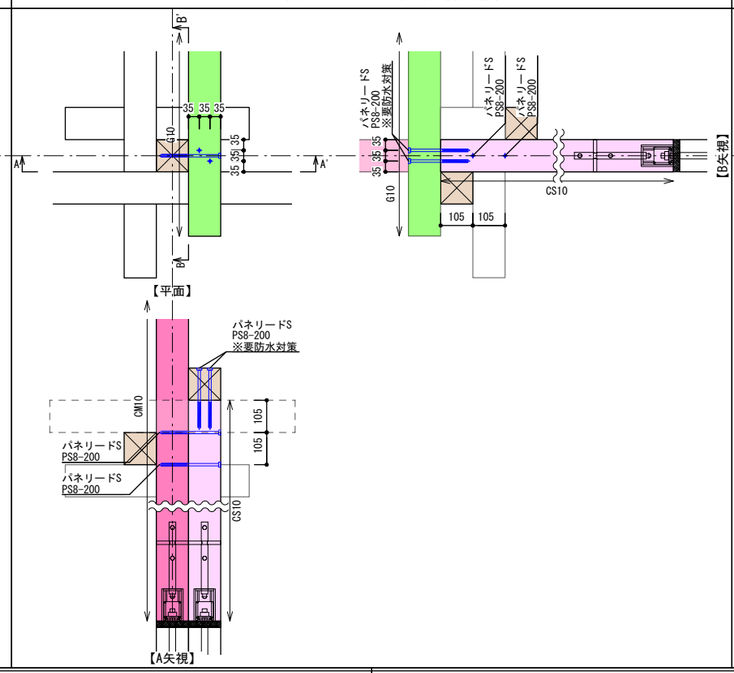
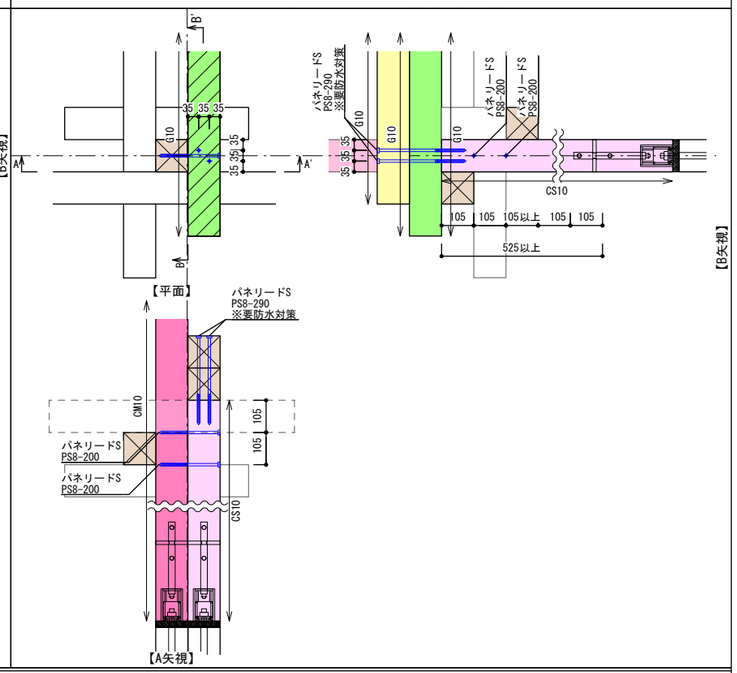
Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

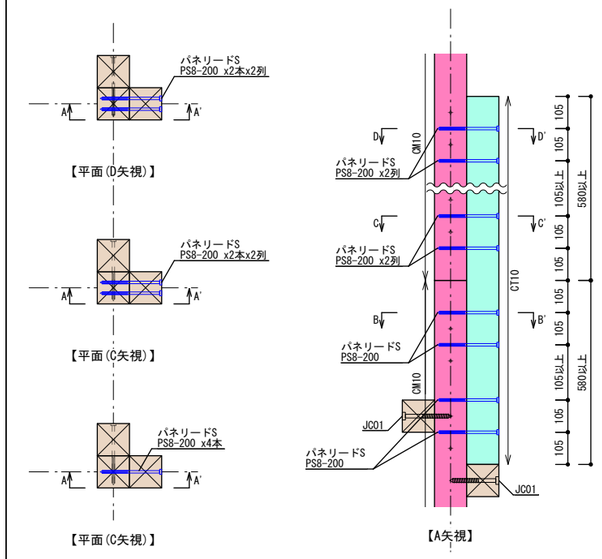
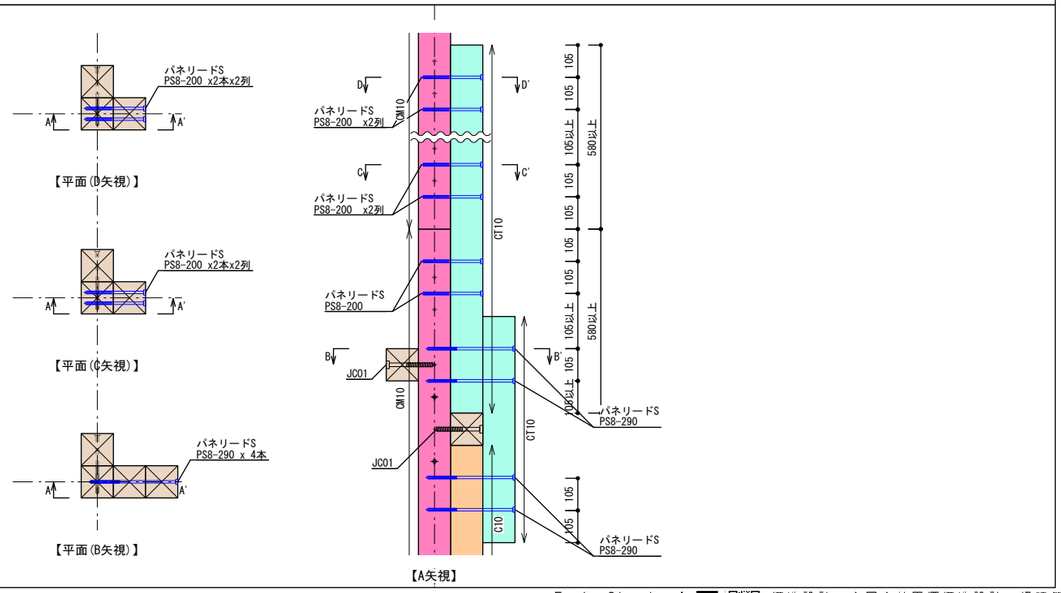
Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date 2025.02.26

Name of Drawing リスト(2)
Scale S=1/20
Drawing No. S-69

接合部リスト(2) S=1/20　※雨水が溜まることを避けるため、ビスは原則下側から打つこと

接合部名	JCS01	JCS03	JCS04
概要	柱補強CS10の標準接合部 [CS10 + CM10 + G10]	柱補強CS10(柱脚金物付き)の標準接合部 [CS10 + CM10 + G10]	取り付く梁が二重梁になっている場合の柱補強CS10(柱脚金物付き)の接合部 [CS10 + CM10 + GS10]
接合方法	上部:パネリードS PS8-200 x2本 + 側面:パネリードS PS8-200 x4本	上部:パネリードS PS8-200 x2本 + 側面:パネリードS PS8-200 x2本	上部:パネリードS PS8-290 x2本 + 側面:パネリードS PS8-200 x2本
図			

接合部名	JCT01	JCT02
概要	主柱CM10継ぎ手部と柱継手補強CT10の 標準接合部 [CM10 + CT10]	主柱CM10継ぎ手部と柱継手補強CT10の接合部 (梁勝ち部分に柱継手補強CT10が取り付く場合) [CM10 + C10 + CT10 + CT10]
接合方法	継手上側:パネリードS PS8-200 x4+4本 + 継手下側:パネリードS PS8-200 x2+2本	継手上側:パネリードS PS8-200 x4+4本 + 継手下側:パネリードS PS8-200 x2本 ,PS8-290 x2+2本
図		

Enshu Structural Consultants LLC　構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

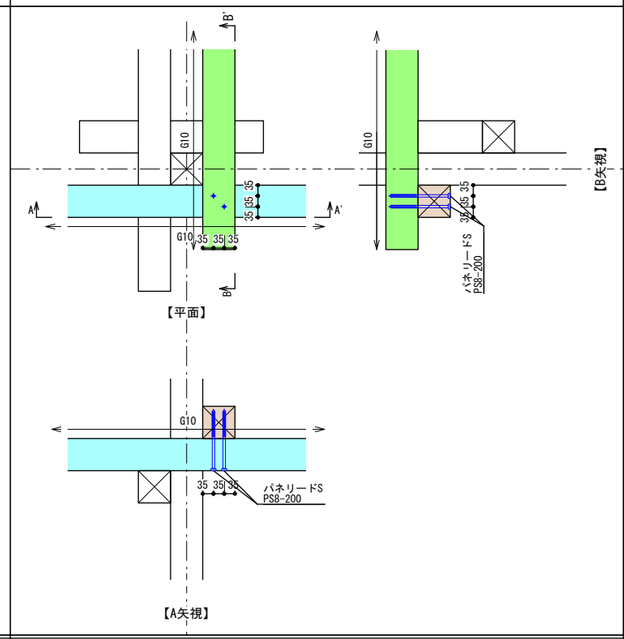
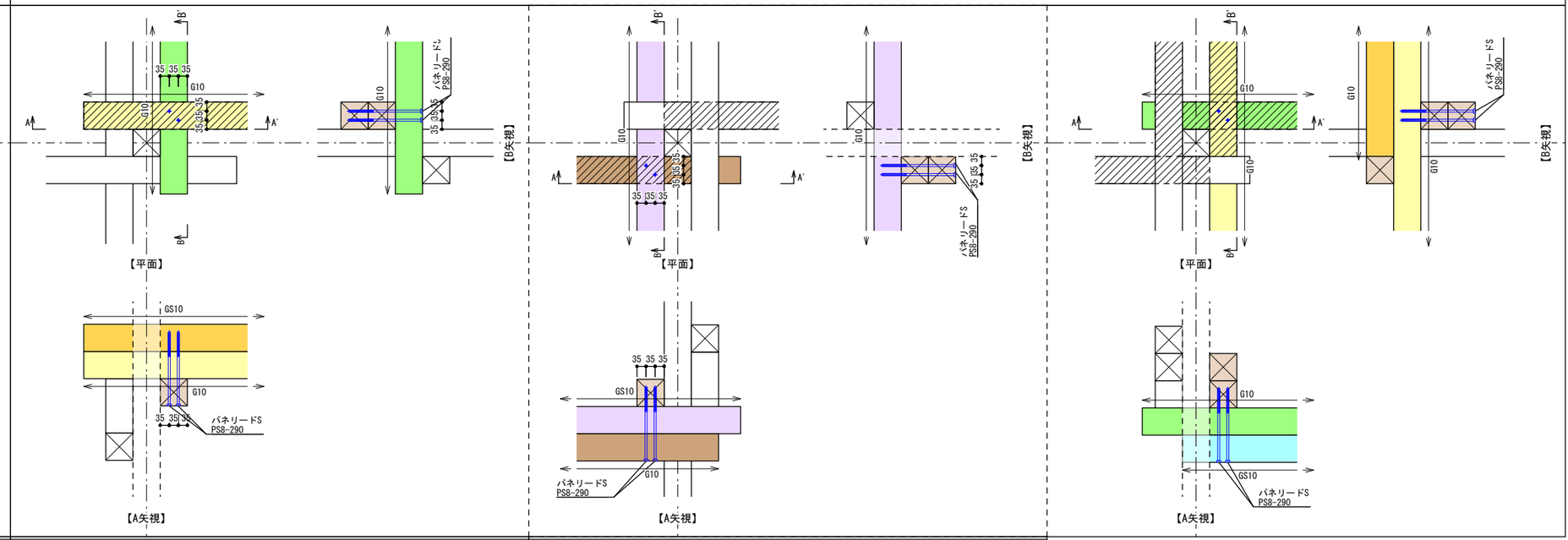
Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章　国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ　東京都知事登録　第39348号　東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

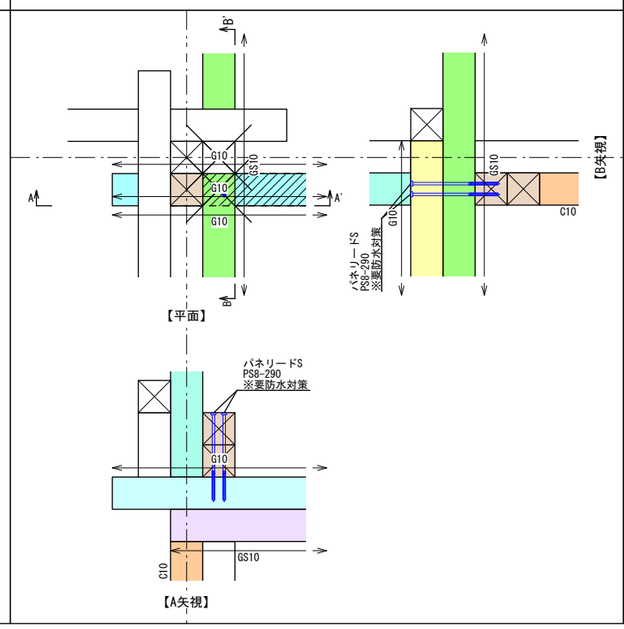
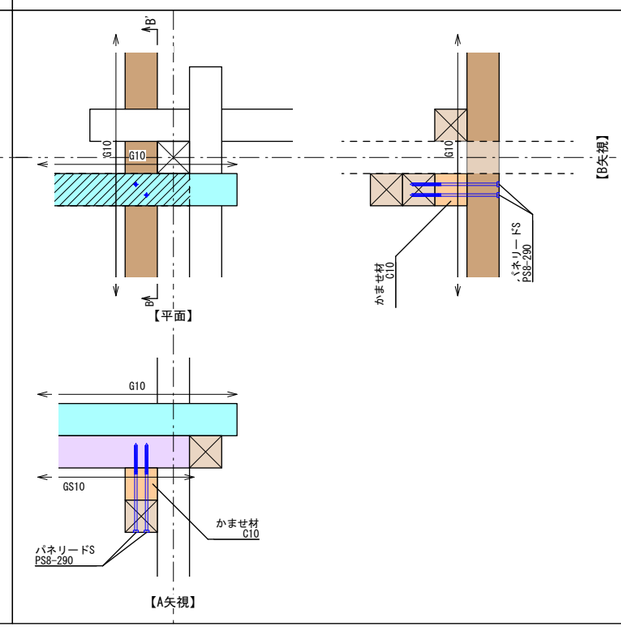
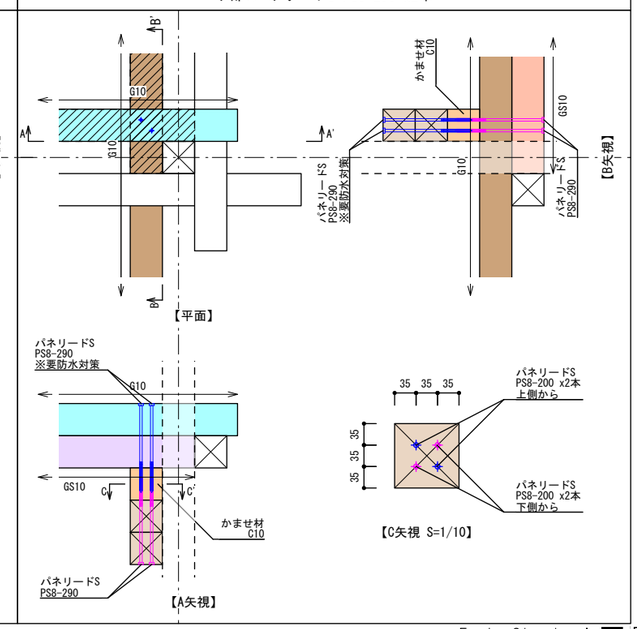
Date　2025.02.26

Name of Drawing　リスト(3)
Scale　S=1/20
Drawing No.　S-70

接合部リスト(3) S=1/20

※雨水が溜まることを避けるため、ビスは原則下側から打つこと

接合部名	JG01	JG02
概要	梁G10同士の標準接合部 [G10 + G10]	梁G10または梁補強GS10が3本以上重なる部分の接合部 [G10 + G10+GS10] ， [G10+GS10 + G10+GS10]
接合方法	パネリードS PS8-200 x2本　※下から打つ	パネリードS PS8-290 x2本　※下から打つ
図		

接合部名	JG03	JG11	JG12
概要	直下に袖柱C10がくる場合の、梁G10+梁補強材GS10同士の接合部 [G10 + G10+GS10] ， [G10+GS10 + G10+GS10]	梁G10+梁補強材GS10、かませ材105、梁G10の接合部 [G10+GS10 + かませ材C10 + G10]	梁G10+梁補強材GS10、かませ材105、梁G10+梁補強材GS10の接合部 [G10+GS10 + かませ材C10 + G10+GS10]
接合方法	パネリードS PS8-200 x2本　※要防水対策	パネリードS PS8-290 x2本　※下から打つ	上部:パネリードS PS8-290 x2本 ＋ 下部:パネリードS PS8-290 x2本
図			

Enshu Structural Consultants LLC
構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所　第 64037 号(東京都)
一級建築士　第364075号／構造設計一級建築士　第 11102 号　圓酒　昂

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

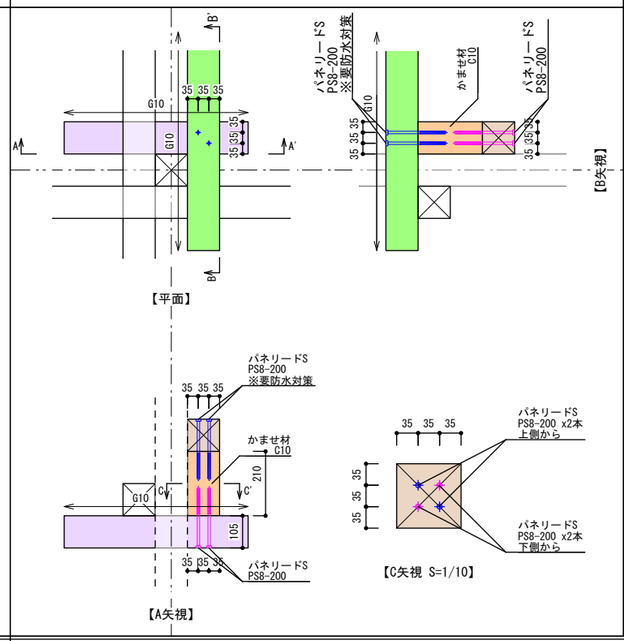
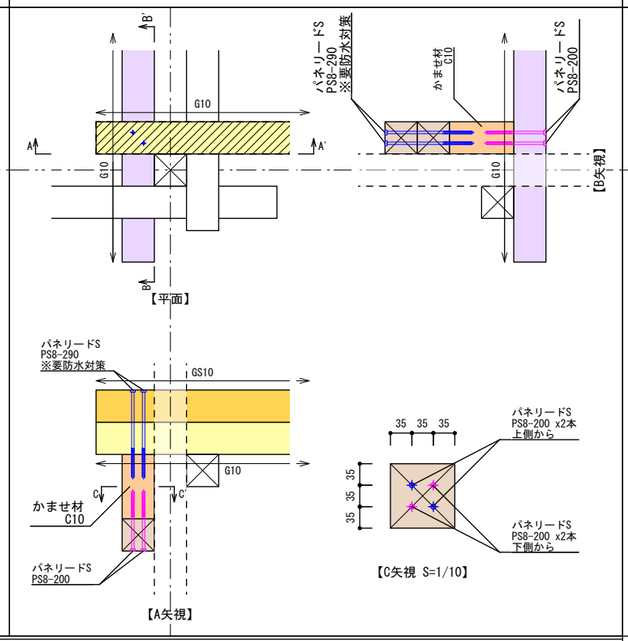
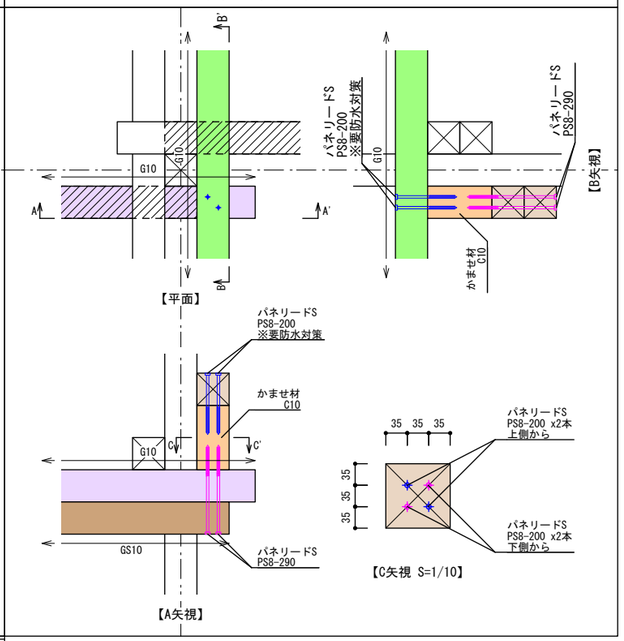
Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第33348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

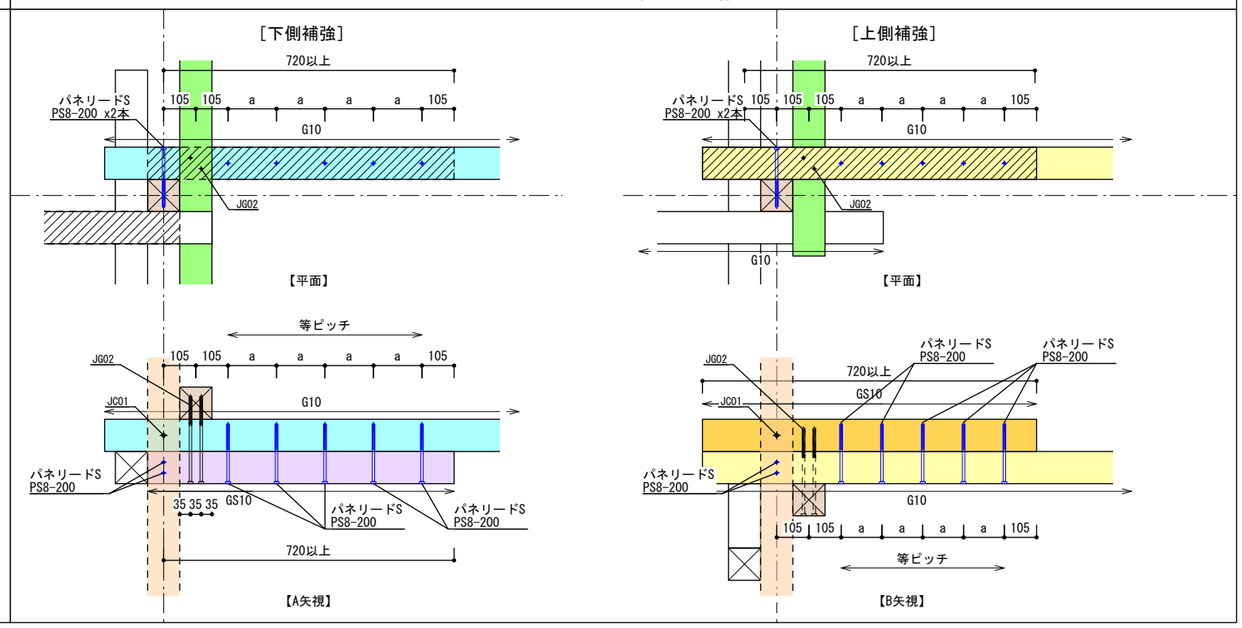
Date 2025.02.26

Name of Drawing リスト(4)
Scale S=1/20,10
Drawing No. S-71

接合部リスト(4) S=1/20

※雨水が溜まることを避けるため、ビスは原則下側から打つこと

接合部名	JG21	JG22	JG23
概要	梁G10、かませ材210、梁G10の接合部 [G10 + かませ材C10 + G10]	梁G10+梁補強GS10、かませ材210、梁G10の接合部 [G10+GS10 + かませ材C10 + G10]	梁梁G10、かませ材210、梁G10+梁補強GS10の接合部 [G10 + かませ材C10 + G10+GS10]
接合方法	上部:パネリードS PS8-200 x2本 + 下部:パネリードS PS8-200 x2本	上部:パネリードS PS8-290 x2本 + 下部:パネリードS PS8-200 x2本	上部:パネリードS PS8-200 x2本 + 下部:パネリードS PS8-290 x2本
図			

接合部名	JGS01
概要	梁補強GS10の標準接合部 [C10 + G10 + GS10]
接合方法	側面 : パネリードS PS8-200 x2本 + パネリードS PS8-200 x5本 ※下から打つこと
図	

Enshu Structural Consultants LLC 構造設計：合同会社円酒構造設計一級建築士事務所 第 64037 号(東京都)
一級建築士 第364075号／構造設計一級建築士 第 11102 号 圓酒 昂

Note	Project Title 鋸南町 観光物産センター改修工事	Client 鋸南町 Architect NASCA Engineer 円酒構造設計 設備計画	Drawn by K. IKUTA Checked by N. FURUYA T. KIKKAWA 一級建築士 古谷誠章 国土交通大臣登録 第150727号 一級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録 第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階	Date 2025. 02. 26	Name of Drawing リスト(5) Scale S=1/20, 10 Drawing No. S-72

Ⅰ．工　事　概　要

1. 工事名称　鋸南町　観光物産センター改修工事
2. 工事場所　千葉県安房郡鋸南町吉浜516-1、517-1
3. 建物概要

建物名称	構　造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備　考
鋸南町　観光物産センター改修工事	木造	1階	建築図参照	－	

4. 工事種目　（⊙ 印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別 屋内				屋外
⊙電灯設備・・・・・	一式				
• 動力設備・・・・・					
• 電熱設備・・・・・					
• 雷保護設備・・・・					
• 受変電設備・・・・					
• 電力貯蔵設備・・・					
• 発電設備・・・・・					
• 構内情報通信網設備					
⊙構内交換設備・・・	一式				
• 情報表示設備・・・					
• 映像・音響設備・・					
• 拡声設備・・・・・					
• 誘導支援設備・・・					
• テレビ共同受信設備					
• 監視カメラ設備・・					
• 駐車場管制設備・・					
• 防犯・入退室管理設備					
⊙火災報知設備・・・	一式				
• 中央監視制御設備・					
• 医療関係設備・・・					
⊙構内配電線路・・・					一式
⊙構内通信線路・・・					一式

5. 指定部分　　※　無し　・　あり（工期　平成　　年　　月　　日）
対象部分：

Ⅱ．工　事　仕　様

1. 共通仕様
（1）特記仕様及び図面に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」）（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下「標準図」という）による。仕様等に関しては監督員との相談による。

（2）設計図書に明記が無い場合、又は相違ある場合は、原則として監督員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
第１順位　現場説明書及び質疑解答書
第２順位　特記仕様書
第３順位　設　計　図
第４順位　共通仕様書

（3）建築基準法第３２条に適合すること。
原則として「電気事業法第３９条第１項及び第５６条第１項で定める電気設備に関する技術基準を定める省令」の規定に基づき、設計、工事を行うこと。

2. 特記仕様
（1）項目は，番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし，○印のない場合は※印を適用する。
（3）標準仕様書で「特記がなければ，」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において，それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には，関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。

項　目	特　記　事　項
①. 機材の品質等	本工事に使用する機材等は，設計図書に定める品質及び性能の他，通常有すべき品質及び性能を有するものとする。ただし，製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は，あらかじめ監督員の承諾を受ける。
②. 電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても，第1種電気工事士により施工を行う。
③. 官公署への手続き	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等は請負者が代行し，遅延なく行う。

一般共通事項

④. 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水及び諸手続きなどの費用はすべて請負者の負担とする。
⑤. 残土処分	・構内敷ならし　⊙構外搬出適切処理
⑥. 埋め戻し土・盛土	⊙根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類
⑦. 発生材の処理	引き渡しを要するもの ⊙なし　・あり（　　） ⊙引き渡しを要するもの以外は構外搬出処理とする。（構外搬出処理費は、建築工事とする）
8. はつり工事における非破壊検査	はつり，穴あけ及びあと施工アンカー等の施工にあたり，埋設物の事前調査を行う。 施工場所を探査機により探査し，鉄筋及び配管類の位置に墨出しを行う。 放射線透過検査については監督員の指示によるものとし，検査費は別途とする。
9. 施工調査	施工に先立ち，改修工事関連（施工部位により既存性能を損なうおそれのある）部分の事前調査を行い監督員に報告書を提出する。（・　　・　　）
⑩. 工事写真	国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」改訂版（建築設備編）による。
⑪. 完成図その他	完成図は、CADデータ、PDFデーター式を提出する。 その他提出書類は、建築意匠図による。及び保守に関する資料等３部を提出する。
⑫. 施工図等	別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ，各現場代理人捺印の上提出する。なお，当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は，発注者に移譲するものとする。
14. 耐震措置	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説　最新版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし，施工は「建築設備耐震設計・施工指針 最新版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・ 独立行政法人建築研究所監修）による。 建物の種別 （・特定の施設　　・一般の施設） （1）設計用水平地震力 機器の重量［kN］に，設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお，特記なき場合，設計用標準水平震度は，次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	・一般の施設 重要機器	・一般の施設 一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器　（・配電盤　・非常用発電装置　・交換機　・直流電源装置　・UPS　・火災報知受信機　・中央監視制御装置　・通信総合盤　　）
注）上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階，7～9階建の場合は上層2階，10～12階建の場合は上層3階，13階建以上の場合は上層4階
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし，水平地震力と同時に働くものとする。

21. あと施工アンカー	施工後確認試験　　・行う　　・行わない 試験方法　※引張試験機による引張り試験 試験箇所数　※１施工単位に対し１本以上 対象機器（・配電盤 ・発電機 ・直流電源装置 ・変圧器 ・　　） 確認強度　※対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上
㉒. 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
23. 裏ﾎﾞｯｸｽの材質	耐火壁に取付けるスイッチ・コンセント・通信アウトレット等には、耐火ボックス（木造耐火用）を使用する。
㉔. ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄの用途別表示	シール等を貼付する。
㉕. 電線本数・管路等	分電盤，制御盤，端子盤などの2次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
㉖. 接地極	接地極の材料は次による。

	接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極
•	共　同　接　地	EA・D	10Ω以下	EB×3連ー　2組
•	共　同　接　地	EA・C・D	10Ω以下	EB×3連ー　2組
•	A　　種	EA	10Ω以下	EB×3連ー　2組
•	B　　種	EB	Ω以下	EB×2連ー　2組
•	C　　種	EC	10Ω以下	EB×3連ー　2組
⊙	D　　種	ED	100Ω以下	EB×1
•	高　圧　避　雷　器	ELH	10Ω以下	EB×3連ー　2組
•	交　換　機　用	Et	10Ω以下	EB×3連ー　2組
•	通　信　用	EAt	10Ω以下	EB×3連ー　2組
•	通　信　用	EDt及びEDa	100Ω以下	EB×1
•	電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1
•	測　定　用	Eo	――	EB×1

（連結及び単独の場合，EBはD＝14 L＝1,500又はW=40 L=1,200とする）
（測定用の場合，EBはD＝10 L＝1,500又はW＝30 L=1,200とする）

27. 露出配管の塗装（付属品を含む）	塗装する部分 ・居室（　　）・廊下 ・屋上 ・屋外 ・機械室
28. ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽの塗装	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽの塗装　※有（メーカ指定色又は指定色仕上）・無（素地仕上）
㉙. 屋上・屋側の支持金物等	ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。
㉚. 露出配管の固定保護	2.5m以下のサドル及びダクターには保護を行う。
㉛. 屋上・屋側等への設置機材の周囲処理	建築物（構造体）に直接設置するプルボックス，各種盤及びダクターには周囲にシール処理を行う。
㉜. 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に，工事安全計画書を作成し，監督員に提出する。
33. 他工事との取合い	図面に記載されていない工事区分は，別紙工事区分表による。
㉞. 錆止め防止	水廻り周囲の固定金物はSUS製とする。

電灯設備

①. 配線器具	（1）スイッチ・コンセントプレート ⊙ステンレス　・新金属　・樹脂（コスモ ワイド２１　スクエアタイプ） （2）スイッチボックス・コンセントボックス等 建物外周に設置するものは，全て防露ボックスを用いること。
2. 照明器具	ＬＥＤの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 ＬＥＤの光源色　　（・電球色　・昼白色）
3. 非常用照明の照度測定	設置した各部屋2箇所以上とし，測定箇所は監督員の指示による。
4. 照明制御の照度測定等	明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は，照度測定を行い，測定表を監督員に提出する。なお，測定箇所は監督員の指示による。 照度測定（１００％点灯時（※夜間　・　　））（調光制御点灯時（※夜間　※昼間））
5. 照明制御装置設定器	納入数　　※１個　・　個

構内交換設備

①. 電話アウトレット	・ステンレス ⊙新金属　・樹脂（コスモ ワイド２１　スクエアタイプ）
2. 保安器用接地	・本工事　・別途工事
3. 壁付き電話機との接続	・モジュラージャック　　・電話用プレート
4. 電話機への配線	卓上電話機1台につき平均次のものを見込む。 ・ボタン電話機　EM-BTIEE　0.4 -2P　（※15m　・　　） ・一般電話機　EM-TIEF　0.65 -2C　（※15m　・　　） ・多機能電話機　EM-BTIEE　0.4 -2P　（※15m　・　　） ・IP電話機　EM-UTP　0.5 -4P　（※15m　・　　） ・2号ワイヤプロテクタ　1.5m
5. 壁掛電話機	送受話器の落下防止を施す。

拡声設備

増幅器	・時報及び自動放送（体操放送等）はアッテネータを経由した回路とする。 （一斉回路は使用しない） ・増幅器の入出力配線と外部配線（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。

構内配電線路

1. 施工方法	建物側配管引込み部の地盤変位対応種別（沈下量　・0.2m以下　・0.6m以下　・1.0m以下）
2. 地中箱	蓋の記号表示　鋳型流込み（※電気　・　　） ハンドホール内のケーブル支持等は，マンホールに準じて行う。
3. 高圧負荷開閉器	・開鎖形（重耐塩形）　・地絡継電器付（※方向性　・無方向性） ※別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。
4. 高圧ケーブルの端末部	高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱収縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。
5. 高圧ケーブルの屋外端末処理	・一般形　・耐塩形
6. 標識シート	・高圧　・低圧　・
7. 照明用ポール	照明用ポールは配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を設ける。ただし，ガーデンライトは除く。

構内通信線路

1. 施工方法	建物側配管引き込み部の地盤変位対応種別（沈下量　・0.2m以下　・0.6m以下　・1.0m以下）
2. 地中箱	蓋の記号表示　鋳型流込み（※電気　・　　） ハンドホール内のケーブル支持等は，マンホールに準じて行う。
3. 標識シート	・通信　・弱電

その他

① 機器取付高

機器取付高は下記を参考とする。ただし，天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名　称	測　点	取付高（mm）
電力共通 取引用計器	地　上～窓中心	1,800～2,000
引込開閉器	床　上～中　心	1,800～2,200
電灯 分電盤	床　上～中　心	1,500(上端1,900以下)
ホーム分電盤	天井下～上　端	200
スイッチ	床　上～中　心	1,200
〃（多機能ﾎﾝ・非常ﾁｬｲﾑ記念）	〃	1,100
〃（車椅子用ﾍﾞｯﾄﾞ周辺）	〃	900
〃（自動・手動切替）	〃	1,800
コンセント（一般）	〃	300
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台　上～中　心	150
〃　（土間）	床　上～中　心	800～1,300
〃（車椅子用居室）	〃	400
〃（車椅子用ﾍﾞｯﾄﾞ周辺）	〃	900
〃　（トイレ）	〃	300～400
〃　（屋外）	〃	500
ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
〃　（踊場）	〃	2,000～2,500
〃　（鏡上）	鏡上端～中　心	150
動力 壁掛形制御盤	床　上～中　心	1,500(上端1,900以下)
手元開閉器	〃	1,500
操作スイッチ	〃	1,300
構内交換 端子盤	床　上～下　端	300
保安器箱	天井下～上　端	200
壁付アウトレット	床　上～中　心	300
〃　（和室）	〃	150
電時設計 壁掛形親時計	床　上～中　心	1,500(上端1,900以下)
子時計	天井下～上　端	200

名　称	測　点	取付高（mm）
拡声 壁掛形スピーカ	天井下～上　端	200
表示 壁付アッテネータ	床　上～中　心	1,300
表示盤	天井下～上　端	200
壁付発信器	床　上～中　心	1,300
ベル，ブザー，チャイム	天井下～上　端	200
受付押ボタン（一般）	床　上～中　心	1,300
電源箱	床　上～下　端	300
誘導支援 外部受付用インターホン（子機）	地　上～中　心	1,000
車椅子用インターホン（居室子機）	地　上～中　心	1,100
壁付インターホン（上記以外）	床　上～中　心	1,300
壁付押ボタン（多機能トイレ）	〃	900
壁付押ボタン（多機能トイレ）	〃	300
床転倒時用		
テレビ共同受信 機器収容箱	天井下～上　端	200
直列ユニット	床　上～中　心	300
〃　（和室）	〃	150
火災報知設備 受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	床上～中心	800～1,500
ベル	天井下～上　端	200
表示灯	〃	200
ガス検知 ガス漏れ中継器	天井下～中　心	300
検知器（都市ガス）	天井下～下　端	300
〃（LPガス）	床　上～上　端	300

Note

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

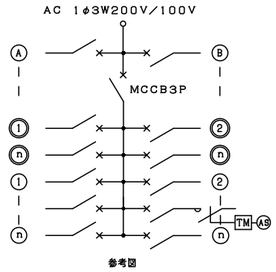
Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
特記仕様書
Scale　S=N.S (A3 paper)
Drawing No.　F-01

電灯分電盤結線図　（壁付。屋外。重耐塩仕様）



参考図

凡例

n　1φAC200V　　n　1φAC100V

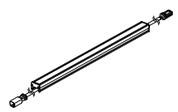
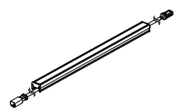
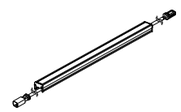
AS　自動点滅器・仕様：ＡＣ１００Ｖ用３Ａ

TM　年間式タイマー（２回路型）　停電補償付

注記　1．分岐開閉器の欄は、● 印を使用する。
　　2．分岐回路２Ｐ５０Ａ以下の配線用遮断器、
　　漏電遮断器は２Ｐ（薄幹型１Ｐサイズ）とする。
　　尚、表記１Ｐは１Ｅ２Ｐは２Ｅとする。

盤名称 電気方式	主開閉器	回路番号	分岐開閉器 MCCB1P 20A	MCCB2P 20A	ELCB2P 20A	負荷容量（ＶＡ）電灯	コンセント	その他	負荷名称	付属機器
L−共										
鋼板製・壁掛型 屋根付 重耐塩仕様										
		A			●			200	自火報受信機	(赤キャップ)
AC 1φ3W 210V/105V										
MCCB3P 50/30		1			●	1575			犬走照明	AS+TM1
		2			●	414			屋外照明	AS+TM2
3.489kVA (3.689kVA)		3			●		300		既設コンセント	
		4			●		500		屋外コンセント	
		5			●		200		監視カメラ電源	
		6			●		500		機械警備装置電源	
		7			●				予備	
		8			●				予備	
						(1989)	(1500)	(200)		

照明器具姿図

間接照明			間接照明			間接照明		
L966w	LED18.3W 2700K	L=966mm	L1206w	LED22.8W 2700K	L=1206mm	L966f	LED18.3W 2700K	L=966mm
防雨防湿型 直流電源装置（防水型）・電源接続ケーブル・傾斜取付金物共			防雨防湿型 直流電源装置（防水型）・電源接続ケーブル・傾斜取付金物共			防雨防湿型 直流電源装置（防水型）・電源接続ケーブル・傾斜取付金物共		
								
森山産業：TAD−ELE2K2−096J27N−24WS 相当品			森山産業：TAD−ELE2K2−120J27N−24WS 相当品			森山産業：TAD−ELE2K2−096J27N−24WS 相当品		

間接照明			間接照明			間接照明		
L1206f	LED22.8W 2700K	L=1206mm	WID623	LED8.3W 2700K	L=623mm	WID863	LED10.6W 2700K	L=863mm
防雨防湿型 直流電源装置（防水型）・電源接続ケーブル・傾斜取付金物共			防雨防湿型 電源装置・電源ケーブル・終端コネクタ・取付金物見込む			防雨防湿型 電源装置・電源ケーブル・終端コネクタ・取付金物見込む		
								
森山産業：TAD−ELE2K2−120J27N−24WS 相当品			大光電機： LZW−93205LTW 相当品			大光電機： LZW−93206LTW 相当品		

間接照明			間接照明			間接照明		
WID983	LED11.3W 2700K	L=983mm	WID1223	LED14.2W 2700K	L=1223mm	WID1463	LED15.8W 2700K	L=1463mm
防雨防湿型 電源装置・電源ケーブル・終端コネクタ・取付金物見込む			防雨防湿型 電源装置・電源ケーブル・終端コネクタ・取付金物見込む			防雨防湿型 電源装置・電源ケーブル・終端コネクタ・取付金物見込む		
								
大光電機：LZW−93207LTW相当品			大光電機： LZW−93208LTW相当品			大光電機： LZW−93209LTW相当品		

注）1。電源装置・取付ﾊﾞｰｻｰ式も本工事で見込むこと。
　　2。姿図の形状・寸法は参考とする。
　　3。照明器具の消費電力はＪＩＳ Ｃ ８１０５−３の試験方法による。

Note

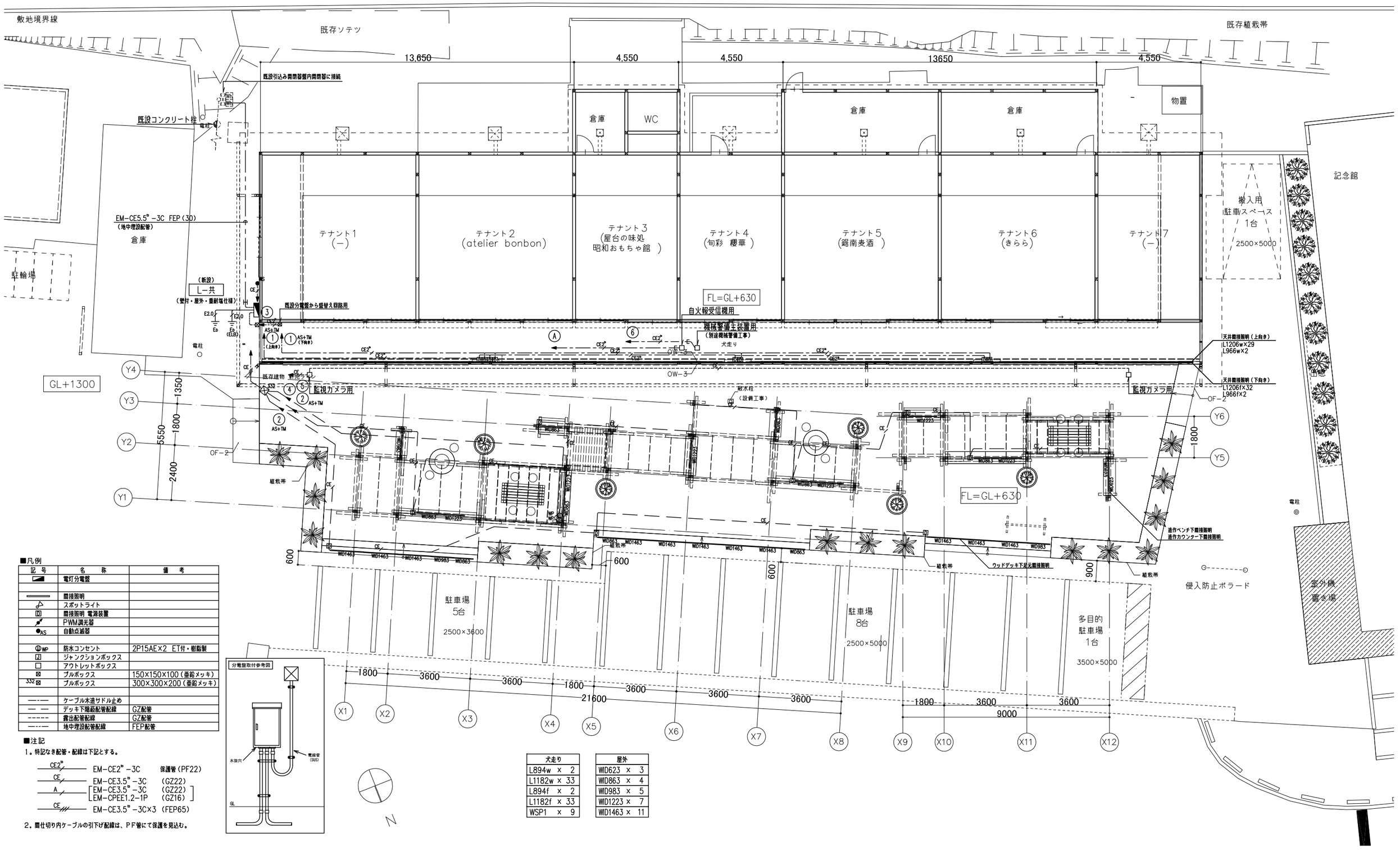
Project Title
鎧南町　観光物産センター改修工事

Client　鎧南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
　　設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3−15−1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
電灯分電盤図・照明器具姿図
Scale　S=N.S (A3 paper)
Drawing No.　F−02



■凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	間接照明	
	スポットライト	
D	間接照明 電源装置	
	PWM調光器	
●AS	自動点滅器	
ΦWP	防水コンセント	2P15AE×2 ET付・樹脂製
J	ジャンクションボックス	
□	アウトレットボックス	
⊠	プルボックス	150×150×100(亜鉛メッキ)
332⊠	プルボックス	300×300×200(亜鉛メッキ)
—·—·	ケーブル木造サドル止め	
— —	デッキ下隠蔽配管配線	GZ配管
------	露出配管配線	GZ配管
—·—·	地中埋設配管配線	FEP配管

■注記

1。特記なき配管・配線は下記とする。

CE2ᵉ	EM−CE2ᵉ−3C	保護管(PF22)
CE	EM−CE3.5ᵉ−3C	(GZ22)
A	[EM−CE3.5ᵉ−3C (GZ22) EM−CPEE1.2−1P (GZ16)]	
CE	EM−CE3.5ᵉ−3C×3	(FEP65)

2。間仕切り内ケーブルの引下げ配線は、PF管にて保護を見込む。

犬走り	
L894w	× 2
L1182w	× 33
L894f	× 2
L1182f	× 33
WSP1	× 9

屋外	
WD623	× 3
WD863	× 4
WD983	× 5
WD1223	× 7
WD1463	× 11

Note

Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3−15−1 日本駐車ビル4階

Date

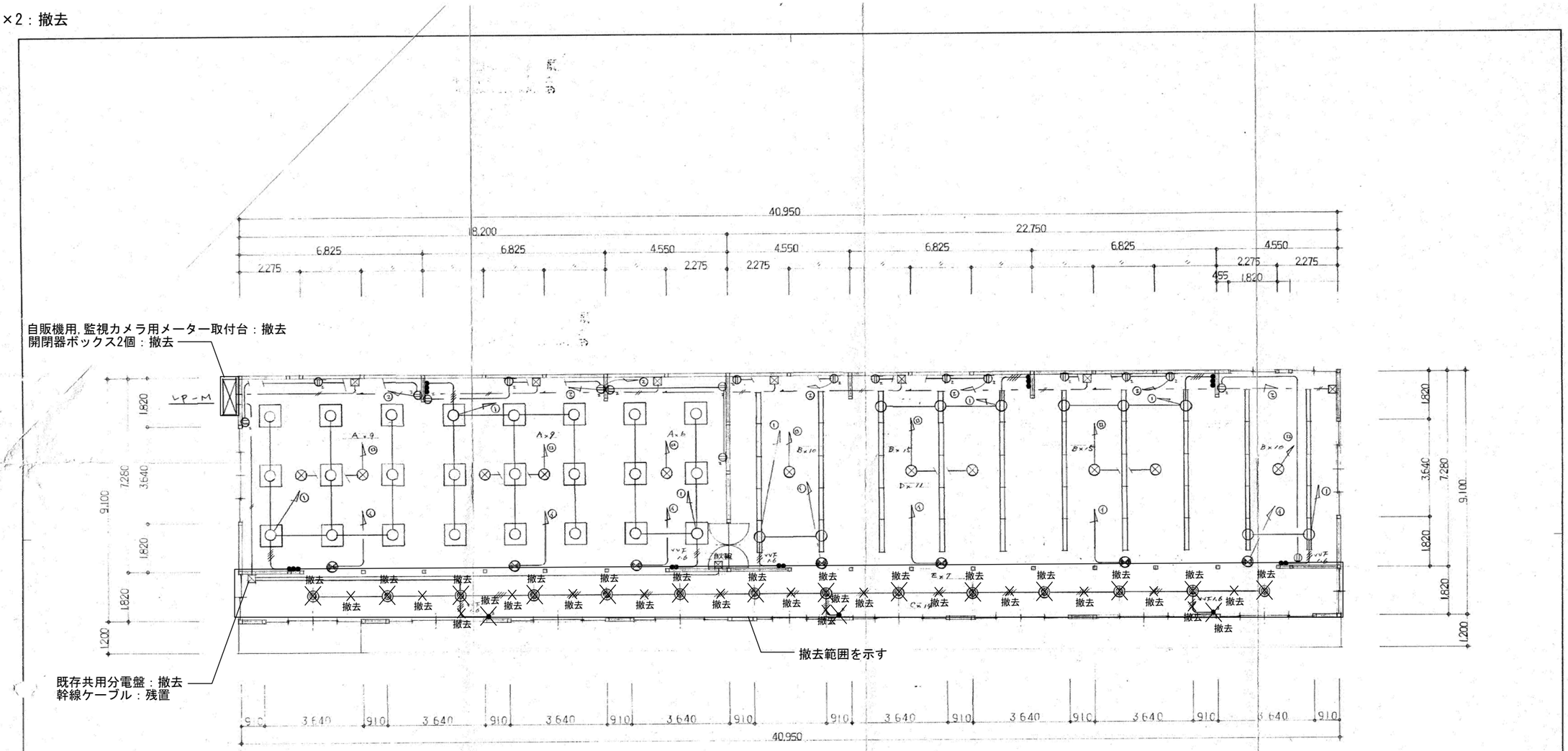
Name of Drawing
幹線・電灯・コンセント設備 平面図(新設)
Scale S=1:150 (A3 paper)
Drawing No. E−03

凡例

撤去　VVF1.6-2C：撤去

撤去　VVF1.6-3C：撤去

撤去　VVF1.6-2C×2：撤去



記

特記なき配線はVVF1.6×2Cとする。

配線器具はカラー用とする

LP-Mよりの幹線は各々VVF2.6×2Cとする

平面図　~~S=1/100~~ S=1/150

床面積　372.645m²　112.50坪

● 建築設計事務所

● 千葉県知事　第91-1213号
● 一級建築士　第50490号　原　克己
● 千葉県館山市　☎ (0470) 22-5010㈹

● 鋸南町 観光物産センター

新築　工事設計図

電灯・コンセント・非常用照明
誘導灯設備
平面図　~~S=1/100~~

B.02

Note

※特記なき限り既存残置とする

Project Title

鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
　設備計画

Drawn by　K IKUTA
Checked by　N FURIYA　T KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
幹線・電灯・コンセント設備　平面図（撤去）
Scale　S=N.S (A3 paper)
Drawing No.　E-04

敷地境界線
既存ソテツ
既存植栽帯
13,650
4,550
4,550
13650
4,550
フック：既設再利用
既設コンクリート柱
電柱
倉庫
WC
倉庫
倉庫
物置
記念館
搬入用
駐車スペース
1台
2500×5000
テナント1
(−)
テナント2
(atelier bonbon)
テナント3
(屋台の味処
昭和おもちゃ館)
テナント4
(旬彩 櫻華)
テナント5
(錦南麦酒)
テナント6
(きらら)
テナント7
(−)
倉庫
新設空配管（GZ28）
（外壁露出配管）
駐輪場
警戒区域
①
②
（新設・屋外型盤架）
端子箱
保安器×2スペース
端子10P
・保安器の移設（NTT工事）
・取次前配線の張替え工事
新設空配管（E25）
（天井内隠蔽配管）
EM−EBT0.5−1P （PF16）
（ふかし壁配管配線）
EM−HP0.9−4C （PF16）
（ふかし壁配管配線）
FL=GL+630
EM−HP0.9−4C （GZ16）
（天井露出配管）
EM−HP0.9−5P （PF22）
（壁内配管）
OW
有線
OW−3
既存建物 軒先ライン
既設自火報受信機（取外し・再取付）
収納ボックス（建築工事）
機械警備装置用ベル、ランプ、アンテナ（機器別途工事）
収納ボックス（建築工事）
機器収容箱（SUS製）
（発信機・ベル・リング表示灯）
GL+1300
Y4
Y3
Y2
Y1
1350
1800
5550
2400
OF−2
植栽帯
既存植栽
600
植栽帯
600
600
植栽帯
植栽帯
900
FL=GL+630
侵入防止ボラード
室外機
置き場
電柱
駐車場
5台
2500×3600
駐車場
8台
2500×5000
多目的
駐車場
1台
3500×5000
GL±0
1800
3600
3600
1800
21600
3600
3600
3600
1800
3600
3600
9000
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
Y6
Y5
1800
OF−2
N

■凡例

記 号	名 称	備 考
▭	端子盤	
— —	デッキ下隠蔽配管配線	GZ配管
-----	露出配管配線	GZ配管
—·—·—	地中埋設配管配線	FEP配管

Note

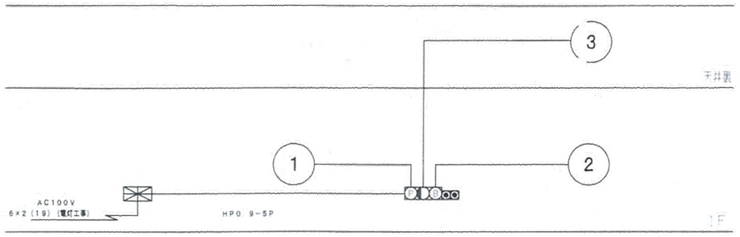
Project Title
錦南町 観光物産センター改修工事

Client 錦南町
Architect NASCA
Engineer 円通構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3−15−1 日本駐車ビル4階

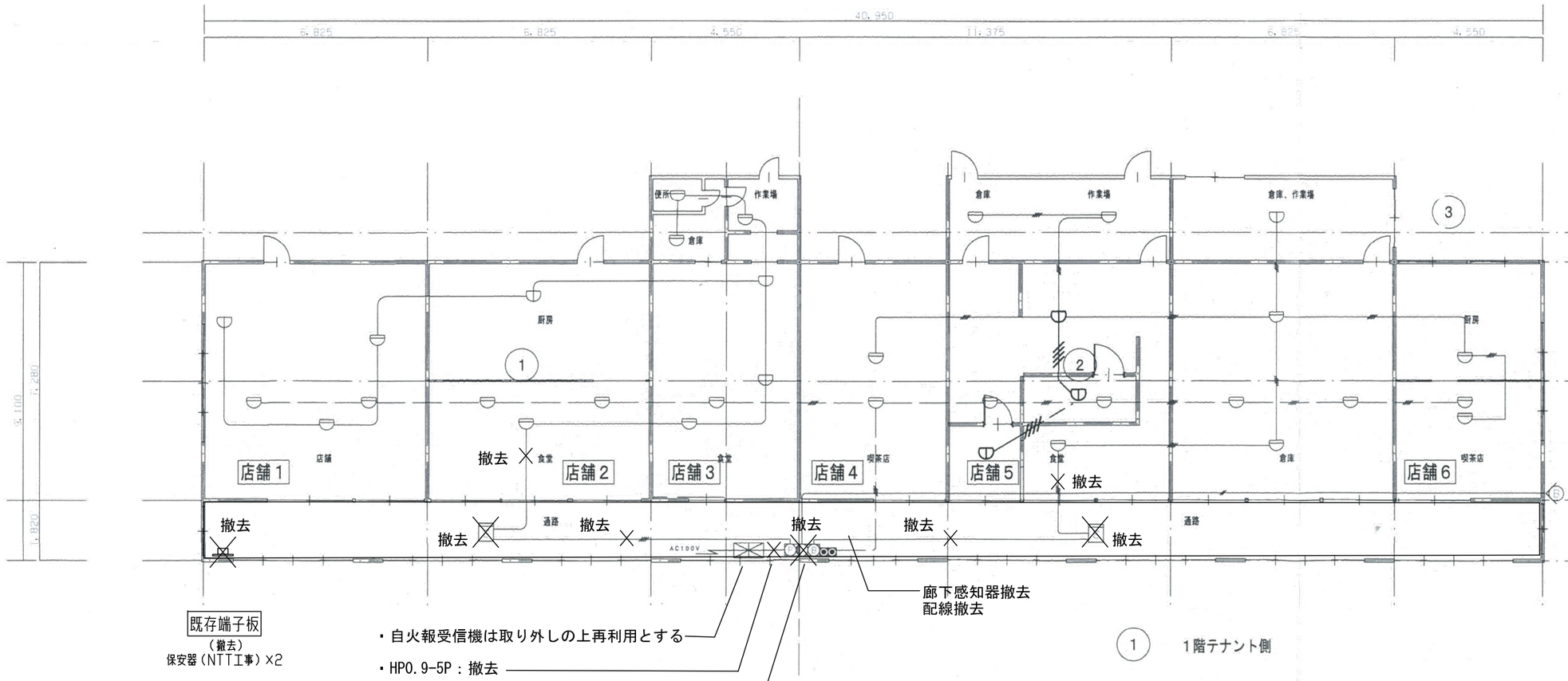
Date

Name of Drawing
構内交換・自動火災報知設備 平面図（新設）
Scale S=1:150 (A3 paper)
Drawing No. E−05



自動火災報知設備　系統図

凡例		
記号	名称	備考
	受信機	
	機器収容箱	
	火災警報ベル	DC24V φ150 15mA
	表示灯	AC24V
P	発信機	P型2級
	差動式スポット型感知器	2種
	差動式スポット型感知器	2種 天井裏設置
	定温式スポット型感知器	1種 防水型
70	定温式スポット型感知器	特種
	火災警報ベル	防滴型
	煙感知器	2種 非蓄積型
	回路試験器	2種
	配管配線	
	ケーブル配線	
	警戒区域境界線	
No.	警戒区域番号	No. ：天井裏



凡例

撤去　HP0.9-4C：撤去

鋸南町観光物産センター

~~S＝1：150~~

自動火災報知設備

Note
※特記なき限り既存残置とする

Project Title
鋸南町　観光物産センター改修工事

Client　鋸南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
設備計画

Drawn by　K.IKUTA
Checked by　N.FURUYA　T.KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
構内交換・自動火災報知設備　平面図（撤去）
Scale　S=N.S（A3 paper）
Drawing No.　E-06

工事名称　鎧南町　観光物産センター改修工事

仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所　千葉県安房郡鎧南町吉浜517

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m2)	消防法施行令別表第一	備考
観光物産センター	木造	地上1階	建築図面参照	－	

3. 工事種目　（ ●印の付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別 本体					屋外
● 給水設備						● 一式
● 排水通気設備						● 一式

4. 指定部分　● 無　○ 有（　　：指定部分工期 令和　年　月　日）

5. 設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種類	設備概要
● 給水方式	○ 加圧給水方式　● 水道直結方式　○ 増圧給水方式　○ 高置タンク方式
● 排水方式	建物内の汚水と雑排水（ ○ 合流式　● 分流式 ） ポンプ排水　○ 有（ ○ 汚水　○ 雑排水　○ 雨水　○ 湧水 ）　● 無 建物外放流先　(1) 汚水 ： ○ 直放流下水管　○ 単独処理浄化槽 (2) 雑排水 ： ○ 直放流下水管　○ 排水処理槽 (3) ● 合併処理浄化槽（既存）

2. 工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。
● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）（以下「標仕」という。）
● 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）（以下「改修標仕」という。）
● 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）（以下「標準図」という。）
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
(3) 標仕及び改修標仕にある「監督職員」は「監督員」に読み替える。

2. 特記仕様
章、項目及び特記事項は、● 印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	● 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等は、受注者が遅滞なく行う。
	○ 電気保安技術者	○ 適用する　○ 適用しない
	○ 技能士の適用	○ 配管施工（配管工事）　○ 建築板金施工（ダクト製作及び取付け） ○ 熱絶縁施工（保温工事）　○ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
	○ 監督職員事務所	○ 設けない　○ 設ける
	● 工事用電力・水・その他	● 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて受注者の負担とする。 工事用水　構内の施設　○ 利用できない　● 利用できる（ ● 有償　○ 無償 ） 工事用電力　構内の施設　○ 利用できない　● 利用できる（ ● 有償　○ 無償 ）
	● 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について引渡し日まで、これを組立保険等にかけて、その写しを監督員に提出すること。
	● 発生材の処理等	引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は　● 本工事　○ 別途） 処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。
	● 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ● 適用する　○ 適用しない
	● 足場その他	● 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 （ ● 建築工事　○ 電気設備工事　で設置する。） ○ 本工事で設置とする。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場　（　○　種　○　種　○　種 ） ○ 外部足場　（　○　種　○　種　○　種　○　種 ）
	● 工事用仮設物	すべて受注者の負担とする。 構内につくることが　● できる　○ できない
	● 建設発生土の処理	● 現場説明書による。 ○ 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
	● 埋め戻し土・盛土	● 根切り土の中の良質土　● 山砂の類
	● 再生材	山砂、砕石及びアスコンは、原則としてそれぞれ再生砂、再生砕石及び再生アスコンを使用してもよい事とする。
	● 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領（最新版）」による。
	● 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
	● 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は新品とし、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。ただし、仮設に使用する機材は新品でなくてもよい。 (2) 別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	● 機材の検査及び試験・施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、「標仕」によるほか下記によるものとする。 ・飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果を監督員に提出するものとする。 ・雨水利用システム及び排水再利用システムを設置した場合は、工事完成後定常の使用状態になった後、速やかに（概ね３か月以内）流入水・処理水の水質試験を行うものとし、その試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は次による。 大腸菌群数、ＰＨ値、結合残留塩素、臭気、濁度、色度、外観、ＢＯＤ、ＣＯＤ
	● 完成時提出図書	監督員と協議の上、決定する。
	● 完成図等	監督員と協議の上、受注者が作成する。
	○ 運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。 説明板の大きさは約＿＿＿m2とする。
	○ 見本施工	○ 実施する。（　　）

章	項目	特記事項
● 共通工事	● 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集(最新版)によるほか、監督職員の指示による。
	● 総合調整	● 本工事　○ 別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ○ 風量調整　● 水量調整　○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定　○ 騒音の測定　○ 飲料水質の測定
	○ 電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品とします。
	○ 容量等の表示	1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	○ 耐震措置	設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人　建築研究所監修）による。 (1) 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0並びに次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 設置場所 / 機器種別 / ○ 特定の施設 重要機器 / ○ 特定の施設 一般機器 / ● 一般の施設 重要機器 / ● 一般の施設 一般機器 上層階、屋上及び塔屋 / 機器 2.0 1.5 1.5 1.0 / 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 / 水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0 中間階 / 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 / 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 / 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 地階・1階 / 機器 1.0 0.6 0.6 0.4 / 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 / 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 ・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・重要機器は次による。 ［名称：　、記号：　］、［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］、［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］、［名称：　、記号：　］ ・水槽類にはオイルタンクを含む。 (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。
	○ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力　風速（Ｖo＝　３４m/s） 地表面粗度区分　（○Ⅰ　○Ⅱ　●Ⅲ　○Ⅳ ） ○ 積雪荷重　建設省告示第1455号における区域　別表（　）
	● 地中埋設標等	(1) 地中埋設標　● 要（図示による。）　○ 不要 (2) 埋設表示用テープ　● 要（排水管を除く）　○ 不要
	● はつり	既存排水桝蓋のモルタル充填材。
	○ 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編 1.5.1 表 4.1.11 による。
	○ 吊り及び支持金物	（ ● 雨水横内 ● 汚水横内 ● 屋外・ピット）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。
	● 施工調査	事前調査　● 本工事　○ 別途 調査項目　● 現況敷地状況及びインフラ調査
	● 他工事又は他工種との取合い	発注図又は本工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。
	● 配管材料	別表－２参照
● 給水設備	● 水栓	○ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。
		● 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （ ● ただし、屋外に設ける水栓は副弁水栓とする。）
	● 吐水口	水栓には有効な吐水口空間を確保する。
	● 水撃防止	給水管には以下のウォーターハンマー防止措置を行なう。
		● 管内流速が過大とならないよう管径を選定する。
		○ その他（　　）
	○ 凍結防止	
	● 量水器	● 親メーター（ 貸与品 ）　（ ● 直読式　○ パルス式 ） ○ 子メーター（ 買い取り ）　（ ○ 直読式　○ パルス式 ）
	● 弁類	JIS 又は JV　● 水道直結部分（ ● 10K　○　　） ○ その他の部分（ ○ 10K　○　　）
		○ 逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	● 管の埋設深さ	● 管の上端より原則として、一般敷地は（　60cm ）構内道路は（　60cm ）以上とする。
	● 散水栓箱	○ 合成樹脂製　○ アルミニウム合金製　○ 人造石と岩出し製　● ステンレス製
	○ 建物導入部配管	標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の（ ○ (a)　○ (b)　○ (c) ）による。
● 排水設備	● 配管材料	別表－２参照
	○ 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管（VP）でもよい。 洋風便器、小便器、洗面器及び掃除用流しとの接続管は、ビニル管（VP）とする。
	● 排水管の流量	排水管の口径算定は以下の方法により計算を行ない、排水量に応じた有効な口径とする。 ● 負荷単位法 ○ 定常流量法 ○ その他（　　）
	○ 排水トラップ	排水トラップの構造は、昭和50年建設省告示第1597号第2第三号の規定に適合する。
	● 配管勾配	呼び径65以下：1/50以上　75・100：1/100以上　125：1/100以上　150以上：1/100以上
	○ 満水試験継手	図示の箇所に取り付ける。
	● インバート桝・ため桝	● プラスチック桝（ ● 標準図による。　○　　）
		● コンクリート桝（ ● 標準図による。　○ 本図面の施工要領図による。　○　　）

別表－２　使用配管材料一覧表

規格 名称	番号	備考	施工部位 屋内一般 PS・木共内	ピット内	土間下	屋外露出部	圧送配管	屋外 土間下	圧送配管	地中配管	備考（接合工法等）
【給水管】											
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VB									○ねじ　○フランジ
		SGP-VD									○ねじ　○フランジ
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWA K 132	SGP-PB									○ねじ　○フランジ
		SGP-PD									○ねじ　○フランジ
一般配管用ステンレス鋼鋼管	JIS G 3448	SU									○圧縮・プレス　○拡管式 ○ハウジング　○溶接 ○フランジ　○差込式
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP								●	●接着 ○ゴム輪（ＲＲ）
水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762	PE (65A以下)									○軟質管・メカニカル ○硬質管（○メカニカル ●電気融着）
建築設備用ポリエチレン管	JWWA K 144	HPPE (50A以下)									○電気融着（ＥＦ）
架橋ポリエチレン管	JIS K 6769	PN15XM (13A以下)									○メカニカル　○電気融着 ○メカニカル（ワンタッチ式）
ポリブテン管	JIS K 6778										○メカニカル　○電気融着
水道用ポリブテン管	JIS K 6792										○メカニカル　○電気融着
【排水及び通気管】											
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○ねじ　○ＭＤ
排水用ノンターエポキシ塗装鋼管	WSP 032	SGP-NTA									○ねじ　○ＭＤ
硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP								●	●接着　※屋外第一桝まで
		VU									○接着
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6776	HTVP									○接着
排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	AS 58	REP-VU									○接着
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管	JIS K 9798	RF-VP									○接着
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	JIS K 9797	RS-VU								●	●接着
排水・通気用耐火二層管	JIS K 6741	FDVP									○接着
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP									○接着
高耐候性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	TC-VP (100A以下)									○接着
		TC-VU (125A以上)									○接着
		TC-HTVP (50・75A)									○接着

Note

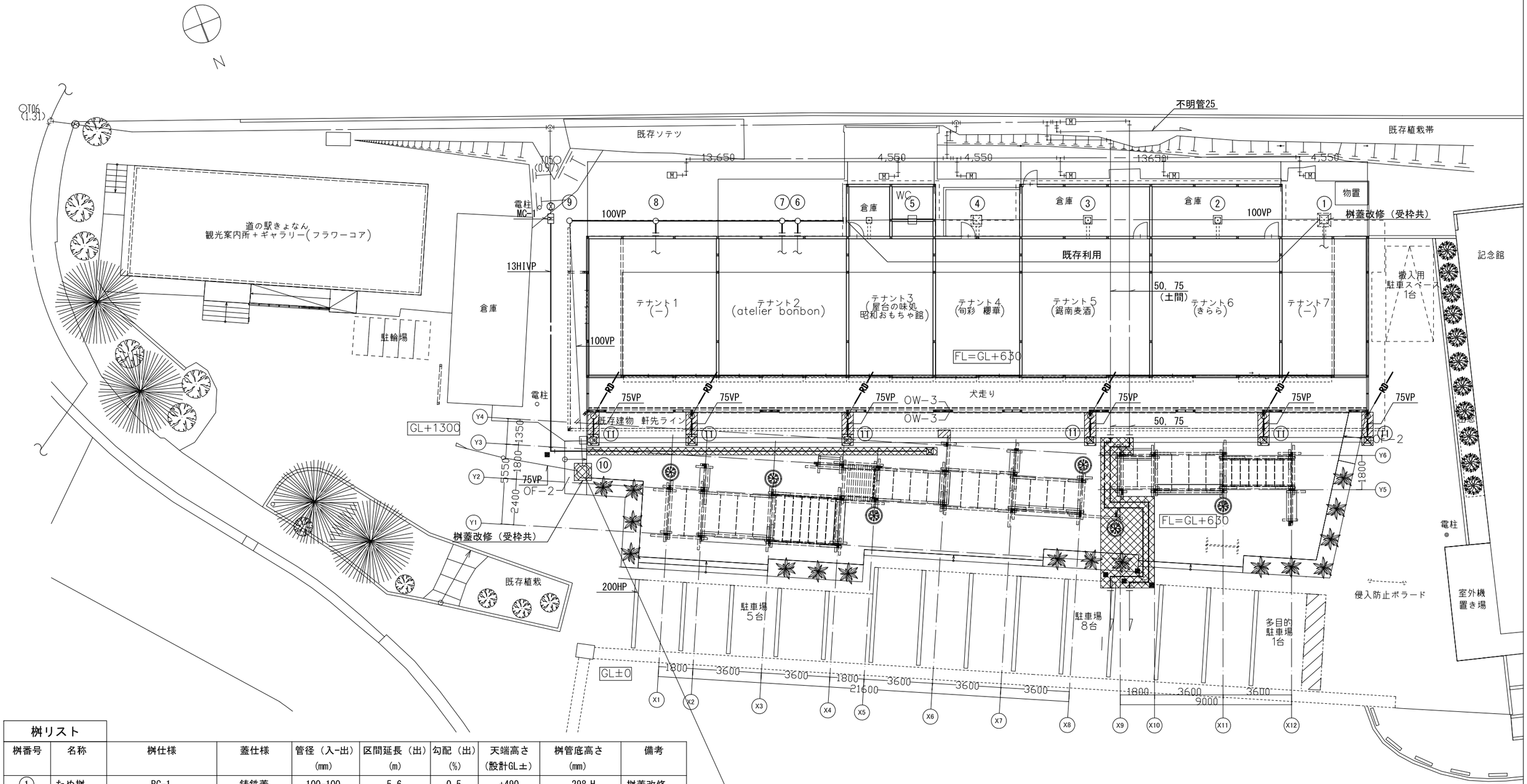
Project Title
鎧南町　観光物産センター改修工事

Client　鎧南町
Architect　NASCA
Engineer　円酒構造設計
　設備計画

Drawn by　K. IKUTA
Checked by　N. FURUYA　T. KIKKAWA
一級建築士　古谷誠章
国土交通大臣登録　第150727号
一級建築士事務所　有限会社ナスカ
東京都知事登録　第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
給排水衛生設備工事特記仕様書
Scale　No scale
Drawing No.　M-01



桝リスト

桝番号	名称	桝仕様	蓋仕様	管径（入-出）(mm)	区間延長（出）(m)	勾配（出）(%)	天端高さ（設計GL±）	桝管底高さ (mm)	備考
①	ため桝	RC-1	鋳鉄蓋	100-100	5.6	0.5	+490	298 H	桝蓋改修
②	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	6.8	0.5	+630	466 H	既存利用
③	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	5.8	0.5	+630	500 H	既存利用
④	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	3.4	0.5	+630	530 H	既存利用
⑤	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	6.2	0.5	+630	546 H	既存利用
⑥	汚水桝	塩ビ桝 200φ 90Y	鋳鉄蓋	100-100	0.6	1.5	+480	470 H	新設
⑦	汚水桝	塩ビ桝 200φ 90Y	鋳鉄蓋	100-100	6.6	1.5	+480	430 H	新設
⑧	汚水桝	塩ビ桝 200φ 90Y	鋳鉄蓋	100-100	4.5	1.5	+498	531 H	新設
⑨	汚水桝	塩ビ桝 200φ 90L	鋳鉄蓋	100-100	13.2	1.5	+520	600 H	新設
⑩	汚水桝	SC-3	鋳鉄蓋	100-200	−	−	+520	710 H	桝蓋改修
⑪	ため桝	RC-1	グレーチング蓋	側 溝	−	−	+590	450 H	新設 x 6

凡例

:既存接続箇所

■ :コンクリート製埋設標示杭

:構内舗装新設範囲

:RC土間新設範囲

※構内舗装の復旧は建築工事とする。
※RC土間の復旧は建築工事とする。

Note

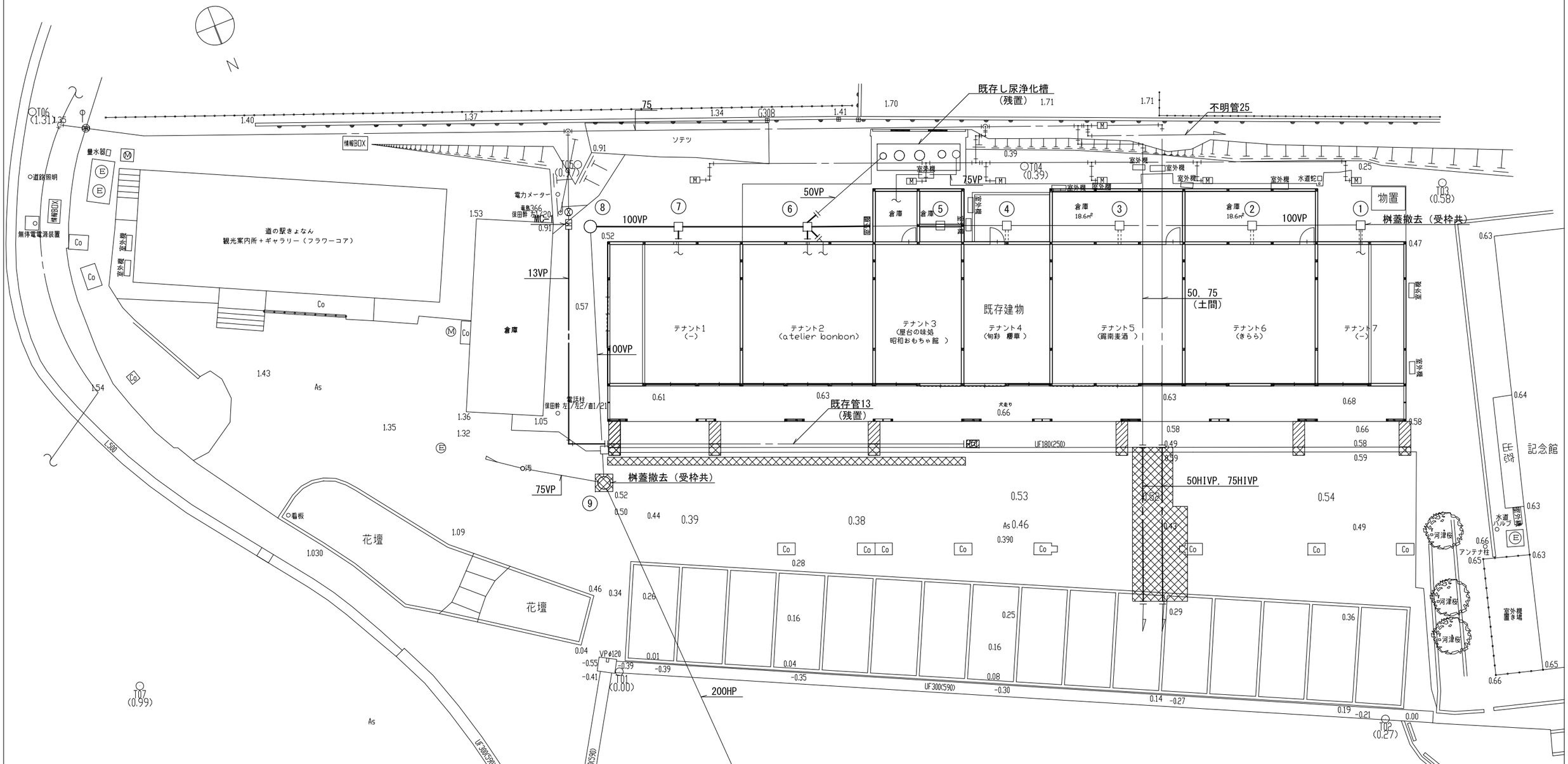
Project Title
鋸南町 観光物産センター改修工事

Client 鋸南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 吉谷誠意
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
給排水衛生設備 外構図(改修)
Scale 1/100(A1)、1/200(A3)
Drawing No. M-02



桝リスト

桝番号	名称	桝仕様	蓋仕様	管径（入-出）(mm)	区間延長（出）(m)	勾配（出）(%)	天端高さ（設計GL±）	桝管底高さ (mm)	備考
①	ため桝	RC-1	グレーチング蓋	100-100	5.6	0.5	+490	298 H	桝蓋撤去
②	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	6.8	0.5	+630	466 H	既存利用
③	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	5.8	0.5	+630	500 H	既存利用
④	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	3.4	0.5	+630	530 H	既存利用
⑤	ため桝	RC-1	塩ビ蓋	100-100	6.8	0.5	+630	546 H	既存利用
⑥	ため桝	RC-2	鋳鉄蓋	100-100	6.6	1.5	+480	430 H	撤去
⑦	ため桝	RC-2	鋳鉄蓋	100-100	4.5	1.5	+498	531 H	撤去
⑧	ため桝	RC-3	鋳鉄蓋	100-100	13.2	1.5	+520	600 H	撤去
⑨	汚水桝	SC-3	鋳鉄蓋	100-200	−	−	+520	710 H	桝蓋撤去

凡例

:既存切断箇所

:構内舗装撤去範囲

:RC土間撤去範囲

※構内舗装の撤去は建築工事とする。
※RC土間の撤去は建築工事とする。

Note

Project Title
鎧南町 観光物産センター改修工事

Client 鎧南町
Architect NASCA
Engineer 円酒構造設計
設備計画

Drawn by K.IKUTA
Checked by N.FURUYA T.KIKKAWA
一級建築士 古谷誠章
国土交通大臣登録 第150727号
一級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録 第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1 日本駐車ビル4階

Date

Name of Drawing
給排水衛生設備 外構図(撤去)
Scale 1/100(A1)、1/200(A3)
Drawing No. MR-01